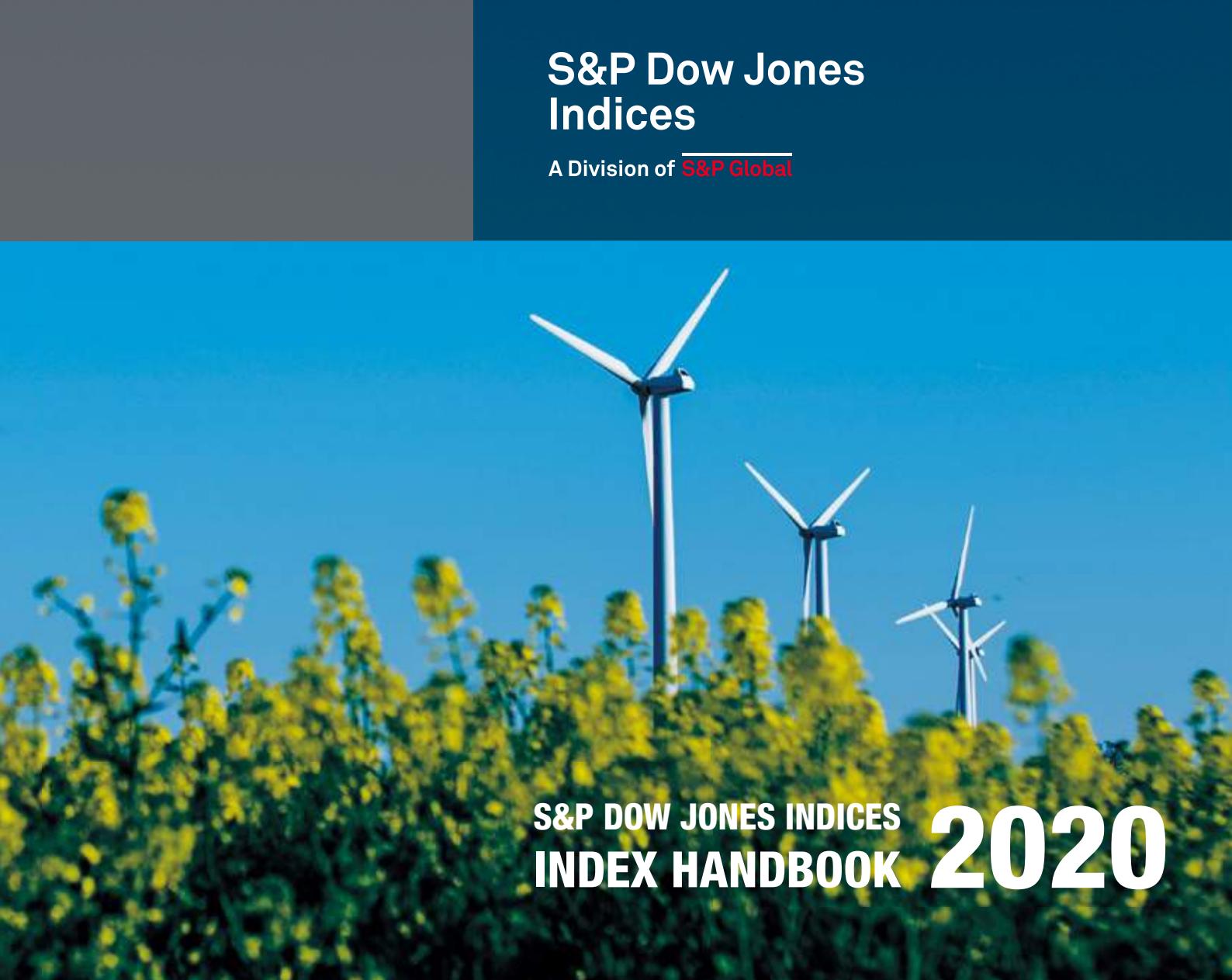


S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス  
**指数ハンドブック**  
**2020**

**S&P Dow Jones  
Indices**

A Division of **S&P Global**



**S&P DOW JONES INDICES  
INDEX HANDBOOK 2020**

## 1. はじめに

近年、環境・社会・ガバナンス（ESG）投資の拡大が顕著になってきています。その中でも指数を使ったパッシブでの運用が拡大しています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、1999 年にダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックスの算出を開始して以降、20 年以上にわたり環境・社会・ガバナンス（ESG）の指数化を行っており、この分野の先駆者の存在となっています。当社は現在、コア ESG アプローチ及び低炭素気候変動アプローチからテーマ別戦略及び債券 ESG 戦略に至るまで、様々なリスク / リターン目標や ESG 基準に合致する幅広い指数を提供しています。

日本においては、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が 2018 年、弊社が提供する 2 つのカーボン・エフィシェント指数（日本株式については S&P/JPX カーボン・エフィシェント指数、海外株式については S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシェント指数（除く日本））を環境株価指数として採用し、これらの指数に基づいた ESG 投資ポートフォリオの運用を開始しました。2019 年 3 月のリバランス時点において、S&P/JPX カーボン・エフィシェント指数の温室効果ガス排出強度は 1 年間でベンチマークに対して 21% 低下し、S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシェント指数（除く日本）の温室効果ガス排出強度は 1 年間でベンチマークに対して約 34% 低下しました。この取組みを含めた弊社の ESG 投資に関する指標開発およびエンゲージメントが高く評価され、弊社は環境省主催の ESG ファイナンス・アワード・ジャパンにて金賞（環境大臣賞）、東京都主催の東京金融賞の ESG 投資部門をそれぞれ受賞いたしました。

気候変動が投資に及ぼす影響は無視できないほど大きくなっています。市場参加者の間でもこのことに対する意識がこれまで以上に高まっています。機関投資家はしばしば、低炭素投資や ESG 投資の重要性を訴えますが、市場リターンに緊密に連動することを目指しているため、ESG 戦略を実践することは機関投資家にとって容易ではありません。S&P グローバル・カーボン・エフィシェント指数シリーズは、カーボン・エクスポートジャーを大幅に削減しつつ、企業の行動変化を促す一方で、ベンチマークと同等のリスク / リターン水準を維持するように設計されています。例えば、S&P/JPX カーボン・エフィシェント指数のリスク及びリターンは、ベンチマークである TOPIX とほぼ同水準となっています。したがって、TOPIX に配分している投資家は、S&P/JPX カーボン・エフィシェント指数に置き換えることにより、受託責任に支障をきたすことなしに、カーボン・エクスポートジャーを削減することが可能となります。世界中の多くの投資家は、受託者責任とサステナブル投資を上手く両立させることができると考えていますが、S&P グローバル・カーボン・エフィシェント指数シリーズはこうした投資家に対して、気候変動リスクに対処するための有効な手段を提供します。

今後 ESG を含めた多様な指標が増えれば、投資商品の発行体が、関心の対象が異なる様々な投資家に役立つ ETF やその他のツールを設定する機会が拡大します。これまで世界の金融の専門家や投資家は市場のパフォーマンスに関するリアルタイムでの情報収集において指標を重視してきましたが、今後はより一層指標の重要性、そしてニーズもともに高まっていくでしょう。

## 2. 指数プロバイダーの役割と担保るべき特徴

そもそも指標とは、特定の市場、デリバティブ、その他の金融商品のグループまたはバスケットのことです。つまり、ある特定の市場セグメントにおける証券の価格動向を統計的に表したサンプルのことをいいます。具体的には、例えば S&P500 では、米国株式市場における時価総額が上位の企業セグメントを表しています。指標に採用された証券の株価の変動に従って、指標値（水準）はそうした動きを反映して上下します。

指標プロバイダーはそれらの市場指標を設定・算出し、パッシブ運用商品の基盤となる知的財産のライセンスを発行する専門性を備えた企業です。指標プロバイダーの業務は、以下 4 つの段階に分かれています。

- 概念化と設定：指標の範囲を規定し、指標構築に必要な規則を定義します
- 算出と普及：指標値を算出し、配信します
- 管理とリバランス：指標値をリアルタイムでモニタリングするとともに、日次の維持・管理を行います
- ライセンスの発行とサポート：投資の専門家だけでなく一般投資家が指標を使用できるように、サポート業務を行います

指標プロバイダーが担保するべき特徴は以下の通りです。

以下の特徴を担保することによって、優れた指標プロバイダーとして機能することが可能です。

安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>潜在的リスクから自らを守るため、予防措置を徹底します。</li> <li>健全でないインデックスの概念は許容しません。</li> <li>潜在的な利益相反や、インデックスの客観性に影響を及ぼす可能性のある事柄について適切に開示します。</li> </ul>
独立性	<ul style="list-style-type: none"> <li>投資ファンドやその他の投資商品をいっさい販売しません。インデックス管理チームと商業活動に従事するチームを分離することで、独立した意思決定を確実に行えるよう努めています。</li> </ul>
信頼性	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切なタイミングで継続的にデータを算出、公表し、インデックスの利用者にとって必要なデータが途切れることがないよう配信します。</li> <li>事業を継続して長期に渡ってインデックスを算出・公表する責任を持ち、利用者にメリットをもたらすよう努めます。</li> </ul>
専門性	<ul style="list-style-type: none"> <li>インデックスが顧客のベンチマークとして機能するのか、または投資の受け皿となるのかを判断し、対象の市場と正確に連動するインデックスの構築に精通しています。</li> </ul>
透明性	<ul style="list-style-type: none"> <li>インデックスのメソドロジーとデータを一般に公表することで、インデックス採用銘柄の選定や、組入比率、構成銘柄の更新に関する規則への疑問を解消します。</li> <li>インデックスの算出方法について明確に掲示することで、投資家はユニバースの測定方法などを正確に把握することができます。</li> </ul>

### 3. S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスについて

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは多岐にわたる指標の主要なプロバイダーであり、これらの指標の多くは世界中の市場においてベンチマークとして利用されています。弊社は、S&P500®、ダウ・ジョーンズ工業株価平均™、S&P コアロジック / ケース・シラー住宅価格指標といった世界的に認められ、かつ業界をリードする指標をはじめとして、80万本を超える指標を提供しています。弊社独自の指標の算出や提供に加え、第三者やその他のベンチマークの所有者との連携においても豊富な経験を有しており、監視・ガバナンスの手順や、透明性のあるシステム、プロセスなどを活用しています。また、カスタム指標算出エージェントとしての機能を果たしており、世界中で 5 万本を超えるカスタム指標を算出、維持、配給しています。

### 4. 歴史と実績

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、合併前の S&P インデックスとダウ・ジョーンズ・インデックスの時代からそれぞれ長い歴史を持ち、合併する前から両社とも優れた運営実績を残してきました。代表的なインデックスとして、ダウ・ジョーンズ工業平均株価は 1896 年に算出を開始。2016 年に 120 周年を迎えました。そして、もう一つ代表的なインデックスとして S&P 500 では 1957 年に算出を開始し、2017 年には 60 周年を迎えました。また、弊社独自のブランドによる指標に加え、お客様のブランドで算出する指標など毎年数百もの指標を新たに開発・提供しています。さらにインデックス・プロバイダー・オブ・ザ・イヤー賞を受賞するなど、弊社の先進性やブランドの強さが立証され、今日も世界経済の指標として多くの政府、企業、投資家から注目されています。

### 5. 業界のベスト・プラクティス

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは指標の開発や提供において 120 年を超える経験を活かしており、適切かつ信頼できる指標構築に関して代表的な存在となっています。規制当局や政策当局が業界のレビューを統けている中で、弊社は業界動向やベストプラクティスに関する見解を提供するため、当局との話し合いを続けることに尽力します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが創設メンバーとなっている「インデックス・インダストリー・アソシエーション」への参加を通じ、当業界は現在、業界におけるベスト・プラクティスのガイドラインの公表など、職業上の基準に関する見解を議論し、それらを一般社会に普及させるためのフォーラムを設けています。

### 6. 指標のハンドブックについて

2011 年より、年に一度内容を更新して発行している「指標ハンドブック」ですが、年々掲載される指標の数も増え、多くのお客様に大変好評をいただいております。このハンドブックでは、日本の投資家の皆様にとって関連が高いと思われる主要指標を日本語に翻訳し紹介しています。皆様の投資および市場評価に適した指標を見つける上での一助となれば幸いです。指標または当社に関する詳細については、東京オフィスの担当者にご連絡いただくか、当社ウェブサイト

<http://japanese.spdji.com> をご参照下さい。

2020 年 4 月

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス  
日本オフィス統括責任者  
牧野義之

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル 28 階  
03-4550-8564  
[indexservicestokyo@spglobal.com](mailto:indexservicestokyo@spglobal.com)

また下記のフォームから簡単な情報を登録いただくと、ESG を含め弊社から毎月配信しているニュースレターやリサーチペーパー、イベントの招待状などを受け取ることができます。この機会にぜひご登録ください。

[https://on.spdji.com/SignUpJP.html?src=IDS\\_Campaign](https://on.spdji.com/SignUpJP.html?src=IDS_Campaign)





## 投資家向けインデックス・ガイド 「インデックス・リテラシー」サイトのご案内

この特設サイトは、インデックス(指数)に関する基礎知識を以下 7 つのトピックに分けて幅広い投資家様に向けて提供します。

- インデックスの定義: インデックスとは何か? どのように機能するのか?
- インデックス・プロバイダー: インデックスに命を吹き込むインデックス・プロバイダーとは?
- 投資商品を通じてインデックスにアクセス: インデックス連動型商品は市場へのパスポート
- 条件の不均衡の解消: パッシブ投資によって市場へのアクセス機会が公平に
- メソドロジーは重要: メソドロジーがインデックスの特性を決定する
- 目的に合ったインデックスが見つかる: インデックスは多種多様
- 代表的なインデックス、S&P500 とダウ平均®: 市場を測定する方法は一つではない

個人投資家、教育機関や金融機関等で従事される多くの方々にインデックスに関してのご理解を深めていただければ幸いです。

サイトへはこちらからアクセスできます:

(日本語) [www.japanese.spdji.com/index-literacy](http://www.japanese.spdji.com/index-literacy)

(英語) [www.spdji.com/index-literacy](http://www.spdji.com/index-literacy)



## 目次

### 新規追加指数

• S&P グローバル 1200ESG 指数 .....	1
• S&P 500ESG 指数 .....	3
• S&P 日本 500ESG 指数 .....	5
• S&P グリーンボンド指数 .....	7
• S&P ドラッカー・インスティテュート・コーポレート有効性指数 .....	9
• S&P 中国 A 株総合指数 .....	11
• S&P 日本景気循環ファクター指数 .....	13
• S&P 上場プライベート・エクイティ指数 .....	15

### 株式

#### グローバル

• S&P グローバル総合指数 .....	17
• S&P グローバル 1200 指数 .....	23
• S&P 500® .....	25
• ダウ・ジョーンズ工業株価平均® .....	27
• S&P 100 指数 .....	29
• S&P 中型株 400 指数 .....	31
• S&P 小型株 600 指数 .....	33
• S&P 総合 1500 指数 .....	35
• S&P/ASX 200 指数 .....	37
• S&P/IFCI 指数 .....	39
• S&P フロンティア総合指数 .....	41
• S&P シャリア指標シリーズ .....	43
• S&P/BMV IPC メキシコ指標 .....	45

#### 日本市場

• S&P/TOPIX 150 指数 .....	47
• S&P 日本地域別指標 - 東海 .....	49

### 債券

• S&P/ASX オーストラリア債券指標シリーズ .....	51
• S&P/LSTA 米国レバレッジ・ローン 100 指数 .....	53
• S&P 米国債 7-10 年指標 (TTM 円建て) .....	55
• S&P 米国債 7-10 年指標 (TTM 円建て、円ヘッジ) .....	57

### コモディティ

• S&P GSCI® 商品指標 .....	59
• S&P GSCI® エンハンスト指標 .....	61
• S&P GSCI® ダイナミックロール指標 .....	63
• S&P GSCI® キャップド指標 .....	65
• S&P GSCI® イコールウェイト・セレクト指標 .....	67
• S&P GSCI® カバードコール・セレクト指標 .....	69
• S&P GSCI® 農産物指標 .....	71
• ダウ・ジョーンズ・コモディティ・インデックス .....	73

## 不動産・テーマ

· S&P コアロジック / ケース・シラー 住宅価格指数	75
· S&P グローバル不動産指数	77
· S&P 先進国 REIT 指数	79
· S&P 先進国 REIT 指数（除く日本）	81
· S&P 米国 REIT 指数	83
· S&P シンガポール・リート指数	85
· ダウ・ジョーンズ米国不動産インデックス	87
· S&P グローバル・インフラストラクチャー指数	89
· ダウ・ジョーンズ・ブルックフィールド・グローバル・インフラストラクチャー・インデックス	91
· S&P MLP 指数	93
· S&P BDC 指数	95

## 戦略型

· S&P GIVI® (グローバル・イントリンシック・バリュー・指数)	97
· S&P GIVI® ジャパン	99
· S&P/JPX GIVI®	101
· S&P 500 均等ウェイト指数	103
· S&P 500® Dynamic VEQTOR 指数シリーズ	105
· S&P 500® VIX® 先物指数シリーズ	107
· S&P/JPX 日本国債 VIX® 指数	109
· S&P 500® 配当貴族指数	111
· S&P/JPX 配当貴族指数	113
· S&P 汎アジア・配当貴族指数	115
· S&P 歐州 350 配当貴族指数	117
· S&P 高配当貴族指数	119
· S&P 歐州高配当貴族指数	121
· S&P グローバル・ディビデンド・オポチュニティー指数	123
· ダウ・ジョーンズ好配当インデックス	125
· S&P 日本企業グループ指数—三菱系企業群	127
· S&P ダイナミック・アセット・エクスチェンジ指数シリーズ	129
· S&P 500® 低ボラティリティ指数	131
· S&P 500® ハイベータ指数	133
· S&P 500® インバース日次指数	135
· S&P 500® 2 倍レバレッジ・インバース日次指数	137
· S&P 500® 2 倍レバレッジ日次指数	139
· S&P 米国優先株式指数	141
· S&P/JPX リスク・コントロール指数シリーズ	143
· S&P 米国 IPO& スピンオフ指数	145
· S&P/TOPIX 150 日本レベニュー・エクスポートジャ一指数	147
· S&P/TOPIX 150 米国レベニュー・エクスポートジャ一指数	149

## ニューエコノミー

· S&P Kensho ニュー・エコノミー・コンポジット指数（米ドル）	151
· S&P Kensho ナノテクノロジー指数（米ドル）	153
· S&P Kensho バーチャル・リアリティ指数（米ドル）	155
· S&P Kensho ドローン指数（米ドル）	157
· S&P Kensho スペース指数（米ドル）	159
· S&P Kensho ロボット工学指数（米ドル）	161
· S&P Kensho 遺伝子工学指数（米ドル）	163
· S&P Kensho 3D プリント指数（米ドル）	165
· S&P Kensho エンタープライズ・コラボレーション指数（米ドル）	167
· S&P Kensho スマート・ボーダー指数（米ドル）	169
· S&P Kensho インテリジェント・インフラストラクチャー指数（米ドル）	171
· S&P Kensho ウェアラブル指数（米ドル）	173
· S&P Kensho オルタナティブ・ファイナンス指数（米ドル）	175
· S&P Kensho クリーン・エネルギー指数（米ドル）	177
· S&P Kensho クリーン・パワー指数（米ドル）	179
· S&P Kensho クリーンテック指数（米ドル）	181
· S&P Kensho サイバーセキュリティ指数（米ドル）	183
· S&P Kensho スマート・グリッド指数（米ドル）	185
· S&P Kensho スマート・ビルディング指数（米ドル）	187
· S&P Kensho スマート輸送指数（米ドル）	189
· S&P Kensho デジタル・コミュニティ指数（米ドル）	191
· S&P Kensho ニュー・バンキング指数（米ドル）	193
· S&P Kensho ヒューマン・エボリューション指数（米ドル）	195
· S&P Kensho ファイナル・フロンティア指数（米ドル）	197
· S&P Kensho フューチャー・コミュニケーション指数（米ドル）	199
· S&P Kensho フューチャー・セキュリティ指数（米ドル）	201
· S&P Kensho フューチャー・ペイメント指数（米ドル）	203
· S&P Kensho 高度輸送システム指数（米ドル）	205
· S&P Kensho 自動運転車指数（米ドル）	207
· S&P Kensho 電気自動車指数（米ドル）	209
· S&P Kensho 分散台帳指数（米ドル）	211

## ESG・責任投資

· ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス	213
· ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・グローバル分散・インデックス	215
· S&P LTVC 指数	217
· JPX/S&P 設備・人材投資指数	219
· S&PJPX カーボン・エフィシェント指数	221
· S&P カーボン・エフィシェント指数シリーズ	223
· S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシェント指数（除く日本、米ドル建て）	225
· S&P 先進国大中型株カーボン・エフィシェント指数（円建て）	227

# ESG ファイナンス・アワード 東京金融賞 W 受賞



この度、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、ESG に関連した指標の開発、特に年金積立金管理運用独立行政法人のESG 投資のベンチマークとして採用された S&P グローバル・カーボン・エフィシェント指標の開発・算出が高く評価され、環境省主催の「ESG ファイナンス・アワード」における金賞（環境大臣賞）および東京都主催の「東京金融賞」のESG 投資部門を W 受賞しました。S&P グローバル・カーボン・エフィシェント指標はベンチマークとほぼ同様のリスクリターン特性を保つつ、温室効果ガス排出量をベンチマーク対比で 20-40% 削減する事ができます。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが提供する ESG 指標に関する詳細は[こちら](https://japanese.spindices.com/topic/esg)を参照下さい。

<https://japanese.spindices.com/topic/esg>

お問い合わせ

電話 : 03-4550-8564

メール : [IndexServicesTokyo@spglobal.com](mailto:IndexServicesTokyo@spglobal.com)

## カーボン・エフィシェント指数のご紹介

弊社では特設サイトを設けてS&Pカーボン・エフィシェント指数について説明しています

- ・カーボン・エフィシェント指標シリーズ：日本株、外国株、グローバル株を対象とした3指標
- ・指標構築の概要：銘柄選択、ウェイト付け、継続的なメンテナンス
- ・炭素効率性の評価：売上高に対する炭素排出量から、企業ごとに炭素効率性を割り出す
- ・S&P グローバル炭素基準：構成銘柄のウェイトを決定し、指標値を算出する基準
- ・炭素ウェイト調整：親指標と同様な産業グループ構成を維持

サイトは[こちら](https://japanese.spindices.com/topic/carbon-efficient)からアクセスできます

<https://japanese.spindices.com/topic/carbon-efficient>



## ESG指標のご紹介

ESGの特設サイトでは、主に以下の概要についてまとめています。

- ・ESGが重要な理由
- ・ESG指標全体の概要
- ・主なESG指標（S&P500®ESG指標など）の紹介
- ・ESGに関連したリサーチ及び洞察
- ・指標を構築する際のデータ提供会社について

サイトは[こちら](https://japanese.spindices.com/topic/esg)からアクセスできます

<https://japanese.spindices.com/topic/esg>



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P グローバル 1200 ESG 指数

### 指数について

S&P グローバル 1200 ESG 指数は、幅広いセクターをカバーする時価総額加重指数であり、サステナビリティ基準を満たす証券のパフォーマンスを測定するように設計されている一方で、全体として S&P グローバル 1200 指数と同様のセクター・ウェイトを維持することを目指している。

S&P グローバル 1200 ESG 指数は、S&P グローバル 1200 指数と同様のリスク・リターン・プロファイルを提供し、なおかつ ESG 特性を改善するように構築されている。この指数は、S&P DJI ESG スコアを使用して構成銘柄を選択し、S&P グローバル 1200 指数における世界産業分類基準 (GICS®) の各産業グループの浮動株調整後時価総額の 75% をカバーすることを目標としている。また、メソドロジーに詳述されている基準に基づいて特定の銘柄を除外する。S&P DJI ESG スコアは、SAM のコーポレート・サステナビリティ評価 (CSA) を通じて収集されたデータを用いて算出される。SAM は 20 年にわたり CSA を実施しており、毎年改良を重ねている。

### 指数の構築

ユニバース：この指数の構成銘柄は S&P グローバル 1200 指数の構成銘柄である必要がある。

除外：次の特定のビジネス活動を行っている企業、及び（または）国連グローバル・コンパクト (UNGCR) スコアが一定基準に満たない企業は、適格ユニバースから除外される。

- タバコ：直接的に、または別の企業の 25% 以上の持分を所有することにより、以下の事業に関与している企業。
  - ・タバコを製造している
  - ・タバコの販売が売上高の 10% 以上を占めている
  - ・タバコ関連の商品やサービスが売上高の 10% 以上を占めている
- 論争的となっている武器：直接的に、または別の企業の 25% 以上の持分を所有することにより、以下の事業に関与している企業。
  - ・クラスター爆弾
  - ・地雷（対人地雷）
  - ・生物兵器または化学兵器
  - ・劣化ウラン弾
  - ・白リン弾
  - ・核兵器
- 低 UNGCR スコア：世界の UNGCR スコア・ユニバースにおいてスコアが下位 5% に入っている企業は全て不適格である。
- ESG スコア：さらに、企業に付与されている S&P DJI ESG スコアが、GICS の各産業グループの ESG スコアの中で下位 25% に入っている企業は指数から除外される。このカテゴリーのグローバル・ユニバースは、前年の 3 月末時点における S&P グローバル大中型株指数と S&P グローバル 1200 指数の構成銘柄を合わせたものとして定義される。

以下の手順に従い、適格ユニバースから指数構成銘柄を選択する。

1. GICS の各産業グループに関して、ユニバースの浮動株調整後時価総額 (FMC) の 65% に達するまで、ESG スコアの高い順に企業を選択する。
2. GICS の各産業グループに関して、FMC の 75% 目標にできるだけ近づけるため、65% ~ 85% の間にランク付けされた既存の企業を選択する。
3. 選択された企業の FMC の合計が 75% の FMC 目標を上回らなかった場合、75% の FMC 目標にできるだけ近づけるため、適格ユニバースからまだ選択されていない企業を ESG スコアの高い順に追加する場合がある。次の適格企業を追加することにより、GICS の関連産業グループの FMC の合計が 75% の FMC 目標からさらに乖離する場合には、このプロセスを中止する。

構成銘柄のウェイト付け：指数構成銘柄は浮動株調整後時価総額により加重される。

### リバランス

この指数は毎年リバランスされ、4 月の最終営業日の取引終了後に有効となる。リバランス参照日は 3 月の最終取引日である。

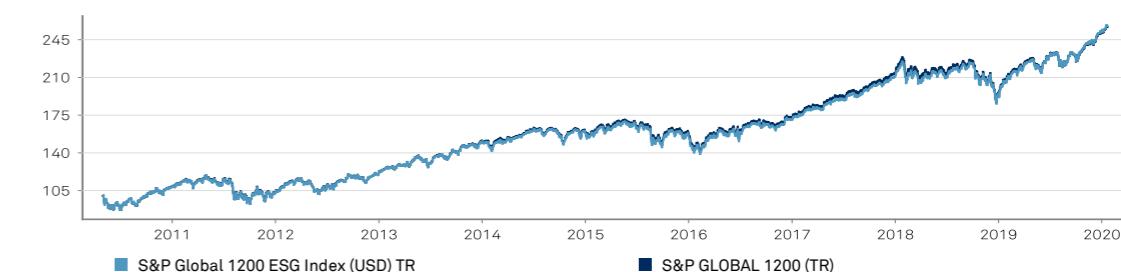
### S&P グローバル 1200 ESG 指数

#### パフォーマンス

指標	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	252.33	3.5%	9.14%	29.6%	29.6%	13.93%	9.75%
プライス・リターン	194.27	3.34%	8.61%	26.19%	26.19%	10.97%	6.85%
ネット・トータル・リターン	237.73	3.46%	9.01%	28.79%	28.79%	13.23%	9.06%
ベンチマーク*・トータル・リターン	4,382.35	3.39%	8.91%	28.22%	28.22%	13.4%	9.5%
ベンチマーク*・プライス・リターン	2,628.81	3.23%	8.4%	24.96%	24.96%	10.57%	6.73%
							7.18%

\* The index benchmark is the S&P GLOBAL 1200

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	778
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	46,212.14
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	2,896.63
合計時価総額の中央値	22,386.66
Weight Largest Constituent [%]	3.8
Weight Top 10 Constituents [%]	17.6

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
Amazon.com Inc	AMZN	Consumer Discretionary
JP Morgan Chase & Co	JPM	Financials
Alphabet Inc A	GOOGL	Communication Services
Alphabet Inc C	GOOG	Communication Services
Nestle SA Reg	NESN	Consumer Staples
Visa Inc A	V	Information Technology
Procter & Gamble	PG	Consumer Staples
Exxon Mobil Corp	XOM	Energy

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) \*

99.36

炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) \*

238.4

炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) \*

240.2

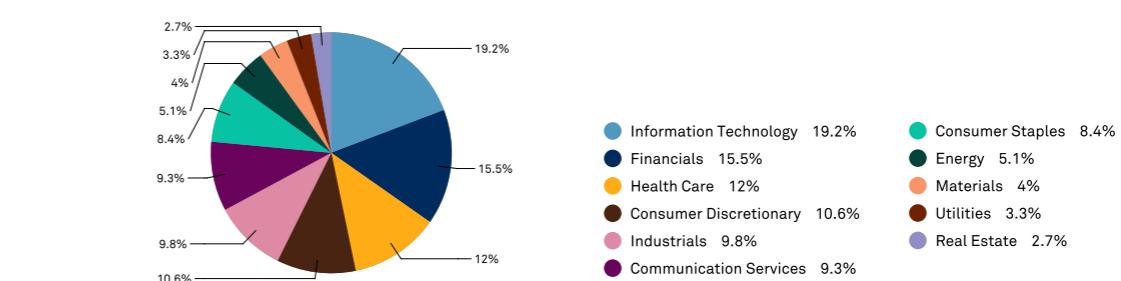
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)

1,416.21

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 500 ESG 指数

### 指標について

S&P 500 ESG 指数は、幅広いセクターをカバーする時価総額加重指数であり、サステナビリティ基準を満たす証券のパフォーマンスを測定するように設計されている一方で、全体として S&P 500 と同様のセクター・ウェイトを維持することを目指している。

S&P 500 ESG 指数は、S&P 500 と同様のリスク・リターン・プロファイルを提供し、なおかつ ESG 特性を改善するように構築されている。この指標は、S&P DJI ESG スコアを使用して構成銘柄を選択し、S&P 500 における世界産業分類基準(GICS®)の各産業グループの浮動株調整後時価総額の 75% をカバーすることを目標としている。また、メソドロジーに詳述されている基準に基づいて特定の銘柄を除外する。S&P DJI ESG スコアは、SAM のコーポレート・サステナビリティ評価 (CSA) を通じて収集されたデータを用いて算出される。SAM は 20 年にわたり CSA を実施しており、毎年改良を重ねている。

### 指標の構築

**ユニバース**：この指標の構成銘柄は S&P 500 の構成銘柄である必要がある。

**除外**：次の特定のビジネス活動を行っている企業、及び（または）国連グローバル・コンパクト (UNGCG) スコアが一定基準に満たない企業は、適格ユニバースから除外される。

- **タバコ**：直接的に、または別の企業の 25% 以上の持分を所有することにより、以下の事業に関与している企業。
  - ・ タバコを製造している
  - ・ タバコの販売が売上高の 10% 以上を占めている
  - ・ タバコ関連の商品やサービスが売上高の 10% 以上を占めている
- **論争的となっている武器**：直接的に、または別の企業の 25% 以上の持分を所有することにより、以下の事業に関与している企業。
  - ・ クラスター爆弾
  - ・ 地雷（対人地雷）
  - ・ 生物兵器または化学兵器
  - ・ 劣化ウラン弾
  - ・ 白リン弾
  - ・ 核兵器
- **低 UNGC スコア**：世界の UNGC スコア・ユニバースにおいてスコアが下位 5% に入っている企業は全て不適格である。
- **ESG スコア**：さらに、企業に付与されている S&P DJI ESG スコアが、GICS の各産業グループの ESG スコアの中で下位 25% に入っている企業は指数から除外される。このカテゴリーのグローバル・ユニバースは、前年の 3 月末時点における S&P グローバル大中型株指数と S&P グローバル 1200 指数の構成銘柄を合わせたものとして定義される。

**指標の構築**：以下の手順に従い、適格ユニバースから指標構成銘柄を選択する。

1. GICS の各産業グループに関して、ユニバースの浮動株調整後時価総額 (FMC) の 65% に達するまで、ESG スコアの高い順に企業を選択する。
2. GICS の各産業グループに関して、FMC の 75% 目標にできるだけ近づけるため、65% ~ 85% の間にランク付けされた既存の企業を選択する。
3. 選択された企業の FMC の合計が 75% の FMC 目標を上回らなかった場合、75% の FMC 目標にできるだけ近づけるため、適格ユニバースからまだ選択されていない企業を ESG スコアの高い順に追加する場合がある。次の適格企業を追加することにより、GICS の関連産業グループの FMC の合計が 75% の FMC 目標からさらに乖離する場合には、このプロセスを中止する。

**構成銘柄のウェイト付け**：指標構成銘柄は浮動株調整後時価総額により加重される。

### リバランス

この指標は毎年リバランスされ、4 月の最終営業日の取引終了後に有効となる。リバランス参照日は 3 月の最終取引日である。

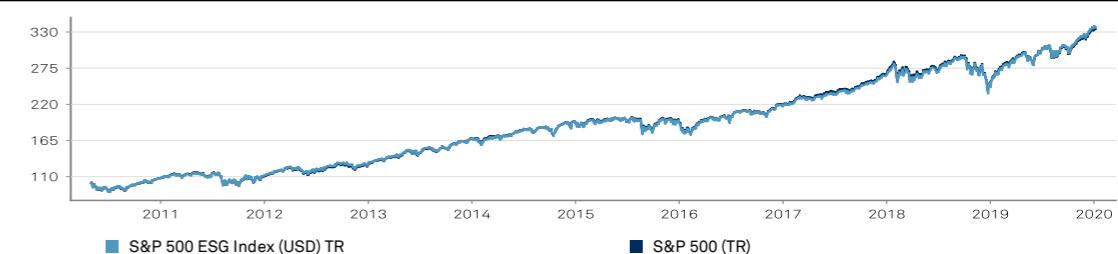
### S&P 500 ESG 指数

#### パフォーマンス (S&P 500 Carbon Efficient Index (USD))

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	336.45	3.24%	9.55%	33.39%	33.39%	15.82%	11.94%
プライス・リターン	271.37	3.08%	8.99%	30.59%	30.59%	13.4%	9.51%
ネット・トータル・リターン	315.44	3.19%	9.38%	32.54%	32.54%	15.09%	11.21%
ベンチマーク*・トータル・リターン	6,553.57	3.02%	9.07%	31.49%	31.49%	15.27%	11.7%
ベンチマーク*・プライス・リターン	3,230.78	2.86%	8.53%	28.88%	28.88%	13%	9.43%
ベンチマーク*・ネット・トータル・リターン	5,805.15	2.97%	8.91%	30.7%	30.7%	14.59%	11.01%
							12.85%

\* The index benchmark is the S&P 500

### 過去の実績



### インデックスの特徴

構成銘柄数	311
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	66,080.9
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	2,896.63
合計時価総額の中央値	28,408.38
Weight Largest Constituent [%]	6.2
Weight Top 10 Constituents [%]	28.8

### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
Amazon.com Inc	AMZN	Consumer Discretionary
JP Morgan Chase & Co	JPM	Financials
Alphabet Inc A	GOOGL	Communication Services
Alphabet Inc C	GOOG	Communication Services
Visa Inc A	V	Information Technology
Procter & Gamble	PG	Consumer Staples
Exxon Mobil Corp	XOM	Energy
AT&T Inc	T	Communication Services

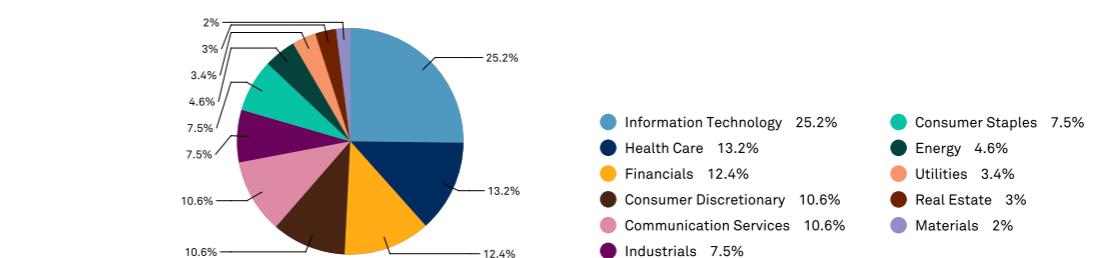
\*Based on GICS® sectors

### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	71.72
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	233.47
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	232.47
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	762.69

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 日本 500 ESG 指数

### 指数について

S&P 日本 500 ESG 指数は、幅広いセクターをカバーする時価総額加重指数であり、サステナビリティ基準を満たす証券のパフォーマンスを測定するように設計されている一方で、全体として S&P 日本 500 指数と同様のセクター・ウェイトを維持することを目指している。

S&P 日本 500 ESG 指数は、S&P 日本 500 指数と同様のリスク・リターン・プロファイルを提供し、なおかつ ESG 特性を改善するように構築されている。この指数は、S&P DJI ESG スコアを使用して構成銘柄を選択し、S&P 日本 500 指数における世界産業分類基準 (GICS®) の各産業グループの浮動株調整後時価総額の 75% をカバーすることを目標としている。また、メソドロジーに詳述されている基準に基づいて特定の銘柄を除外する。S&P DJI ESG スコアは、SAM のコーポレート・サステナビリティ評価 (CSA) を通じて収集されたデータを用いて算出される。SAM は 20 年にわたり CSA を実施しており、毎年改良を重ねている。

### 指数の構築

ユニバース：この指数の構成銘柄は S&P 日本 500 指数の構成銘柄である必要がある。

除外：次の特定のビジネス活動を行っている企業、及び（または）国連グローバル・コンパクト (UNGC) スコアが一定基準に満たない企業は、適格ユニバースから除外される。

- タバコ：直接的に、または別の企業の 25% 以上の持分を所有することにより、以下の事業に関与している企業。
  - ・ タバコを製造している
  - ・ タバコの販売が売上高の 10% 以上を占めている
  - ・ タバコ関連の商品やサービスが売上高の 10% 以上を占めている
- 論争的となっている武器：直接的に、または別の企業の 25% 以上の持分を所有することにより、以下の事業に関与している企業。
  - ・ クラスター爆弾
  - ・ 地雷（対人地雷）
  - ・ 生物兵器または化学兵器
  - ・ 劣化ウラン弾
  - ・ 白リン弾
  - ・ 核兵器
- 低 UNGC スコア：世界の UNGC スコア・ユニバースにおいてスコアが下位 5% に入っている企業は全て不適格である。
- ESG スコア：さらに、企業に付与されている S&P DJI ESG スコアが、GICS の各産業グループの ESG スコアの中で下位 25% に入っている企業は指数から除外される。このカテゴリーのグローバル・ユニバースは、前年の 3 月末時点における S&P グローバル大中型株指数と S&P グローバル 1200 指数の構成銘柄を合わせたものとして定義される。

以下の手順に従い、適格ユニバースから指数構成銘柄を選択する。

1. GICS の各産業グループに関して、ユニバースの浮動株調整後時価総額 (FMC) の 65% に達するまで、ESG スコアの高い順に企業を選択する。
2. GICS の各産業グループに関して、FMC の 75% 目標にできるだけ近づけるため、65% ~ 85% の間にランク付けされた既存の企業を選択する。
3. 選択された企業の FMC の合計が 75% の FMC 目標を上回らなかった場合、75% の FMC 目標にできるだけ近づけるため、適格ユニバースからまだ選択されていない企業を ESG スコアの高い順に追加する場合がある。次の適格企業を追加することにより、GICS の関連産業グループの FMC の合計が 75% の FMC 目標からさらに乖離する場合には、このプロセスを中止する。

構成銘柄のウェイト付け：指数構成銘柄は浮動株調整後時価総額により加重される。

### リバランス

この指数は毎年リバランスされ、4 月の最終営業日の取引終了後に有効となる。リバランス参照日は 3 月の最終取引日である。

### S&P 日本 500 ESG 指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	178.59	1.81%	7.9%	21.08%	21.08%	9.82%	8.45%
プライス・リターン	144.32	1.67%	7.75%	17.94%	17.94%	7.17%	5.92%
ネット・トータル・リターン	171.05	1.78%	7.87%	20.43%	20.43%	9.27%	7.93%
ベンチマーク *・トータル・リターン	2,624.17	1.62%	7.02%	19.81%	19.81%	9.11%	8.38%
ベンチマーク *・プライス・リターン	1,869.74	1.47%	6.86%	16.91%	16.91%	6.68%	6.07%
ベンチマーク *・ネット・トータル・リターン	1,867.74	1.59%	6.98%	19.21%	19.21%	8.61%	7.91%
							6.5%

\* The index benchmark is the S&P Japan 500 (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	254
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	14,128.87
最大合計時価総額	230,956.18
最小合計時価総額	1,057.2
合計時価総額の中央値	6,909.08
Weight Largest Constituent [%]	6
Weight Top 10 Constituents [%]	23.4

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

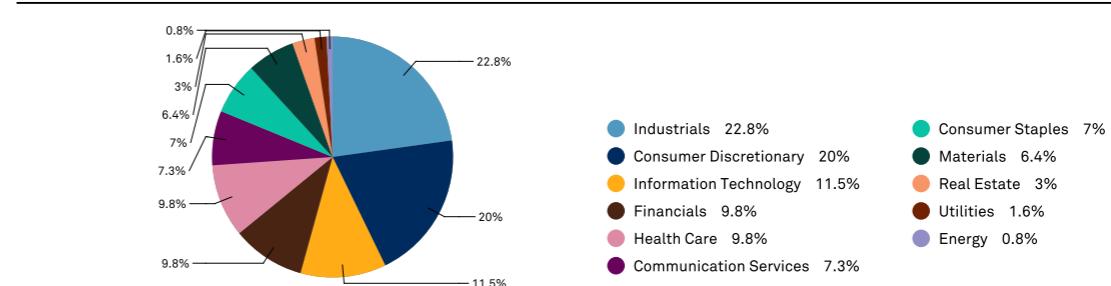
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Toyota Motor Corp	7203	Consumer Discretionary
Sony Corp	6758	Consumer Discretionary
Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	8306	Financials
Takeda Pharmaceutical Co Ltd	4502	Health Care
Nippon Tel & Tel Corp	9432	Communication Services
Recruit Holdings Co Ltd	6098	Industrials
Honda Motor Co	7267	Consumer Discretionary
Sumitomo Mitsui Financial Group	8316	Financials
Nintendo Co Ltd	7974	Communication Services
KDDI Corp	9433	Communication Services

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	163.37
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	199.71
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	182.49
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	426.23

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P グリーンボンド指数

### 指標について

S&P グリーンボンド指数は世界のグリーンボンド市場に連動するように設計されている。この先駆的な指標は厳格な採用基準を維持しており、環境に優しいプロジェクトの資金調達を行うために発行される債券だけを組み入れ対象としている。気候変動をめぐる不安やグリーン投資への関心が高まる中で、グリーンボンド指数に対するニーズも高まっている。一連の厳格な基準を適用することにより、S&P グリーンボンド指数は、調達資金の使途について正確な情報を提供している発行体か、またはグリーンボンド原則（投資銀行 4 行が 2014 年 1 月に策定）に対する遵守が独自に検証されている発行体が発行するグリーンボンドのみから構成されている。このように、この指標はグリーンボンド市場における高水準の透明性や開示、説明責任などの基準を求めている。

S&P グリーンボンド指数は世界中のグリーンボンドをカバーしており、世界各国の機関、政府、及び企業が発行する債券から構成されている。この指標は、機関投資家、ミューチュアル・ファンドのマネージャー、ETF のプロバイダー、及びプロフェッショナルのアドバイザーが使用するように設計されている。

S&P グリーンボンド指数は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスとインフラストラクチャー・クレジット・アルファ・グループ LLC が協力して開発した指標である。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが指標メソドロジーを維持しており、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一般的な方針や手順に従って独自に指標の算出及び管理を行っている。この方針や手順には、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの独立した指標委員会を管理する方針や手順も含まれる。

### 指標の構築

- 発行体の開示：債券が指標に採用されるためには、発行体は債券がグリーンボンドの基準を満たしていることと、それに対する論理的根拠（調達資金の使途など）を明確に示す必要がある。こうした開示は、信頼できる情報源、及びその企業に関する情報源において行われる必要がある。
- グリーンフラッグ：債券は、気候債券イニシアチブ（CBI）がグリーンボンドとして認証したものである必要がある。
- 国 / 通貨：国や通貨にかかわらず、全てのグリーンボンドは採用資格を有している。
- 償還：各債券は、リバランス日から数えて償還が 1 ヶ月以上である必要がある。指標内で償還を迎える債券はない。
- クーポンのタイプ：以下に挙げるクーポンのタイプが含まれる場合がある：固定クーポン、ゼロ・クーポン、ステップアップ・クーポン（所定のスケジュールに従う）、当初固定・後変動クーポン（変動日の 1 ヶ月前までに固定されることを条件とする）、変動クーポン。
- オプショナリティ：ブレット債、コーラブル債、プッタブル債、コーラブル永久債（最初の線上償還日から少なくとも 1 ヶ月以上あることを条件とする）が指標に含まれる場合がある。
- 決済：発行されているが、月末のリバランス日までに決済されない債券は指標に含まれる。
- 除外：以下に挙げる債券のタイプは指標から除外される：短期証券、ストリップ債、インフレ連動債。
- プライシング：価格はトムソン・ロイター及び S&P セキュリティーズ・エバリュエーションズ（SPSE）から入手される。
- データソース：データはトムソン・ロイター及び S&P セキュリティーズ・エバリュエーションズ（SPSE）から入手される。

### リバランス

- 毎月のリバランス：新規発行及び償還に基づき、指標内の債券は毎月変更される可能性があり、変更内容は毎月最終日の営業時間終了後に有効となります。

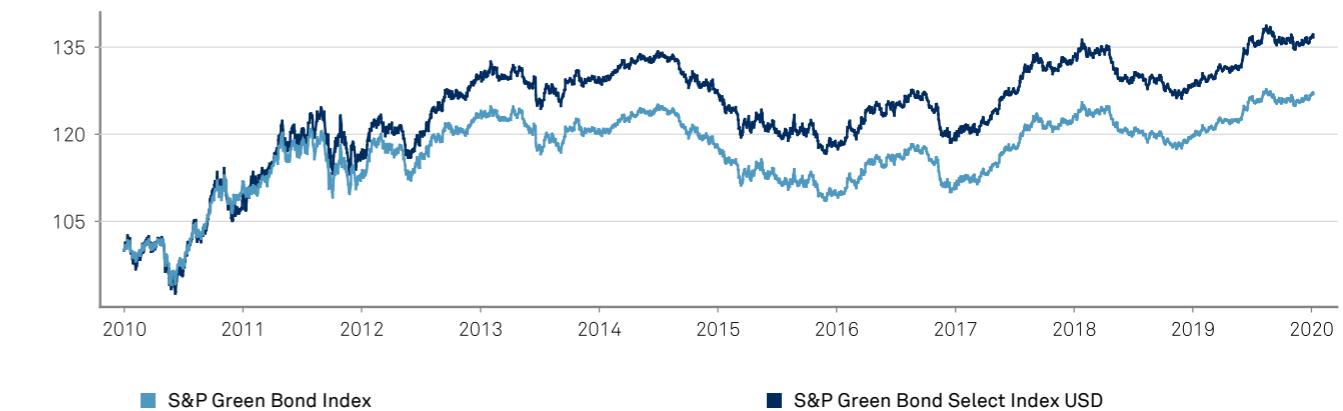
### S&P グリーンボンド指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	142.21	0.82%	1.15%	5.84%	5.84%	4.37%	1.45%
ベンチマーク *・トータル・リターン	160.82	0.75%	0.81%	6.26%	6.26%	4.39%	3.17%

\* The index benchmark is the S&P Green Bond Select Index USD

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

MARKET VALUE OUTSTANDING [USD MILLION]	562,817.27
NUMBER OF CONSTITUENTS	5908
TOTAL PAR VALUE [USD MILLION]	533,569.58
PAR WEIGHTED COUPON	2.23%
WEIGHTED AVERAGE MATURITY	9.38 Yrs
PAR WEIGHTED PRICE	104.63
YIELD TO MATURITY	1.6%
YIELD TO WORST	1.51%
MODIFIED DURATION	6.46
10-YEAR HISTORICAL INDEX LEVEL HIGH [AUGUST 15, 2019]	143.28
10-YEAR HISTORICAL INDEX LEVEL LOW [MAY 25, 2010]	105.53

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

新規追加指標

株式

債券

コモディティ

不動産・テック

戦略型

ニュース・エコノミー

ESG・責任投資

## S&P/ ドラッカー・インスティテュート・コーポレート有効性指数

### 指標について

S&P/ ドラッカー・インスティテュート・コーポレート有効性指数は、S&P 500® の構成銘柄の中で、独自の経営基準に対して安定して高ランクを得ている銘柄のパフォーマンスに連動するように設計されている。これらの企業は、従業員エンゲージメント・人材開発、顧客満足度、社会的責任、イノベーション、財務力などの卓越性を通じて企業価値を創造している。

S&P/ ドラッcker・インスティテュート・コーポレート有効性指数では、「ドラッcker・インスティテュート企業ランキング」における原則に基づき、S&P 500 の構成銘柄の中から企業を選択し、ウェイト付けを行う。この指標では、企業パフォーマンスを左右するドラッckerの4つの原則（顧客満足度、従業員エンゲージメント・人材開発、イノベーション、社会的責任）のスコアと、S&P クオリティ・スコアを合計し、次に、ドラッckerの原則及びS&P クオリティ・スコアに対する一貫性の基準を適用することにより、指標構成銘柄を決定する。

### 指標の構築

- ユニバース**：指標に採用されるためには、銘柄は S&P 500 の構成銘柄である必要があり、リバランス参照日時点での少なくとも 12 ヶ月間にわたり取引されている必要がある。また、銘柄はドラッcker・スコア及び S&P クオリティ・スコアを付与されている必要もある。
- スコアの定義**：銘柄選択プロセスでは、次のスコアが用いられる。
  - ドラッcker・スコア**：ドラッcker・インスティテュートがドラッcker・スコアを算出する。ドラッcker・スコアとは、ドラッckerの4つの原則（顧客満足度、従業員エンゲージメント、イノベーション、及び社会的責任）の Z スコアの平均である。
  - S&P クオリティ・スコア**：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが S&P クオリティ・スコアを算出する。S&P クオリティ・スコアは一貫性を確保するために Z スコアに変換される。
  - 合計スコア**：ドラッckerの4つの原則の平均スコアを 67% でウェイト付けし、S&P クオリティ・スコアを 33% でウェイト付けすることにより、合計スコアが算出される。
  - 一貫性スコア**：一貫性スコアは、ドラッckerの4つの原則のパーセントランクと S&P クオリティ・スコアの平均を表している。
- 構成銘柄の選択**：各リバランス時点で、指標構成銘柄の選択は次のように行われる。
  - 各銘柄は合計スコアの大きい順にランク付けされる。
  - 次に、合計スコアで上位 200 銘柄が一貫性スコアに基づきランク付けされる。上位 100 銘柄が選択され、これによって指標が構成される。
- バッファー・ルール**：ポートフォリオの売買回転率を抑えるために、すでに指標に採用されている銘柄に対して 20% のバッファーが適用され、以下のように実施される。
  - 各銘柄は一貫性スコアに基づいてランク付けされる。また、目標銘柄数の上位 80% 以内にランク付けされた銘柄は自動的に指標に採用される。
  - 目標銘柄数の上位 120% 以内の現在の構成銘柄が、目標銘柄数に達するまで一貫性スコアの高い順に指標に採用される。
  - この時点で目標銘柄数を満たしていない場合、残りの銘柄がそれぞれの一貫性スコアに基づいて選択される。
- 構成銘柄のウェイト付け**：各リバランス時点で、全ての構成銘柄が合計スコアによりウェイト付けされる。

### リバランス

この指標は年2回、6月と12月の第3金曜日の取引終了後にリバランスされる。

### 追加および除外

**追加**：スピンオフ（以下のコーポレート・アクションを参照）の場合を除き、リバランスの間に銘柄が指標に追加されることはない。

**除外**：指標ユニバースから除外された構成銘柄は、指標からも同時に除外される。

### S&P/ ドラッcker・インスティテュート・コーポレート有効性指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	294.05	3.64%	10.06%	34.93%	34.93%	17.88%	13.68%
プライス・リターン	251.47	3.5%	9.46%	32.07%	32.07%	15.37%	11.18%
ネット・トータル・リターン	280.57	3.6%	9.88%	34.06%	34.06%	17.12%	12.92%
ベンチマーク*・トータル・リターン	6,553.57	3.02%	9.07%	31.49%	31.49%	15.27%	11.7%
ベンチマーク*・プライス・リターン	3,230.78	2.86%	8.53%	28.88%	28.88%	13%	9.43%
ベンチマーク*・ネット・トータル・リターン	5,805.15	2.97%	8.91%	30.7%	30.7%	14.59%	11.01%
							12.85%

\* The index benchmark is the S&P 500

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	100
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	136,101.32
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	7,796.24
合計時価総額の中央値	62,110.85
Weight Largest Constituent [%]	3.7
Weight Top 10 Constituents [%]	20.9

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Amazon.com Inc	AMZN	Consumer Discretionary
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
Cisco Systems Inc	CSCO	Information Technology
3M Co	MMM	Industrials
Johnson & Johnson	JNJ	Health Care
Intl Business Machines Corp	IBM	Information Technology
PepsiCo Inc	PEP	Consumer Staples
Intel Corp	INTC	Information Technology
NIKE Inc B	NKE	Consumer Discretionary

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）\*

63.04

炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）\*

173.85

炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）\*

158.38

化石燃料埋蔵量の排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）

620.82

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）\*

63.04

炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）\*

173.85

炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）\*

158.38

化石燃料埋蔵量の排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）

620.82

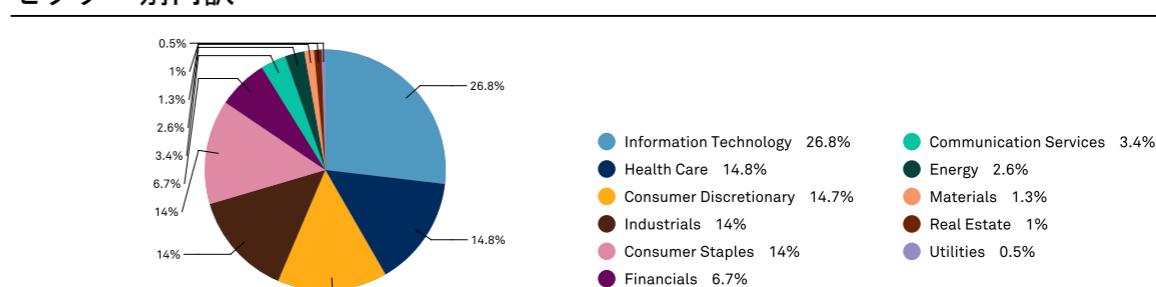
化石燃料埋蔵量の排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）

620.82

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 中国 A 株総合指数 (BMI)

### 指標について

この指標は、S&P グローバル総合指標 (BMI) の採用基準を満たす中国 A 株（ただし、深セン証券取引所の「チャイネクスト (ChiNext)」及び上海証券取引所の「科創板 (STAR Market)」に上場している銘柄を除く）のパフォーマンスを測定する。これらは、上海・香港相互株式投資制度及び深セン・香港相互株式投資制度の「ノースバウンド・トレーディング（香港から上海 A 株への投資、及び香港から深セン A 株への投資）を通じて外国人投資家が売買可能な中国 A 株である。「ST 銘柄」または「\*ST 銘柄」に指定された中国 A 株は組入対象とはならない。指標内の銘柄の浮動株修正係数 (IWF) は、外国人投資家保有制限の 30% を適用した後、浮動株比率の 25% に引き下げられる。

### 指標の構築

- シエクラス  
S&P グローバル総合指標 (BMI) では、企業のシエクラスの浮動株調整後時価総額は 1 億 ドル以上である必要がある。さらに、各銘柄は「適格性基準」で定義されている流動性要件を満たしている必要がある。S&P/IFCI 指標では、企業のシエクラスの浮動株調整後時価総額は 2 億 ドル以上である必要がある。さらに、各銘柄は「適格性基準」で定義されている流動性要件を満たしている必要があり、指標再構築前の連続した 2 四半期のそれぞれにおいて、取引のない日が 4 日未満である必要がある。
- 銘柄採用に適用されるバッファー・ルール  
S&P グローバル総合指標 (BMI) 及び S&P/IFCI 指標では、毎年の再構築の間に、時価総額及び流動性に関する以下のバッファー・ルールが適用される。
  - 時価総額：各指標に適用されるルールについては以下を参照
    - S&P グローバル総合指標 (BMI)：現在の構成銘柄で、浮動株調整後時価総額が 7,500 万 ドル以上の銘柄は指標に残る。
    - S&P/IFCI 指標：現在の構成銘柄で、浮動株調整後時価総額が 1 億 5,000 万 ドル以上の銘柄は指標に残る。
  - 流動性：S&P グローバル総合指標 (BMI) 及び S&P/IFCI 指標の現在の構成銘柄で、以下の表に示されている流動性指標の基準値のどちらかを下回る銘柄は指標から除外される。

地域	12ヶ月間の売買率の中央値 (MVTR) (%)	6ヶ月間の日次売買高の中央値 (MDVT) (100万ドル)
エマージング市場	7	0.07
先進国市場	14	0.175

指標採用基準を満たしていない銘柄、または指標採用基準を維持できなかった銘柄は、次回の指標再構築時点で組入の対象になる。

### リバランス

指標委員会は、予定されたリバランス日やその前後に生じる市場の休日などの理由により、所定のリバランス日を変更する場合がある。かかる変更は、可能であれば適切な事前通知を以て発表される。

### 追加および除外

追加と除外の大部分は、指標の年間再構成の一環として実施される。これらの指標は固定された銘柄数を持たないため、指標に追加される銘柄数と指標から除外される銘柄数は一致しない。

### S&P 中国 A 株総合指標 (BMI)

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	104.99	8.16%	9.64%	N/A	N/A	N/A	N/A
プライス・リターン	104.95	8.14%	9.61%	N/A	N/A	N/A	N/A
ネット・トータル・リターン	104.99	8.15%	9.64%	N/A	N/A	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	1016
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	5,849.31
最大合計時価総額	227,607.42
最小合計時価総額	255.71
合計時価総額の中央値	2,197.72
Weight Largest Constituent [%]	4.4
Weight Top 10 Constituents [%]	18

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Kweichow Moutai Co Ltd A	600519	Consumer Staples
Ping An Insurance (Group) Co of China Ltd A	601318	Financials
China Merchants Bank Co Ltd A	600036	Financials
Wuliangye Yibin Co. Ltd. A	000858	Consumer Staples
Agricultural Bank of China Ltd A	601288	Financials
Industrial Bank Co Ltd A	601166	Financials
China Yangtze Power Co A	600900	Utilities
Industrial and Commercial Bank of China Ltd A	601398	Financials
Gree Electric Appliances Inc of Zhuhai A	000651	Consumer Discretionary
Jiangsu Hengrui Medicine Co A	600276	Health Care

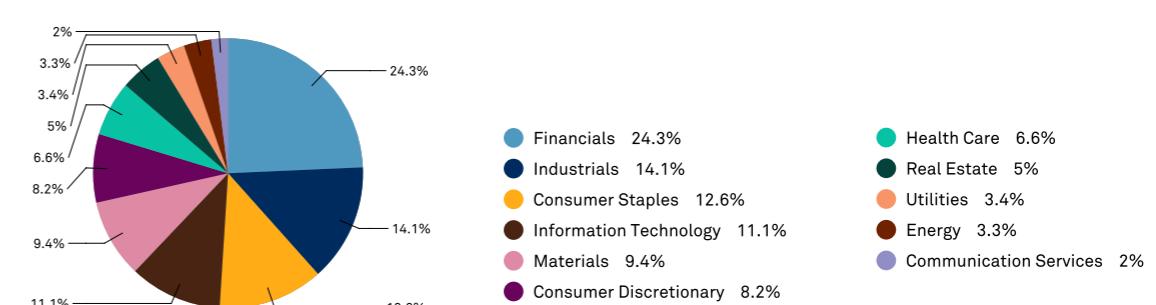
\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	385.07
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	607.12
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	646.67
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	13,899.48

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。



## S&P 日本景気循環ファクター指数（日本円）

新規追加指

株式

債券

コモディティ

不動産・テ

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

### 指標について

S&P 日本景気循環ファクター指数は、日銀短観及び内閣府経済社会総合研究所（ESRI）が算出する景気動向指数の直近の経済データに基づいて、3つの個別の戦略にわたり各投資戦略を入れ替え、目標ボラティリティを6%に維持することを目指している。経験的証拠によると、ファクター・リターンは景気循環の影響を強く受ける傾向があり、マクロ経済情勢に敏感に反応する。さらに、異なるマクロ経済情勢下では、異なるファクターが時価総額加重ベンチマークをアウトパフォームする場合がある。S&P 日本景気循環ファクター指数は、日銀短観及び内閣府経済社会総合研究所（ESRI）が算出する景気動向指数により測定される経済活動のトレンドや強さに基づいて、各時点における単一ファクターのパフォーマンスを測定することを目指している。この指標は、個々のファクターにおける景気循環の影響を受けやすい性質や、異なる動きを利用して、より戦術的な要素を重視する投資家の見方を表す方法を提供することを目指している。¥

### 指標の構築

ユニバース：この戦略には、S&P 日本バリュー日次リスク・コントロール6%超過リターン指標、S&P 日本バイバック日次リスク・コントロール6%超過リターン指標、及びS&P 日本低ボラティリティ日次リスク・コントロール6%超過リターン指標が含まれる。

### リバランス

S&P 日本景気循環ファクター指標の配分は、それぞれの四半期毎の日銀短観及び月次のESRIのリバランス日時点で決定される。日銀短観のリバランス有効日は、その四半期の末日から数えて指標の3営業日後である。ESRIのリバランス日は、毎月の月初から数えて15暦日目またはその直後の指標の営業日とする。

### 追加および除外

リバランスの間にコンポーネント指標の構成要素が変更されることはない。構成要素が除外された場合、指標委員会は、指標内で影響を受ける資産クラスを指標から除外するか、後継コンポーネント指標を指定するかを選択する場合がある。

### S&P 日本景気循環ファクター指標（日本円）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
EXCESS RETURNS							
187.83	0.17%	2.24%	1.43%	1.43%	1.93%	2.03%	4.73%

#### 過去の実績



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global



## S&P/上場プライベート・エクイティ指数

### 指標について

S&P/上場プライベート・エクイティ指数は、特定の規模、流動性、エクスポージャー、及び活動に関する要件を満たしている大手の上場プライベート・エクイティ会社から構成される。この指標はプライベート・エクイティ市場で活発に活動している大手の上場プライベート・エクイティ会社への取引可能なエクスポージャーを提供するように設計されている。

### 指標の構築

アプローチ：この指標は2つのステップを通じて構築される。最初のステップは企業の選択であり、2つ目のステップは指標構成銘柄のウェイト付けである。

構成銘柄の選択：前述の適格性基準を満たした全ての株式が選択され、これによって指標が構築される。

構成銘柄のウェイト付け：浮動株調整後時価総額に基づいてウェイトを割り当てる。ただし、以下の分散要件を満たす必要がある。ウェイトが4.0%を超える全ての株式のウェイトの合計は36%以下となる必要がある。個別銘柄のウェイト上限は7.5%であり、パートナーシップの合計ウェイトは20%を超えてはならない。ポートフォリオにおいて1日に売買される最低サイズ（3ヶ月間の1日当たり平均売買代金（ADVT）に基づく）は2億ドル以上である必要がある。

指標の計算：この指標は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの全ての株価指標で使用されている除数メソドロジーにより計算される。

### リバランス

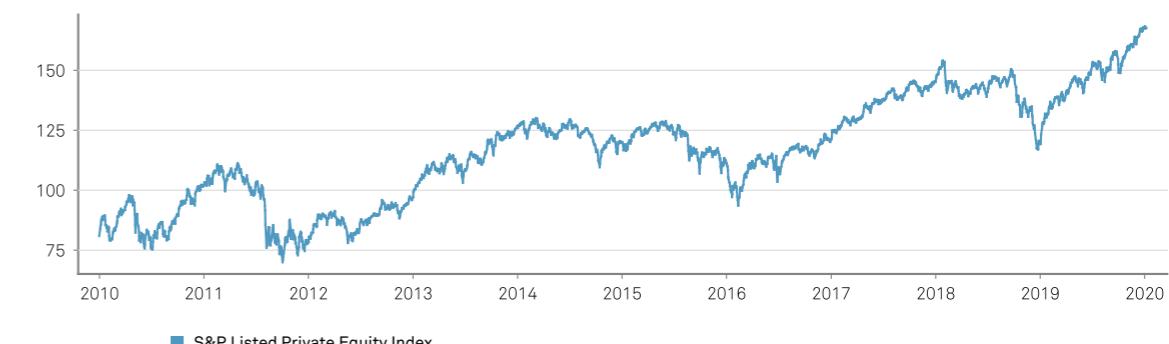
この指標は半年ごとにリバランスされ、3月及び9月の第3金曜日の取引終了後に有効となる。リバランス参照日は2月と8月の第3金曜日となる。

### S&P/上場プライベート・エクイティ指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	371.33	3.28%	9.43%	46.55%	46.55%	17.27%	12.85%
プライス・リターン	167.47	2.51%	8.16%	39.38%	39.38%	11.38%	6.94%
ネット・トータル・リターン	298.66	3.09%	9.11%	44.57%	44.57%	15.63%	11.2%
							11.75%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	61
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	4,089.88
最大合計時価総額	60,629.85
最小合計時価総額	188.4
合計時価総額の中央値	954.32
Weight Largest Constituent [%]	6.2
Weight Top 10 Constituents [%]	52.5

#### インデックス加重による構成銘柄トップ10

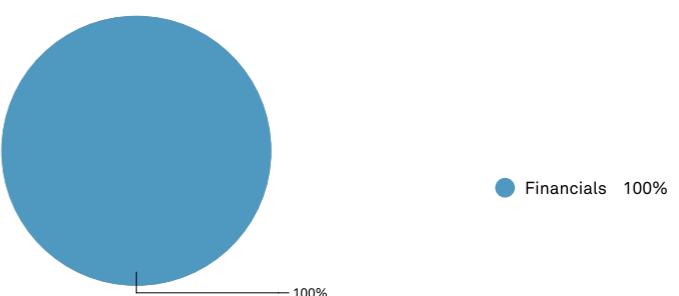
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Blackstone Group The	BX	Financials
KKR & Co Inc	KKR	Financials
Partners Group Hldg	PGHN	Financials
Brookfield Asset Management Inc	BAM.A	Financials
3I Group	III	Financials
Ares Capital Corp	ARCC	Financials
Intermediate Capital Group	ICP	Financials
Apollo Global Management Inc.	APO	Financials
Onex Corp Subvtg	ONEX	Financials
Carlyle Group LP/The	CG	Financials

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	33.41
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	68
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	43.93
化石燃料埋蔵量の排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）	0

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P グローバル総合指数

### 指標について

S&P グローバル総合指数は、S&P 先進国総合指数と S&P 新興国総合指数で構成された規則に基づく総合指標であり、世界の株式市場のパフォーマンスを測定する。また、S&P グローバル総合指数は透明性の高いモジュール構造を持つ唯一のグローバル株価指標であり、1989 年以来、浮動株調整されている。

S&P グローバル総合指数は 46 國の約 10,000 銘柄をカバーしており、米ドル、ユーロ、英ポンド、円、豪ドル、カナダドルの主要 6 通貨のほか、ローカル通貨でも毎日計算されている。S&P グローバル総合指数ベンチマークシリーズは、すべての国において透明性の高い共通のメソドロジーを使用している。年次の銘柄入れ替え時点で、指標構成国で上場している株式のうち、浮動株調整後の時価総額が最低 1 億米ドルの銘柄を対象とする。銘柄入れ替え時点で時価総額が 7,500 万米ドルに満たない銘柄は除外している。

### 国別分類

指標を構成する 47 國は先進国と新興国の中から分類され、先進国は S&P 先進国総合指数として総括し、新興国は S&P 新興国総合指数として総括している。国別分類基準としては、マクロ経済状況、政治的安定性、法律上の財産権および手続き、取引・決済プロセスと条件、機関投資家からのフィードバックを使用している。

#### S&P 先進国総合指標

- 北米：カナダ、米国
- 欧州：オーストリア、ベルギー、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、ルクセンブルク、オランダ、ノルウェー、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、スイス、英国
- アジア太平洋：オーストラリア、香港、日本、ニュージーランド、シンガポール、韓国
- 中東アフリカ：イスラエル

なお、S&P 欧州アジア太平洋総合指標は、欧州とアジア太平洋地域で構成されている。

#### S&P 新興国総合指標

- 欧州：チェコ、ハンガリー、ポーランド、ロシア、トルコ、ギリシャ
- アジア太平洋：中国、インド、インドネシア、マレーシア、フィリピン、台湾、タイ
- 中南米：ブラジル、チリ、コロンビア、メキシコ、ペルー
- 中東アフリカ：エジプト、南アフリカ、UAE、カタール

### 規模別指標シリーズ

S&P グローバル総合指標規模別指標シリーズは、世界の株式市場を合計時価総額に従って分類したもので、9 種類の基本的な規模別指標を提供している。基準に従ってすべての株式を 23 種類の規模に分類しているため、カスタム化が可能である。

### セクター分類

S&P グローバル総合指標は、企業をセクター・産業に従って分類する世界の代表的なシステムである世界産業分類基準 (GICS®) を採用している。国、地域、総合レベルでセクター・産業グループで分類したセクター指標を算出している。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのカスタム指標サービスを通じて、これ以外のレベルの指標も算出可能である。

### スタイル・ベンチマーク

すべての銘柄がピュアグロースとピュアバリューのいずれかに分類されているか、またはグロースとバリューの比率を示すスコアを付与されている。S&P グローバル総合指標は 3 つのグロース変数と 4 つのバリュー変数で構成されており、これによって世界の各銘柄は 100% グロース、100% バリュー、両方の組み合わせのいずれかに分類されている。各国にグロース指標とバリュー指標があり、これを組み合わせて地域指標や総合指標としている。

## S&P グローバル総合指標

### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	458.1	3.57%	9.14%	26.76%	26.76%	12.6%	8.87%
プライス・リターン	279.6	3.4%	8.65%	23.65%	23.65%	9.91%	6.25%
ネット・トータル・リターン	361.97	3.53%	9.02%	26.07%	26.07%	12.01%	8.29%
							8.88%

### 過去の実績



### インデックスの特徴

構成銘柄数	11915
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	6,854.18
最大合計時価総額	1,879,348.49
最小合計時価総額	26.31
合計時価総額の中央値	1,340.34
Weight Largest Constituent [%]	2.1
Weight Top 10 Constituents [%]	10.2

### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
Amazon.com Inc	AMZN	Consumer Discretionary
Facebook Inc A	FB	Communication Services
Berkshire Hathaway B	BRK.B	Financials
JPMorgan Chase & Co	JPM	Financials
Alphabet Inc A	GOOGL	Communication Services
Alphabet Inc C	GOOG	Communication Services
Johnson & Johnson	JNJ	Health Care
Alibaba Group Holding Ltd ADR	BABA	Consumer Discretionary

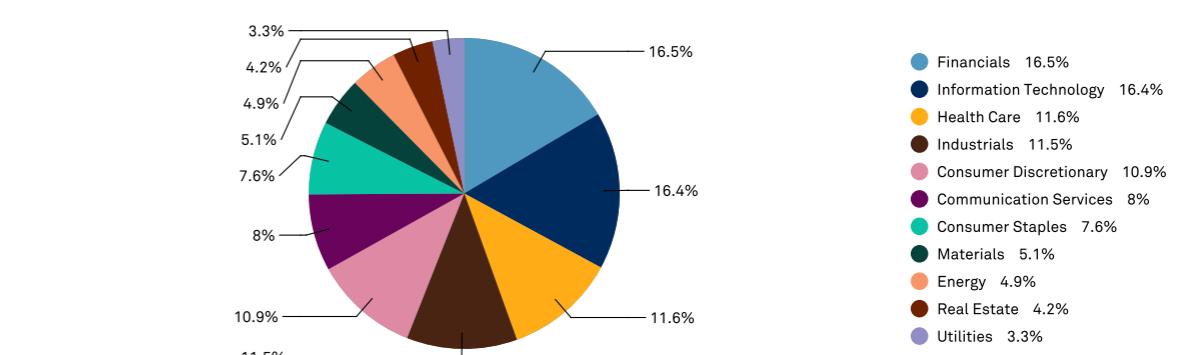
\*Based on GICS® sectors

### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	140.95
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	293.77
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	272.91
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	2,705.54

\*事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global



## S&P Global Equity Indices Monthly Update

Dec. 31, 2019

CUMULATIVE TOTAL RETURNS IN USD						
	1-Month	3-Month	YTD	1-Year	3-Year	5-Year
<b>S&amp;P Global BMI Select Regions</b>						
S&P Global BMI	3.57	9.14	26.76	26.76	42.77	52.93
S&P Global ex/US BMI	4.40	9.26	22.16	22.16	34.72	36.20
S&P Developed BMI	3.19	8.89	27.56	27.56	43.07	54.96
S&P Developed ex/US BMI	3.67	8.68	22.79	22.79	33.27	36.29
S&P Developed ex/US BMI \$2bn - \$5bn	3.95	10.58	22.23	22.23	33.86	45.91
S&P Developed ex/US BMI <\$2bn	5.06	11.54	19.11	19.11	25.08	41.34
S&P Asia-Pacific BMI	3.11	7.86	18.04	18.04	31.25	42.06
S&P Europe BMI	4.21	9.83	25.46	25.46	36.16	35.57
S&P US BMI	2.87	9.03	30.91	30.91	50.27	70.01
S&P EPAC BMI	3.71	8.98	22.24	22.24	34.02	37.92
S&P Emerging BMI	6.74	11.11	19.86	19.86	40.56	35.29
S&P Emerging BMI + China A	7.17	10.57	23.28	23.28	26.00	22.67
S&P Emerging BMI <\$2bn	5.57	8.04	16.21	16.21	25.22	19.71
S&P Asia-Pacific Emerging BMI	5.99	11.30	19.44	19.44	44.37	40.13
S&P Emerging Europe BMI	6.58	13.27	34.91	34.91	43.61	61.14
S&P Latin America BMI	10.82	11.06	21.73	21.73	42.45	29.05
S&P Middle East & Africa BMI	7.25	8.61	9.73	9.73	12.86	2.10
<b>Selected S&amp;P Global Regions</b>						
S&P Global 1200	3.39	8.91	28.22	28.22	45.82	57.43
S&P ADR	3.85	7.45	21.17	21.17	29.02	25.15
S&P Asia 50	9.13	13.98	22.72	22.72	54.90	64.46
S&P Europe 350®	4.00	9.14	24.71	24.71	35.08	32.35
S&P Latin America 40	9.57	9.02	13.92	13.92	35.93	24.41
S&P BRIC 40	8.43	14.09	24.03	24.03	58.70	56.32
S&P TOPIX 150	1.64	6.83	20.95	20.95	30.80	48.81
S&P/TSX 60	2.38	4.60	28.42	28.42	27.94	23.70
S&P/ASX 50	0.94	4.26	23.36	23.36	29.91	28.24
S&P 700	3.99	8.67	23.47	23.47	35.70	36.87
S&P 500®	3.02	9.07	31.49	31.49	53.17	73.86
<b>S&amp;P Developed Ex-U.S. BMI GICS® Sectors</b>						
Communication Services	2.67	6.26	15.35	15.35	15.37	11.60
Consumer Discretionary	3.06	9.20	23.47	23.47	28.35	30.52
Consumer Staples	1.95	2.11	17.41	17.41	30.77	42.81
Energy	5.37	5.58	13.20	13.20	12.79	12.32
Financials	3.72	7.82	19.13	19.13	20.58	22.64
Health Care	3.84	12.73	27.51	27.51	48.95	44.00
Industrials	2.94	10.57	25.32	25.32	38.36	47.90
Information Technology	5.73	14.37	41.60	41.60	71.25	91.12
Materials	5.23	10.47	21.20	21.20	31.20	39.13
Real Estate	2.52	5.39	21.53	21.53	37.32	40.54
Utilities	4.81	5.48	21.04	21.04	46.00	33.81
<b>S&amp;P Global 1200 GICS Sectors</b>						
Communication Services	2.77	8.39	26.83	26.83	18.55	26.43
Consumer Discretionary	2.60	6.14	27.28	27.28	48.18	63.20
Consumer Staples	2.33	2.65	23.83	23.83	31.82	43.18
Energy	5.65	5.64	12.66	12.66	2.75	3.68
Financials	3.41	9.11	25.16	25.16	31.69	42.97
Health Care	3.69	13.76	23.93	23.93	55.74	56.44
Industrials	1.14	7.71	28.39	28.39	39.12	55.29
Information Technology	5.04	14.86	48.41	48.41	100.69	140.59
Materials	4.54	9.07	22.71	22.71	35.70	40.99
Real Estate	1.85	1.33	24.18	24.18	34.54	41.94
Utilities	4.09	2.51	24.70	24.70	48.07	48.09

Source: S&P Dow Jones Indices LLC and/or its affiliates. Data as of December 31, 2019. Charts and tables are provided for illustrative purposes. Past performance is no guarantee of future results.

## S&P Global Equity Indices Monthly Update

Dec. 31, 2019

CUMULATIVE TOTAL RETURNS BY COUNTRY						
	1-Month	3-Month	YTD	1-Year	3-Year	5-Year
<b>Developed</b>						
Australia	1.76	4.23	23.26	23.26	31.50	33.96
Austria	2.05	7.93	19.73	19.73	45.56	59.85
Belgium	2.97	2.25	26.76	26.76	14.91	23.36
Canada	3.23	5.60	29.08	29.08	25.28	20.14
Denmark	5.05	13.85	28.10	28.10	50.25	64.55
Finland	5.94	6.18	13.17	13.17	28.99	38.69
France	3.07	8.36	26.97	26.97	44.37	55.16
Germany	2.36	10.56	22.42	22.42	25.64	30.13
Hong Kong	4.37	7.12	8.31	8.31	29.41	25.51
Ireland	4.35	17.01	32.53	32.53	32.80	57.62
Israel	-0.67	7.40	20.33	20.33	31.12	18.54
Italy	2.51	9.84	29.78	29.78	42.06	36.03
Japan	2.02	7.73	19.52	19.52	30.75	50.32
Korea	10.18	13.65	9.67	9.67	29.48	29.47
Luxembourg	3.42	7.43	-8.17	-8.17	-9.33	-20.31
Netherlands	3.91	8.70	34.31	34.31	57.57	71.14
New Zealand	5.51	14.70	35.44	35.44	69.73	89.85
Norway	8.30	8.60	14.31	14.31	30.96	32.75
Portugal	4.10	8.66	18.64	18.64	38.51	33.23
Singapore	3.48	8.54	18.50	18.50	41.75	23.85
Spain	3.90	6.44	13.25	13.25	21.97	4.58
Sweden	5.39	15.12	27.00	27.00	35.67	40.66
Switzerland	4.47	8.12	33.17	33.17	50.89	49.69
United Kingdom	5.66	11.48	23.40	23.40	30.35	21.45
United States	2.87	9.03	30.91	30.91	50.27	70.01
<b>Emerging</b>						
Brazil	13.02	15.13	30.15	30.15	62.68	57.82
Chile	10.50	-10.69	-15.86	-15.86	-0.34	-0.60
China	8.11	14.02	21.97	21.97	47.54	42.49
China (A-Shares)	8.26	9.27	30.62	30.62	1.42	2.32
Colombia	12.24	13.72	31.37	31.37	24.57	-4.38
Czech Republic	5.45	9.09	5.94	5.94	51.61	41.09
Egypt	2.31	1.25	28.09	28.09	46.67	-14.43
Greece	3.72	11.51	50.02	50.02	38.97	-23.99
Hungary	9.08	20.12	17.02	17.02	51.64	171.94
India	1.13	5.38	7.29	7.29	41.03	38.96
Indonesia	7.15					

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global



## S&P Global Equity Indices Monthly Update

Dec. 31, 2019

CUMULATIVE CURRENCY RETURNS (FX=\$1USD)								
	FX Rate	1-Month	3-Month	YTD	1-Year	3-Year	5-Year	
<b>Developed</b>								
Australia	AUD	0.70	3.93%	4.23%	-0.15%	-0.15%	-2.92%	-14.10%
Canada	CAD	0.77	2.43%	2.10%	5.32%	5.32%	3.42%	-10.68%
Denmark	DKK	0.15	1.79%	2.88%	-1.94%	-1.94%	5.90%	-7.56%
European Union	EUR	1.12	1.80%	2.96%	-1.81%	-1.81%	6.42%	-7.24%
Hong Kong	HKD	0.13	0.46%	0.61%	0.48%	0.48%	-0.50%	-0.47%
Israel	ILS	0.29	0.47%	0.63%	8.19%	8.19%	11.43%	12.67%
Japan	JPY	0.01	0.77%	-0.55%	0.96%	0.96%	7.32%	10.32%
Korea	KRW	0.00	2.14%	3.43%	-3.52%	-3.52%	4.44%	-4.95%
New Zealand	NZD	0.67	5.10%	7.59%	0.61%	0.61%	-3.25%	-13.68%
Norway	NOK	0.11	4.81%	3.40%	-1.46%	-1.46%	-2.04%	-14.68%
Singapore	SGD	0.74	1.70%	2.84%	1.36%	1.36%	7.44%	-1.45%
Sweden	SEK	0.11	2.26%	5.03%	-5.29%	-5.29%	-2.95%	-16.37%
Switzerland	CHF	1.03	3.20%	2.97%	1.80%	1.80%	4.96%	2.61%
United Kingdom	GBP	1.32	2.42%	7.50%	4.02%	4.02%	7.21%	-15.04%
United States	USD	-	-	-	-	-	-	-
<b>Emerging</b>								
Brazil	BRL	0.25	5.11%	3.55%	-3.65%	-3.65%	-19.09%	-33.92%
Chile	CLP	0.00	7.31%	-3.16%	-7.71%	-7.71%	-10.93%	-19.30%
China	CNY	0.14	0.87%	2.48%	-1.44%	-1.44%	-0.23%	-10.94%
Colombia	COP	0.00	7.40%	6.00%	-1.04%	-1.04%	-8.52%	-27.58%
Czech Republic	CZK	0.04	2.35%	4.59%	-0.56%	-0.56%	13.15%	1.16%
Egypt	EGP	0.06	0.44%	1.35%	11.65%	11.65%	12.96%	-55.45%
Hungary	HUF	0.00	2.92%	4.29%	-4.75%	-4.75%	-0.61%	-11.43%
India	INR	0.01	0.50%	-0.71%	-2.19%	-2.19%	-4.91%	-11.57%
Indonesia	IDR	0.00	1.60%	2.25%	3.58%	3.58%	-2.95%	-10.79%
Kuwait	KWD	3.30	0.16%	0.35%	0.12%	0.12%	0.74%	-3.43%
Malaysia	MYR	0.24	2.10%	2.36%	1.03%	1.03%	9.67%	-14.52%
Mexico	MXN	0.05	3.29%	4.55%	4.29%	4.29%	9.10%	-21.95%
Pakistan	PKR	0.01	0.25%	0.94%	-10.37%	-10.37%	-32.60%	-35.09%
Peru	PEN	0.30	2.67%	2.20%	2.04%	2.04%	1.26%	-10.11%
Philippines	PHP	0.02	0.34%	2.34%	3.83%	3.83%	-1.84%	-11.67%
Poland	PLN	0.26	3.27%	5.86%	-0.81%	-0.81%	10.22%	-6.21%
Qatar	QAR	0.27	0.00%	0.00%	0.01%	0.01%	0.01%	0.01%
Russia	RUB	0.02	3.48%	4.46%	11.69%	11.69%	-1.72%	-3.40%
Saudi Arabia	SAR	0.27	-0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.03%
South Africa	ZAR	0.07	4.79%	8.43%	2.87%	2.87%	-2.21%	-17.27%
Taiwan	TWD	0.03	1.78%	3.49%	2.54%	2.54%	7.51%	5.42%
Thailand	THB	0.03	0.88%	2.11%	8.70%	8.70%	19.55%	9.84%
Turkey	TRY	0.17	-3.49%	-5.12%	-10.60%	-10.60%	-40.89%	-60.72%
United Arab Emirates	AED	0.27	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	-0.01%	0.00%

Source: Currency returns are calculated using WM Reuters FX rates. Data as of December 31, 2019 Charts and tables are provided for illustrative purposes. Past performance is no guarantee of future results.

## S&P Global Equity Indices Monthly Update

December 31, 2019

Country	S&P Global Broad Market Index (BMI)							
	Index Market Cap USD MIL	Index Weight %	Monthly Change %	Monthly Change %	YTD Change USD MIL	YTD Change %	1-Year Change USD MIL	1-Year Change %
Australia	1,230,780	2.06	21,664	1.79	189,436	18.19	189,436	18.19
Austria	60,046	0.10	1,197	2.03	8,236	15.90	8,236	15.90
Belgium	208,496	0.35	6,629	3.28	27,256	15.04	27,256	15.04
Brazil	567,629	0.95	66,845	13.35	135,681	31.41	135,681	31.41
Canada	1,797,870	3.02	48,485	2.77	367,858	25.72	367,858	25.72
Chile	54,586	0.09	5,992	12.33	-8,859	-13.96	-8,859	-13.96
China	2,447,597	4.11	197,248	8.77	860,741	54.24	860,741	54.24
Colombia	33,039	0.06	3,372	11.36	6,389	23.97	6,389	23.97
Czech Republic	8,845	0.01	457	5.45	104	1.19	104	1.19
Denmark	315,949	0.53	14,384	4.77	60,232	23.55	60,232	23.55
Egypt	13,287	0.02	300	2.31	2,047	18.21	2,047	18.21
Finland	207,697	0.35	12,158	6.22	10,192	5.16	10,192	5.16
France	1,778,878	2.98	55,842	3.24	336,202	23.30	336,202	23.30
Germany	1,475,127	2.47	29,911	2.07	229,313	18.41	229,313	18.41
Greece	27,767	0.05	950	3.54	8,399	43.37	8,399	43.37
Hong Kong	583,776	0.98	24,845	4.45	24,238	4.33	24,238	4.33
Hungary	20,432	0.03	1,701	9.08	3,274	19.08	3,274	19.08
India	779,293	1.31	9,749	1.27	61,892	8.63	61,892	8.63
Indonesia	143,807	0.24	9,576	7.13	9,572	7.13	9,572	7.13
Ireland	131,550	0.22	5,294	4.19	27,637	26.60	27,637	26.60
Israel	135,809	0.23	-523	-0.38	24,686	22.22	24,686	22.22
Italy	464,191	0.78	11,706	2.59	90,956	24.37	90,956	24.37
Japan	4,952,866	8.31	86,937	1.79	738,667	17.53	738,667	17.53
Korea	920,759	1.54	74,529	8.81	39,340	4.46	39,340	4.46
Kuwait	53,816	0.09	3,179	6.28	18,703	53.27	18,703	53.27
Luxembourg	31,395	0.05	2,723	9.50	-483	-1.52	-483	-1.52
Malaysia	170,942	0.29	6,930	4.23	25,415	17.46	25,415	17.46
Mexico	159,623	0.27	7,161	4.70	9,922	6.63	9,922	6.63
Netherlands	666,656	1.12	20,649	3.20	149,934	29.02	149,934	29.02
New Zealand	70,507	0.12	3,561	5.32	14,504	25.90	14,504	25.90
Norway	154,540	0.26	11,923	8.36	15,019	10.76	15,019	10.76
Pakistan	7,651	0.01	294	4.00	-1,212	-13.68	-1,212	-13.68
Peru	22,272	0.04	561	2.58	-1,420	-6.00	-1,420	-6.00
Philippines	77,417	0.13	73					

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P グローバル 1200 指数

### 指数について

S&P グローバル 1200 はリアルタイムで投資可能な初のグローバル株価指数であり、世界の資本市場の約 70%を捕捉している。S&P グローバル 1200 は 7 つの代表的指数で構成され、S&P 500® (米国)、S&P 欧州 350®、S&P TOPIX 150 (日本)、S&P/TSX 60 (カナダ)、S&P/ASX オール・オーストラリア 50、S&P アジア 50、S&P 中南米 40 がこれに該当する。

29 の各地の市場を 7 つの地域指数に統合した S&P グローバル 1200 は、そのユニークな構造により、投資家の個別ニーズに合わせたグローバル・エクスポートナーを取ることができ、世界の投資可能な市場を測定する最も優れた尺度となっている。

### S&P 700

世界の株式市場のうち米国以外の市場を測定するための株式指数で、S&P グローバル 1200 に含まれる米国以外の全地域をカバーしている。なお、米国市場は S&P 500 がカバーしている。

### 地域指數

- S&P 500 S&P グローバル 1200 の要であり、米国の株式時価総額の約 75%をカバーしている。また、S&P 500 は S&P の総合指数におけるすべての指標のモデルとなっている。
- S&P 欧州 350 欧州 17 市場の時価総額の 70%をカバーしており、広い対象範囲と優れた流動性の両方を備えた唯一の欧州指標である。
- S&P/TOPIX 150 東京証券取引所と共同開発した指標で、日本市場の約 70%をカバーしている。また、S&P 日本 500 総合市場指標の大型株部分を代表している。
- S&P/TSX 60 トロント証券取引所の協力のもと、流動性の高いカナダ企業の大型株 60 銘柄へのエクスポートナーを提供している。S&P/TSX 60 はカナダで最も頻繁に取引されている先物契約のベースとなっている。
- S&P/ASX オール・オーストラリア 50 オーストラリア証券取引所 (ASX) と共同開発した指標で、ASX に上場している流動性の高い 50 銘柄のうち、「国内銘柄」または「オーストラリア銘柄」と定義されている銘柄から構成されている。
- S&P アジア 50 香港、韓国、台湾、シンガポールに本拠地を置く大手企業 50 社を対象としている。この指標は、日本を除く投資可能なアジアの市場に関して、取引可能で、容易に複製可能な測定手段を投資家に提供することを目的としている。
- S&P 中南米 40 中南米の 4 大市場であるブラジル、チリ、コロンビア、メキシコ、ペルーを対象とし、流動性の高い大手優良企業で構成されている。これらの企業は、中南米地域の株式時価総額の 70%を占めている。

### S&P グローバル 1200 指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	4,382.35	3.39%	8.91%	28.22%	28.22%	13.4%	9.5%
プライス・リターン	2,628.81	3.23%	8.4%	24.96%	24.96%	10.57%	7.18%
ベンチマーク *・プライス・リターン	458.1	3.57%	9.14%	26.76%	26.76%	12.6%	8.87%
ベンチマーク *・プライス・リターン	279.6	3.4%	8.65%	23.65%	23.65%	9.91%	6.25%
ベンチマーク *・ネット・トータル・リターン	361.97	3.53%	9.02%	26.07%	26.07%	12.01%	8.29%
							8.88%

\* The index benchmark is the S&P Global BMI (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	1219
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	40,483.25
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	2,896.63
合計時価総額の中央値	20,097.08
Weight Largest Constituent [%]	2.8
Weight Top 10 Constituents [%]	13.8

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

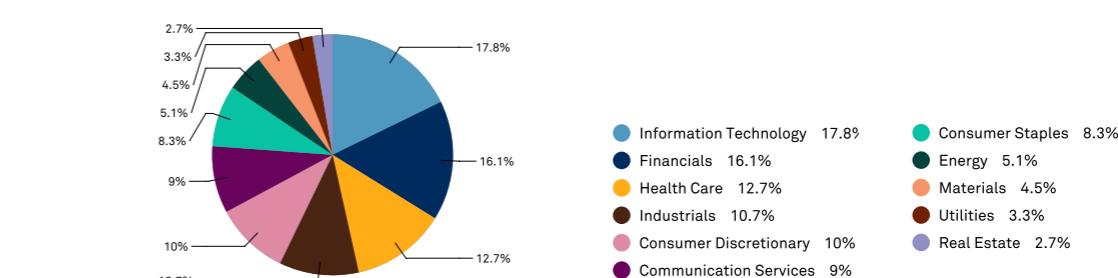
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
Amazon.com Inc	AMZN	Consumer Discretionary
Facebook Inc A	FB	Communication Services
Berkshire Hathaway B	BRK.B	Financials
JP Morgan Chase & Co	JPM	Financials
Alphabet Inc A	GOOGL	Communication Services
Alphabet Inc C	GOOG	Communication Services
Johnson & Johnson	JNJ	Health Care
Nestle SA Reg	NESN	Consumer Staples

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	103.1
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	244.89
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	244.32
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	1,511.93

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 500®

### 指標について

S&P 500®は単独で米国株式市場を測る最も優れた手段とみなされており、世界的に有名な株価指数である。この指標には米国経済の主要産業を代表する500銘柄が含まれている。S&P 500は米国株式の約75%を占める大型株に焦点を合わせていて、市場全体に関しても理想的な指標となる。S&P 500はポートフォリオの構築要素として使用できる一連のS&P米国株式指標の一部である。

S&P 500はS&P株価指標委員会が管理している。指標委員会はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスのエコノミストと株価指標アナリストで構成され、定期的に開催されている。指標委員会の目標は、S&P 500が大型株のリスク・リターン特性をより広い範囲で継続的に反映し、米国株の代表的指標であり続けることを保証することにある。また、指標構成銘柄の入れ替えを最低限に抑えつつ、効率的なポートフォリオ売買を確保するために、指標委員会は指標構成銘柄の流動性を監視している。

### 指標のメソドロジー

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス株価指標委員会は公表されている一連のガイドラインに従って株価指標を管理している。これらのガイドラインの詳細は、指標の追加・除外基準、方針、リサーチを含め、当社ウェブサイト([www.spdji.com](http://www.spdji.com))で公表されている。これらのガイドラインによって、投資家が株価指標を複製し、S&P500と同様のパフォーマンスを達成するために必要な透明性と公平性が保たれている。

### 指標への追加基準

- 米国企業：企業の資産所在地と売上地域、組織構造、SEC提出書類の種類、上場場所を判断材料とする。
- 時価総額：時価総額が61億米ドルを超える企業とする。市場環境との調和を確保するために、この最低基準額は随時見直される。
- 浮動株：浮動株比率が最低50%とする。
- 財務健全性：4四半期連続して公表ベースで黒字決算の企業とする。公表ベースとは、非継続事業と特別項目を除いたGAAPベースの純利益をいう。
- 十分な流動性と合理的な株価： 浮動株調整後時価総額に対する年間売買高の比率が0.10以上の銘柄とする。株価が極端に低い場合、株式の流動性に影響し得る。
- セクタ一分類：企業の産業分類はセクター間のバランスの維持に役立つ。セクターのバランスは、ベースとなるユニバース全体のセクター構成と等しい。
- 企業の種類：ニューヨーク証券取引所(NYSEアーカ取引所とアメックス取引所を含む)とナスダックに上場する米国のすべての普通株式とする。モーゲージREITを除くREIT(不動産投資信託)とBDC(ビジネス・ディベロップメント・カンパニー)も指標構成銘柄とすることができます。クローズドエンド型ファンド、ETF(上場投資信託)、ADR(米国預託証券)、ADS(米国預託株式)、その他一定種類の証券は対象外である。詳しくはメソドロジーを参照のこと。

既存の指標構成銘柄を継続使用する場合は、必ずしもこれらのガイドラインに従わない。指標委員会は指標構成銘柄の不必要的入れ替えを最小限に留めるよう努めており、銘柄を除外する場合は、その都度判断している。

### 指標からの除外基準

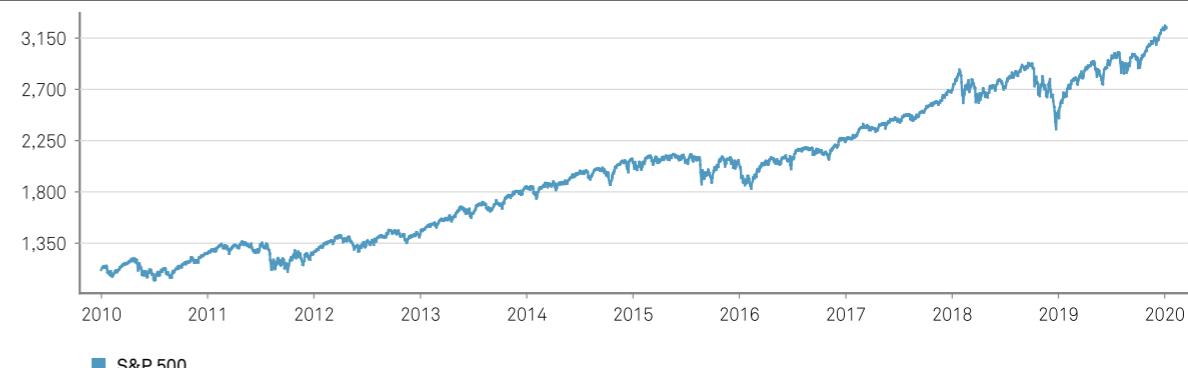
- 指標への追加基準の一項目以上を著しく逸脱した銘柄。
- 合併、買収、大規模なリストラを実施したために追加基準を満たさなくなった銘柄。

### S&P 500®

### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	6,553.57	3.02%	9.07%	31.49%	31.49%	15.27%	11.7%
プライス・リターン	3,230.78	2.86%	8.53%	28.88%	28.88%	13%	9.43%
ネット・トータル・リターン	5,805.15	2.97%	8.91%	30.7%	30.7%	14.59%	11.01%
							12.85%

### 過去の実績



### インデックスの特徴

構成銘柄数	505
構成銘柄の時価総額 [USD 100万]	
平均合計時価総額	55,694.24
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	2,896.63
合計時価総額の中央値	23,590.06
Weight Largest Constituent [%]	4.6
Weight Top 10 Constituents [%]	22.7

### インデックス加重による構成銘柄トップ10

構成銘柄	銘柄コード	GICSセクター
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
Amazon.com Inc	AMZN	Consumer Discretionary
Facebook Inc A	FB	Communication Services
Berkshire Hathaway B	BRK.B	Financials
JP Morgan Chase & Co	JPM	Financials
Alphabet Inc A	GOOGL	Communication Services
Alphabet Inc C	GOOG	Communication Services
Johnson & Johnson	JNJ	Health Care
Visa Inc A	V	Information Technology

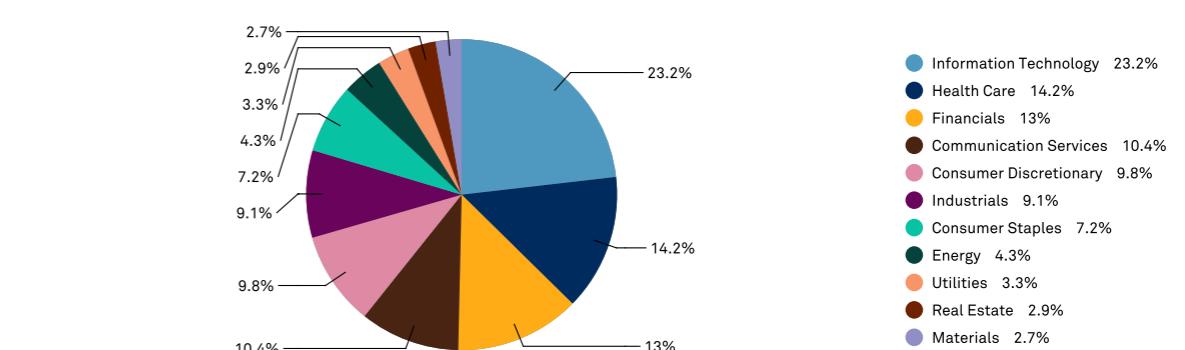
\*Based on GICS® sectors

### ESG特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資100万ドル) *	73.52
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高100万ドル) *	238.54
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高100万ドル) *	238.81
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資100万ドル)	721.71

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics)をご覧ください。

### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## ダウ・ジョーンズ工業株価平均<sup>®</sup>

### 指数について

ダウ<sup>®</sup>の名称でも知られるダウ・ジョーンズ工業株価平均<sup>®</sup>は、米国を代表する優良企業30銘柄の株価加重指数である。ダウ<sup>®</sup>は、ダウ・ジョーンズ輸送株平均<sup>®</sup>、ダウ・ジョーンズ公共株平均<sup>®</sup>として別途カバーされている輸送および公共事業以外のすべての工業株を網羅している。

ダウ<sup>®</sup>の銘柄選択は定量的なルールに従つたものではなく、銘柄の追加は主として、企業の評判が高く、成長が持続的で、多くの投資家が高い関心を示すものに限られている。また、適切なセクター配分を維持できる銘柄選択も考慮にされている。

### インデックス・ユニバース

インデックス・ユニバースは、輸送株と公共株以外の商品とサービスを提供する米国のすべての上場銘柄とする。

### 銘柄選択

ダウ・ジョーンズ工業株価平均は、株価平均委員会（Averages Committee）によって維持されている。銘柄選択は定量的なルールに従つたものではなく、銘柄の追加は主として、企業の評判が高く、成長が持続的で、多くの投資家が高い関心を示すものに限られている。

### 見直しの頻度

ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄は必要に応じて見直される。継続性を確保するために構成銘柄が変更されることはまれであり、変更是企業買収や構成銘柄の中核事業の大きな転換の後に実施されるのが普通である。こうした動きに伴いある構成銘柄の入れ替えの必要が生じた場合、インデックス全体の見直しが行われます。その結果、複数の構成銘柄の変更は多くの場合、同時に実施される。

### 計算

ダウ・ジョーンズ工業株価平均が設定された当初、株価の計算方法は、単に構成銘柄の株価を合計して構成銘柄数で割るというものであった。今日では、株式分割や他の構成変更の影響を軽減するために除数が調整されている。

### ウェイト

ダウ・ジョーンズ工業株価平均は株価加重型インデックスである。

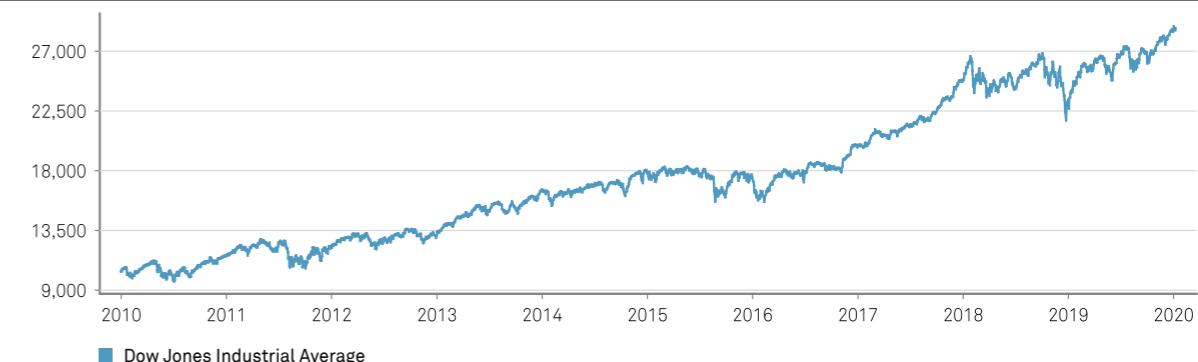
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが使用するメソドロジーの詳細は、当社ウェブサイト (<http://www.djindexes.com/japanese/>) で公表されている。

### ダウ・ジョーンズ工業株価平均<sup>®</sup>

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	64,505.48	1.87%	6.67%	25.34%	25.34%	15.73%	12.59%
プライス・リターン	28,538.44	1.74%	6.02%	22.34%	22.34%	13.03%	9.87%
ネット・トータル・リターン	55,630.04	1.83%	6.48%	24.43%	24.43%	14.91%	11.77%
							12.55%

#### 過去の実績

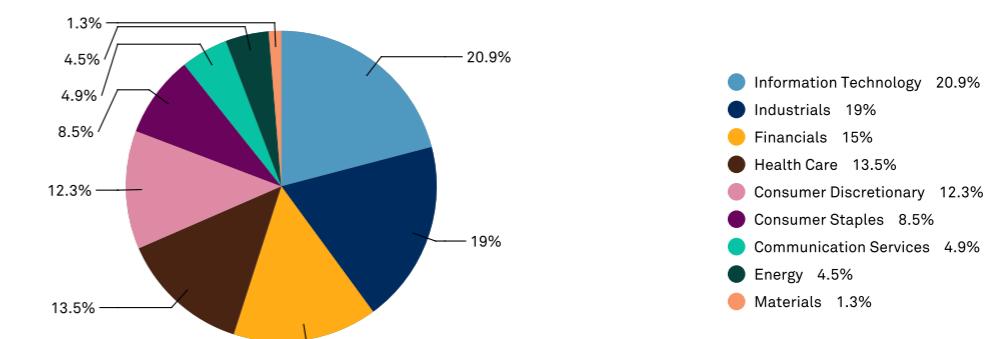


#### ファンダメンタルズ

P/E (TRAILING)	P/E (PROJECTED)	P/B	INDICATED DIV YIELD	P/SALES	P/CASH FLOW
20.53	19.31	4.23	2.31%	2.15	12.85

As of December 31, 2019. Fundamentals are updated on approximately the fifth business day of each month.

#### セクター別内訳



\* Based on GICS<sup>®</sup> sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年 12月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 100 指数

### 指標について

S&P 100 指数は、S&P 500 指数の構成銘柄の中から選択された 100 の企業から構成されている。この指標に採用されるには、S&P 500 指数の構成銘柄の中でもより安定した大手企業であり、その企業の新株引受権が上場されている必要がある。S&P 100 指数の構成銘柄を選択する際には、セクターのバランスが考慮される。この指標はデリバティブのために広く使用されており、OEX オプションの原指標である。

### 指標のメソドロジー

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス株価指標委員会は公表されている一連のガイドラインに従って株価指標を管理している。これらのガイドラインの詳細は、指標の追加・除外基準、方針、リサーチを含め、当社ウェブサイト ([www.spindices.com](http://www.spindices.com)) で公表されている。

### 指標への追加基準

- 米国企業：企業の資産所在地と売上地域、組織構造、SEC 提出書類の種類、上場場所を判断材料とする。
- 時価総額：時価総額が 61 億米ドルを超える企業とする。市場環境との調和を確保するために、この最低基準額は隨時見直される。
- 浮動株：浮動株比率が最低 50% とする。
- 財務健全性：4 四半期連続して公表ベースで黒字決算の企業とする。公表ベースとは、非継続事業と特別項目を除いた GAAP ベースの純利益をいう。
- 十分な流動性と合理的な株価：浮動株調整後時価総額に対する年間売買高の比率が 0.1 以上の銘柄とする。株価が極端に低い場合、株式の流動性に影響し得る。
- セクタ一分類：企業の産業分類はセクター間のバランスの維持に役立つ。セクターのバランスは、時価総額が 40 億米ドルを超える適格銘柄ベースとなるユニバース全体のセクター構成と等しい。
- 企業の種類：ニューヨーク証券取引所 (NYSE アーカ取引所とアメックス取引所を含む) とナスダックに上場する米国のすべての普通株式とする。モーゲージ REIT を除く REIT (不動産投資信託) と BDC (ビジネス・ディベロップメント・カンパニー) も指標構成銘柄とすることができます。クローズドエンド型ファンド、ETF (上場投資信託)、ADR (米国預託証券)、ADS (米国預託株式)、その他一定種類の証券は対象外である。詳しくはメソドロジーを参照のこと。

既存の指標構成銘柄を継続使用する場合は、必ずしもこれらのガイドラインに従わない。指標委員会は指標構成銘柄の不必要的入れ替えを最小限に留めるよう努めており、銘柄を除外する場合は、その都度判断している。

### 指標からの除外基準

- 指標への追加基準の一項目以上を著しく逸脱した銘柄。
- 合併、買収、大規模なリストラを実施したために追加基準を満たさなくなった銘柄。

新規追加指標

株式

債券

コモディティ

不動産・テック

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

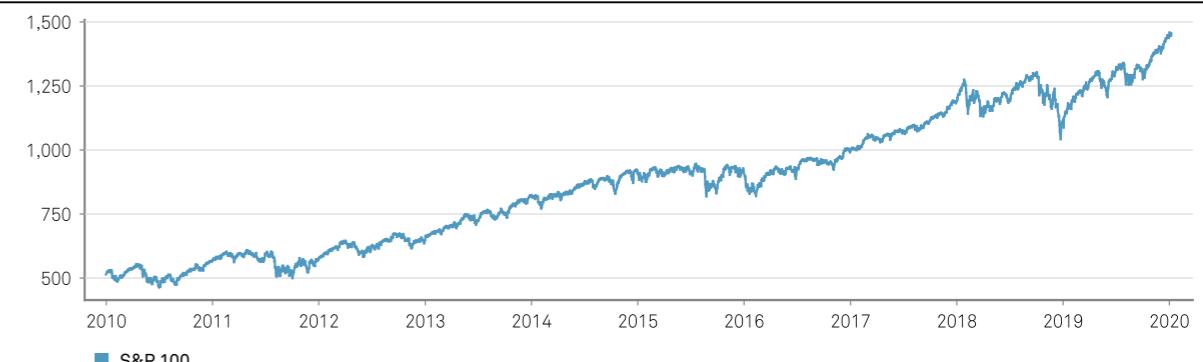


### S&P 100

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	2,994.28	3.23%	10.21%	32.21%	32.21%	15.73%	12.12%
プライス・リターン	1,442.17	3.11%	9.65%	29.47%	29.47%	13.31%	9.69%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	101
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	178,926.25
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	36,214.62
合計時価総額の中央値	125,504.42
Weight Largest Constituent [%]	7.2
Weight Top 10 Constituents [%]	35.5

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
Amazon.com Inc	AMZN	Consumer Discretionary
Facebook Inc A	FB	Communication Services
Berkshire Hathaway B	BRK.B	Financials
JP Morgan Chase & Co	JPM	Financials
Alphabet Inc A	GOOGL	Communication Services
Alphabet Inc C	GOOG	Communication Services
Johnson & Johnson	JNJ	Health Care
Visa Inc A	V	Information Technology

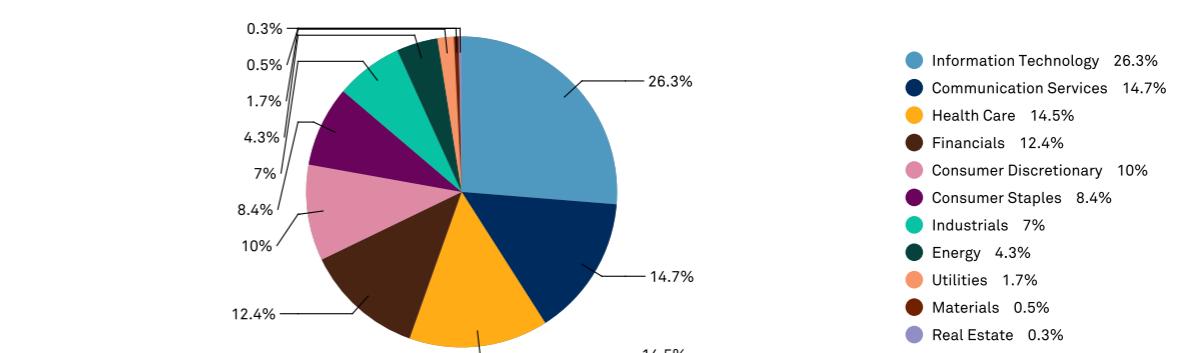
\*Based on GICS® sectors

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	48.88
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	177.48
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	154.92
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	837.67

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics) をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 中型株 400 指数

### 指標について

S&P 中型株 400 指数は米国中型株のパフォーマンスに連動することを目指しており、米国株式の時価総額の 7%以上を占めている。

S&P 中型株 400 指数は、米国株式における 400 の中型企業のパフォーマンスを測定するように設計されており、この市場セグメントの代表的なリスク・リターン特性を反映している。中型株指数では、典型的な企業のライフサイクルにおいて、小企業に特有な課題（初期資本の調達や、初期段階の成長管理など）を上手く乗り越えた企業へのエクスポージャーを提供する。同時に、中型株は非常にダイナミックであり、それほど規模が大きくないため、継続的な成長が見込まれる。したがって、中型株セグメントは大型株や小型株によりカバーされない市場の側面を提供すると考えられる。

S&P 中型株 400 指数は S&P ダウ・ジョーンズ米国株価指数シリーズの一部であり、相互排他的な構成要素として利用可能である。つまり、この指標の構成銘柄は、S&P500 指数や S&P 小型株 600 指数の構成銘柄と重複していない。これらの指標を組み合わせると、S&P 総合 1500 指数となる。

### 指標のメソドロジー

ユニバース：全ての構成銘柄は米国企業でなければならない。

適格時価総額：16 億ドル～68 億ドルの未調整時価総額を有する企業

公開株式：発行済み株式の 50%以上が浮動株でなければならない。

財務の健全性：通常、連続 4 四半期にわたる公表ベースの黒字利益で査定される。公表ベースの利益とは、一般会計原則 (GAAP) ベースの純利益から非継続事業と特別項目を除いたものである。

十分な流動性及び妥当な株価：活発なセカンダリー市場があり、流動性の高い普通株で構成される。

セクター・バランス：企業の業種分類により、セクター・バランスを維持する。定められた時価総額の範囲内において、適格企業のユニバースのセクター構成と同様のバランスを目指す。

企業タイプ：ニューヨーク証券取引所 (NYSE アーク証券取引所、NYSE アメリカン証券取引所を含む) 及びNASDAQ 株式市場に上場している全ての米国普通株式。REIT、ビジネス・デベロップメント・カンパニー (BDC) も指標構成銘柄の対象となる。クローズドエンド・ファンド、ETF、ADR、ADS、及びその他特定タイプの証券は、指標構成銘柄の対象となる。

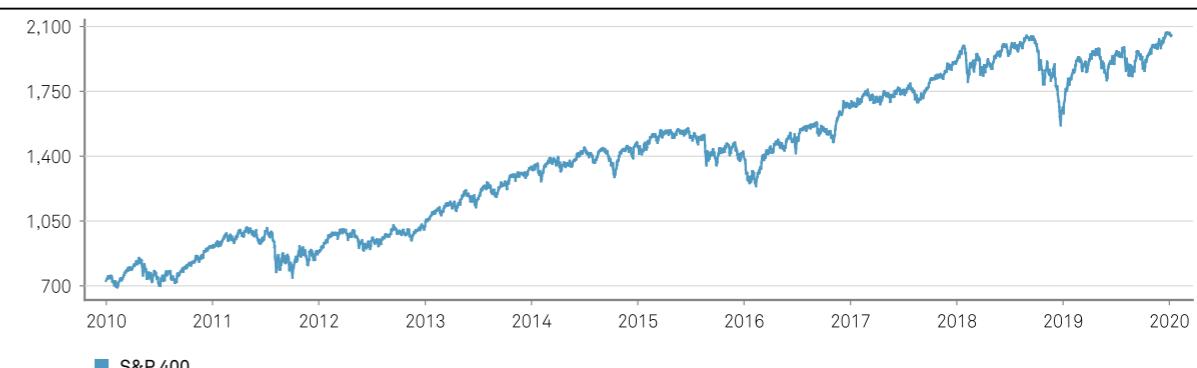
完全なメソドロジーなど詳しい情報については、[www.spdji.com](http://www.spdji.com) に公表されている。

### S&P 中型株 400 指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	3,155.85	2.81%	7.06%	26.2%	26.2%	9.26%	9.03%
プライス・リターン	2,063.02	2.63%	6.59%	24.05%	24.05%	7.5%	7.27%
ネット・トータル・リターン	2,981.48	2.76%	6.92%	25.55%	25.55%	8.73%	8.5%
							12.2%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

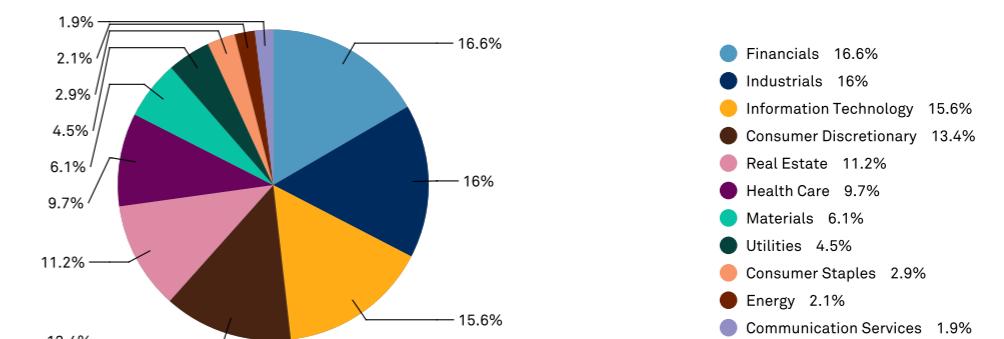
構成銘柄数	400
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	4,813.61
最大合計時価総額	12,638.31
最小合計時価総額	1,104.3
合計時価総額の中央値	4,324.57
Weight Largest Constituent [%]	0.7
Weight Top 10 Constituents [%]	6.2

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Teledyne Technologies Inc	TDY	Industrials
Domino's Pizza Inc	DPZ	Consumer Discretionary
Tyler Technologies Inc	TYL	Information Technology
Alleghany Corp (NY)	Y	Financials
Teradyne Inc	TER	Information Technology
West Pharmaceutical Services Inc	WST	Health Care
Medical Properties Trust	MPW	Real Estate
Fair Isaac & Co Inc	FICO	Information Technology
Trimble Inc	TRMB	Information Technology
Camden Property Trust	CPT	Real Estate

\*Based on GICS® sectors

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

### 概要

ウェイト付け方法	浮動株調整後の時価総額加重
リバランスの頻度	四半期ごと。各四半期の最終月の第 3 金曜日の取引終了後
算出の頻度	リアルタイム
算出通貨	米ドル、カナダドル、ユーロ、英ポンド、日本円
指標の算出開始日	1991 年 6 月 19 日

完全なメソドロジーなど詳しい情報については、[www.spdji.com](http://www.spdji.com) に公表されている。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 小型株 600 指数

### 指標について

S&P 小型株 600 指数は米国小型株のパフォーマンスに連動することを目指しており、米国株式の時価総額の 3%以上を占めている。

S&P 小型株 600 指数は 1994 年に指標の算出を開始し、米国株式における 600 の小型企業のパフォーマンスを測定するよう設計されており、この市場セグメントの代表的なリスク・リターン特性を反映している。大型株と比較して流動性が低く、潜在的に財務的な安定性に欠けていると通常考えられている市場セグメントを測定するため、この指標は、投資適格性及び財務の健全性基準を満たす小型株から成る効率的なベンチマークになるように構築されている。

S&P 小型株 600 指数は S&P ダウ・ジョーンズ米国株価指数シリーズの一部であり、相互排他的な構成要素として利用可能である。つまり、この指標の構成銘柄は、S&P500 指数や S&P 中型株 400 指数の構成銘柄と重複していない。これらの指標を組み合わせると、S&P 総合 1500 指数となる。

### 指標のメソドロジー

ユニバース：全ての構成銘柄は米国企業でなければならない。

適格時価総額：4 億 5000 万ドル～21 億ドルの未調整時価総額を有する企業

公開株式：発行済み株式の 50%以上が浮動株でなければならない。

財務の健全性：通常、連続 4 四半期にわたる公表ベースの黒字利益で査定される。公表ベースの利益とは、一般会計原則 (GAAP) ベースの純利益から非継続事業と特別項目を除いたものである。

十分な流動性及び妥当な株価：活発なセカンダリー市場があり、流動性の高い普通株で構成される。

セクター・バランス：企業の業種分類により、セクター・バランスを維持する。定められた時価総額の範囲内において、適格企業のユニバースのセクター構成と同様のバランスを目指す。

企業タイプ：ニューヨーク証券取引所 (NYSE アーク証券取引所、NYSE アメリカン証券取引所を含む) 及びNASDAQ 株式市場に上場している全ての米国普通株式。REIT、ビジネス・デベロップメント・カンパニー (BDC) も指標構成銘柄の対象となる。クローズドエンド・ファンド、ETF、ADR、ADS、及びその他特定タイプの証券は、指標構成銘柄の対象となる。

### 概要

ウェイト付け方法	浮動株調整後の時価総額加重
リバランスの頻度	四半期ごと。各四半期の最終月の第 3 金曜日の取引終了後
算出の頻度	リアルタイム
算出通貨	米ドル、カナダドル、ユーロ、英ポンド、日本円
指標の算出開始日	1994 年 10 月 28 日

完全なメソドロジーなど詳しい情報については、[www.spdji.com](http://www.spdji.com) に公表されている。

### S&P 小型株 600 指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	1,356.07	2.99%	8.21%	22.78%	22.78%	8.36%	9.56%
プライス・リターン	1,021.18	2.79%	7.75%	20.86%	20.86%	6.81%	8%
ネット・トータル・リターン	1,289.78	2.93%	8.07%	22.2%	22.2%	7.89%	9.09%
							12.9%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

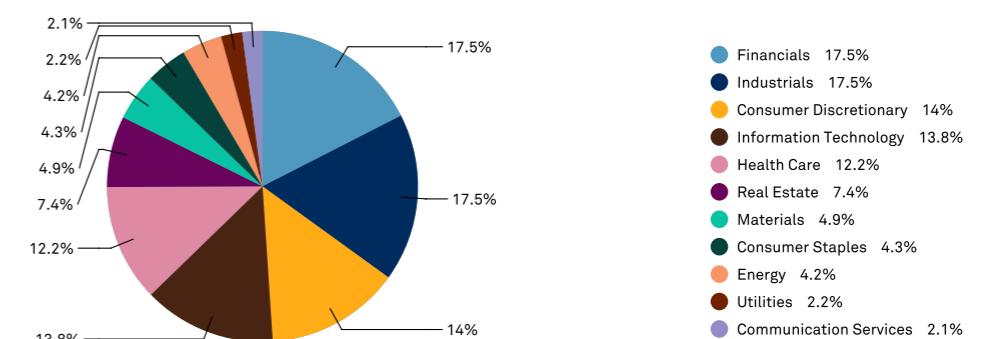
構成銘柄数	601
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	1,405.34
最大合計時価総額	6,789.51
最小合計時価総額	97.98
合計時価総額の中央値	1,212.96
Weight Largest Constituent [%]	0.8
Weight Top 10 Constituents [%]	5.1

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
The Medicines Company	MDCO	Health Care
Darling Ingredients Inc	DAR	Consumer Staples
LHC Group	LHCG	Health Care
Glacier Bancorp Inc	GBCI	Financials
Community Bank System	CBU	Financials
Exponent Inc	EXPO	Industrials
John Bean Technologies Corp	JBT	Industrials
TopBuild Corp	BLD	Consumer Discretionary
Strategic Education Inc	STRA	Consumer Discretionary
RH	RH	Consumer Discretionary

\*Based on GICS® sectors

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 総合 1500 指数

### 指標について

S&P 総合 1500 指数は米国株式における大型・中型・小型株のパフォーマンスに連動するように設計されている広範なベンチマークである。

S&P 総合 1500 指数は米国時価総額の約 91%を占め、S&P500 指数、S&P 中型株 400 指数、S&P 小型株 600 指数を組み合わせたものである（3つの指標の構成銘柄は重複していない）。

この指標は投資可能な米国株式市場の動きに連動している。この指標には、大型株に加えて中型株も含まれている。中型株は、小企業に特有な課題を上手く乗り越えた銘柄と考えられ、それほど規模が大きくないため、継続的な成長が見込まれる。さらに、この指標は小型株も組み入れている（超小型株は組み入れない）。小型株は、高成長が期待できる銘柄であると同時に、投資適格性や財務の健全性などに関する基準も満たしている。

### 指標のメソドロジー

ユニバース：S&P500 指数、S&P 中型株 400 指数、S&P 小型株 600 指数の適格要件を満たしている全ての銘柄。

適格時価総額：S&P500 指数は 53 億ドル以上、S&P 中型株 400 指数は 14 億ドル～59 億ドル、S&P 小型株 600 指数は 4 億ドル～18 億ドルの未調整時価総額を有する企業。

公開株式：発行済み株式の 50%以上が浮動株でなければならない。

財務の健全性：通常、連続 4 四半期にわたる公表ベースの黒字利益で査定される。公表ベースの利益とは、一般会計原則 (GAAP) ベースの純利益から非継続事業と特別項目を除いたものである。

十分な流動性及び妥当な株価：活発で奥の深い市場があり、非常に流動性の高い普通株で構成される。

セクター・バランス：企業の業種分類により、セクター・バランスを維持する。定められた時価総額の範囲内において、適格企業のユニバースのセクター構成と同様のバランスを目指す。

企業タイプ：ニューヨーク証券取引所 (NYSE アーカ証券取引所、NYSE アメリカン証券取引所を含む) 及びNASDAQ 株式市場に上場している全ての米国普通株式。REIT、ビジネス・デベロップメント・カンパニー (BDC) も指標構成銘柄の対象となる。クローズドエンド・ファンド、ETF、ADR、ADS、及びその他特定タイプの証券は、指標構成銘柄の対象となる。

### 概要

ウェイト付け方法 浮動株調整後の時価総額加重

リバランスの頻度 四半期ごと。各四半期の最終月の第 3 金曜日の取引終了後

算出の頻度 リアルタイム

算出通貨 米ドル

指標の算出開始日 1995 年 5 月 18 日

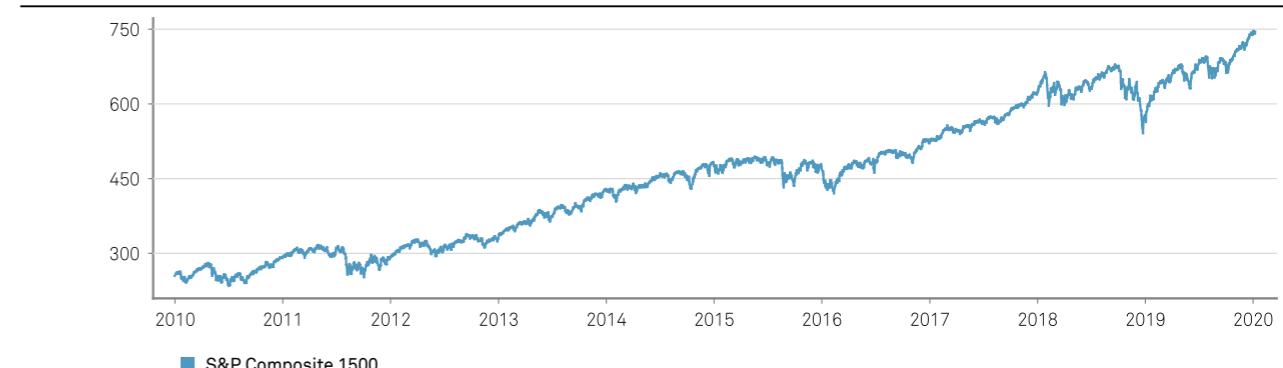
完全なメソドロジーなど詳しい情報については、[www.spdji.com](http://www.spdji.com) に公表されている。

### S&P 総合 1500 指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	1,176.52	3%	8.92%	30.9%	30.9%	14.65%	11.46%
プライス・リターン	740.69	2.84%	8.39%	28.34%	28.34%	12.44%	9.26%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	1506
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	20,515.04
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	97.98
合計時価総額の中央値	3,870.37
Weight Largest Constituent [%]	4.2
Weight Top 10 Constituents [%]	20.7

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
Amazon.com Inc	AMZN	Consumer Discretionary
Facebook Inc A	FB	Communication Services
Berkshire Hathaway B	BRK.B	Financials
JPMorgan Chase & Co	JPM	Financials
Alphabet Inc A	GOOGL	Communication Services
Alphabet Inc C	GOOG	Communication Services
Johnson & Johnson	JNJ	Health Care
Visa Inc A	V	Information Technology

\*Based on GICS® sectors

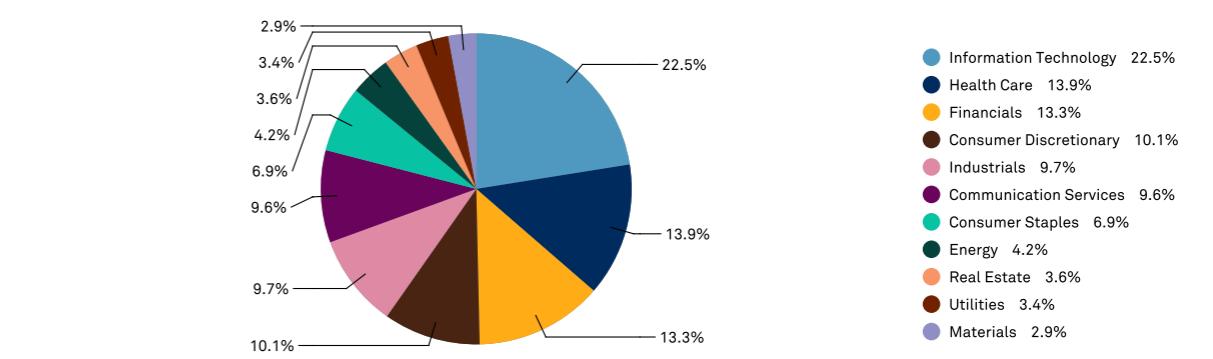
#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	95.68
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	288.57
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	249.1
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	989.87

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics) をご覧ください。

#### セクター別内訳



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P/ASX 200 指数

### 指数について

オーストラリア株式市場の代表的な測定手段を目指すS&P/ASX 200は、オーストラリア株式市場の時価総額の約80%をカバーしている。この指数はオーストラリアの投資可能なベンチマークとして認識されており、インデックス商品のベースや売買ツールとして使用可能である。

S&P/ASX 200は、ポートフォリオのベンチマークだけでなく十分な規模と流動性を具备した指数を求める投資マネージャーのニーズに応えるものである。市場全体を捕捉するベンチマーク指数であると同時に、より狭い分野を対象とする指数の流動性を維持することにより、この2つの目的に適うものとなっている。このユニークな組み合わせから、S&P/ASX 200はポートフォリオ管理と指標の複製に最適である。

S&P/ASX 200は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスのエコノミストと株価指数アナリストの計3名と、オーストラリア証券取引所(ASX)の代表者2名で構成するS&Pオーストラリア指標委員会が維持管理している。指標委員会は、メンバーが持つ国内とグローバルなレベルでの豊富な指標管理の経験を活用している。

### 指標のメソドロジー

S&Pオーストラリア指標委員会は公表されている一連のガイドラインに従って株価指標を維持管理している。これらのガイドラインの詳細は、指標の追加・除外基準、方針、リサーチを含め、当社ウェブサイト([www.spdji.com](http://www.spdji.com))で公表されている。これらのガイドラインは、投資家がS&P/ASX 200を複製してこの指標と同様のパフォーマンスを達成するために必要な透明性と公平性を提供している。

指標委員会は適切な時価総額と流動性を保証するために、四半期ごとに指標構成銘柄の見直しを実施している。時価総額と流動性の評価には、直近6ヶ月間相当のデータを使用している。四半期ごとの見直しによる変更は12月、3月、6月、9月の第3金曜日に発効する。指標構成銘柄のウェイトは、指標委員会が各銘柄について決定した浮動株調整後時価総額に基づき決定している。各指標構成銘柄の浮動株調整は、9月に行う四半期ごとの見直しの一環として行っている。

### 指標への追加基準

- 上場市場：いずれのS&P/ASX指標も、オーストラリア証券取引所に上場する銘柄のみを指標構成銘柄の対象とする。
- 時価総額：終値に基づく浮動株調整後時価総額の直近6ヶ月平均で評価する。
- 浮動株数：S&P/ASX指標の構成銘柄とするためには、浮動株比率が最低30%でなければならない。
- 流動性：いずれのS&P/ASX指標も、通常活発に取引きされている銘柄のみを指標構成銘柄の対象とする。

既存の指標構成銘柄を継続使用する場合は、必ずしもこれらのガイドラインに従わない。指標委員会は指標構成銘柄の不必要的入れ替えを最小限に留めるよう努めており、銘柄を除外する場合は、その都度判断している。

### 指標からの除外基準

- 指標への追加基準の一項目以上を著しく逸脱した銘柄。
- 合併、買収、大規模なリストラを実施したために追加基準を満たさなくなった銘柄。

### S&P/ASX 200指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	72,445.03	-2.17%	0.68%	23.4%	23.4%	10.26%	8.97%
プライス・リターン	6,684.07	-2.37%	-0.06%	18.38%	18.38%	5.66%	4.32%
ネット・トータル・リターン	68,651.8	-2.22%	0.59%	23.02%	23.02%	9.93%	8.64%
ベンチマーク*・トータル・リターン	71,658.65	-2.02%	0.71%	23.77%	23.77%	10.33%	9.07%
ベンチマーク*・プライス・リターン	6,647.74	-2.23%	-0.03%	18.77%	18.77%	5.77%	4.44%

\* The index benchmark is the S&P/ASX 300

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	200
構成銘柄の時価総額 [USD 100万]	
平均合計時価総額	9,563.64
最大合計時価総額	140,611.46
最小合計時価総額	622.64
合計時価総額の中央値	3,152.85
Weight Largest Constituent [%]	7.9
Weight Top 10 Constituents [%]	43.9

#### インデックス加重による構成銘柄トップ10

構成銘柄	銘柄コード	GICSセクター
Commonwealth Bank Australia	CBA	Financials
CSL Ltd	CSL	Health Care
BHP Group Ltd	BHP	Materials
Westpac Banking Corp	WBC	Financials
ANZ Banking Group	ANZ	Financials
National Australia Bank Ltd	NAB	Financials
Woolworths Group Ltd	WOW	Consumer Staples
Wesfarmers Ltd	WES	Consumer Discretionary
Macquarie Group Ltd	MQG	Financials
Telstra Corp Ltd	TLS	Communication Services

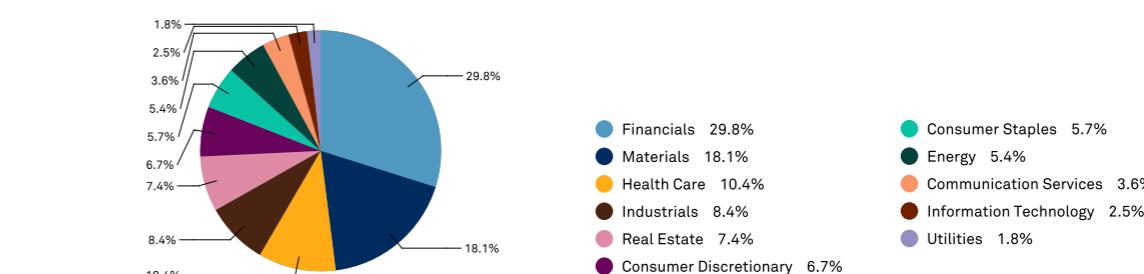
\*Based on GICS® sectors

#### ESG特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100万ドル) *	173.44
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100万ドル) *	457.5
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100万ドル) *	350.65
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100万ドル)	8,448.3

\*事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics)をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所: S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P/IFCI 指数

### 指標について

S&P/IFCI は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの代表的な新興国指数で、S&P 新興国プラス総合指数のうち流動性のある投資可能な部分に相当する。1988 年に開始して以来、長年定評のある S&P/IFCI は、指標を再現するポートフォリオをサポートするために十分に投資可能であることを目指している。

S&P/IFCI には、韓国を含めて S&P 新興国プラス総合指数に採用されたすべての国が含まれる。各国のウェイトは指標全体の 0.4% 以上としているが、既存の採用国が 0.4% を下回った場合でも、0.3% を上回るときには除外しないこととしている。

S&P/IFCI は、投資家に世界の株式市場を幅広く測定する手段を提供する S&P グローバル株価指数の一部を構成する。このシリーズには、ほかにも S&P グローバル総合指数や S&P フロンティア総合指数がある。

### 適格銘柄の基準

- 時価総額：浮動株調整後時価総額が 2 億米ドル以上の銘柄とする。指標構成銘柄の年次の見直し時に、2 億米ドルを下回るもの 1.5 億米ドルを上回る銘柄は、引き続き採用する。
- 浮動株調整：各銘柄のウェイトは浮動株調整後時価総額に基づいて判断する。
- 本拠地：株式の本拠地は、企業の本社所在地、企業の登録・設立地、主たる上場市場、地域別の売上構成、固定資産の所在地、営業地域、役員の居住地等の複数の基準に基づいて判断する。
- 適格な証券の種類：投資可能な発行市場のすべての株式クラスとする。各株式クラスとも独自の浮動株修正係数 (IWF) に従って浮動株を調整する。
- 不適格な証券の種類：固定配当株式、投資信託、ユニット型投資信託、ミューチュアルファンド株式、クローズドエンド型ファンド、転換社債、株式ワント、リミテッド・パートナーシップ（投資事業有限責任組合）。
- 複数の株式クラス：各株式クラスについて個別の IWF を算出する。適格銘柄の基準を満たし、かつ外国人投資家が保有可能な株式クラスであれば構成銘柄とする。
- 外国人の投資制限：指標の算出に用いる株式数を減じ、外国人投資家による投資限度または投資制限を反映させる。各國政府が特定の産業やすべての上場株式に対してこのような制限を課す場合がある。また、個別企業が内規に従って外国人投資家を制限する場合もある。
- セクタ分類：世界産業分類基準 (GICS®) に従って銘柄を分類する。

指標のメソドロジーについての詳細は、当社ウェブサイト ([www.spdji.com](http://www.spdji.com)) で公表されている。

### S&P/IFCI 指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	1,787.19	7.25%	11.43%	18.09%	18.09%	11.78%	6.28%
プライス・リターン	813.09	6.92%	10.9%	14.79%	14.79%	8.77%	3.48%
ベンチマーク *・トータル・リターン	458.1	3.57%	9.14%	26.76%	26.76%	12.6%	8.87%
ベンチマーク *・プライス・リターン	279.6	3.4%	8.65%	23.65%	23.65%	9.91%	6.25%
ベンチマーク *・ネット・トータル・リターン	361.97	3.53%	9.02%	26.07%	26.07%	12.01%	8.29%
							8.88%

\* The index benchmark is the S&P Global BMI (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	3675
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	5,795.06
最大合計時価総額	1,879,348.49
最小合計時価総額	26.31
合計時価総額の中央値	1,703.53
Weight Largest Constituent [%]	4.5
Weight Top 10 Constituents [%]	20.1

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

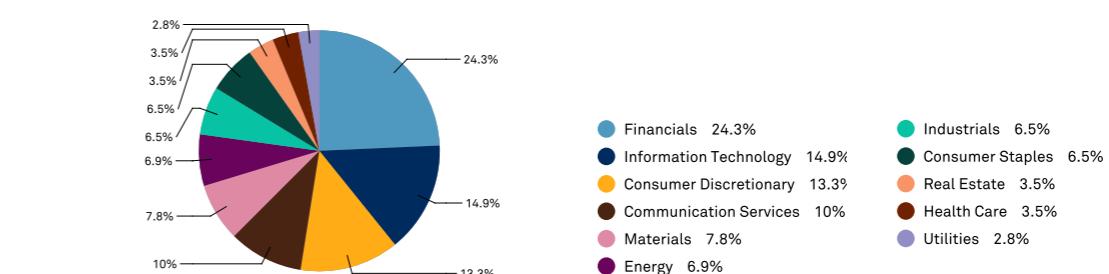
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Alibaba Group Holding Ltd ADR	BABA	Consumer Discretionary
Tencent Holdings Ltd.	00700	Communication Services
Samsung Electronics Co	005930	Information Technology
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	2330	Information Technology
China Construction Bank Corp H Shares	00939	Financials
Naspers Ltd N	NPN	Consumer Discretionary
HDFC Bank Ltd	500180	Financials
Reliance Industries Ltd	500325	Energy
Ping An Insurance (Group) Co of China Ltd H Shares	02318	Financials
Industrial and Commercial Bank of China Ltd H Shares	01398	Financials

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	283.55
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	436.43
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	465.25
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	9,032.19

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics) をご覧ください。

#### セクタ別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P フロンティア総合指数

### 指標について

S&P フロンティア総合指数は比較的規模が小さく、流動性の低い36市場のパフォーマンスを測定する。各国の指標には、企業規模及び流動性を考慮した上で各市場の上場株式が含まれる。

S&P フロンティア総合指数は、80を超える全世界の1万社超の銘柄を幅広くカバーするS&P グローバル株価指数の一部を構成する。このシリーズには、ほかにもS&P グローバル総合指標やS&P/IFCIがある。フロンティア市場は規模が小さく、投資可能性が限られ、入手可能な情報が少ないという特徴があることから、S&P フロンティア総合指標は別個に算出しており、S&P グローバル総合指標の計算には含まれない。

### 採用国基準

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは投資家の関心と利用可能性の観点から、潜在的なフロンティア市場を分析しており、市場の出来高、上場銘柄数、少なくとも外国人投資家の関心を集めているかを考慮する。また、市場の発展見通しも考慮に入れており、特に市場の幅、深み、通常のフロンティア指標の算出に必要なインフラの発展が見込まれるかどうかを重視する。

### 適格銘柄の基準

- 時価総額及び流動性：各国の取引状況を正確に反映するために、3つの市場規模ごとに定義されている企業規模及び流動性規則に則り対象銘柄が選択される。
- 本拠地：株式の本拠地は、企業の本社所在地、企業の登録・設立地、主たる上場市場、地域別の売上構成、固定資産の所在地、営業地域、役員の居住地等の複数の基準に基づいて判断する。
- 適格な証券の種類：投資可能な発行市場のすべての株式クラスとする。固定配当株式、投資信託、ユニット型投資信託、ミューチュアルファンド株式、クローズドエンド型ファンド、転換社債、株式ワラント、リミテッド・パートナーシップ（投資事業有限責任組合）は不適格とする。
- 複数の株式クラス：各株式クラスについて個別の浮動株修正係数（IWF）を算出する。適格銘柄の基準を満たし、かつ外国人投資家が保有可能な株式クラスであれば構成銘柄とする。
- 外国人の投資制限：指標の算出に用いる株式数を減じ、外国人投資家による投資限度または投資制限を反映させる。各國政府が特定の産業やすべての上場株式に対してこのような制限を課す場合がある。また、個別企業が内規に従って外国人投資家を制限する場合もある。

指標のメソドロジーについての詳細は、当社ウェブサイト ([www.spdji.com](http://www.spdji.com)) で公表されている。

新規追加指標

株式

債券

コモディティ

不動産・テック

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資



### S&P フロンティア総合指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	140.77	-3.15%	-4.59%	-11.82%	-11.82%	6.45%	1.82%
プライス・リターン	97.23	-3.22%	-4.87%	-14.71%	-14.71%	2.66%	-1.79%
ベンチマーク*・トータル・リターン	437.93	-2.68%	-5.93%	-13.53%	-13.53%	9.28%	2.58%
ベンチマーク*・プライス・リターン	252.60	-2.80%	-6.21%	-15.90%	-15.90%	6.37%	-0.16%
ベンチマーク*・ネット・トータル・リターン	479.52	-2.69%	-5.96%	-13.80%	-13.80%	8.94%	2.27%
							8.59%

\* The index benchmark is the S&P Emerging BMI (US Dollar)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

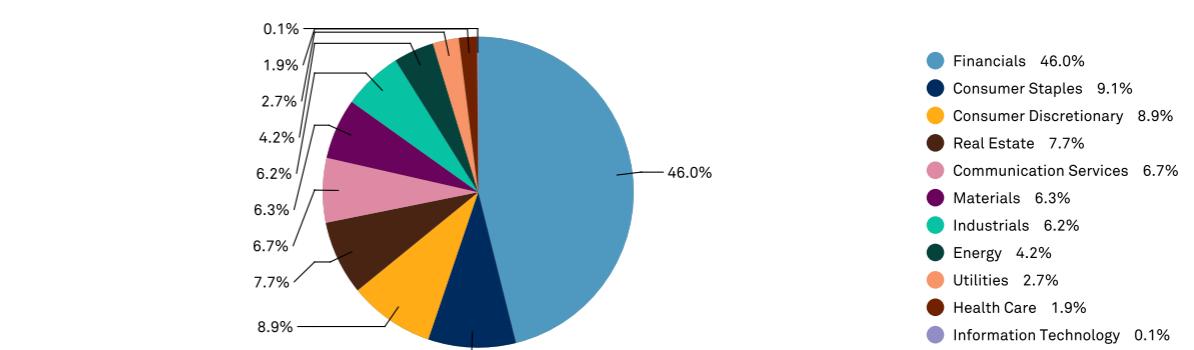
構成銘柄数	593
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	878.69
最大合計時価総額	17,065.40
最小合計時価総額	2.24
合計時価総額の中央値	280.60
Weight Largest Constituent [%]	6.4
Weight Top 10 Constituents [%]	24.5

#### インデックス加重による構成銘柄トップ10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Mercadolibre inc	MELI	Consumer Discretionary
National Bank of Kuwait	NBK	Financials
Kuwait Finance House	KFH	Financials
Vincom JSC	VIC	Real Estate
Attijariwafa Bank	ATW	Financials
Arab Bank	ARBK	Financials
Mobile Telecommunications Co	ZAIN	Communication Services
Viet Nam Dairy Products JSC	VNM	Consumer Staples
Ahli United Bank	AUB	Financials
Empresa General de Inversione:	EGIN	Financials

\*Based on GICS® sectors

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P シャリア指数シリーズ

### 指数シリーズについて

S&P シャリア指数シリーズは、イスラム法（シャリア）に適合した一連の投資ソリューションを投資家に提供する目的で設計されている。この指数シリーズは、地域別と国別の投資可能な指数で構成されている。

この指数シリーズには、次の指数が含まれる。

- S&P 500 Shariah
- S&P Pan Arab Shariah
- S&P Europe 350 Shariah
- S&P Global BMI Shariah
- S&P Global 1200 Shariah
- S&P Global Property Shariah
- S&P Japan 500 Shariah
- S&P Pan Asia Shariah
- S&P/TOPIX 150 Shariah
- S&P Frontier BMI Shariah
- S&P/TSX 60 Shariah
- S&P BSE 500 Shariah
- S&P BRIC Shariah1
- S&P South Africa Composite Shariah
- S&P Global Infrastructure Shariah
- S&P GCC Composite Shariah Dividend Index
- S&P GCC Shariah
- S&P Pan Arab Composite Shariah Dividend Index
- S&P/IFCI LargeMidCap Shariah
- S&P High Yield Dividend Aristocrats Shariah
- S&P China LargeMidCap Shariah 10% Capped

それぞれの市場を代表する各シャリア指数は元指数と高い相関性を示しており、イスラム法に従って定義された明確な選定基準を採用しつつ、元指数に匹敵する投資可能なポートフォリオを投資家に提供している。独立的なリサーチ会社である Ratings Intelligence Partners (RI 社) が、シャリア委員会に従うよう各元指数に含まれる銘柄を選別している。

### シャリア

シャリアとは、コーランの教義にもとづくイスラム法である。元指数の構成銘柄をシャリア適合性の観点から選別し、シャリア指数の構成銘柄としている。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス指標委員会は RI 社の協力を得て、独立的かつ客観的な一連のガイドラインを適用することにより、各シャリア指数を毎日維持管理している。詳細は当社ウェブサイト ([www.spidji.com](http://www.spidji.com)) で公表されている。S&P 株価指標の構成銘柄に適用するシャリア適合性審査の枠組みは、次の通りである。

- Ratings Intelligence Partners : ロンドンとクウェートに拠点を持つコンサルティング会社で、世界のイスラム市場の投資ソリューションを専門とする。RI 社は適格なイスラム研究者のチームであり、シャリア監督委員会と直接協力している。また、RI 社はシャリアに適合する株式商品を開発し、投資商品を拡充するために常に地域の銀行と協力している。
- シャリア監督委員会: イスラム法学者で構成され、指標に関するビジネス上の問題の解釈や、行動の推奨を行っている。委員会のメンバーは次の通りである。
  - Dr. Muhammad Ali Elgari - カリフォルニア大学（米国）経済学博士
  - Dr. Nazih Hammad - カイロ大学（エジプト）イスラム法学博士
  - Dr. Mohammad Amin Ali-Qattan - バーミンガム大学（英国）イスラム金融学博士
  - Dr. Mohd Baker - セント・アンドリュース大学（米国）

### 指標のメソドロジー

元指標の構成銘柄に対するシャリア適合性審査は、通常、次の主要 2 分野に分類される。

- セクター審査：一部の業種が販売する製品・サービスは、イスラム法上許容されないか、または不適合とみなされる。ギャンブル、投資運用、ポルノ、酒類などがこれに該当する。
- 会計審査：一部の企業の財務比率は適合性基準を逸脱している可能性がある。レバレッジ、現金、シャリア不適合事業の売上構成比率の 3 項目に着目する。これらすべての審査項目を継続的に監視する。

上記の制限の一部は絶対的でない場合があるため、シャリア監督委員会は各指標、各銘柄、またはその他類似の方法で個別に適合性を判断する。

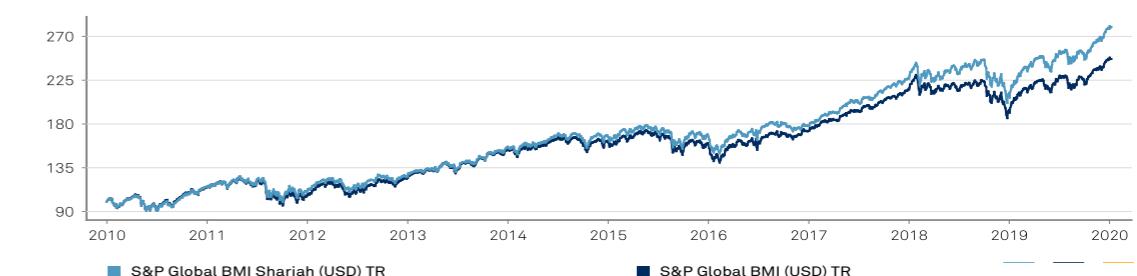
### S&P シャリア指標シリーズ

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	232.27	3.65%	10.14%	31.2%	31.2%	16.06%	10.79%
プライス・リターン	179.61	3.54%	9.77%	28.76%	28.76%	13.86%	8.62%
ネット・トータル・リターン	458.1	3.57%	9.14%	26.76%	26.76%	12.6%	8.87%
ベンチマーク *・プライス・リターン	279.6	3.4%	8.65%	23.65%	23.65%	9.91%	6.25%
ベンチマーク *・ネット・トータル・リターン	361.97	3.53%	9.02%	26.07%	26.07%	12.01%	8.29%

\* The index benchmark is the S&P Global BMI (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	4652
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	8,290.73
最大合計時価総額	1,879,348.49
最小合計時価総額	28.91
合計時価総額の中央値	1,380.42
Weight Largest Constituent [%]	4.2
Weight Top 10 Constituents [%]	18.6

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

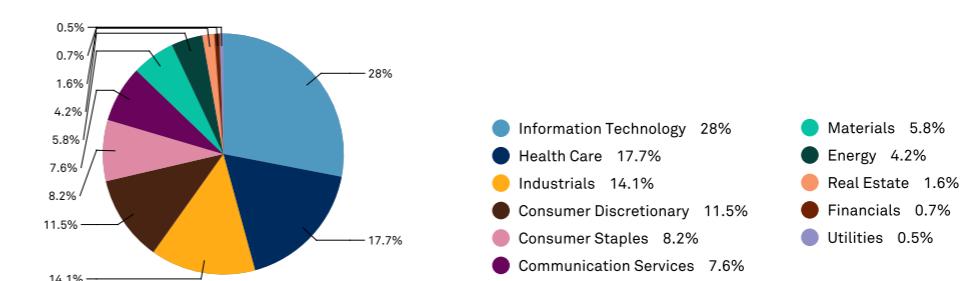
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
Facebook Inc A	FB	Communication Services
Alphabet Inc A	GOOGL	Communication Services
Alphabet Inc C	GOOG	Communication Services
Johnson & Johnson	JNJ	Health Care
Alibaba Group Holding Ltd ADR	BABA	Consumer Discretionary
Nestle SA Reg	NESN	Consumer Staples
Visa Inc A	V	Information Technology
Procter & Gamble	PG	Consumer Staples

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	102.55
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	322.71
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	206.72
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	2,515.2

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spidji.com/esg-metrics](http://www.spidji.com/esg-metrics) をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P/BMV IPC メキシコ指数

### 指標について

S&P/BMV IPC メキシコ指数はメキシコ証券取引所の上場銘柄の中で最も時価総額が大きく、最も流動性の高い銘柄のパフォーマンスを測定する。この指標は、メキシコ株式市場を代表する銘柄を幅広くカバーしている一方で、容易に複製可能な指標となるように設計されている。構成銘柄は修正後時価総額により加重され、分散要件を満たす必要がある。S&P/BMV IPC はメキシコ証券取引所の上場銘柄の中で最も時価総額が大きく、最も流動性の高い銘柄のパフォーマンスを測定する。この指標は、メキシコ株式市場を代表する銘柄を幅広くカバーしている一方で、容易に複製可能な指標となるように設計されている。構成銘柄は修正後時価総額により加重され、分散要件を満たす必要がある。

### 指標のメソドロジー

- ユニバース：**構成銘柄は、メキシコ証券取引所に上場している銘柄である必要がある。ただし、不動産投資信託 (Fideicomiso de Inversión en Bienes Raíces または FIBRAS) やモーゲージ・トラストを除く。
- 浮動株修正係数 (IWF)：**銘柄は、浮動株修正係数が 0.10 以上である必要がある。
- VWAP 浮動株調整後時価総額：**出来高加重平均価格 (VWAP) 浮動株調整後時価総額は、100 億メキシコペソ（現在の構成銘柄については 80 億メキシコペソ）以上である必要がある。VWAP 浮動株調整後時価総額は、発行済み株数に、企業に割り当てられた IWF と過去 3 ヶ月間にわたる VWAP を乗じて算出される。
- 取引実績：**取引実績基準は以下の通り。
  - 銘柄は、3 ヶ月以上の取引実績を有している必要がある。
  - 銘柄は、過去 6 ヶ月における取引可能な日数の 95% 以上で取引されている必要がある。
  - 取引実績が 6 ヶ月に満たない銘柄（例えば、新規公開株など）に関して、95% の基準は利用可能な取引実績に対して適用される。

**複数シェア・クラス：**企業が複数のシェア・クラスを有している場合、過去 6 ヶ月間における月次取引額レシオ (MTVR) に基づいて最も流動性の高いシェア・クラスが選択される。

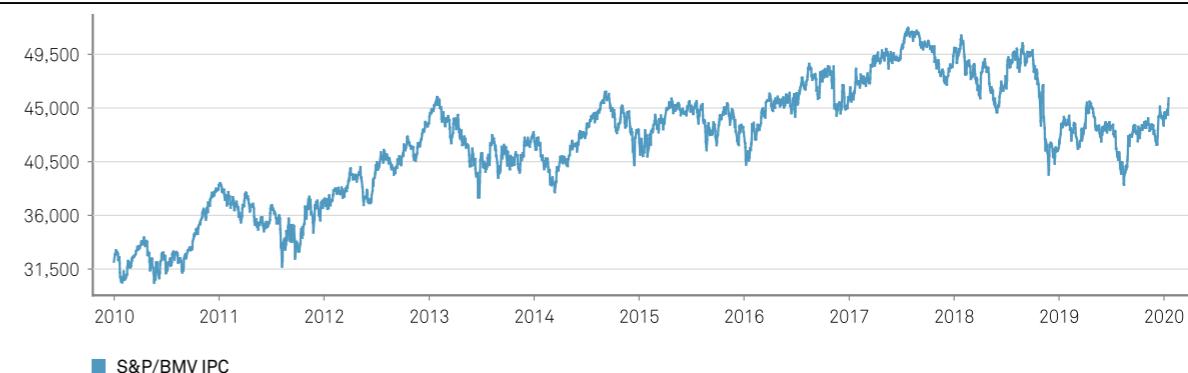
- 構成銘柄の選択：**選択ユニバースの全ての銘柄は、リバランス参照日時点のデータを用いて、流動性基準に基づいて評価される。
  - 銘柄は、過去 3 ヶ月間及び過去 6 ヶ月間における 1 日当たり平均売買代金の中央値 (MDTV) が 5,000 万メキシコペソ以上（現在の構成銘柄については 3,000 万メキシコペソ）である必要がある。
  - 銘柄は、過去 3 ヶ月間及び過去 6 ヶ月間における年率換算の取引額レシオの中央値 (MTVR) が 25% 以上である必要がある。
  - 現在の構成銘柄の過去 3 ヶ月間及び過去 6 ヶ月間における年率換算の取引額レシオの中央値 (MTVR) が 15% 以上の場合、これらの銘柄は依然として適格である。
- 構成銘柄のウェイト付け：**この指標は修正後時価総額に基づいて加重される。単一銘柄のウェイトは 25% を超えることはできない。上位 5 銘柄のウェイトの合計は 60% を超えることはできない。

### S&P/BMV IPC メキシコ指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	61,266.94	1.8%	2.01%	7.92%	7.92%	0.99%	2.48%
プライス・リターン	43,541.02	1.68%	1.23%	4.56%	4.56%	-1.56%	0.18%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	35
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	152,578.77
最大合計時価総額	945,534.97
最小合計時価総額	18,544.13
合計時価総額の中央値	84,672
Weight Largest Constituent [%]	13.4
Weight Top 10 Constituents [%]	69.9

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
America Movil SAB de CV L	AMX L	Communication Services
Fomento Economico Mexicano S.	FEMSA UBD	Consumer Staples
Walmart de Mexico SAB de CV	WALMEX *	Consumer Staples
Grupo Financiero Banorte O	GFNORTE O	Financials
Grupo Mexico SAB de CV B	GMEXICO B	Materials
Grupo Televisa SAB CPO	TLEVISA CPO	Communication Services
Cemex SA CPO	CEMEX CPO	Materials
Grupo Aeroportuario del Pacifico	GAP B	Industrials
Grupo Elektra S.A.B. de C.V.	ELEKTRA *	Financials
Grupo Aeroportuario del Sureste	ASUR B	Industrials

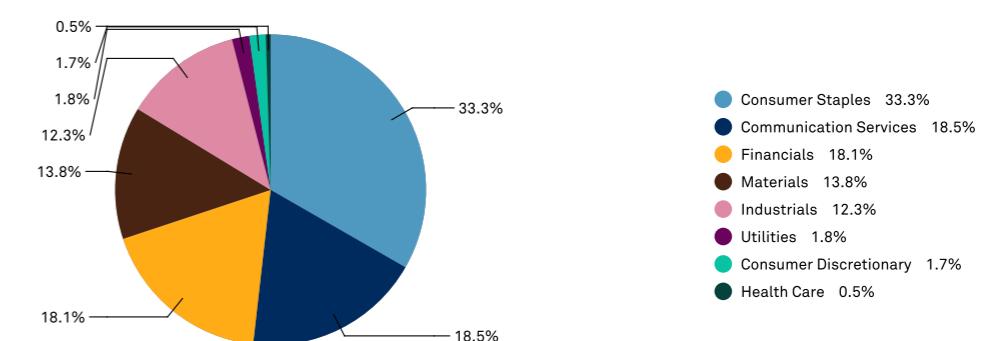
\*Based on GICS® sectors

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	237.24
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	547.18
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	417.62
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	0

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P/TOPIX 150 指数

### 指標について

東京証券取引所と共同開発したS&P/TOPIX 150は、日本の投資可能な株式市場の約70%をカバーする株価指数である。この指標は、効率的に複製できる指標を通じて市場全体へのエクスポージャーを構築したい投資家のために設計されている。S&P/TOPIX 150は世界産業分類基準(GICS®)の各セクターから選んだ150の代表的な優良銘柄で構成されており、S&P日本株指数における大型株指数に位置づけられる。各銘柄について規模、流動性、セクターの各側面が分析される。

S&P500やその他の5種類の地域指標と同様に、S&P/TOPIX 150はS&Pグローバル1200の日本部分を構成する。

### 指標のメソドロジー

S&P/TOPIX指標委員会は公表された一連のガイドラインに従って株価指標を維持管理している。これらのガイドラインの詳細は、指標の追加・除外基準、方針、リサーチを含め、当社ウェブサイト([www.spdji.com](http://www.spdji.com))で公表されている。これらのガイドラインは、投資家がS&P/TOPIX 150を複製してこの指標と同様のパフォーマンスを達成するために必要な透明性と公平性を提供している。

### 指標への追加基準

- 時価総額：東京証券取引所上場の大型株。
- 浮動株数：各企業の発行済み株式数に浮動株修正係数(IWF)を適用する。各企業のIWFは政府、企業、戦略的パートナー、その他個人の保有株式数を調整している。新規追加銘柄は、浮動株が発行済み株式数50%以上でなければならない。
- 流動性：売買代金で見て高い流動性があること。
- 本拠地：日本で設立され、東京証券取引所に上場する企業とする。
- 適格な証券の種類：普通株式と優先株式（株式であって債券の性質でないもの）はすべて適格とする。転換予約権付株式、債券、ワラント、権利、固定配当保証の優先株式は不適格とする。
- リバランス：必要に応じて行われる。通常、銘柄が除外された場合、新しい銘柄が追加される。
- セクター分類：世界産業分類基準(GICS®)に従って銘柄を分類する。S&P・ダウ・ジョーンズ・インデックスのグローバル株価指標は、GICS®の10セクター全体にわたって地理的なバランスと経済的なバランスを取っている。

既存の指標構成銘柄を継続使用する場合は、必ずしもこれらのガイドラインに従わない。指標委員会は指標構成銘柄の不必要的入れ替えを最小限に留めるよう努めており、銘柄を除外する場合は、その都度判断している。

### 指標からの除外基準

- 指標への追加基準の一項目以上を著しく逸脱した銘柄。
- 合併、買収、大規模なリストラを実施したために追加基準を満たさなくなった銘柄。

### S&P/TOPIX 150 指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	1,998.51	1.34%	8.12%	19.26%	19.26%	6.99%	6.15%
プライス・リターン	1,420.39	1.19%	7.98%	16.25%	16.25%	4.48%	3.77%
ベンチマーク*・トータル・リターン	2,207.31	1.33%	8.32%	18.13%	18.13%	6.74%	6.26%
ベンチマーク*・プライス・リターン	1,572.72	1.17%	8.16%	15.27%	15.27%	4.37%	4%
							6.56%

\* The index benchmark is the S&P Japan 500

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	150
構成銘柄の時価総額 [USD 100万]	
平均合計時価総額	2,697,670.14
最大合計時価総額	25,170,758.86
最小合計時価総額	448,103.88
合計時価総額の中央値	1,810,616.78
Weight Largest Constituent [%]	5.7
Weight Top 10 Constituents [%]	23.8

#### インデックス加重による構成銘柄トップ10

構成銘柄	銘柄コード	GICSセクター
Toyota Motor Corp	7203	Consumer Discretionary
Sony Corp	6758	Consumer Discretionary
SoftBank Group Corp	9984	Communication Services
Mitsubishi UFJ Financial Group	8306	Financials
Keyence Corp	6861	Information Technology
Takeda Pharmaceutical Co Ltd	4502	Health Care
Nippon Tel & Tel Corp	9432	Communication Services
Recruit Holdings Co Ltd	6098	Industrials
Honda Motor Co	7267	Consumer Discretionary
Sumitomo Mitsui Financial Gro	8316	Financials

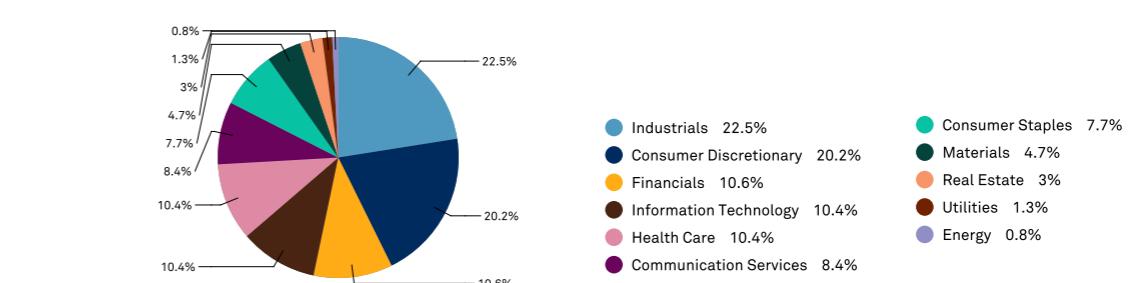
\*Based on GICS® sectors

#### ESG特性

投資額当り炭素排出量(二酸化炭素換算トン / 投資100万ドル)*	128.94
炭素効率(二酸化炭素換算トン / 売上高100万ドル)*	159.73
炭素効率加重平均(二酸化炭素換算トン / 売上高100万ドル)*	152.02
化石燃料埋蔵量の排出量(二酸化炭素換算トン / 投資100万ドル)	409.38

\*事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics)をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 日本地域別指数 —東海—

### 指標について

S&P 日本地域別指標 — 東海 — は、日本国内に本社を置く日本企業の株式へのエクスポージャーを提供するベンチマークを求める投資家のニーズに応えるために、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが提供する指標である。この指標は、本社が東海地方（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）に所在し、かつ流動性の高い大型株 50 銘柄のパフォーマンスを測定する。

S&P 日本地域別指標 — 東海 — は、S&P グローバル総合指標を構成する投資可能な指標である S&P 日本総合指標をもとにしており、S&P 日本総合指標は日本の株式市場へのエクspoージャーの提供を目的としている。S&P グローバル総合指標は、世界の株式市場のパフォーマンスを測定する総合的かつルールに基づく指標であり、透明性の高いモジュール構造を持つ唯一のグローバル株価指標である。また、1989 年の開始以来、浮動株調整されている。

### 適格性基準

S&P 日本地域別指標 — 東海 — は、東海地方（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）に本社を置く企業のみを対象としている。また、リバランスの参照日現在で 3 カ月の 1 日平均売買代金が 5,000 万円以上、かつ 3 カ月の 1 日平均売買回転率が 0.1% 以上の銘柄とする。この基準を満たす銘柄のうち、浮動株調整後時価総額が上位 50 の銘柄を選定する。

### 指標の構築

S&P 日本地域別指標 — 東海 — の算出には、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指標の算出に用いる除数のメソドロジーを用いて、修正時価総額加重方式を採用している。浮動株数を反映し、かつ単一の銘柄への偏りを減らすために、各構成銘柄の時価総額ウェイトに修正を加え、指標の年次調整日に 1 つの銘柄が 10% 以上のウェイトを持たないようにする。ウェイトが 10% を超えた部分については、その指標内の相対ウェイトに応じて、他の構成銘柄に相応の比率を再配分する。

この指標は毎年 9 月の第 3 金曜日の市場取引終了後にリバランスを行い、データの参照日を 8 月の最終取引日とする。構成銘柄を追加する場合は、リバランス時にのみ行う。企業の規模や流動性に影響を及ぼす合併、買収、上場廃止、重要なコーポレート・イベントが発生した場合には、リバランス時以外にも構成銘柄を除外する場合がある。

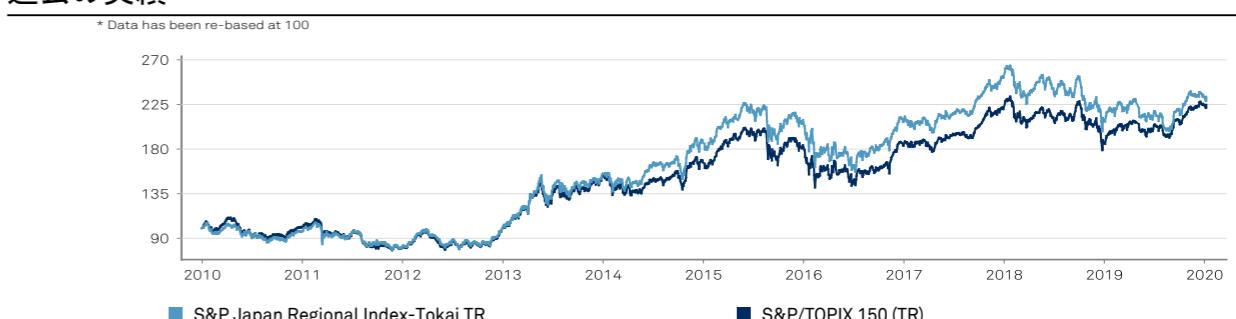
### S&P 日本地域別指標 — 東海 —

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	3,597.44	-0.04%	6.64%	10.39%	10.39%	3.93%	4.51%
プライス・リターン	2,770.98	-0.14%	6.53%	8%	8%	1.91%	2.57%
ベンチマーク *・トータル・リターン	1,998.51	1.34%	8.12%	19.26%	19.26%	6.99%	6.15%
ベンチマーク *・プライス・リターン	1,420.39	1.19%	7.98%	16.25%	16.25%	4.48%	3.77%
							6.12%

\* The index benchmark is the S&P/TOPIX 150

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	50
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	1,143,231.61
最大合計時価総額	25,170,758.86
最小合計時価総額	88,433.41
合計時価総額の中央値	360,832.01
Weight Largest Constituent [%]	9.7
Weight Top 10 Constituents [%]	59.2

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Toyota Motor Corp	7203	Consumer Discretionary
Central Japan Railway Co	9022	Industrials
Denso Co	6902	Consumer Discretionary
Suzuki Motor Corp	7269	Consumer Discretionary
Toyota Industries Corp	6201	Consumer Discretionary
Chubu Electric Power Co	9502	Utilities
Makita Corp	6586	Industrials
Yamaha Corp	7951	Consumer Discretionary
Toyota Tsusho Corp	8015	Industrials
Asahi Intecc Co Ltd	7747	Health Care

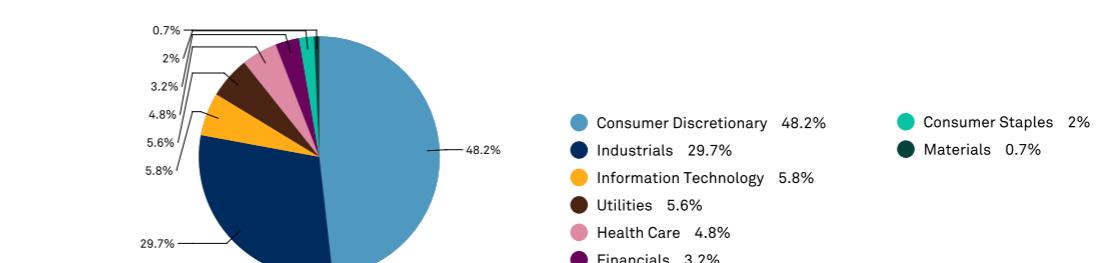
\*Based on GICS® sectors

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	55.31
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	83.83
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	113.86
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	39.56

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P/ASX オーストラリア債券指数シリーズ

### 指標シリーズについて

S&P/ASX オーストラリア債券指数シリーズは、指標算出方法書に記載される投資可能基準を満たすオーストラリア債券市場のパフォーマンスを測定するように設計された広範なベンチマーク指数である。このシリーズは、機関投資家の運用マネジャー、マネージド及びスーパー・アニュエーション・ファンド、及びプロフェッショナル・アドバイザーによる幅広く利用可能である。

### S&P と ASX の提携関係

S&P と ASX には、国内及びグローバルにわたり債券市場や株式市場にサービスを提供してきた長い実績がある。この度、既存の S&P/ASX 株価指数シリーズに S&P/ASX オーストラリア債券指数シリーズが加わった。全ての資産クラスにおいて網羅的に投資可能な指標を提供している。

### S&P/ASX オーストラリア債券指数

S&P/ASX オーストラリア債券指数は代表的な債券指標である。この指標は、オーストラリアの固定利付債市場のパフォーマンスを測定する。同指標は、償還期限 1 年以上の現地市場で発行された豪ドル建ての投資可能な投資適格債全てを細分化した広範な時価総額加重ベンチマークである。また、同指標は、定められた償還区分とセクター別指標全てにわたって提供される。償還区分指標は以下の通り：

- 0 - 3 years
- 0 - 5 years
- 0 - 10 years
- 0 - 15 years
- 0 - 20 years
- 1 - 5 years
- 5 - 10 years
- 10 - 15 years
- 15 - 20 years
- 1+ years
- 10+ years
- 15+ years
- 20+ years

セクター別指標は以下の通り：

- S&P/ASX 国債指標。連邦債指標及び州政府債指標を構成するすべての銘柄。
- S&P/ASX 連邦債指標。オーストラリア政府が発行する債券（国債）で、適格性基準を満たすものからなる。
- S&P/ASX 州政府債指標。州政府と特別地域が発行する債券で、適格性基準を満たすものからなる。
- S&P/ASX 社債指標。オーストラリア企業が発行する債券及びカンガルー債で、適格性基準を満たすものからなる。
- S&P/ASX 國際機関債・ソブリン債指標。国際機関債とは、加盟国の経済発展を促進するために 2 ヶ国以上の中央政府が設立した機関が発行する債券として定義する。

### 指標構成銘柄の判断基準

指標の構成銘柄となるためには、特に以下の基準を満たさなくてはならない。

- 通貨。オーストラリア市場で発行される豪ドル建て債券のみ。
- 偿還。指標に組み入れる月の最終営業日から起算して 1 年以上であること。
- 格付け。スタンダード & プアーズまたはムーディーズのいずれか、或いはオーストラリアの主要格付け機関による格付けが、最低でも BBB-/Baa3 以上であること。
- 発行残高規模。国債以外の場合、リバランス時点での発行残高額面が最低でも 1 億豪ドル以上、国債及び州政府債の場合、2 億 5,000 万豪ドル以上であること。

適格性基準の完全なリストは、S&P 指標ウェブサイト [www.spdji.com](http://www.spdji.com) から入手できる指標算出方法の中に記載されている。

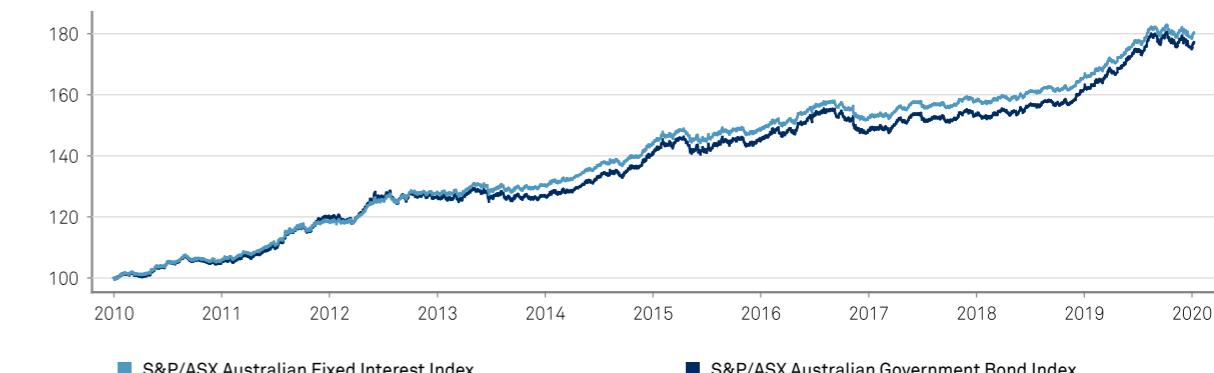
### S&P/ASX オーストラリア債券指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	161.76	-1.83%	-1.5%	7.67%	7.67%	5.36%	4.33%
ベンチマーク *・トータル・リターン	160.24	-2.22%	-2.01%	8.17%	8.17%	5.64%	4.39%

\* The index benchmark is the S&P/ASX Australian Government Bond Index

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

MARKET VALUE OUTSTANDING [AUD MILLION]	993,615.2
NUMBER OF CONSTITUENTS	520
TOTAL PAR VALUE [AUD MILLION]	883,170.36
PAR WEIGHTED COUPON	3.65%
WEIGHTED AVERAGE MATURITY	6.96 Yrs
PAR WEIGHTED PRICE	111.67
YIELD TO MATURITY	1.39%
MODIFIED DURATION	5.97
10-YEAR HISTORICAL INDEX LEVEL HIGH [OCTOBER 07, 2019]	165.84
10-YEAR HISTORICAL INDEX LEVEL LOW [JANUARY 04, 2010]	90.28

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P/LSTA 米国レバレッジ・ローン 100 指数

### 指標について

S&P/LSTA 米国レバレッジド・ローン 100 指数は、市場ウェイト、スプレッド、金利支払いにもとづく基準により「最大」と判定されたインスティテューションナル（機関投資家型）レバレッジド・ローンの時価加重済パフォーマンスに追随することを目指す。当指数は、上位ベンチマークである S&P/LSTA（ローン・シンジケーションズ・アンド・トレーディング・アソシエーション）レバレッジド・ローン指数（LLI）供与されたローン 100 本で構成している。

### 指標への組み入れ基準

- S&P/LSTA レバレッジド・ローン指数ユニバースに含まれるシンジケート方式レバレッジド・ローンすべてを組み入れ対象とする。シンジケート方式タームローンは、発行時に以下の基準を満たす場合のみ、LLI の組み入れ対象とする。
  - シニア担保付であること
  - 当初設定満期が最低 1 年以上であること
  - 当初設定スプレッドが LIBOR プラス 125 ベース・ポイント以上であること
  - 米ドル建てであること
- 額面残高：S&P/LSTA 米国レバレッジド・ローン 100 指数は、S&P/LSTA レバレッジド・ローン指数の構成銘柄のうち、額面残高で最大金額となる第一順位担保権付きローンの中から構成される。
- 国籍：この指標は発行国にかかわらず、すべての発行体をカバーする。ただし、供与するローンはすべて米ドル建てであること。
- ローンキャップ 2%：週次レビューの都度、指標の時価総額加重の 2%を超えるローンを削減し、1.90%となるよう調整する。
- CUSIP コード：構成銘柄はすべて、公的な CUSIP コードが割り当てられていること。

### 指標変更のタイミング

- 指標からの除外：週次で除外レビューを行い、LSTA/LPC 時価評価のプライシング対象外となった場合、もしくは弁済が完了した場合は指標から除外する。
- 指標への追加：指標への追加は一般的に、週次レビューの際に空き枠が出た場合のみ行う。指標への追加は、額面残高および全体的な流動性をもとに行う。流動性は、額面残高および市場の入札件数により決定する。
- リバランス：過度な回転を防ぐため、半年毎に指標のリバランスを行う。また、指標からの除外判定は週次で行う。週次のレビューにおいて銘柄を除外する場合は、指標を構成するローン銘柄が 100 となるよう、新たな銘柄を追加し、ローンキャップが常に 2%となるよう構成銘柄を再加重する。指標委員会は、上記にかかわらず、適切とみなしたタイミングで隨時、指標を調整する権利を保有する。

### 算出通貨

S&P/LSTA 米国レバレッジド・ローン 100 指数は、豪ドル、英ポンド、カナダドル、ユーロ、日本円、シンガポールドル、イスラエルペソでも算出されているほか、ヘッジ有バージョンも提供している。

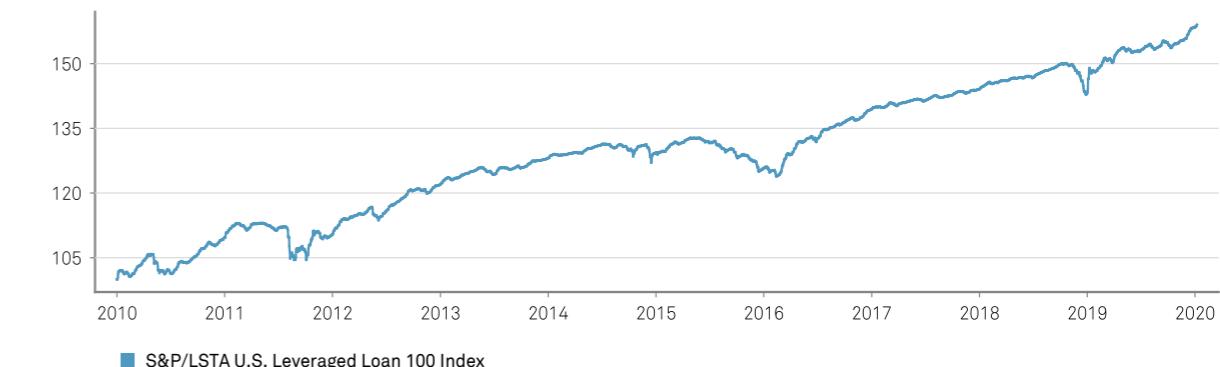
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが使用するメソドロジーの詳細は、当社ウェブサイト (<http://www.spdji.com>) で公表されている。

### S&P/LSTA 米国レバレッジ・ローン 100 指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	2,273.18	1.69%	2.25%	10.65%	10.65%	4.34%	4.14%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

MARKET VALUE OUTSTANDING [USD MILLION]	296,300.42
NUMBER OF CONSTITUENTS	100
TOTAL PAR VALUE [USD MILLION]	301,170.82
PAR WEIGHTED PRICE	98.38
YIELD TO MATURITY	5.63%
10-YEAR HISTORICAL INDEX LEVEL HIGH [DECEMBER 31, 2019]	2,273.18
10-YEAR HISTORICAL INDEX LEVEL LOW [DECEMBER 31, 2009]	1,434.88

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 米国債 7-10 年指数 (TTM、円建て)

### 指標について

S&P 米国債 7-10 年指数 (TTM、円建て) は、米国債（満期が 7 年以上、10 年未満）のパフォーマンスを測定するように設計された指標で、日本円にて計算されている。為替レートは TTM を使用している。

### 指標の構築

この指標は時価総額により加重される。

トータルリターンは、支払い済み利息及び未収利息によるリターンを反映した利息リターンと、終値と償還元本の差額による損益を反映した価格リターンを合計して計算される。

### リバランス

この指標は、定められたスケジュールに従ってレビューされ、リバランスされる。とは言うものの、指標委員会は、適切と考えられる時はいつでも指標への調整を行う権利を留保する。

リバランスのスケジュール	
リバランスの頻度	毎月
リバランス日	リバランス期間の最終日 (T)
公表日	T マイナス 3 日
参照日	T マイナス 4 日

全ての日数は取引終了後からとなり、営業日数でカウントされる。

### 計算に用いる通貨

この指標は現地通貨で計算される - 米ドル

戦略型

二重・エコノミー

ESG・責任投資



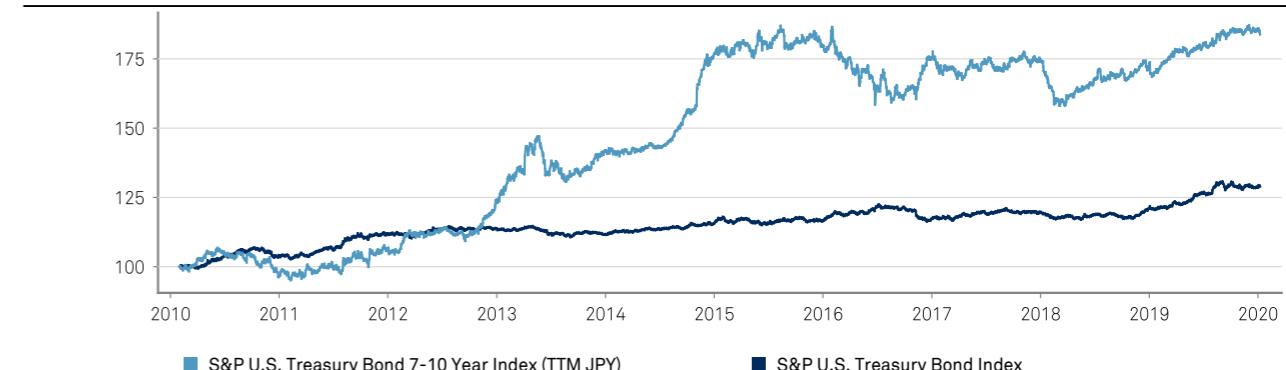
### S&P 米国債 7-10 年指数 (TTM、円建て)

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	185.72	-0.47%	0.53%	7.52%	7.52%	2.02%	1.02%
ベンチマーク *・トータル・リターン	451.62	-0.53%	-0.7%	6.2%	6.2%	3.1%	2.14%

\* The index benchmark is the S&P U.S. Treasury Bond Index

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

NUMBER OF CONSTITUENTS	19
10-YEAR HISTORICAL INDEX LEVEL HIGH [DECEMBER 02, 2019]	187.04
10-YEAR HISTORICAL INDEX LEVEL LOW [FEBRUARY 09, 2011]	95.16

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 米国債 7-10 年指数 (TTM、円建て、円ヘッジ)

### 指標について

S&P 米国債 7-10 年指数 (TTM、円建て、円ヘッジ) は、米国債（満期が 7 年以上、10 年未満）のパフォーマンスを測定するように設計された指標で、日本円にて計算されている。また、為替の変動リスクを回避するために、為替ヘッジが行われている。為替レートは TTM を使用している。

### 指標の構築

この指標は時価総額により加重される。トータルリターンは、支払い済み利息及び未収利息によるリターンを反映した利息リターンと、終値と償還元本の差額による損益を反映した価格リターンを合計して計算される。

### リバランス

この指標は、定められたスケジュールに従ってレビューされ、リバランスされる。とは言うものの、指標委員会は、適切と考えられる時はいつでも指標への調整を行う権利を留保する。

リバランスのスケジュール	
リバランスの頻度	毎月
リバランス日	リバランス期間の最終日 (T)
公表日	T マイナス 3 日
参照日	T マイナス 4 日

全ての日数は取引終了後からとなり、営業日数でカウントされる。

### 計算に用いる通貨

この指標は現地通貨で計算される - 米ドル

新規追加指標

株式

債券

コモディティ

不動産・テック

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資



### S&P 米国債 7-10 年指数 (TTM、円建て、円ヘッジ)

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	132.91	-0.92%	-1.71%	5.15%	5.15%	1.26%	0.66%
ベンチマーク *・トータル・リターン	451.62	-0.53%	-0.7%	6.2%	6.2%	3.1%	2.14%

\* The index benchmark is the S&P U.S. Treasury Bond Index

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

NUMBER OF CONSTITUENTS	19
10-YEAR HISTORICAL INDEX LEVEL HIGH [JULY 11, 2016]	139.93
10-YEAR HISTORICAL INDEX LEVEL LOW [APRIL 06, 2010]	98.37

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P GSCI® 商品指標

### 指標について

S&P GSCI® 商品指標<sup>®</sup>は、商品市場の投資パフォーマンスに関して信頼性が高く一般に入手可能な基準を投資家に提供している。この指標は取引可能で、市場参加者が容易にアクセスでき、かつ導入の費用効率が高くなるように設計されている。S&P GSCI 商品指標は商品市場全体の動きと世界経済のインフレ率を測定する代表的手段として広く認識されている。

### 指標のメソドロジー

S&P GSCI 商品指標は基本的に世界産出量加重方式で計算され、流動性が高く取引が活発な先物市場の対象となる主要実物資産で構成されている。指標を構成する各商品のウェイトは入手可能な過去5年間のデータによる平均産出量に基づき決定する。産出量に基づくウェイトは、世界経済における構成商品の相対的重要性を反映すると同時に、指標の取引可能性を維持することを目的としている。

### S&P GSCI 商品指標と関連指標

S&P GSCI 商品指標シリーズは、商品セクター、単一商品、バイオ燃料・石油等のテーマ別バスケットなど、複数のサブ・インデックスで構成されている。これらの指標は円、スイスフラン、豪ドル、英ポンド、ユーロの各通貨建てで、ヘッジあり、ヘッジなしの両方を算出している。また、エネルギーセクターを制限した基準シリーズも算出しており、同セクターへのエクスポージャーを段階的に低減したS&P GSCI リデュース・エナジー、S&P GSCI ライト・エナジー、S&P GSCI ウルトラ・ライト・エナジーの各指標を提供している。さらに、S&P GSCI 商品指標は1カ月～5カ月の期先限月指標も算出している。S&P GSCI 商品指標のメソドロジーに関するその他の情報や詳細については、当社ウェブサイト ([www.spdji.com](http://www.spdji.com)) で公表されている。

### 指標への追加基準

S&P GSCI 商品指標には、その年に複数の適格性基準を満たした先物契約を採用する。まず、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは一般適格要件を満たした先物契約を特定する。2番目に、売買代金とウェイトに関する要件を適用する。最後に先物契約数を決定する。この時点でその年のS&P GSCI 商品指標の指定先物契約リストが完成し、産出量に基づくウェイトを決定することができる。S&P GSCI 商品指標の構成契約数に制限はない。

**一般適格要件**：以下の条件を満たす契約とする。

- 米ドル建てであり、かつ経済協力開発機構（OECD）加盟国に主たる事業所のある取引所において、またはそれを通じて売買されている。
- 日次の参照取引価格データが2年以上あり、かつ売買代金データが3カ月以上ある。

**売買代金およびウェイトの要件**：以下の条件を満たす契約とする。

- 合計売買代金の基準を満たす。
- 参照金額ウェイトの最低基準を満たす。

### 先物契約数

- 物理的特性、売買、生産、使用、価格等の要素に基づくと、いくつかの商品は高い関連性があるために単一の指標構成商品を構成するとみなされる。1つの構成商品につき複数の先物契約が適格基準を満たす場合には、合計売買代金の順に指標に採用する。



### S&P GSCI® 商品指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	2,591.86	6.99%	8.31%	17.63%	17.63%	2.35%	-4.32%
超過リターン	237.84	6.84%	7.86%	15.17%	15.17%	0.65%	-5.36%
スポット・リターン	436.22	6.61%	8.08%	16.53%	16.53%	3.09%	0.85%

#### 過去の実績



注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P GSCI® エンハンスト指数

### 指標について

S&P GSCI® エンハンスト指数は、時期と季節を加味したダイナミックなロール（限月交代）・ルールを適用して調整したS&P GSCI 商品指標を保有した場合のトータル・リターンを測定する。

この指標は、商品市場全般の動きとインフレ率の世界的な代表測定手段であるS&P GSCI 商品指標から派生した指標である。S&P GSCI 商品指標と同じ先物契約を採用しているが、限月が異なるためにリターンが異なる。

S&P GSCI エンハンスト指標として、関連する様々な単一商品指標、セクター指標、ウェイトを制限した指標が算出されている。

### 指標の算出

S&P GSCI エンハンスト指標はS&P GSCI 商品指標に類似した原則に従って算出するが、時期と季節を加味したダイナミックなロール・ルールを適用して調整を加えている。このルールは、WTI 原油とブレント原油の先物市場が大幅にコンタンゴの状態にあるときにリターンが高まるように設計されている。また、ロール費用を軽減し、商品の季節需要を反映するために灯油、天然ガス、シカゴ小麦、トウモロコシ、赤身豚肉、生牛のロールを調整している。

S&P GSCI エンハンスト指標に採用されたS&P GSCI 商品指標の構成先物契約の大半は、通常のロール・スケジュールに従うが、以下を例外とする。

- WTI 原油については、1月から6月までの限月のロールオーバー時に、第2限月の先物価格が第1限月の先物価格を0.50%以上上回っている場合、建玉を当年12月限月の先物にロールオーバーする。7月から12月までの限月のロールオーバー時に、第2限月の先物価格が第1限月の先物価格を0.50%以上上回っている場合、建玉を翌年12月限月の先物にロールオーバーする。
- ブレント原油については、1月から6月までの限月のロールオーバー時に、第3限月の先物価格が第2限月の先物価格を0.50%以上上回っている場合、建玉を当年12月限月の先物にロールオーバーする。7月から12月までの限月のロールオーバー時に、第3限月の先物価格が第2限月の先物価格を0.50%以上上回っている場合、建玉を翌年12月限月の先物にロールオーバーする。
- 灯油は毎年12月限にロールする（11月のロール期間中）。
- 天然ガスは毎年1月限にロールする（12月のロール期間中）。
- シカゴ小麦は毎年12月限にロールする（11月のロール期間中）。
- トウモロコシは毎年7月限にロールする（5月のロール期間中）。
- 赤身豚肉は年2回4月限と8月限にロールする（7月のロール期間中に4月限に、3月のロール期間中に8月限に）。
- 生牛は年2回4月限と10月限にロールする（9月のロール期間中に4月限に、3月のロール期間中に10月限に）。

この指標のロール期間は標準的なS&P GSCI 商品指標のロール期間とは異なる。S&P GSCI 商品指標では、各月の第5～第9営業日に原商品のエクスポージャーを1日当たり20%ロールする。一方、S&P GSCI エンハンスト指標では、各月の第1～第5営業日に原商品のエクspoージャーを1日当たり20%ロールする。

### 指標の値の算出

原商品の金額ウェイトを合計した値が指標の合計金額ウェイトとなる。各構成商品の金額ウェイトは、日次の参考取引価格に適切な生産取引加重（CPW）を乗じ、さらにロール期間に必要な適切なロール・ウェイトを乗じて算出する。

### 指標のメソドロジー

S&P GSCI エンハンスト指標は、多数の商品セクターを網羅したS&P GSCI 商品指標を構成するサブ・インデックスの一部としてS&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが算出している。詳しい情報やメソドロジーの詳細については、当社ウェブサイト（[www.spdji.com](http://www.spdji.com)）で公表されている。

### S&P GSCI® エンハンスト指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	429.75	7.24%	8.62%	16.08%	16.08%	2.18%	-2.54%
超過リターン	238.52	7.09%	8.18%	13.65%	13.65%	0.48%	-3.59%
スポット・リターン	246.98	7.3%	7.76%	16.34%	16.34%	2.4%	0.48%
ベンチマーク*・トータル・リターン	2,591.86	6.99%	8.31%	17.63%	17.63%	2.35%	-4.32%
ベンチマーク*・超過リターン	237.84	6.84%	7.86%	15.17%	15.17%	0.65%	-5.36%
ベンチマーク*・スポット・リターン	436.22	6.61%	8.08%	16.53%	16.53%	3.09%	0.85%
							-1.83%

\* The index benchmark is the S&P GSCI TR

#### 過去の実績



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P GSCI® ダイナミックロール指標

### 指標について

S&P GSCI® ダイナミックロール指標は、大手指数プロバイダーが初めて提供するダイナミックなロール（限月交代）を採用した商品先物指標である。先物の月次ロールにフレキシブルな戦略を採用することにより、コンタンゴ状態のロールに伴う悪影響の低減と商品市場へのエクスポージャーのボラティリティの限定を目指す投資家のニーズに応えるように設計されている。

所与の商品の先物価格カーブが一般にコンタンゴの状態にある場合、この指標の系統的なメソドロジーでは、ロールに伴う利回りの悪化を低減するために先物価格カーブの期先限月を使用する。先物価格カーブが一般にバックワードーションの状態にある場合には、期近限月を使用する。

### 指標のメソドロジー

S&P GSCI ダイナミックロール指標の根本的なメソドロジーは、S&P GSCI 商品指標のメソドロジーを基礎としている。また、この指標はS&P GSCI 商品指標と同じ商品で構成され、同じ世界産出量加重方式を用いている。指標を構成する24の商品それぞれについて個別の指標が算出されている。

この指標では原商品の先物契約の新たな限月を決定する際に、フレキシブルな月次ロール戦略を採用している。S&P GSCI 商品指標のロール・スケジュールは最も流動性の高い期近限月に限定されているが、S&P GSCI ダイナミックロール指標のマトリックスでは、当該商品の流動性の高い複数の限月の中から先物価格カーブ上最適な限月を選択する系統的なメソドロジーを採用している。

具体的には、各ロール決定日にダイナミックロール・アルゴリズム(DRA)を使用して、この指標に指定された適格な商品先物価格のフォワードカーブの現在の形状を各ダイナミックロール・マトリックスに含まれる各商品について測定する。商品先物のロール戦略は、S&P GSCI 商品指標の各構成商品に付与した特定のランク順位を使用し、インプライド・ロール・イールドとダイナミック・ロール・パリティ原則に基づき最適化される。

### ロールの選択プロセス

S&P GSCI 商品指標の構成商品のうちロール・スケジュールの到来した各商品について、ロール決定日の終値に基づき、各商品のランク順位に基づくDRA(k)アルゴリズムを適用する。次に、すべての構成商品について選択したダイナミックロールを月次のダイナミックロール・スケジュールにまとめる。この月次のダイナミックロール・スケジュールを適用し、S&P GSCI 商品指標のロール期間の開始時にS&P GSCI ダイナミックロール指標を計算する。

### S&P GSCI 商品指標について

S&P GSCI 商品指標は、商品市場の投資パフォーマンスに関して信頼性が高く一般に入手可能な基準を投資家に提供している。この指標は流動性が高く取引が活発な先物市場の主要現物商品で構成されている。各構成商品のウェイトは入手可能な過去5年間のデータによる平均産出量に基づき決定する。産出量に基づくウェイトは、世界経済における各構成商品の相対的重要性を反映すると同時に、指標の取引可能性を維持することを目的としている。

指標のメソドロジーの詳細など詳しい情報については、当社ウェブサイト([www.spdji.com](http://www.spdji.com))で公表されている。

### S&P GSCI® ダイナミックロール指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	579.83	6.94%	8.85%	11.45%	11.45%	3.35%	-2.43%
超過リターン	321.83	6.79%	8.41%	9.12%	9.12%	1.63%	-3.49%
スポット・リターン	239.42	6.32%	7.28%	11.41%	11.41%	2.06%	-0.68%
ベンチマーク*・トータル・リターン	2,591.86	6.99%	8.31%	17.63%	17.63%	2.35%	-4.32%
ベンチマーク*・超過リターン	237.84	6.84%	7.86%	15.17%	15.17%	0.65%	-5.36%
ベンチマーク*・スポット・リターン	436.22	6.61%	8.08%	16.53%	16.53%	3.09%	0.85%
							-1.83%

\* The index benchmark is the S&P GSCI TR

#### 過去の実績



注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P GSCI® キャップド指数

### 指標について

S&P GSCI® キャップド指数はS&P GSCI商品指標を構成する商品のウェイトに定期的にキャップ（上限）を適用した指標である。S&P GSCI商品指標は商品市場全体の動きや世界経済のインフレ率を測定する代表的指標である。

この指標シリーズは、S&P GSCI商品指標キャップド・コンポーネント35/20、S&P GSCI商品指標キャップド・コモディティ35/20、S&P GSCI商品指標エンハンスト・キャップド・コンポーネント35/20で構成されている。この3種類の指標は構成商品のウェイトを制限しているため、各構成商品のウェイトを均等に近づけたS&P GSCI商品指標となっている。S&P GSCIキャップド指標はEUのUCITS（譲渡可能証券への集合投資事業）III指令の遵守を意図している。

### 特徴

**S&P GSCI商品指標キャップド・コンポーネント35/20**：四半期ごとにウェイトの最も高い構成要素を35%に制限し、残りの構成要素を20%に制限する。18の構成要素を含むS&P GSCI商品指標には24の特定銘柄が採用されている。これらの構成要素のうち、石油、小麦、牛の3種類には複数の特定銘柄が含まれる。ウェイトの上限を超えた部分は、セクター・ウェイトにかかわらず、残りの構成要素に比例配分する。

**S&P GSCI商品指標キャップド・コモディティ35/20**：S&P GSCI商品指標のセクター・ウェイトの継続性と比率を維持した指標である。四半期ごとにウェイトの最も高い構成商品を35%に制限し、残りの構成商品を20%に制限する。24の特定銘柄で構成される指標である。ウェイトの上限を超えた部分は、当該特定セクター内で比例配分する。

**S&P GSCI商品指標エンハンスト・キャップド・コンポーネント35/20**：四半期ごとにS&P GSCIエンハンスト指標のウェイトの最も高い構成要素を35%に制限し、残りの構成要素を20%に制限する。18の構成要素を含むS&P GSCI商品指標には24の特定銘柄が採用されている。これらの構成要素のうち、石油、小麦、牛の3種類には複数の特定銘柄が含まれる。ウェイトの上限を超えた部分は、セクター・ウェイトにかかわらず、残りの構成要素に比例配分する。

調整はすべて四半期ごとに行われる。ウェイト決定日は最初のロール期日の直前の営業日とする。

### 指標のメソドロジー

S&P GSCIキャップド指標はS&P GSCI商品指標のメソドロジーに従っている。S&P GSCI商品指標は主として世界産出量加重方式で算出しており、流動性が高く取引が活発な先物市場の主要現物商品で構成されている。各構成商品のウェイトは、キャップ・メソドロジーの実行前に、入手可能な過去5年間のデータによる平均産出量に基づき決定される。産出量に基づくウェイトは、世界経済における各構成商品の相対的重要性を反映すると同時に、指標の取引可能性を維持することを目的としている。

### S&P GSCI商品指標と関連指標

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは商品セクター別の指標のほかにも、単一の構成要素、マルチ・カレンシー、および期先限月ベースでS&P GSCI商品指標のサブ・インデックスを算出している。また、バイオ燃料や石油等のテーマ別バスケット指標も提供している。その他の情報やS&P GSCI商品指標のメソドロジーの詳細などについては、当社ウェブサイト（[www.spdji.com](http://www.spdji.com)）で公表されている。

### S&P GSCI® キャップド指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	122.67	6.99%	8.31%	17.6%	17.6%	2.38%	-4.27%
超過リターン	67.92	6.84%	7.86%	15.14%	15.14%	0.68%	-5.31%
スポット・リターン	252.22	6.61%	8.08%	16.51%	16.51%	3.12%	0.89%
ベンチマーク*・トータル・リターン	2,591.86	6.99%	8.31%	17.63%	17.63%	2.35%	-4.32%
ベンチマーク*・超過リターン	237.84	6.84%	7.86%	15.17%	15.17%	0.65%	-5.99%
ベンチマーク*・スポット・リターン	436.22	6.61%	8.08%	16.53%	16.53%	3.09%	0.85%

\* The index benchmark is the S&P GSCI TR

#### 過去の実績



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P GSCI® イコールウェイト・セレクト指数

### 指標について

S&P GSCI® イコールウェイト・セレクト指数は幅広く評価されている S&P GSCI 商品指標の構成商品のウェイトを均等化した指標である。この指標は世界算出量加重型の S&P GSCI 商品指標に採用された 14 の商品で構成されているが、四半期ごとに構成商品のウェイトを均等化している。

この指標は S&P GSCI 商品指標を 6 つの商品グループに分け、その中で最も規模が大きく流動性の高い商品のみを選択している。分散を最大化して集中リスクを低減するために、商品グループは農業—穀物・油糧種子、農業—ソフト商品、エネルギー、産業用金属、畜産物、貴金属の 6 種類とする。

### 適格性基準

S&P GSCI 商品指標に採用されている商品を S&P GSCI イコールウェイト・セレクト指標の対象とする。各四半期の最初の月の S&P GSCI 商品指標ロール期間に、S&P GSCI イコールウェイト・セレクト指標の構成商品に均等のウェイトを配分する。商品市場の規模と売買を表す指標とするために、2010 年は以下の 6 グループを指標に採用した。

- 農業—穀物・油糧種子：シカゴ小麦、トウモロコシ、カンザス小麦、大豆
- 農業—ソフト商品：カカオ豆、コーヒー、綿花、砂糖
- エネルギー：ブレント原油、軽油、灯油、天然ガス、RB0B ガソリン、無鉛ガソリン、WTI 原油
- 産業用金属：アルミニウム、銅、鉛、ニッケル、亜鉛
- 畜産物：肥育用牛、赤身豚肉、生牛
- 貴金属：金、銀

各グループ内で、8 月に終了する 12 ヶ月間の日次平均金額ウェイトを各商品について計算する。次に、ウェイトの高い商品から順にグループ内で順位をつける。指標に採用する商品数は各グループに指定された配分スキームに基づいており、1 つのグループのウェイトが指標全体の 30% を超えないようにする。

S&P GSCI イコールウェイト・セレクト指標のメソドロジーと配分スキームの計算に関する詳しい情報は、当社ウェブサイト ([www.spdji.com](http://www.spdji.com)) で公表されている。

### S&P GSCI 商品指標との比較

S&P GSCI イコールウェイト・セレクト指標は S&P GSCI 商品指標の構成銘柄の規模が中立になるように調整した指標であり、そのため性質が異なる。この指標には次のような特徴がある。

- 産出量ウェイトが小さい商品へのエクスポージャーが高い
- 産出量ウェイトが大きい商品へのエクspoージャーが低い
- 商品数が少ないためロールが少ない
- リスク・リターン特性が異なる

この指標はウェイトを均等化するために、産出量ウェイトの小さい商品へのエクspoージャーが S&P GSCI 商品指標に比べて高くなる傾向がある。この 2 つの指標の相対パフォーマンスは、異なる市場サイクルの規模のプレミアムによっても異なる。

### S&P GSCI® イコールウェイト・セレクト指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	161.58	4.42%	5.68%	11.57%	11.57%	2.37%	-1.8%
超過リターン	89.67	4.28%	5.25%	9.24%	9.24%	0.67%	-2.86%
スポット・リターン	333.34	4.35%	5.48%	11.63%	11.63%	4.23%	1.78%
ベンチマーク *・トータル・リターン	2,591.86	6.99%	8.31%	17.63%	17.63%	2.35%	-4.32%
ベンチマーク *・超過リターン	237.84	6.84%	7.86%	15.17%	15.17%	0.65%	-5.36%
ベンチマーク *・スポット・リターン	436.22	6.61%	8.08%	16.53%	16.53%	3.09%	0.85%
							-1.83%

\* The index benchmark is the S&P GSCI TR

#### 過去の実績



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P GSCI® カバードコール・セレクト指数

### 指標について

S&P GSCI® カバードコール・セレクト指数は幅広く評価されている S&P GSCI 商品指標に採用された商品の中からオプション取引の活発な商品を選び、そのカバードコール戦略を示す指標である。

S&P GSCI カバードコール・セレクト指標は S&P GSCI 商品指標シリーズのひとつで、指標のメソドロジーに基づき、商品市場のエクスポージャーのボラティリティの低減や、順調状態のロールによるリターン低下の軽減、固定金利収入がきわめて低い環境での収入の獲得を目指して設計されている。S&P が提供するこの指標シリーズには、この他に S&P GSCI イコールウェイト・セレクト指標、S&P GSCI エンハンスト指標、S&P GSCI フォワード指標、S&P GSCI キャップド指標がある。

### 特徴

S&P GSCI カバードコール・セレクト指標はコーヒー、トウモロコシ、綿花、原油、金、天然ガス、銀、大豆、砂糖、小麦の 10 種類の商品で構成されている。各商品について、有効な商品先物の買いと同一商品のアウト・オブ・ザ・マネーのコールの規則的な売りを反映した個別のカバードコール指標が算出されている。カバードコール総合指標にはこの 10 種類のカバードコール指標が均等のウェイトで含まれる。

各カバードコール指標は、同一商品を対象とした S&P GSCI 商品指標を上回るリターンの提供を目指すほか、当該商品の先物相場の急騰時を除く大半の市場環境下でボラティリティを低めることを目指している。

### 指標の構築

S&P GSCI カバードコール・セレクト指標は商品先物のロング・ポジションとアウト・オブ・ザ・マネーのコールのショート・ポジションを組み合わせた仮想ポートフォリオに対して計算されており、この両者とも S&P GSCI カバードコール指標限月カレンダーに基づきロールする。つまり、商品先物のロングとコールのショートは満期まで保有せず、1 営業日につき 20%ずつ 5 日間で翌指定限月にロールする。ロール期間は各月最初の 5 営業日とする。コールオプションは常に、同時にロールする商品先物と同じ限月のものにロールする。ロール後の新しいコールオプションの権利行使価格は、当該先物市場の実際のボラティリティから予想される市場価格水準に基づく。

### 指標のメソドロジー

S&P GSCI カバードコール・セレクト指標は総体的に S&P GSCI 商品指標のメソドロジーに従っている。S&P GSCI 商品指標は基本的に世界産出量加重方式で算出しており、流動性が高く取引が活発な先物市場の主要現物商品で構成されている。各構成商品のウェイトは、入手可能な過去 5 年間のデータによる平均産出量に基づき決定される。産出量に基づくウェイトは、世界経済における各構成商品の相対的重要性を反映することを目的としている。

### S&P GSCI 商品指標と関連指標

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは商品セクター別の指標の他にも、単一の構成要素、マルチ・カレンシー、期先、キャップド、イコールウェイト、エンハンストなどの S&P GSCI 商品指標のサブ・インデックスを算出している。また、バイオ燃料や石油等のテーマ別バスケットの指標も提供しているほか、エネルギーセクターへのエクスポージャーを段階的に低減したエネルギー上限基準シリーズも算出している。その他の情報や S&P GSCI 商品指標のメソドロジーの詳細は、当社ウェブサイト ([www.spdji.com](http://www.spdji.com)) で公表されている。

### S&P GSCI® カバードコール・セレクト指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	94.75	4.42%	6.87%	7.45%	7.45%	-1.43%	-2.53%
超過リターン	75.55	4.27%	6.44%	5.2%	5.2%	-3.19%	-3.65%
スポット・リターン	283.17	4.04%	6.89%	8.37%	8.37%	0.12%	0.53%
ベンチマーク *・トータル・リターン	2,591.86	6.99%	8.31%	17.63%	17.63%	2.35%	-4.32%
ベンチマーク *・超過リターン	237.84	6.84%	7.86%	15.17%	15.17%	0.65%	-5.99%
ベンチマーク *・スポット・リターン	436.22	6.61%	8.08%	16.53%	16.53%	3.09%	0.85%

\* The index benchmark is the S&P GSCI TR

#### 過去の実績



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P GSCI® 農産物指数

### 指標について

S&P GSCI® 商品指標のサブ・インデックスのひとつである S&P GSCI® 農産物指標は、農産物市場の投資パフォーマンスに関する信頼性が高く一般に入手可能な基準を投資家に提供している。S&P GSCI 商品指標は商品市場全体の動きと世界経済のインフレ率を測定する代表的手段として広く認識されている。

S&P GSCI 農産物指標は小麦、トウモロコシ、大豆、綿花、砂糖、コーヒー、カカオ豆で構成されている。この指標は、S&P GSCI 商品指標を構成する農産物、エネルギー、産業用金属、貴金属、農産物、畜産物の各商品セクターを代表するサブ・インデックス・シリーズのひとつである。

S&P GSCI 農産物指標シリーズは基礎となる S&P GSCI 農産物指標のほかに、S&P GSCI 農産物・畜産物指標、S&P GSCI 農産物キャップド・コンポーネント指標、S&P GSCI 農産物エンハンスト指標、S&P GSCI 農産物エンハンスト・セレクト指標、S&P GSCI 農産物エンハンスト・キャップド・コンポーネント指標を算出している。

### S&P GSCI 農産物キャップド・コンポーネント指標

S&P GSCI 農産物キャップド・コンポーネント 35/20 指標は S&P GSCI 商品指標のメソドロジーに従いつつ、S&P GSCI 農産物指標の構成商品のウェイトに定期的に上限を適用する指標である。この指標は UCITS III 指令の遵守を意図している。この指標は四半期ごとにウェイトの最も高い構成要素を 32% に制限し、残りの構成要素を 17% に制限する。7つの構成要素を含む S&P GSCI 農産物指標には 8 つの特定銘柄が採用されており、小麦の構成要素にはシカゴ小麦とカンザス小麦という複数の特定銘柄が含まれる。ウェイトの上限を超えた部分は、残りの構成要素に比例配分する。

### S&P GSCI 農産物エンハンスト指標

この指標は S&P GSCI 農産物指標の特定銘柄に一定の季節的なロール・ルールを適用している。S&P GSCI 農産物指標と同じ商品先物で構成されているものの、限月が異なるために、リターンと指標値が S&P GSCI 農産物指標とは異なる。ロール期間は月最初の営業日から 5 日間としている。この指標に含まれる商品先物の大半は S&P GSCI 農産物指標の通常のロール・スケジュールに従うが、例外として、シカゴ小麦は毎年 12 月限に（11 月のロール期間中）、トウモロコシは毎年 7 月限に（5 月のロール期間中）のみロールする。

### S&P GSCI 農産物エンハンスト・セレクト指標

この指標は S&P GSCI 農産物指標を保有する投資家が得るトータル・リターンを測定するものの、季節的なロール・ルールを適用して調整している。この指標にはトウモロコシ、大豆、砂糖、シカゴ小麦の 4 種類の商品しか含まれない。これらの構成商品のウェイトは S&P GSCI 商品指標の生産取引加重で示される各々の世界産出量の相対的重要性に基づく。S&P GSCI 農産物指標とは限月が異なるため、リターンと指標値が S&P GSCI 農産物指標とは異なる。ロール期間は月最初の営業日から 5 日間としている。この指標に含まれる商品先物のロール・スケジュールは次の通りである。シカゴ小麦は年 2 回 9 月限と 12 月限に（11 月のロール期間中に 9 月限に、8 月のロール期間中に 12 月限に）のみ、トウモロコシは毎年 7 月限に（5 月のロール期間中）のみロールし、大豆は S&P GSCI 商品指標の通常のロール・スケジュールに従い、砂糖は毎年 3 月限に（2 月のロール期間中）のみロールする。

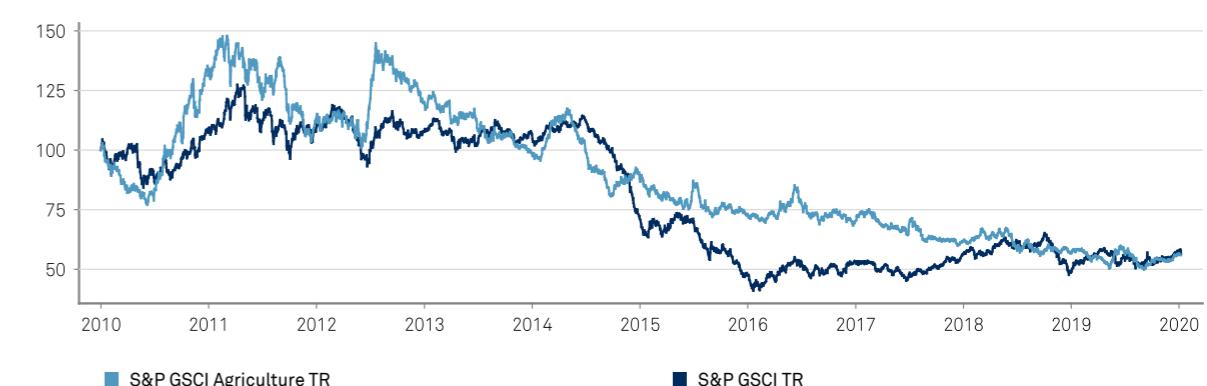
### S&P GSCI® 農産物指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	347.95	4.43%	5.83%	-0.34%	-0.34%	-6.89%	-8.46%
超過リターン	31.92	4.28%	5.4%	-2.42%	-2.42%	-8.44%	-9.45%
スポット・リターン	301.87	4.6%	7.45%	6.34%	6.34%	1.23%	-1.31%
ベンチマーク *・トータル・リターン	2,591.86	6.99%	8.31%	17.63%	17.63%	2.35%	-4.32%
ベンチマーク *・超過リターン	237.84	6.84%	7.86%	15.17%	15.17%	0.65%	-5.36%
ベンチマーク *・スポット・リターン	436.22	6.61%	8.08%	16.53%	16.53%	3.09%	0.85%
							-1.83%

\* The index benchmark is the S&P GSCI TR

#### 過去の実績



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## ダウ・ジョーンズ・コモディティ・インデックス

### 指数について

ダウ・ジョーンズ・コモディティ・インデックス（以下、「この指数」）は、コモディティ市場全体の動きを測定する指数となるように設計されており、広く分散され、流動性が高いことが特徴となっている。この指数は、均等加重ベータとして、またはカスタム指標の構成要素として使用されることを想定し、シンプルな構造を目指している。この指標には3つの主要セクター（エネルギー、農作物・家畜、金属）が含まれている。これらのセクターは指標内で均等加重され、四半期ごとにリバランスされる。コモディティは、5年平均ドル取引総額（TDVT）に基づく相対的流動性により加重され、この指標にはS&P GSCIに含まれるコモディティだけが含まれる。加重スキームの一環として、このメソドロジーでは分散効果を高めるために、四半期ベースで1つの構成銘柄だけが最大35%のウェイトに達することができ、残りの構成銘柄のウェイトは20%を超えることはできないように上限が設定されている（32%/17%のバッファーを有する）。ガソリンは現在、指標構築における先物取引が不透明であったため、指標から除外されている。ただし、2015年の再構築において追加が検討される可能性がある。この指標は、シンプルで、広く分散され、流動性が高い第一世代指標であり、ロールオーバーや先物取引スケジュールはS&P GSCIのスケジュールに従っている。

S&P GSCIに関する詳細については、弊社ウェブサイト [www.spdji.com](http://www.spdji.com) の指標メソドロジーを参照。

### 指標の適格性基準

ダウ・ジョーンズ・コモディティ・インデックスには、S&P GSCIに含まれるコモディティだけが含まれる。この指標は現在、全てのコモディティ・セクターから選択された23のコモディティで構成されており、幅広い構成銘柄を通じて高水準の分散が図られている。指標の再構築は、毎年1月のロール時に行われる。

指標の適格性基準のプロセスに関する詳細については、S&P GSCIのメソドロジーを参照。

### 通貨及び通貨ヘッジ付き指標

ダウ・ジョーンズ・コモディティ・インデックスは現在、8つの通貨（オーストラリアドル、英ポンド、カナダドル、ユーロ、日本円、シンガポールドル、スイスフラン、米ドル）で算出されている。

一部の通貨では、ヘッジ付き及びヘッジなしの指標を算出している。ヘッジなしの指標では、特定の通貨に換算した指標の価値を表す。

通貨ヘッジ付きのダウ・ジョーンズ・コモディティ・インデックスでは、米ドル以外の特定の通貨に基づいて指標の構成銘柄のパフォーマンスを測定するが、為替変動リスクは最低限に抑えられる。ヘッジ付き指標は、1ヶ月ごとにロールオーバーされる先渡取引を利用し、期初におけるバランスをヘッジすることで計算される。これにより、各月のスタート時点における仮想の価値が為替レートの変動から守られる。

通貨及び通貨ヘッジ付き指標の計算に関する詳細については、弊社ウェブサイト [www.spdji.com](http://www.spdji.com) に掲載されたS&P GSCI指標メソドロジーの付属資料Dを参照。

### ダウ・ジョーンズ・コモディティ・インデックス

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	286.63	5.38%	5.22%	10.12%	10.12%	1.54%	-2.4%
超過リターン	195.92	5.24%	4.79%	7.82%	7.82%	-0.15%	-3.45%
スポット・リターン	642.31	5.32%	6.15%	12.12%	12.12%	4.23%	2.76%
							0.53%

#### 過去の実績



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P コアロジック／ケース・シラー住宅価格指数

### 指標について

S&P コアロジック／ケース・シラー住宅価格指数は、米国の住宅価格に関する信頼でき、かつ一貫性のあるベンチマークになるように設計されている。これらの指標の目的は、特定の地域市場における住宅価格の平均的な変化を測定することである。これらの指標は毎月算出され、主要 20 都市（大都市統計地域（MSA））をカバーしており、主要 10 都市から構成される指標と、主要 20 都市全てから構成される指標の 2 種類のコンポジット指標が算出されている。

S&P コアロジック／ケース・シラー全米住宅価格指数（以下、「全米指標」という）は、米国内の一戸建て中古住宅の価格動向に連動している。この指標は、米国勢調査の 9 区分の一戸建て住宅価格指標のコンポジットであり、毎月算出されている。

各指標は、一定水準の住宅の価格変化を測定する。住宅のタイプや規模の変化、または住宅の物理的特性の変化は、指標の計算から明確に除外され、指標値に間違った影響を及ぼすことを避けています。

このメソドロジーは、このメソドロジー資料に規定された各指標に対する投資家の関心を測定するという上述の目的を達成するために、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが開発したものである。指標が継続的に目的を達成するように、このメソドロジーに対する変更やこのメソドロジーからの逸脱は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス独自の判断と裁量によって行われる。

### パートナーシップ

これらの指標は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス、コアロジック®、及び MacroMarkets LLC 間の合意の下で構築され、公表されている。

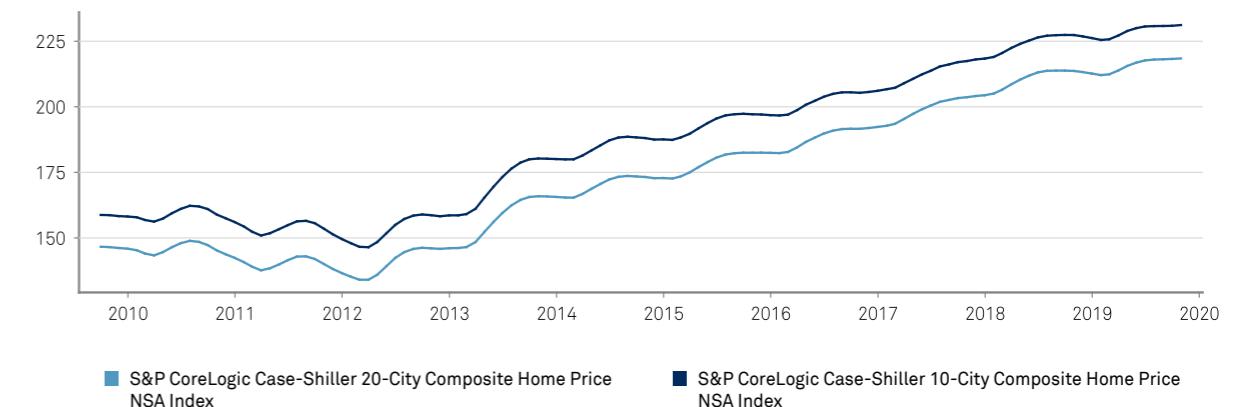
### S&P コアロジック／ケース・シラー住宅価格指標

#### パフォーマンス

EFFECTIVE DATE	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
INDEX LEVELS							
218.43	Oct-2019	0.08%	0.19%	2.71%	2.23%	4.46%	4.75%
BENCHMARK* INDEX LEVELS							
231.16	Oct-2019	0.13%	0.17%	2.19%	1.68%	4.03%	4.21%
* The index benchmark is the S&P CoreLogic Case-Shiller 10-City Composite Home Price NSA Index							

\* The index benchmark is the S&P CoreLogic Case-Shiller 10-City Composite Home Price NSA Index

#### 過去の実績



#### 年別パフォーマンス

2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010
INDEX LEVELS									
N/A	4.04%	6.28%	5.42%	5.56%	4.35%	13.38%	6.94%	-4.07%	-2.4%
BENCHMARK* INDEX LEVELS									
N/A	3.58%	5.96%	4.72%	4.93%	4.17%	13.54%	6.03%	-4.14%	-1.34%

\* The index benchmark is the S&P CoreLogic Case-Shiller 10-City Composite Home Price NSA Index

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P グローバル不動産指数

### 指標について

S&P 不動産指標は、上場している不動産企業の投資可能ユニバースをもとに構成される。この指標ファミリーには、不動産管理、開発、賃貸、投資など不動産関連の幅広い事業活動を営む企業が含まれている。なかでも REIT（不動産投資信託）指標には、物理的資産および他のパススルー・ビークルを投資対象としたプロパティ・トラストが含まれる。S&P 不動産指標ファミリーは、広範な銘柄ユニバースにおけるリスク・リターン特性を継続的に反映することで、世界の不動産およびREIT市場の測定基準となる指標を提供する。

指標ファミリーにはグローバル不動産ベンチマーク指標に加え、より狭義の不動産テーマも含まれており、それぞれのテーマ別指標は大型かつ高流動性株式銘柄で構成されている。S&P グローバル不動産指標は、世界を代表する不動産ベンチマーク指標であり、他のすべての不動産関連指標（S&P グローバル REIT 指標、S&P グローバル不動産 40 指標、S&P アジア不動産 40 指標など）のユニバースとしても活用されている。

### 指標ファミリー

S&P グローバル不動産指標：S&P グローバル不動産指標は、36 國で取引されている 530 銘柄以上の不動産企業で構成されており、多くのサブ指標と同様に時価総額加重方式を採用している。構成銘柄はすべて、S&P グローバル総合指標（BMI）から抽出される。

S&P グローバル不動産指標のサブ指標には、S&P 先進国不動産指標、S&P 新興国不動産指標および S&P グローバル REIT 指標がある。グローバル REIT 指標はさらに、先進国指標と新興国指標に分かれている。

以下は、S&P グローバル不動産指標に含まれる主要サブ指標の概略である。

- S&P 先進国不動産指標：S&P グローバル不動産指標の先進国市場部分に相当する指標。
- S&P 新興国不動産指標：S&P グローバル不動産指標の新興国市場部分に相当する指標。
- S&P グローバル REIT 指標：先進国、新興国両方の市場における不動産投資信託すべてを網羅する指標。
- S&P 先進国 REIT 指標：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの定義する先進国市場における不動産投資信託すべてを網羅する指標。
- S&P 新興国 REIT 指標：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの定義する新興国市場における不動産投資信託すべてを網羅する指標。

### 指標への組み入れ基準

S&P 不動産指標の構成銘柄はすべて、S&P グローバル総合指標（BMI）をユニバースとして選定する。S&P グローバル総合指標（BMI）は、世界の投資家可能な株式市場すべてにおける、株式投資のあらゆる機会を測定するために構築された指標である。詳細は、当社ウェブサイト [www.spdji.com](http://www.spdji.com) の S&P Global BMI、S&P/IFCI メソドロジーを参照されたい。

### S&P グローバル不動産指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	543.99	1.74%	3.36%	22.96%	22.96%	9.91%	6.87%
プライス・リターン	216.24	1.33%	2.52%	18.25%	18.25%	5.67%	2.89%
ベンチマーク*・トータル・リターン	458.1	3.57%	9.14%	26.76%	26.76%	12.6%	8.87%
ベンチマーク*・プライス・リターン	279.6	3.4%	8.65%	23.65%	23.65%	9.91%	6.25%
ベンチマーク*・ネット・トータル・リターン	361.97	3.53%	9.02%	26.07%	26.07%	12.01%	8.29%
							8.88%

\* The index benchmark is the S&P Global BMI (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	783
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	3,930.45
最大合計時価総額	56,314.02
最小合計時価総額	156.43
合計時価総額の中央値	1,651.39
Weight Largest Constituent [%]	2.6
Weight Top 10 Constituents [%]	16.3

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
ProLogis Inc	PLD	Industrial REITs
Equinix Inc	EQIX	Specialized REITs
Simon Property Group A	SPG	Retail REITs
Welltower Inc	WELL	Health Care REITs
Public Storage	PSA	Specialized REITs
AvalonBay Communities Inc	AVB	Residential REITs
Vonovia SE	VNA	Real Estate Operating Companies
Equity Residential	EQR	Residential REITs
Mitsubishi Estate Co	8802	Diversified Real Estate Activities
Digital Realty Trust	DLR	Specialized REITs

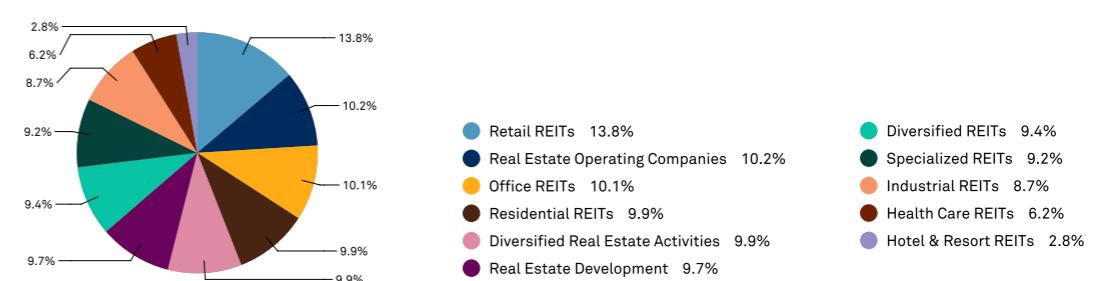
\*Based on GICS® sub-industry

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	13.16
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	88.68
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	111.27
化石燃料埋蔵量の排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）	0

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics) をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 先進国 REIT 指数

### 指標について

S&P 先進国 REIT 指数は先進 15 力国の 250 銘柄を超える不動産投資信託 (REIT) のパフォーマンスを測定する。不動産の代表的基準であるこの指標は、投資家にとって投資可能な REIT の領域を定義している。S&P 先進国 REIT 指数は、先進国市場と新興国市場の両方の REIT で構成される S&P グローバル REIT 指数の先進国部分に相当する。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは不動産市場全体を対象とする指標も算出している。S&P グローバル不動産指数 (S&P Global Property)、S&P 先進国不動産指数 (S&P Developed Property)、S&P 新興国不動産指数 (S&P Emerging Property) はいずれも不動産の賃貸、管理、直接投資、その他不動産関連事業に関わる REIT および非 REIT 企業を対象としている。

### 指標のメソドロジー

S&P 先進国 REIT 指数は時価総額加重型の指標で、S&P 指数委員会が維持管理している。指標委員会は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのエコノミストと指標アナリストで構成され、定期的に開催される。指標委員会の目的は、この指標が REIT 市場全体のリスク・リターン特性を継続的に反映した、グローバルな REIT 市場の正確な測定手段であることを保証することにある。維持管理の内容として、日次のコーポレート・アクション、四半期ごとの重要事象の更新、年次のポートフォリオの見直しが含まれる。

### S&P グローバル REIT 指数の適格性基準

各 REIT を調査し、不動産投資信託を規定する法律上の制限を満たすことを確認する。この調査対象となるためには、世界産業分類基準 (GICS®) に従って不動産業に分類されている必要がある。具体的には、プロパティ・トラストも含めた不動産投資信託として分類されている必要がある。S&P グローバル REIT 指数の構成銘柄は、さらに次の 9 種類の不動産グループに分類される。

- 多角施設
- 産業用
- 住宅用
- ヘルスケア
- オフィス用
- 特殊
- ホテル・リゾート・レジャー
- 小売
- 倉庫

不動産業に分類されるすべての企業が S&P グローバル REIT 指数に適格とは限らない。材木 REIT、モーゲージ REIT、モーゲージ担保 REIT は除外される。

### 地域別・国別分類

S&P グローバル REIT 指数は先進国、地域別、国別で算出されている。投資家の要望に応じて新たな地域総合指標を開発したり、投資戦略に合わせて標準指標を調整することも可能である。これらの指標は米ドル、英ポンド、円、カナダドル、ユーロ、豪ドルの 6 通貨で算出されている。これ以外の通貨も要望に応じて算出する。

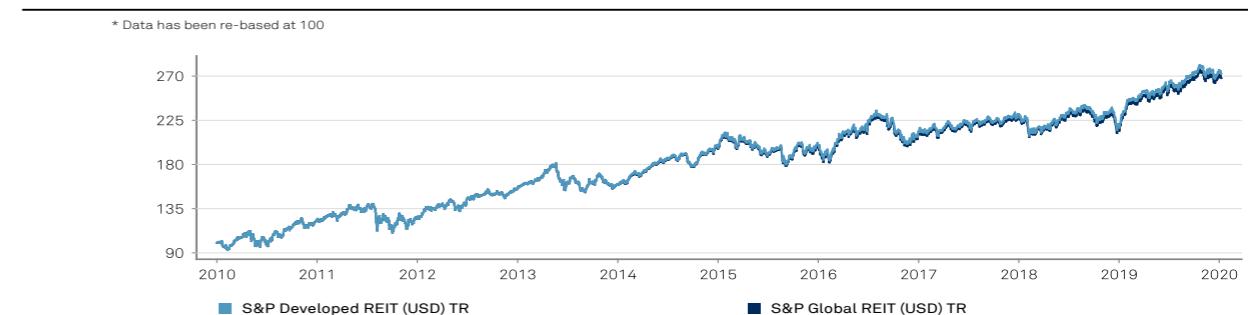
### S&P 先進国 REIT 指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	1,306.09	-0.14%	0.98%	24.72%	24.72%	8.98%	6.96%
プライス・リターン	289.29	-0.69%	-0.01%	19.67%	19.67%	4.39%	2.58%
ベンチマーク *・トータル・リターン	649.72	-0.11%	1.07%	24.49%	24.49%	8.8%	6.73%
ベンチマーク *・プライス・リターン	200.7	-0.66%	0.04%	19.34%	19.34%	4.13%	2.28%
							5.88%

\* The index benchmark is the S&P Global REIT (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	368
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	4,398.88
最大合計時価総額	56,314.02
最小合計時価総額	157.54
合計時価総額の中央値	2,078.35
Weight Largest Constituent [%]	3.8
Weight Top 10 Constituents [%]	23.2

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

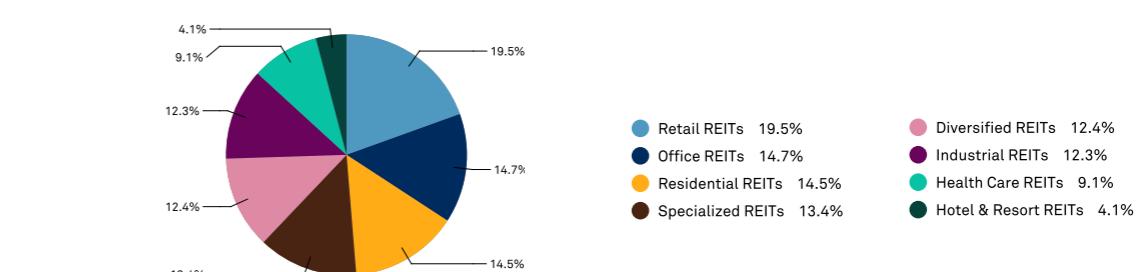
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
ProLogis Inc	PLD	Industrial REITs
Equinix Inc	EQIX	Specialized REITs
Simon Property Group A	SPG	Retail REITs
Welltower Inc	WELL	Health Care REITs
Public Storage	PSA	Specialized REITs
AvalonBay Communities Inc	AVB	Residential REITs
Equity Residential	EQR	Residential REITs
Digital Realty Trust	DLR	Specialized REITs
Realty Income Corp	O	Retail REITs
Link REIT	00823	Retail REITs

\*Based on GICS® sub-industry

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	8.87
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	117.09
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	118.76
* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量 詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。	

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 先進国 REIT 指数（除く日本）

### 指標について

S&P グローバル不動産指数の一つである S&P 先進国 REIT 指数（除く日本）は、日本を除く先進国市場を本拠地とし、上場されているエクイティ REIT の広範なベンチマークとして利用されている。

### 指標のメソドロジー

S&P 先進国 REIT 指数は時価総額加重型の指標で、S&P 指数委員会が維持管理している。指標委員会は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのエコノミストと指標アナリストで構成され、定期的に開催される。指標委員会の目的は、この指標が REIT 市場全体のリスク・リターン特性を継続的に反映した、グローバルな REIT 市場の正確な測定手段であることを保証することにある。維持管理の内容として、日次のコーポレート・アクション、四半期ごとの重要事象の更新、年次のポートフォリオの見直しが含まれる。

### S&P グローバル REIT 指数の適格性基準

各 REIT を調査し、不動産投資信託を規定する法律上の制限を満たすことを確認する。この調査対象となるためには、世界産業分類基準（GICS®）に従って不動産業に分類されている必要がある。具体的には、プロパティ・トラストも含めた不動産投資信託として分類されている必要がある。S&P グローバル REIT 指数の構成銘柄は、さらに次の 9 種類の不動産グループに分類される。

- 多角施設
- 産業用
- 住宅用
- ヘルスケア
- オフィス用
- 特殊
- ホテル・リゾート・レジャー
- 小売
- 倉庫

不動産業に分類されるすべての企業が S&P グローバル REIT 指数に適格とは限らない。材木 REIT、モーゲージ REIT、モーゲージ担保 REIT は除外される。

### 地域別・国別分類

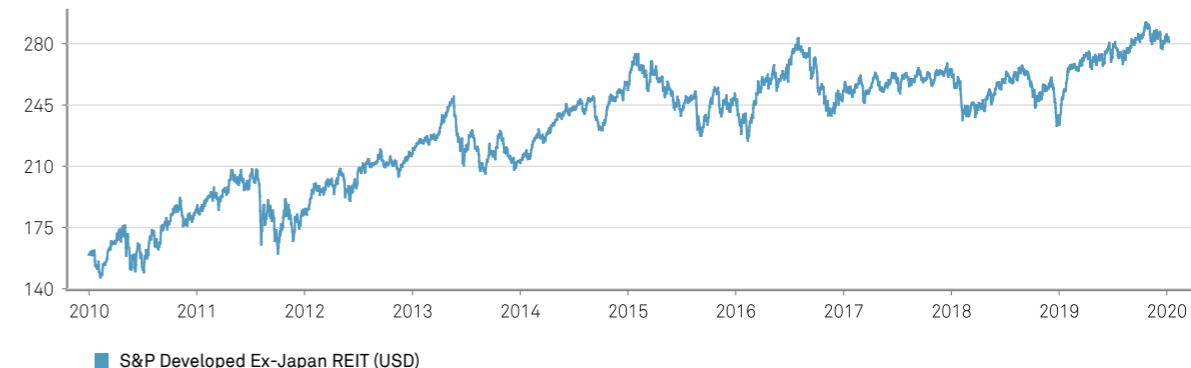
S&P グローバル REIT 指数は先進国、地域別、国別で算出されている。投資家の要望に応じて新たな地域総合指標を開発したり、投資戦略に合わせて標準指標を調整することも可能である。これらの指標は米ドル、英ポンド、円、カナダドル、ユーロ、豪ドルの 6 通貨で算出されている。これ以外の通貨も要望に応じて算出する。

### S&P 先進国 REIT 指数（除く日本）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	1,291.71	0.09%	1.22%	24.48%	24.48%	8.66%	6.77%
プライス・リターン	285.11	-0.48%	0.22%	19.39%	19.39%	4.05%	2.35%
ネット・トータル・リターン	438.51	-0.08%	0.95%	23.09%	23.09%	7.4%	5.56%
							9.34%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

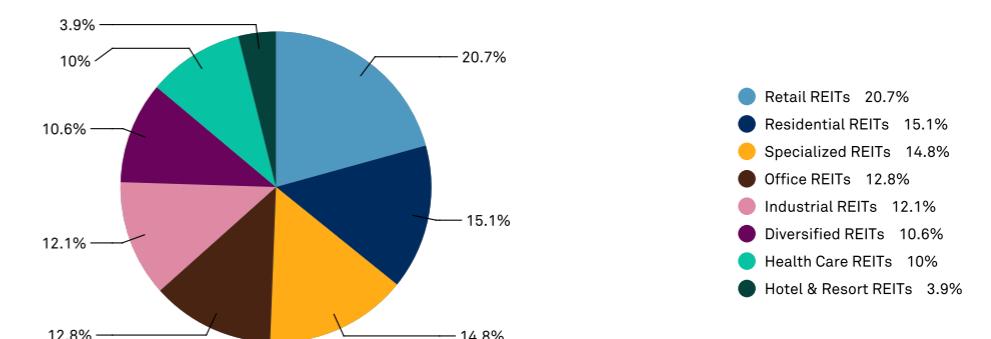
構成銘柄数	306
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	4,799.56
最大合計時価総額	56,314.02
最小合計時価総額	182.18
合計時価総額の中央値	2,156.49
Weight Largest Constituent [%]	4.2
Weight Top 10 Constituents [%]	25.7

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
ProLogis Inc	PLD	Industrial REITs
Equinix Inc	EQIX	Specialized REITs
Simon Property Group A	SPG	Retail REITs
Welltower Inc	WELL	Health Care REITs
Public Storage	PSA	Specialized REITs
AvalonBay Communities Inc	AVB	Residential REITs
Equity Residential	EQR	Residential REITs
Digital Realty Trust	DLR	Specialized REITs
Realty Income Corp	O	Retail REITs
Link REIT	00823	Retail REITs

\*Based on GICS® sub-industry

#### セクター別内訳



注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 米国 REIT 指数

### 指標について

S&P グローバル不動産指数の一つである S&P 米国 REIT 指数は、米国市場を本拠地とし、上場されているエクイティ REIT の広範なベンチマークとして利用されている。

### 指標のメソドロジー

S&P 先進国 REIT 指数は時価総額加重型の指標で、S&P 指数委員会が維持管理している。指標委員会は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのエコノミストと指標アナリストで構成され、定期的に開催される。指標委員会の目的は、この指標が REIT 市場全体のリスク・リターン特性を継続的に反映した、グローバルな REIT 市場の正確な測定手段であることを保証することにある。維持管理の内容として、日次のコーポレート・アクション、四半期ごとの重要事象の更新、年次のポートフォリオの見直しが含まれる。

### S&P グローバル総合指標の適格性基準

S&P 先進国 REIT 指標の構成銘柄はまず、S&P グローバル総合指標と S&P グローバル不動産指標の適格性基準を満たす必要がある。具体的には、以下を条件とする。

- 指標シリーズに含まれる 26 の先進国の中のいずれかを本拠地とする。
- ポートフォリオの見直し時に浮動株調整後時価総額が 1 億米ドル以上である。
- 年次の見直し時に直近 12 カ月間の売買代金が 5,000 万米ドル以上である。

年次の見直し時に浮動株調整後時価総額が 7,500 万米ドルを下回るか、または直近 12 カ月間の売買代金が 3,500 万米ドルを下回る銘柄は、S&P グローバル総合指標から除外される。また、年度途中のいずれかの時点で浮動株調整後時価総額が 2,500 万米ドルを下回った銘柄も除外される。

### S&P グローバル REIT 指標の適格性基準

各 REIT を調査し、不動産投資信託を規定する法律上の制限を満たすことを確認する。この調査対象となるためには、世界産業分類基準 (GICS®) に従って不動産業に分類されている必要がある。具体的には、プロパティ・トラストも含めた不動産投資信託として分類されている必要がある。S&P グローバル REIT 指標の構成銘柄は、さらに次の 9 種類の不動産グループに分類される。

- |                 |         |       |
|-----------------|---------|-------|
| ● 多角施設          | ● 産業用   | ● 住宅用 |
| ● ヘルスケア         | ● オフィス用 | ● 特殊  |
| ● ホテル・リゾート・レジャー | ● 小売    | ● 倉庫  |

不動産業に分類されるすべての企業が S&P グローバル REIT 指標に適格とは限らない。材木 REIT、モーゲージ REIT、モーゲージ担保 REIT は除外される。

### 地域別・国別分類

S&P グローバル REIT 指標は先進国、地域別、国別で算出されている。投資家の要望に応じて新たな地域総合指標を開発したり、投資戦略に合わせて標準指標を調整することも可能である。これらの指標は米ドル、英ポンド、円、カナダドル、ユーロ、豪ドルの 6 通貨で算出されている。これ以外の通貨も要望に応じて算出する。

### S&P 米国 REIT 指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	1,481.35	-0.7%	-0.8%	24.45%	24.45%	7.7%	6.8%
プライス・リターン	345.21	-1.29%	-1.78%	19.59%	19.59%	3.29%	2.54%
ベンチマーク *・トータル・リターン	6,553.57	3.02%	9.07%	31.49%	31.49%	15.27%	11.7%
ベンチマーク *・プライス・リターン	3,230.78	2.86%	8.53%	28.88%	28.88%	13%	9.43%
ベンチマーク *・ネット・トータル・リターン	5,805.15	2.97%	8.91%	30.7%	30.7%	14.59%	11.01%
							12.85%

\* The index benchmark is the S&P 500

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

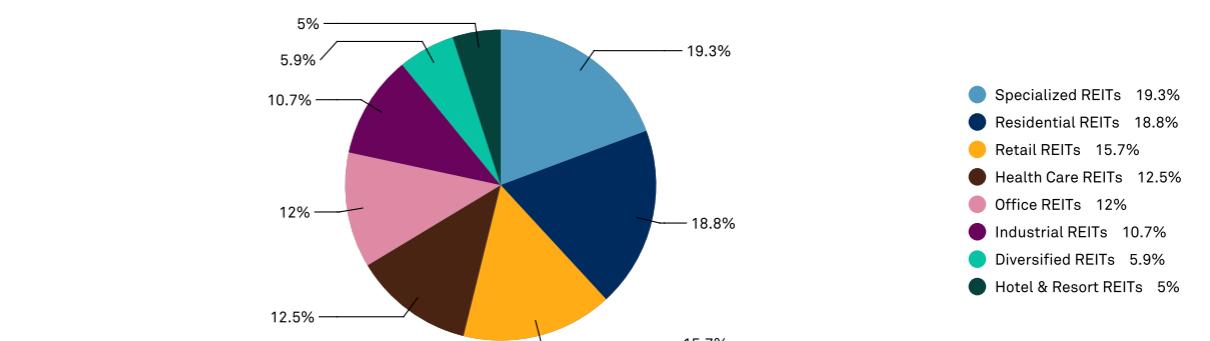
構成銘柄数	153
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	6,607.23
最大合計時価総額	56,314.02
最小合計時価総額	182.18
合計時価総額の中央値	3,153.41
Weight Largest Constituent [%]	5.7
Weight Top 10 Constituents [%]	35

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
ProLogis Inc	PLD	Industrial REITs
Equinix Inc	EQIX	Specialized REITs
Simon Property Group A	SPG	Retail REITs
Welltower Inc	WELL	Health Care REITs
Public Storage	PSA	Specialized REITs
AvalonBay Communities Inc	AVB	Residential REITs
Equity Residential	EQR	Residential REITs
Digital Realty Trust	DLR	Specialized REITs
Realty Income Corp	O	Retail REITs
Ventas Inc	VTR	Health Care REITs

\*Based on GICS® sub-industry

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P シンガポール・リート指数

### 指標について

S&P グローバル不動産指数の一つである S&P シンガポール REIT 指数は、シンガポールを本拠地として上場されている REIT のパフォーマンスを測定するために設計された指標である。S&P グローバル不動産指数は、上場している不動産企業の投資可能ユニバースをもとに構成される。この指標ファミリーには、不動産管理、開発、賃貸、投資など不動産関連の幅広い事業活動を営む企業が含まれている。なかでも REIT(不動産投資信託)指標には、物理的資産および他のパススルー・ビークルを投資対象としたプロパティ・トラストが含まれる。S&P 不動産指標ファミリーは、広範な銘柄ユニバースにおけるリスク・リターン特性を継続的に反映することで、世界の不動産および REIT 市場の測定基準となる指標を提供する。指標ファミリーにはグローバル不動産ベンチマーク指標に加え、より狭義の不動産テーマも含まれており、それぞれのテーマ別指標は大型かつ高流動性株式銘柄で構成されている。S&P グローバル不動産指標は、世界を代表する不動産ベンチマーク指標であり、他のすべての不動産関連指標 (S&P グローバル REIT 指標、S&P グローバル不動産 40 指標、S&P アジア不動産 40 指標など) のユニバースとしても活用されている。

### 指標の適格性

S&P グローバル総合指標 (S&P Global BMI) は株式ユニバースとしての役割を果たしており、S&P 不動産指標の全ての構成銘柄はこのユニバースから選択されます。S&P グローバル総合指標は、世界的に投資可能な全ての株式市場の銘柄へのあらゆる投資機会を測定するようデザインされています。

詳細については、弊社ウェブサイト [www.spdji.com](http://www.spdji.com) に掲載されている S&P Global BMI、S&P/IFCI メソドロジー (S&P Global BMI, S&P/IFCI Methodologies) を参照ください。

### 適格性要素

S&P グローバル不動産指標の構成銘柄は S&P グローバル総合指標から選択され、世界産業分類基準 (GICS®) の定義に基づいて、不動産サブ指標または REIT サブ指標が定義されます。これらの指標に追加される企業は不動産産業グループに属している必要があります。産業グループとは、GICS の構造における 4 つの階層 (セクター、産業グループ、産業、産業サブグループ) の中の 2 つ目を指します。

GICS の詳細については、弊社ウェブサイト [www.spdji.com](http://www.spdji.com) を参照ください。

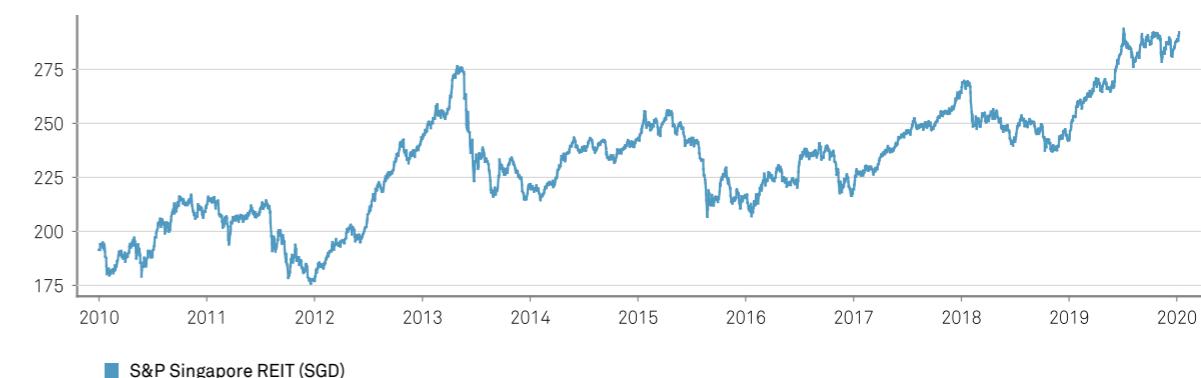
新規追加指標  
株式  
債券  
コモディティ  
不動産・テーマ  
戦略型  
ニュー・エコノミー  
ESG・責任投資

### S&P シンガポール・リート指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	758.97	0.25%	1.03%	25.24%	25.24%	15.73%	9.58%
プライス・リターン	288.03	0.25%	-0.07%	18.9%	18.9%	9.47%	3.48%
ネット・トータル・リターン	717.26	0.25%	1%	25.11%	25.11%	15.54%	9.4%
							10.34%

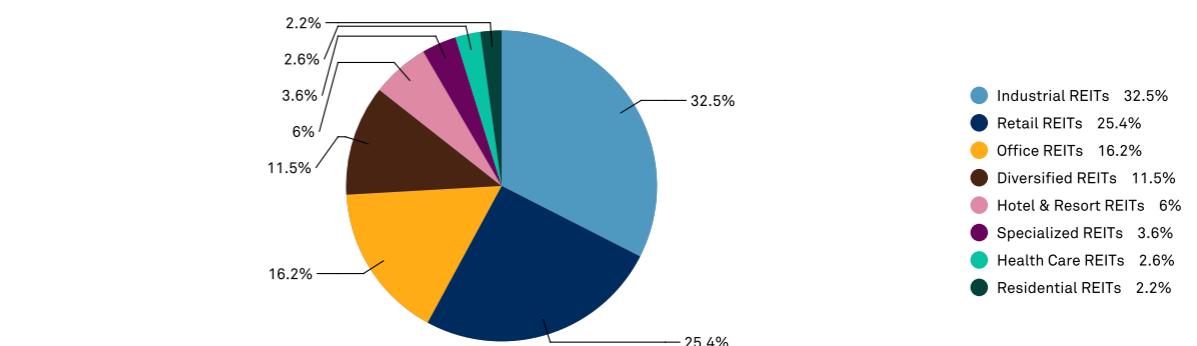
#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	35
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	2,207.93
最大合計時価総額	7,975.36
最小合計時価総額	360.26
合計時価総額の中央値	1,460.89
Weight Largest Constituent [%]	12.5
Weight Top 10 Constituents [%]	66.5

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## ダウ・ジョーンズ米国不動産インデックス

### 指数について

この指数は、ダウ・ジョーンズ・グローバル・インデックスのサブ・インデックスであるダウ・ジョーンズ米国指数に含まれる。ダウ・ジョーンズ米国指数は米国株式市場のパフォーマンス測定に広く採用されている指数である。この指数は、浮動株調整後時価総額が大きい順に上位 95% の米国株式（最も薄商いの銘柄を除く）で構成されている。その中で、開発・管理・所有を通じて直接的または間接的に不動産に投資する不動産投資信託（REIT）やその他の企業（不動産エージェンシーを含む）のパフォーマンスを表すのがダウ・ジョーンズ米国不動産指数である。

### リバランス

年次再構成：指数は毎年 9 月に再構成される。このプロセスでは、各市場における全ての株式を見直し、既存の基準に従つて適格性を判断する。さらに、各株式の浮動株修正係数（IWF）を見直し、必要に応じて更新を行う。9 月第 3 金曜日の次の月曜日の取引開始時に変更が実行される。

四半期更新：5% 以下の発行済株式総数の変更は累積され、四半期ごと（3 月、6 月、9 月、12 月）に実施される。こうした変更やウェイトの調整は、四半期ごとの更新月における第 3 金曜日の次の月曜日の取引開始時に実行される。

### 継続的維持

合併・買収や上場廃止、破綻などのコーポレート・イベントを考慮するため、指数は継続的に見直しが行われる。指数構成の変更や、それに関連するウェイトの調整は、それらが効力を発すると同時に実行される。こうした変更は通常、実行日の 2 営業日前に公表される。

### 指標の特徴

この指標は、浮動株調整後の時価総額に基づき米国証券の 95% をカバーするダウ・ジョーンズ米国指数のサブセットである。

この指標は株式市場で取引されている証券に基づいているため、指標の計算方法はわかりやすく、透明性が高い。

この指標は主に REIT から構成されているため、構成銘柄の価格は、リース料の変更や空室率、不動産開発、取引を反映する。

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数は 2000 年 2 月 14 日に初めて算出された。

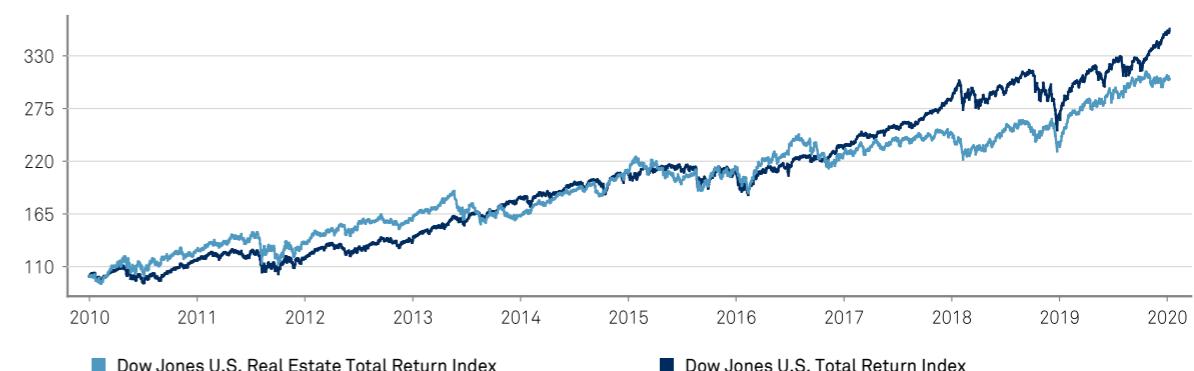
### ダウ・ジョーンズ米国不動産インデックス

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	1,480.37	0.97%	0.79%	28.92%	28.92%	10.77%	8.35%
プライス・リターン	367.38	0.32%	-0.18%	24.13%	24.13%	6.42%	4.09%
ベンチマーク *・トータル・リターン	1,368.34	2.85%	8.96%	31.15%	31.15%	14.83%	11.33%
ベンチマーク *・プライス・リターン	800.76	2.68%	8.44%	28.62%	28.62%	12.64%	9.15%
							11.22%

\* The index benchmark is the Dow Jones U.S. Index

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	114
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	11,216.14
最大合計時価総額	101,796.47
最小合計時価総額	1,903.33
合計時価総額の中央値	6,449.3
Weight Largest Constituent [%]	8.1
Weight Top 10 Constituents [%]	36.7

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
American Tower Corp A	AMT	Financials
Crown Castle Intl Corp	CCI	Financials
ProLogis Inc	PLD	Financials
Equinix Inc	EQIX	Financials
Simon Property Group A	SPG	Financials
Welltower Inc	WELL	Financials
Public Storage	PSA	Financials
AvalonBay Communities Inc	AVB	Financials
Equity Residential	EQR	Financials
SBA Communications Corp	SBAC	Financials

\*Based on a proprietary sector classification

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	10.6
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	108.16
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	125.37

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P グローバル・インフラストラクチャー指数

### 指標について

S&P グローバル・インフラストラクチャー指数はインフラストラクチャーフィールドの上場銘柄を代表する世界の 75 社に対する流動性のある取引可能なエクスポージャーを提供している。グローバルな上場インフラ市場に分散化されたエクスポージャーを作り出すために、この株価指数は、公益事業、運輸、エネルギーという 3 つの異なるインフラ集団にバランスのとれたウェイトをかけている。

この指標は、従来の産業の定義や地理的境界を超えた新しい投資テーマに対して流動性のあるエクスポージャーを提供するよう設計された S&P グローバル・テーマ指標シリーズの一部である。このシリーズは銘柄選定とウェイトの決定に独自の方法を採用することにより、これらの投資テーマに対して分散化された取引可能なエクspoージャーを提供している。

### 指標のメソドロジー

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス指標委員会は公表されている一連のガイドラインに従ってこの指標を維持管理している。これらのガイドラインの詳細は、当社ウェブサイト ([www.spdji.com](http://www.spdji.com)) で公表されている。この指標は年 2 回、3 月と 9 月の最終取引日の取引終了後にリバランスを行い、構成銘柄とその当初のウェイトを設定している。リバランス時以外には銘柄を追加しない。

#### 適格性基準

- 対象ユニバース：**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは世界産業分類基準をもとに公益事業、運輸、エネルギーの 3 つのインフラ集団を定義している。この 3 集団に属する S&P グローバル総合指標の構成銘柄をこの指標の対象ユニバースとする。
- エネルギー：**
  - 石油・ガス貯蔵・輸送
  - 空港サービス
  - 高速道路・鉄道路線
  - 港湾サービス
- 運輸：**
  - 電力
  - ガス
  - 水道
  - 総合公益事業
- 投資可能ユニバース：**先進国市場に上場し、時価総額が 2.5 億米ドル以上、修正時価総額が 1 億米ドル以上、かつ 3 カ月間の 1 日平均売買代金が先進国で 100 万米ドル以上、エマージング市場で 50 万米ドル以上の銘柄とする。
- 構成銘柄：**公益事業、運輸の両インフラ集団については、それぞれ規模の大きい上位 30 銘柄を採用する。エネルギーインフラ集団については規模の大きい上位 15 銘柄を採用する。

### 指標のウェイト

この指標は単一銘柄への集中化を低減し、3 つの集団のエクspoージャーのバランスをとる修正時価総額加重方式に則っている。リバランス時には、公益事業、運輸の各インフラ集団のウェイトをそれぞれ 40% とし、エネルギーインフラ集団のウェイトを 20% とする。また、単一銘柄のウェイトが 5% を超えないように調整する。

### S&P グローバル・インフラストラクチャー指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	5,783.22	4.34%	5.12%	26.99%	26.99%	11.35%	6.57%
プライス・リターン	2,788.69	3.99%	4.29%	21.8%	21.8%	6.92%	2.44%
ネット・トータル・リターン	4,968.31	4.24%	4.9%	25.75%	25.75%	10.3%	5.61%
ベンチマーク*・トータル・リターン	458.1	3.57%	9.14%	26.76%	26.76%	12.6%	8.87%
ベンチマーク*・プライス・リターン	279.6	3.4%	8.65%	23.65%	23.65%	9.91%	6.25%
ベンチマーク*・ネット・トータル・リターン	361.97	3.53%	9.02%	26.07%	26.07%	12.01%	8.29%
							8.88%

\* The index benchmark is the S&P Global BMI (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	75
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	20,848.91
最大合計時価総額	118,362
最小合計時価総額	960.13
合計時価総額の中央値	10,286.83
Weight Largest Constituent [%]	5.3
Weight Top 10 Constituents [%]	38.6

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Enbridge Inc	ENB	Energy
Aena SA	AENA	Industrials
Transurban Group NPV	TCL	Industrials
NextEra Energy Inc	NEE	Utilities
Atlantia SpA	ATL	Industrials
TC Energy Corporation	TRP	Energy
Dominion Energy Inc	D	Utilities
Southern Co	SO	Utilities
Duke Energy Corp	DUK	Utilities
Getlink SE	GETP	Industrials

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	240.53
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	1,134.58
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	1,111.95
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	3.59

#### ESG 特性

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics) をご覧ください。

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) \*

炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) \*

炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) \*

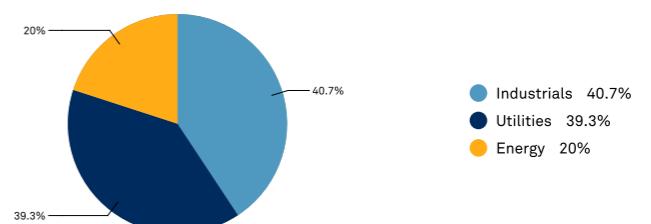
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## ダウ・ジョーンズ・ブルックフィールド・インフラストラクチャー・インデックス

### 指数について

ダウ・ジョーンズ・ブルックフィールド・インフラストラクチャー指数は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスとブルックフィールド・アセット・マネジメントが共同して提供する。この指数はインフラ資産を所有・運営している世界中の企業の株式パフォーマンスを測定する。この指数に採用されるには、企業は推定キャッシュフロー（公入手可能な情報に基づく）の少なくとも 50% を、次のインフラ・セクターから生成している必要がある：

- 空港
- 有料道路
- 港湾
- 通信
- 送電及び配電
- 石油及び天然ガスの貯蔵及び輸送
- 水
- ダイバーシファイド（複数のセクター）。

ブルックフィールド・アセット・マネジメントは不動産や電力、インフラ資産に特化したグローバルな運用会社である。北米・南米、欧州、オーストラリアにわたり、一流のオフィス不動産、水力発電施設、送電網、森林事業などから構成される最大級のポートフォリオを所有・運営している。

### 指数ファミリー

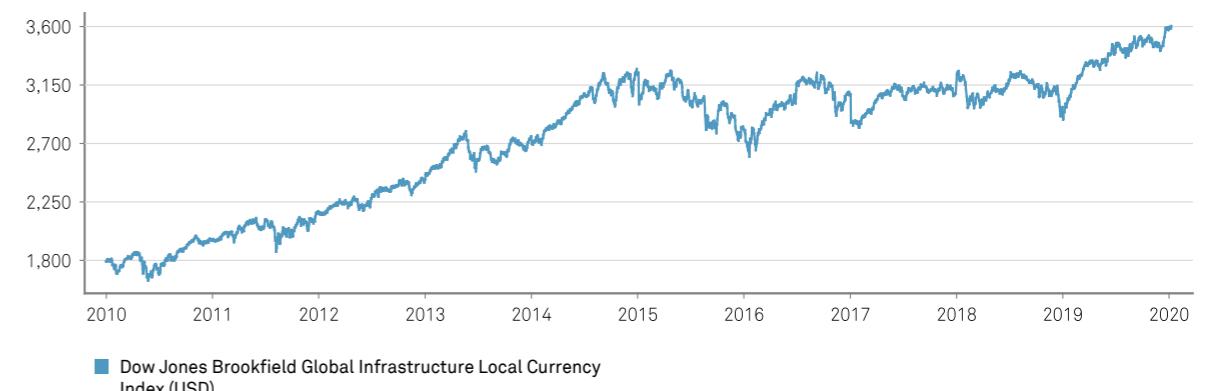
- ダウ・ジョーンズ・ブルックフィールド・グローバル・インフラストラクチャー総合指数  
この指数は、インフラ資産を所有・運営している世界中の企業の株式パフォーマンスを表すことを目指している。この指数には、マスター・リミテド・パートナーシップ (MLP) やその他の株式が含まれる。この指数のサブセットとして、各地域別の指数も算出されている。
- ダウ・ジョーンズ・ブルックフィールド・グローバル・インフラストラクチャー指数  
この指数は、インフラ資産を所有・運営している世界中の企業の株式パフォーマンスを表すことを目指している。この指数には、マスター・リミテド・パートナーシップ (MLP) は含まれない。この指数のサブセットとして、各地域別、セクター別、の指数も算出されている。
- ダウ・ジョーンズ・ブルックフィールド・グローバル・インフラストラクチャー高配当総合指数 Dow Jones  
この指数は、ダウ・ジョーンズ・ブルックフィールド・グローバル・インフラストラクチャー・コンポジット指数の中で最も高配当の企業の株式パフォーマンスを表すことを目指している。

### ダウ・ジョーンズ・ブルックフィールド・インフラストラクチャー・インデックス

#### パフォーマンス

指標	リターン			年率換算				
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	
プライス・リターン	3,576.94	3.79%	1.87%	20.03%	20.03%	5.2%	2.07%	7.15%
ネット・トータル・リターン	6,002.5	4.06%	2.57%	23.51%	23.51%	8.24%	5.05%	10.34%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	101
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	13,519.9
最大合計時価総額	101,796.47
最小合計時価総額	605.15
合計時価総額の中央値	6,095.68
Weight Largest Constituent [%]	8.7
Weight Top 10 Constituents [%]	46.3

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	86.87
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	425.83
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	449.88
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	91.32

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P MLP 指数

### 指数について

S&P MLP 指数は米国の主な取引所で取引される代表的なパートナーシップへのエクスポージャーを提供するように設計されている。この指数にはマスター・リミテッド・パートナーシップ (MLP) と上場リミテッド・ライアビリティ・カンパニー (LLC) の両方が含まれる。LLC とは、MLP と類似した法的構造を有し、同様な税制優遇を受けている企業体を指す。

取引されているパートナーシップの大半は石油及び天然ガス業界で事業を行っているため、S&P MLP 指数は世界産業分類基準 (GICS®) に従い、GICS エネルギーセクターと GICS 公益セクターの天然ガス業界の企業に注目している。

MLP とは、証券取引所に上場しているリミテッド・パートナーシップである。MLP は、パートナーシップ構造により税制面の優遇措置を受けており、高い分配金を安定的に支払うことを特徴としている。MLP への関心の高まりに伴い、上場 MLP の数がここ数年で大幅に増加している。

### 指数のメソドロジー

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス株価指数委員会は公表されている一連のガイドラインに従って株価指数を管理している。これらのガイドラインの詳細は、指数の追加・除外基準、方針、リサーチを含め、当社ウェブサイト ([www.spindices.com](http://www.spindices.com)) で公表されている。

このメソドロジーには、リバランス時において、指数の中で 15%以上のウェイトを有する銘柄があってはならず、浮動株調整後の時価総額に基づいて 4.5%以上のウェイトを有する全ての銘柄は、グループとして指数の 45%を超えてはならないことが明記されている。これらのパラメータを維持するため、この指数は修正時価総額加重方式を採用している。投資可能な浮動株を反映するため、必要に応じて時価総額ウェイトを修正する一方で、指数の構成銘柄に対して個別銘柄の保有や集中保有の制限を設けている。

### 指数への追加基準

- 本籍地：ニューヨーク証券取引所、NASDAQ・グローバル・セレクト・マーケット、NASDAQ・セレクト・マーケット、あるいはNASDAQ・キャピタル・マーケットに上場する全ての上場パートナーシップ。
- 時価総額：浮動株調整後の時価総額が 3 億ドルを超える企業。
- 流動性：3ヶ月間の 1 日平均売買高が 2 百万ドルを超える企業。既存の指数構成銘柄を継続使用する場合は、必ずしもこれらのガイドラインに従わない。指数委員会は指数構成銘柄の不必要な入れ替えを最小限に留めるよう努めており、銘柄を除外する場合は、その都度判断している。

### 指数からの除外基準

- 指数への追加基準の一項目以上を著しく逸脱した銘柄。
- 合併、買収、大規模なリストラを実施したために追加基準を満たさなくなった銘柄。

### S&P MLP 指数

#### パフォーマンス

指標	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	4,443.25	7.99%	-3.09%	9.78%	9.78%	-2.9%	-6.23%
プライス・リターン	1,283.04	7.99%	-5.21%	1.17%	1.17%	-10.03%	-12.99%
ベンチマーク *・トータル・リターン	6,553.57	3.02%	9.07%	31.49%	31.49%	15.27%	11.7%
ベンチマーク *・プライス・リターン	3,230.78	2.86%	8.53%	28.88%	28.88%	13%	9.43%
ベンチマーク *・ネット・トータル・リターン	5,805.15	2.97%	8.91%	30.7%	30.7%	14.59%	11.01%
							12.85%

\* The index benchmark is the S&P 500

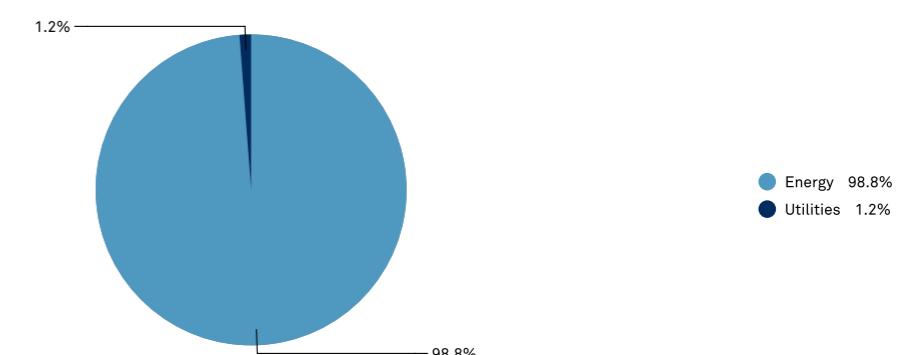
#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	36
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	7,008.52
最大合計時価総額	61,642.41
最小合計時価総額	519.96
合計時価総額の中央値	2,575.98
Weight Largest Constituent [%]	16.3
Weight Top 10 Constituents [%]	70.3

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標に含まれる銘柄数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P BDC 指数

### 指標について

S&P BDC 指数は、米国的主要取引所で取引されている代表的なビジネス・デベロップメント・カンパニーへのエクスプローラーを提供するように設計されている。米国のビジネス・デベロップメント・カンパニー（BDC）は上場プライベート・エクイティ会社であり、中小企業向けに投融資を行うとともに、ポートフォリオで保有する企業に対して経営支援を提供している。指標の構成企業は、最低限の時価総額や流動性要件を満たしているBDCである。この指標は浮動株調整後の修正時価総額加重方式により算出される。投資可能な浮動株を反映するため、必要に応じて時価総額ウェイトを修正する一方で、指標の構成銘柄に対して個別銘柄の保有制限を設けている。

S&P BDC 指標の構成銘柄に採用されるためには、次の基準を満たす必要がある：

- SEC ファイリングに明記されているビジネス・ディベロップメント・カンパニーの要件を備えた上場企業であること。
- ニューヨーク証券取引所（NYSE アーカ取引所を含む）、NYSE MKT、ナスダック・グローバル・セレクト・マーケット、ナスダック・セレクト・マーケット、あるいはナスダック・キャピタル・マーケットに上場していること。

### 見直しのタイミング

構成銘柄は毎年9月に見直される。構成銘柄の変更は9月の第3金曜日の取引終了後に発効する。構成銘柄の追加及び除外の参考日は、8月の最終取引日の取引終了後である。指標構成銘柄のウェイトは見直され、四半期ごとに保有上限を超えないように調整が行われ、3月、6月、9月、12月の第3金曜日の取引終了後に発効する。ウェイト設定の参考日は、四半期ごとの見直しが行われる月の第2金曜日の取引終了後となる。

追加基準：毎年9月のリバランス時において、適格ユニバースの企業が次の要件を満たした場合、指標に追加される。

- リバランスの参考日時点において、浮動株調整後の時価総額が1億ドル以上であること。
- リバランスの参考日までの12ヶ月間の売買総額が5,000万ドル以上であること。

9月のリバランス時以外に指標に銘柄が追加されることはない。

除外基準：指標の構成銘柄は以下の理由により指標から除外されることがある。

- 9月のリバランスにおいて、リバランスの参考日に、浮動株調整後の時価総額が7,500万ドル未満の場合。
- 9月のリバランスにおいて、リバランスの参考日までの12ヶ月間の売買総額が3,500万ドル未満の場合。
- 9月の各リバランスの間に、合併や買収、破綻、被買収、または上場廃止などの特定のコーポレート・イベントの対象となった場合。

### S&P BDC 指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	256.05	0.94%	3.68%	28.16%	28.16%	6.25%	7.49%
プライス・リターン	65.58	-1%	1.1%	16.42%	16.42%	-3.33%	-2.22%
ネット・トータル・リターン	170.26	0.36%	2.9%	24.52%	24.52%	3.28%	4.48%
							8.21%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

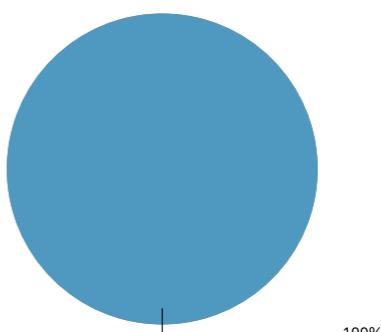
構成銘柄数	44
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	986.5
最大合計時価総額	7,967.17
最小合計時価総額	78.29
合計時価総額の中央値	368.05
Weight Largest Constituent [%]	10
Weight Top 10 Constituents [%]	61

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Ares Capital Corp	ARCC	Financials
FS KKR Capital Corp	FSK	Financials
Main Street Capital Corp	MAIN	Financials
Prospect Capital Corp	PSEC	Financials
Hercules Capital, Inc	HTGC	Financials
New Mountain Finance Corp	NMFC	Financials
Apollo Inv Corp	AINV	Financials
TPG Specialty Lending Inc	TSLX	Financials
Golub Capital BDC Inc	GBDC	Financials
Solar Capital Ltd.	SLRC	Financials

\*Based on GICS® sectors

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P GIVI™ (グローバル・イントリンシック・バリュー・指数)

### 指標について

S&P GIVI™ (グローバル・イントリンシック・バリュー・インデックス) は、低ボラティリティおよび、伝統的な時価総額加重方式とは異なり本源的価値をベースにした銘柄加重の両方を提供するルールベースのグローバル株価指標シリーズである。低ボラティリティ実現のため、国別にベータ値の最も高い銘柄から順に時価総額の30%分を指標から除外している。その後、残りの銘柄を本源的価値にもとづき加重する。S&P GIVI 指数は、S&P グローバル総合指標「S&P Global BMI (新興国、先進国合わせて46カ国) の銘柄1万件以上を網羅する、浮動株調整後時価総額の包括的加重ペンチマーク) の株式銘柄ユニバースをもとに構成している。S&P GIVI 指数は、グローバル、国別または地域別に提供している。この指標は7通貨で算出している。

### 指標の構築

S&P GIVI の指標ユニバースは、S&P グローバル総合指標の構成国別に、地域市場の株価データにもとづく高ボラティリティ銘柄から順に浮動株調整後時価総額30%相当を除外した、低ボラティリティ銘柄のサブセットで構成される。S&P GIVI の各構成銘柄は、時価総額ではなく算出済の本源的価値をもとに加重される。各銘柄の本源的価値は、企業の現有資産および成長機会の価値を足し合わせた合計を本源的価値とする残余利益モデルをもとに算出される。指標構成企業の流動資産の価値は、現在簿価とする。成長機会の価値は、アナリストのコンセンサス予測にもとづく予想利益の割引価値から算出する。割引率は、過去5年間の株価リターン、国別の無リスク金利およびグローバル株価リスクプレミアムから導出した株価データを用いて算出する。各銘柄の本源的価値は年2回の指標リバランス時に更新される。46ヶ国で約7,000種類の銘柄を網羅する S&P GIVI は、S&P グローバル総合指標を構成する国およびセクターの多様性を踏襲し、グローバル・ポートフォリオのボラティリティ低減を目指す。S&P GIVI は以下の7通貨で算出される。米ドル(USD)、ユーロ(EUR)、英ポンド(GBP)、日本円(JPY)、カナダドル(CAD)、豪ドル(AUD)および自国通貨建てリターン(DCR)。年に2回(3月および9月の第3金曜日)、指標のリバランスを行う。S&P GIVI の主要構成銘柄すべてについて、グロスおよびネットのトータル・リターンを算出している。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが使用するメソドロジーの詳細は、当社ウェブサイト (<http://www.spdji.com>) で公表されている。

### S&P GIVI™ (グローバル・イントリンシック・バリュー・指標)

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	497.55	3.37%	7.81%	22.98%	22.98%	11.35%	8.28%
プライス・リターン	288.67	3.14%	7.21%	19.22%	19.22%	8.17%	5.23%
ベンチマーク*・トータル・リターン	458.1	3.57%	9.14%	26.76%	26.76%	12.6%	8.87%
ベンチマーク*・プライス・リターン	279.6	3.4%	8.65%	23.65%	23.65%	9.91%	6.25%
ベンチマーク*・ネット・トータル・リターン	361.97	3.53%	9.02%	26.07%	26.07%	12.01%	8.29%
トータル・リターン	361.97	3.53%	9.02%	26.07%	26.07%	12.01%	8.29%

\* The index benchmark is the S&P Global BMI (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	7043
構成銘柄の時価総額 [USD 100万]	
平均合計時価総額	7,466.55
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	26.31
合計時価総額の中央値	1,351.32
Weight Largest Constituent [%]	2.1
Weight Top 10 Constituents [%]	10.8

#### インデックス加重による構成銘柄トップ10

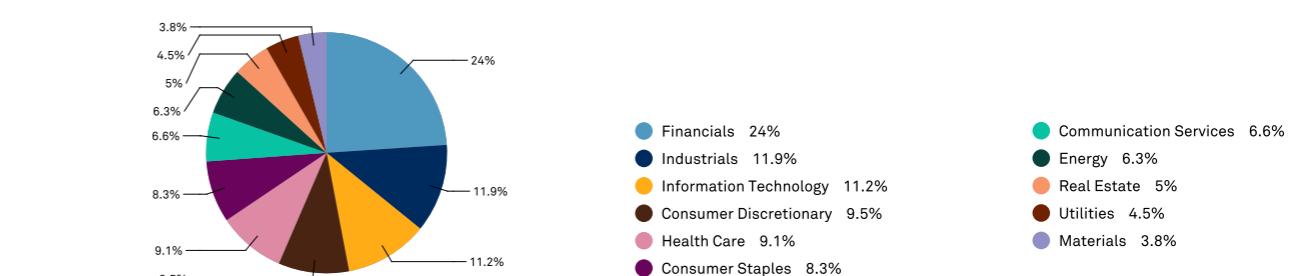
構成銘柄	銘柄コード	GICSセクター
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
JP Morgan Chase & Co	JPM	Financials
Berkshire Hathaway B	BRK.B	Financials
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
Samsung Electronics Co	005930	Information Technology
AT&T Inc	T	Communication Services
Wells Fargo & Co	WFC	Financials
Toyota Motor Corp	7203	Consumer Discretionary
Intel Corp	INTC	Information Technology
Exxon Mobil Corp	XOM	Energy

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資100万ドル) *	229.38
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高100万ドル) *	346.85
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高100万ドル) *	332.34
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資100万ドル)	4,285.08

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics) をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P GIVI ジャパン

### 指標について

S&P GIVI（グローバル・イントリニシック・バリュー指数）は、従来の株式時価総額に代えて、本源的株式価値に基づいて指標の構成比率を決定することにより、低いボラティリティとパフォーマンスを実現するように設計された、規則に基づき管理されている指標である。この指標はS&P GIVI グローバルのサブセットであり、日本市場に特化している。ユニバースはS&P 日本総合指標である。

### 指標の構築

S&P GIVI の指標ユニバースは、S&P グローバル総合指標の構成国別に、地域市場の株価ペータにもとづく高ボラティリティ銘柄から順に浮動株調整後時価総額30%相当を除外した、低ボラティリティ銘柄のサブセットで構成される。S&P GIVI の各構成銘柄は、時価総額ではなく算出済の本源的価値をもとに加重される。各銘柄の本源的価値は、企業の現有資産および成長機会の価値を足し合わせた合計を本源的価値とする残余利益モデルをもとに算出される。指標構成企業の流動資産の価値は、現在簿価とする。成長機会の価値は、アナリストのコンセンサス予測にもとづく予想利益の割引価値から算出する。割引率は、過去5年間の株価リターン、国別の無リスク金利およびグローバル株価リスクプレミアムから導出した株価ペータを用いて算出する。各銘柄の本源的価値は年2回の指標リバランス時に更新される。46ヶ国で約7,000種類の銘柄を網羅するS&P GIVI は、S&P グローバル総合指標を構成する国およびセクターの多様性を踏襲し、グローバル・ポートフォリオのボラティリティ低減を目指す。S&P GIVI は以下の7通貨で算出される。米ドル(USD)、ユーロ(EUR)、英ポンド(GBP)、日本円(JPY)、カナダドル(CAD)、豪ドル(AUD)および自国通貨建てリターン(DCR)。年に2回(3月および9月)、指標のリバランスを行う。S&P GIVI の主要構成銘柄すべてについて、グロスおよびネットのトータル・リターンを算出している。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが使用するメソドロジーの詳細は、当社ウェブサイト (<http://www.spdji.com>) で公表されている。

## S&P GIVI™ ジャパン

### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	290.37	0.53%	6.64%	11.75%	11.75%	4.91%	6.01%
プライス・リターン	201.55	0.36%	6.46%	8.48%	8.48%	2.24%	3.47%
ネット・トータル・リターン	269.79	0.5%	6.6%	11.07%	11.07%	4.36%	5.49%
ベンチマーク*・トータル・リターン	198.31	1.24%	8.32%	18.38%	18.38%	6.8%	6.38%
ベンチマーク*・プライス・リターン	135.16	1.08%	8.14%	15.51%	15.51%	4.43%	4.12%
ベンチマーク*・ネット・トータル・リターン	220.66	1.21%	8.29%	17.79%	17.79%	6.32%	5.92%
							8.56%

\* The index benchmark is the S&P Japan BMI (JPY)

### 過去の実績



### インデックスの特徴

構成銘柄数	1011
構成銘柄の時価総額 [USD 100万]	
平均合計時価総額	4,310.88
最大合計時価総額	231,614.99
最小合計時価総額	97.57
合計時価総額の中央値	1,030.48
Weight Largest Constituent [%]	6.7
Weight Top 10 Constituents [%]	25.8

### インデックス加重による構成銘柄トップ10

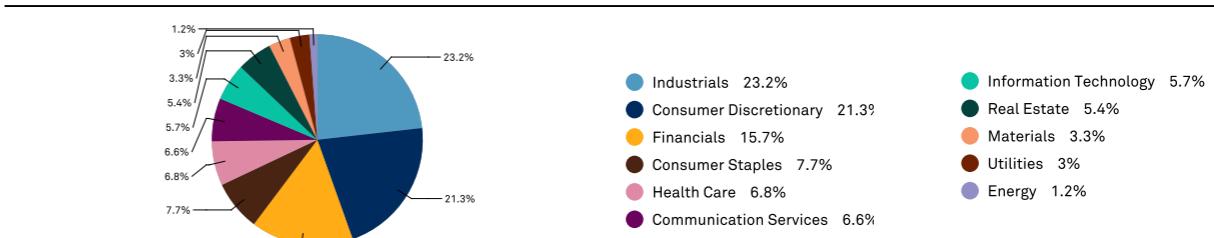
構成銘柄	銘柄コード	GICSセクター
Toyota Motor Corp	7203	Consumer Discretionary
Honda Motor Co	7267	Consumer Discretionary
Sumitomo Mitsui Financial Group Inc	8316	Financials
Mizuho Financial Group Inc	8411	Financials
Mitsubishi Corp	8058	Industrials
Mitsui & Co	8031	Industrials
KDDI Corp	9433	Communication Services
Itochu Corp	8001	Industrials
Central Japan Railway Co	9022	Industrials
Nippon Tel & Tel Corp	9432	Communication Services

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100万ドル) *	201.11
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100万ドル) *	179.92
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100万ドル) *	198.55
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100万ドル)	244.47

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics)をご覧ください。

### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P/JPX GIVI®

### 指標について

S&P JPX GIVI®（グローバル・イントリンシック・バリュー指数）は、ルールに基づくマルチ・ファクター指標であり、従来の株式時価総額に代えて、本源的株式価値に基づいて指標の構成比率を決定することにより、低いボラティリティとパフォーマンスを実現するように設計されている。

### 特性

近年、スマート・ベータ戦略に対する関心が高まっているが、S&P/JPX GIVIは、日本のスマート・ベータ戦略を反映するように意図されたベンチマーク及び投資可能指標として機能するように設計されている。この指標は、日本取引所グループと東京証券取引所、S&Pダウジョーンズインデックスの共同ブランドであり、東証株価指数（TOPIX）から構成銘柄を選定している。TOPIXは浮動株調整後時価総額加重指標であり、東証一部に上場するすべての内国普通株式に基づいて算出される指標だが、S&P/JPX GIVIはボラティリティを低く抑えるために、TOPIXの中でベータ値の高い銘柄から順に時価総額の30%を除外している。

### 指標の構築

ユニバース：指標の採用候補銘柄はTOPIXの構成銘柄である必要がある。

構成銘柄の選択：TOPIXの中で最もボラティリティの高い銘柄（ベータ値の高い銘柄）から順に浮動株調整後時価総額の30%を除外し、残りの70%で構築される。

本源的価値加重：指標の各構成銘柄は時価総額ではなく、計算された本源的価値により加重される。各構成銘柄の本源的価値は、純資産と、予想利益の割引価値により決定される。割引率は、過去5年間の株価リターンに基づくベータとリスクフリーレートから導き出される。

分散：本源的価値に基づくウェイトが、TOPIXの浮動株調整後時価総額に基づくウェイトを上回る場合、株式のウェイトには上限が設定される。

バッファー：すでに指標に組み入れられている銘柄に対してベータによる除外ルールに5%のバッファーが適用される。

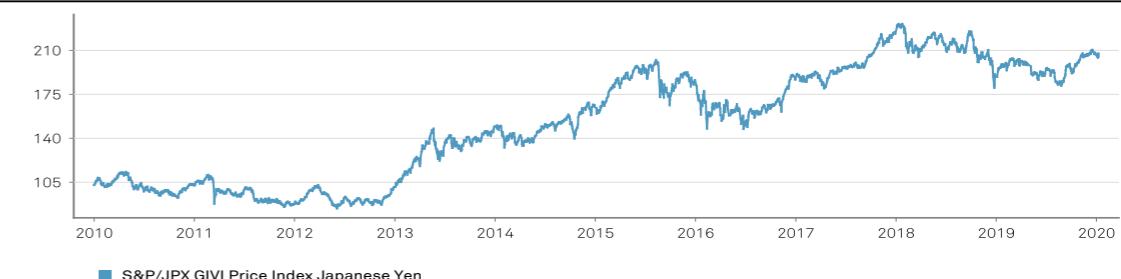
仮に現在の指標の構成銘柄が、ベータ値の高い順に浮動株調整後時価総額ベースで上位25%に入っている場合は、その銘柄はリバランス時に除外となる。

### S&P/JPX GIVI®

### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	298.35	0.78%	6.82%	11.85%	11.85%	6.09%	7.19%
プライス・リターン	206.78	0.61%	6.66%	8.69%	8.69%	3.46%	4.63%
							7.25%

### 過去の実績



### インデックスの特徴

構成銘柄数	1290
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	360,923.99
最大合計時価総額	25,170,758.86
最小合計時価総額	2,550
合計時価総額の中央値	51,549.7
Weight Largest Constituent [%]	6.3
Weight Top 10 Constituents [%]	25.8

### インデックス加重による構成銘柄トップ10

構成銘柄	銘柄コード	GICSセクター
Toyota Motor Corp	7203	Consumer Discretionary
Honda Motor Co	7267	Consumer Discretionary
Nippon Tel & Tel Corp	9432	Communication Services
Mizuho Financial Group Inc	8411	Financials
Mitsubishi Corp	8058	Industrials
Takeda Pharmaceutical Co Ltd	4502	Health Care
Mitsui & Co	8031	Industrials
KDDI Corp	9433	Communication Services
Itochu Corp	8001	Industrials
Central Japan Railway Co	9022	Industrials

\*Based on GICS® sectors

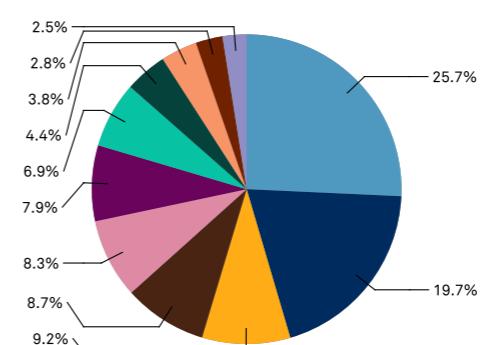
### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	238.34
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	206.39
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	233.5
化石燃料埋蔵量の排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）	927.66

\*事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdj.com/esg-metricsをご覧ください。

### セクター別内訳



Industrials 25.7%  
Consumer Discretionary 19.7%  
Financials 9.2%  
Communication Services 8.7%  
Consumer Staples 8.3%  
Health Care 7.9%  
Information Technology 6.9%  
Materials 4.4%  
Utilities 3.8%  
Real Estate 2.8%  
Energy 2.5%

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年 12月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 500® 均等ウェイト指数

### 指標シリーズについて

S&P 500 均等ウェイト指数 (S&P 500 EWI) は、世界的に有名な S&P 500® の均等加重バージョンである。この指標の構成銘柄は、時価総額加重の S&P 500 と同じであるが、S&P 500 EWI の各企業は 0.20% の固定ウェイトが割り当てられ、四半期ごとにリバランスされる。

S&P 500 EWI は、S&P 500 (米国的主要業種を代表する 500 銘柄のパフォーマンスを測定する) の指標メソドロジーに従つて維持される。S&P 500 EWI は、S&P 500 と同じ 500 の企業を均等にウェイトした場合のパフォーマンスを測定する。したがって、S&P 500 EWI のセクター・エクスポージャーは S&P 500 とは異なる。

### 指標のメソドロジー

指標委員会の目標は、S&P 500 が大型株ユニバースのリスク・リターン特性を継続的に反映し、米国株の代表的指標であり続けることを保証することにある。指標委員会では、米国の大型株ユニバースにおけるセクター・ウェイトに沿って指標のセクター・バランスを維持することに努めている。

S&P 500 EWI については、500 の各銘柄が均等に加重されたポートフォリオを維持することを目標としている。指標の追加・除外は S&P 500 と一致している。S&P 500 EWI の各構成銘柄には 0.20% のウェイトが割り当てられる。株価の動向に応じて、指標に占めるウェイトは変化する。頻繁にリバランスを行うと、売買回転率の上昇につながる一方、リバランスの頻度を下げるとき、均等ウェイトから大幅に乖離することになる。S&P 500 EWI では、S&P 500 における四半期ごとの銘柄の調整と一致させるため、四半期ごとにリバランスを行う。このリバランスは各四半期の第 3 金曜日の取引終了後に実施する。四半期の途中で銘柄が追加される場合には、除外される銘柄のウェイトが割り当てられる。S&P 500 及び S&P 500 EWI の指標メソドロジーに関する詳しい情報についてはウェブサイト [www.spdji.com](http://www.spdji.com) で公表されている。

### S&P 500 との比較

時価総額加重指標である S&P 500 では、指標においてより高いウェイトを占める大型株による集中が僅かに見られる。S&P 500 EWI は、S&P 500 の構成銘柄を均等に加重しているため、異なる特性を有している。

#### S&P 500 EWI の特徴

- 時価総額の小さな企業へのエクスポージャーが大きい。
- 時価総額の大きな企業へのエクspoージャーが小さい。
- 四半期ごとにリバランスされるため、売買回転率が高い。
- S&P 500 とは異なるセクター・エクspoージャーを有する。
- S&P 500 とは異なるリスク・リターン特性を有する。

S&P 500 EWI は均等ウェイトであるため、時価総額の小さな企業が多いセクターへのエクspoージャーが S&P 500 よりも高くなる。また、様々な市場サイクルの中で “サイズプレミアム” が生じるため、2 つの指標の相対パフォーマンスも異なる。歴史的に見ると、大型株が好調な場合には、S&P 500 がアウトパフォームし、小型株が好調な場合には、S&P 500 EWI がアウトパフォームしている。

### S&P 500® 均等ウェイト指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	8,485.96	2.78%	7.61%	29.24%	29.24%	12.38%	9.77%
プライス・リターン	4,691.02	2.57%	7.04%	26.57%	26.57%	10.18%	7.61%
ネット・トータル・リターン	5,876.47	2.71%	7.44%	28.43%	28.43%	11.72%	9.11%
ベンチマーク *・トータル・リターン	6,553.57	3.02%	9.07%	31.49%	31.49%	15.27%	11.7%
ベンチマーク *・プライス・リターン	3,230.78	2.86%	8.53%	28.88%	28.88%	13%	9.43%
ベンチマーク *・ネット・トータル・リターン	5,805.15	2.97%	8.91%	30.7%	30.7%	14.59%	11.01%
							12.85%

\* The index benchmark is the S&P 500

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	505
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	55,694.24
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	2,896.63
合計時価総額の中央値	23,590.06
Weight Largest Constituent [%]	0.2
Weight Top 10 Constituents [%]	2.2

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Conagra Brands, Inc	CAG	Consumer Staples
Apache Corp	APA	Energy
Western Digital Corp	WDC	Information Technology
Mosaic Co	MOS	Materials
Macy's Inc	M	Consumer Discretionary
Corteva Inc.	CTVA	Materials
Advanced Micro Devices	AMD	Information Technology
Concho Resources Inc	CXO	Energy
Live Nation Entertainment Inc.	LYV	Communication Services
Noble Energy Inc	NBL	Energy

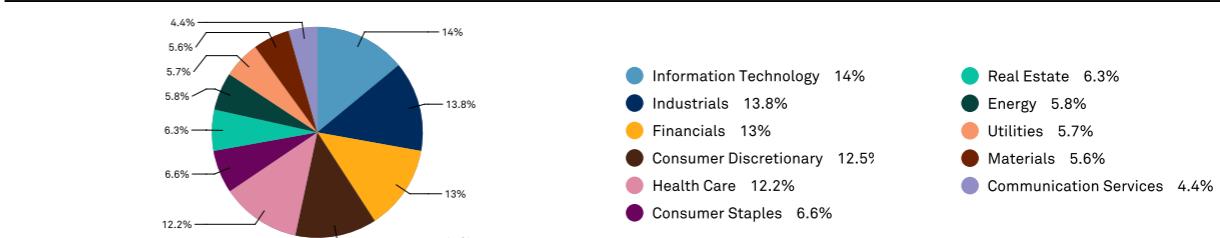
\*Based on GICS® sectors

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	122.17
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	286.26
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	358.73
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	987.91

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics) をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 500® Dynamic VEQTOR 指数シリーズ\*

### 指数シリーズについて

S&P 500® Dynamic VEQTOR 指数シリーズは、エクイティ、ボラティリティ、キャッシュの配分によるインプライド・ボラティリティ・ヘッジ済の、株式市場全般におけるエクスポージャー参照指数である。当シリーズに含まれる指数は、S&P 500 Dynamic VEQTOR 指数、S&P 500 Dynamic VEQTOR X 指数および S&P 500 Dynamic VEQTOR 中期指標である。

S&P 500 Dynamic VEQTOR 指数シリーズは、VIX<sup>1</sup>（シカゴ・オプション取引所のボラティリティ指数）、S&P 500 ボラティリティ・アービトラージ指標および S&P 500 VIX 先物指標シリーズを含む、S&P 500 ボラティリティ連動指標ファミリーの一部である。これらの指標は、エクイティとボラティリティのダイナミック配分によりリスクを軽減し、変動の激しい市場におけるダウンサイド・リスクのヘッジおよび投資家保護を目的としたものである。

### 指数シリーズの構築

S&P 500 Dynamic VEQTOR 指数シリーズでは実現ボラティリティおよびインプライド・ボラティリティ・トレンド決定変数の組み合わせをもとにエクイティとボラティリティの配分を行い、日次評価を行う。また、ダウンサイド・リスクを限定するためのストップ・ロス機能も組み込まれている。

この指標シリーズではトータル・リターン版を算出しており、エクイティ配分による経過配当および配当の再投資、S&P 500 VIX 先物指標への配分にもとづく3カ月物米国債利回りベースの金利、およびキャッシュ配分にもとづく翌日物LIBOR 金利情報などを提供している。また、経過配当もしくはキャッシュを考慮しない超過リターン版も算出している。

- 個別の資産クラスに対するエクスポージャーは、指標にもとづく投資可能な金融商品ごとに算出している。指標に直接投資することはできない。指標にもとづく投資商品が指標パフォーマンスに正確に連動する、もしくはプラスの投資リターンをあげられる保証はない。

<sup>1</sup>VIX® はシカゴ・オプション取引所の登録商標である。VIX メソドロジーは、シカゴ・オプション取引所 (CBOE) が独自に考案した手法である。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが使用するメソドロジーの詳細は、当社ウェブサイト (<http://www.spdji.com>) で公表されている。

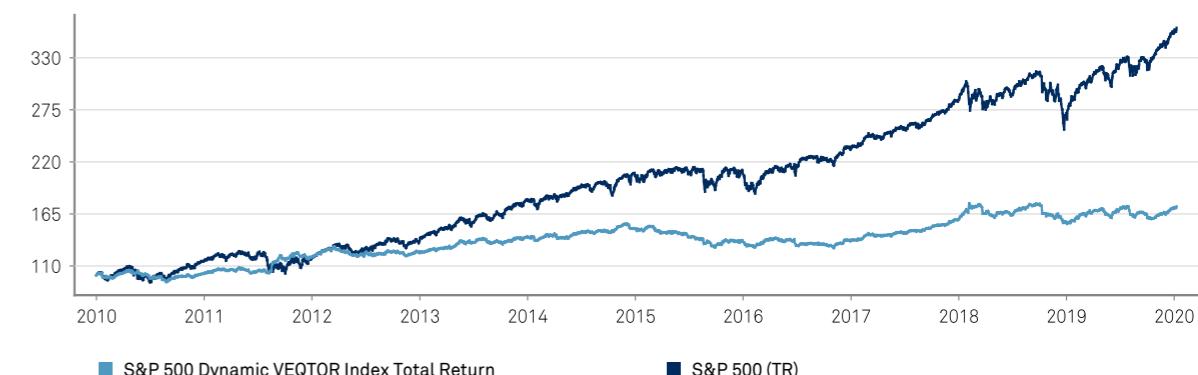
### S&P 500® Dynamic VEQTOR 指数シリーズ\*

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	339,044.44	2.71%	3.59%	9.09%	9.09%	7.89%	2.72%
ベンチマーク *・トータル・リターン	6,553.57	3.02%	9.07%	31.49%	31.49%	15.27%	11.7%
ベンチマーク *・プライス・リターン	3,230.78	2.86%	8.53%	28.88%	28.88%	13%	9.43%
ベンチマーク *・ネット・トータル・リターン	5,805.15	2.97%	8.91%	30.7%	30.7%	14.59%	11.01%
							12.85%

\* The index benchmark is the S&P 500

#### 過去の実績



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global



## S&P 500 VIX® 先物指数シリーズ

### 指標シリーズについて

S&P 500® VIX® 先物指数シリーズは上場先物市場を通じてボラティリティに対する方向的なエクスポージャーを提供する投資可能な一連の指標である。この指標シリーズはVIX（ボラティリティ・インデックス）指標先物のロング・ポジションの保有から得られる成果をモデル化することを目指している。

この指標シリーズには、VIX指標先物の第1限月と第2限月のロング・ポジションを日次でロールする取引のリターンを測定するS&P 500 VIX短期先物指標、VIX指標先物の第4、第5、第6、第7限月のロング・ポジションを日次でロールする取引のリターンを測定するS&P 500 VIX中期先物指標、この2つを組み合わせたS&P 500 VIX先物タームストラクチャー指標がある。

### 指標の構築

S&P 500 VIX先物指標シリーズはVIX指標先物のロング・ポジションを先物の満期日までの期間を通じて継続的にロールする取引からのリターンをモデル化している。各指標のトータル・リターン指標も算出されており、こちらは3カ月物米国債金利と指標への再投資に基づき指標の想定金額に対して生じる利息を加味している。

これらの指標のいずれかに含まれる先物が上場廃止となった場合、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは影響を受ける指標の公表をその時点で中止する場合がある。この指標シリーズの算出に関する詳しい情報とメソドロジーに関する詳細な資料は、当社ウェブサイト ([www.spdji.com](http://www.spdji.com)) で公表されている。

#### S&P 500 VIX短期先物指標

この指標は期近の2限月のVIX指標先物価格を使用して、直近限月のVIX指標先物から翌限月のVIX指標先物に日次で同額ずつロールするポジションを複製している。このため、1カ月の一定満期となる。この指標はVIX指標先物の第1限月と第2限月のロング・ポジションをロールする取引のリターンを測定している。

#### S&P 500 VIX中期先物指標

この指標は4限月のVIX指標先物価格で構成され、5カ月先の一定満期のVIXの想定価格に関する市場に基づく予想を表している。この指標はVIX指標先物の第4、第5、第6、第7限月のロング・ポジションをロールする取引のリターンを計測しており、各月を通じて継続的にロールしつつ、第5、第6限月のポジションを維持している。このため、5カ月の一定満期となる。

#### S&P 500 VIX先物タームストラクチャー指標

この指標はS&P 500 VIX中期先物指標のロング・ポジションのウェイトを100%、S&P 500 VIX短期先物指標のショート・ポジションのウェイトを50%としたリターンを測定している。このウェイトは日次でリバランスされる。

### 先物のリバランス

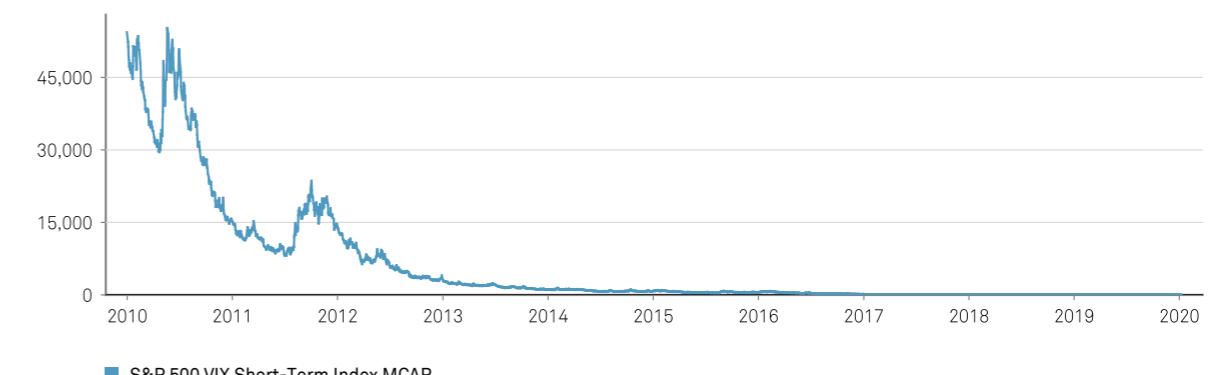
ロール期間は毎月シカゴ・オプション取引所(CBOE)のVIX指標先物の決済日直前の火曜日から、翌月のCBOEのVIX指標先物の決済日直前の火曜日までとする。この指標シリーズは継続的にロールを行い、現時のロール期間終了日の翌営業日に次のロール期間が開始する。

### S&P 500 VIX® 短期先物指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	25.68	-9%	-35.72%	-67.8%	-67.8%	-46.75%	-50.06%
							-53.5%

#### 過去の実績



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global



## S&P/JPX 日本国債 VIX® 指数

### 指標について

S&P/JPX 日本国債 VIX® 指数は、世界の主要な株式ボラティリティ関連の指標であるシカゴ・オプション取引所ボラティリティ指数<sup>®</sup> (VIX® 指数) と同様のメソドロジーを利用し、長期国債先物価格の期間を 30 日間に固定したボラティリティの公正な市場価格を測定する。この指標は、インプライド・ボラティリティを算出するために長期国債先物のプット・オプション及びコール・オプションの価格を用いるが、アット・ザ・マネー (ATM) の権利行使価格から導出されるインプライド・ボラティリティとは異なり、アウト・オブ・ザ・マネー (OTM) の権利行使価格に織り込まれる情報を取り込むことにより、特定の理論モデルに依拠せず (モデル・フリー)、かつ権利行使価格に依存しないボラティリティを計測する。

### 指標構築

S&P/JPX 日本国債 VIX 指数は、日本 10 年国債の期近限月及び翌限月のオプションから導き出される。

- 日本 10 年国債の期近限月及び翌限月のオプションから VIX を導き出す

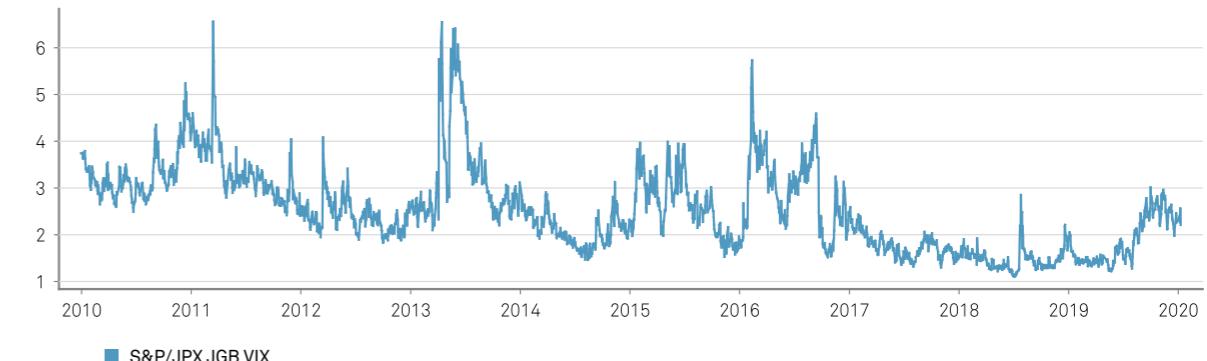
大阪取引所には、四半期限月取引（3 月、6 月、9 月、12 月、これ以外にシリアル限月として直近の 1 または 2 限月を設定）のオプションが上場されている。各オプションは各限月の前月の最終取引日に満期となる。S&P/JPX 日本国債 VIX 指数は 30 厄日をひとくくりにするため、直近の 2 限月のプット・オプションとコール・オプションを使用する。第 1 限月が満期を迎えると、当初の第 2 限月が第 1 限月になる。次に、この指標では第 2 限月（当初の第 3 限月）を使用する。各満期に対して、プット・オプションとコール・オプションを使用してインプライド・ボラティリティを計算する。

### S&P/JPX 日本国債 VIX® 指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
プライス・リターン	2.3	-7.26%	-9.8%	37.72%	37.72%	-1.55%	-0.17%
							-4.75%

#### 過去の実績



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 500® 配当貴族指数

### 指標について

S&P 500 配当貴族（ディビデンド・アリストクラツ）指数は S&P 500 の構成銘柄のうち、25 年以上連続して毎年増配方針に従っている優良大型株のパフォーマンスを測定している。

### 「配当貴族」銘柄

S&P 500 配当貴族指数は本物の優良企業のパフォーマンスを測定する手段である。この指標の構成銘柄は現時の S&P 500 に採用されているだけでなく、25 年以上にわたり毎年配当を増額している。このような基準にもかかわらず、S&P 500 に含まれる「配当貴族」銘柄数は長年比較的安定している。

S&P 500 配当貴族指数はこれらの銘柄のウェイトを均等化することにより、このグループのパフォーマンスを最も効果的に表し、各構成銘柄をその規模にかかわらず別個の投資機会として捉えている。

S&P 500 配当貴族指数に含まれる銘柄は幅広い産業にわたっている。この指標のポートフォリオはキャピタルゲインと配当収入の両方の特長を兼ね備えており、配当利回りのみ、またはキャピタルゲインのみを重視するポートフォリオとは対照的である。配当利回りの高さのみを重視した銘柄が一般に金融や公益事業セクターで多く見られるのとは異なり、「配当貴族」銘柄はあらゆるセクターに幅広く分散している。

### 指標のメソドロジー

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス指標委員会は公表された一連のガイドラインに従ってこの指標を維持管理している。これらのガイドラインの詳細は、指標の追加・除外基準、方針、リサーチを含め、当社ウェブサイト ([www.spdji.com](http://www.spdji.com)) で公表されている。これらのガイドラインは、投資家が S&P 500 配当貴族指標を複製してこの指標と同様のパフォーマンスを達成するために必要な透明性と公平性を提供している。

### 指標への追加基準

- 対象領域：S&P 500 に採用されている銘柄とする。
- 財務健全性：25 年以上連続して毎年増配している銘柄とする。
- 規模：リバランスマトリクスの参考日時点での浮動株調整後時価総額が 30 億米ドル以上の銘柄とする。
- 流動性：リバランスマトリクスの参考日時点での直近 3 カ月間の平均売買代金が 500 万米ドル以上の銘柄とする。
- 見直し：毎年 1 月に構成銘柄の見直しを行う。
- 銘柄の分散：各リバランスマトリクス時に構成銘柄数を 40 以上とする。
- セクターの分散：世界産業分類基準 (GICS®)<sup>1</sup> に従った分類上、特定の GICS セクターに属する構成銘柄のウェイトが 30% を超えないようにする。

S&P 500 配当貴族指標は構成銘柄のウェイトを均等化しており、四半期ごとに再調整して均等のウェイトに戻している。この指標のリバランスマトリクスは、S&P 500 の四半期ごとの株式数の調整と同時に実行している。

### 指標からの除外基準

- 1 月の見直し時に、前年の配当が前年と比較して増加していない銘柄。
- 年度途中に S&P 500 から除外された銘柄。

<sup>1</sup> GICS は S&P グローバルの一部門である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスと MSCI 社が共同開発したもので、両社の独占的財産であり、登録商標である。

### S&P 500® 配当貴族指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	3,067.57	1.94%	6.39%	27.97%	27.97%	14.86%	11.33%
プライス・リターン	1,346.49	1.72%	5.72%	24.81%	24.81%	12.06%	8.6%
ネット・トータル・リターン	596.8	1.87%	6.19%	27.01%	27.01%	14.01%	10.5%
ベンチマーク *・トータル・リターン	6,553.57	3.02%	9.07%	31.49%	31.49%	15.27%	11.7%
ベンチマーク *・プライス・リターン	3,230.78	2.86%	8.53%	28.88%	28.88%	13%	9.43%
ベンチマーク *・ネット・トータル・リターン	5,805.15	2.97%	8.91%	30.7%	30.7%	14.59%	11.01%
							12.85%

\* The index benchmark is the S&P 500

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	57
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	83,533.94
最大合計時価総額	383,911.17
最小合計時価総額	6,529.49
合計時価総額の中央値	51,019.11
Weight Largest Constituent [%]	1.9
Weight Top 10 Constituents [%]	18.9

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

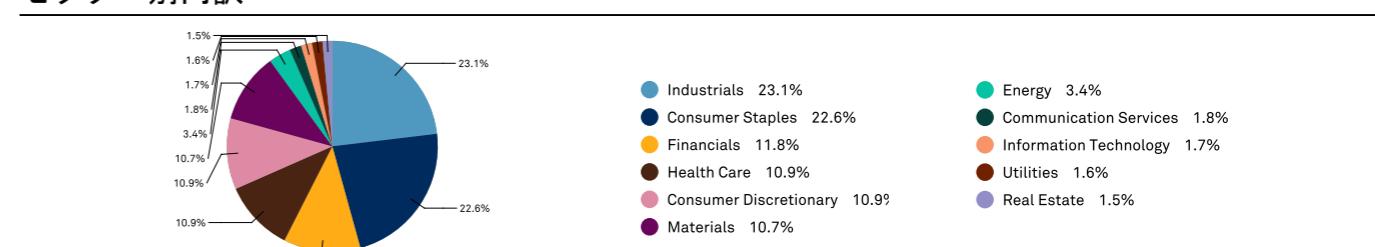
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Target Corp	TGT	Consumer Discretionary
AbbVie Inc.	ABBV	Health Care
Leggett & Platt	LEG	Consumer Discretionary
Johnson & Johnson	JNJ	Health Care
Archer-Daniels-Midland Co	ADM	Consumer Staples
Stanley Black & Decker	SWK	Industrials
Illinois Tool Works Inc	ITW	Industrials
Dover Corp	DOV	Industrials
Air Products & Chemicals Inc	APD	Materials
Becton Dickinson & Co	BDX	Health Care

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	122.95
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	242.1
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	288.22
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	761.86

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics) をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P/JPX 配当貴族指数

### 指標について

この指標は、東証株価指数（TOPIX）内において、10年以上にわたり毎年増配をしているか、または安定して配当を行っている最も配当利回りの高い企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。この指標は長期にわたり配当を継続しましたまたは増配を行ってきた実績のある日本企業のパフォーマンスに連動することを目指している。この指標は、幅広くセクターに分散投資するように設計されており、配当利回りの高さのみを重視するあまり、組入れ銘柄が一部のセクターに偏っているような指標とは異なる。この指標に組み入れられている銘柄は、元本の成長と配当収入の両方の特性を兼ね備えている。

### 指標の構築

#### ユニバース

指標の採用候補銘柄は、TOPIX の構成銘柄である必要がある。

#### 構成銘柄の選択

指標の適格性基準を満たす銘柄が適格ユニバースを形成します。

適格ユニバースに、リバランス参照日時点における 12 ヶ月の配当利回りに基づいて各銘柄をランク付けし、20 銘柄のバッファを使って、次のように配当利回りが最も高い 50 株を選択します。

1. 適格ユニバースに、各銘柄を配当利回り順で、上位 30 位を採用銘柄として選択します。
2. 上位 70 位にランク付けされた既存の指標銘柄を、50 位という目標構成銘柄に達するまでランクの高い順に選択します。
3. 仮に第 2 ステップを踏んだ後に目標構成銘柄に達しなかった場合、そのほかの銘柄から、50 位という目標構成銘柄に達するまでランクの高い順に選択します。

#### 時価総額

各銘柄は、リバランス参照日時点で浮動株調整後時価総額が 500 億円以上ある必要がある。

#### 流動性

各銘柄は、リバランス参照日までの 3 ヶ月間の 1 日当たり平均売買代金が 3 億円以上ある必要がある。

#### 安定性基準

配当の成長性：新たに選定される銘柄は、10 年以上にわたり毎年増配しているか、または安定した配当を維持している必要があります。現在の指標構成銘柄が継続して指標に残るためには、7 年以上にわたり毎年増配しているか、または安定した配当を維持している必要があります。

**配当性向：**配当性向が 100% 以下であること、またマイナスにならない必要があります。年間の 1 株当たり利益 (EPS) がマイナスになったときに、配当性向がマイナスになったものと見なされます。配当性向は、リバランス参照日時点のデータを用いて、リバランス参照日までの 12 ヶ月間の 1 株当たり配当を年間の 1 株当たり利益 (EPS) で除することで計算されます。

**配当利回り：**各銘柄は、リバランス参照日時点で直近 12 ヶ月の配当利回りが 10% 以下である必要があります。この上限の設定は、配当が長期にわたり持続可能でない恐れのある企業や、株価が急落している企業を除外することを目的としています。配当利回りは、リバランス参照日までの 12 ヶ月間の配当総額をリバランス参照日時点の株価で除することで計算されます。配当に関する全ての基準は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが決定する普通配当金に基づいています。配当利回りの計算において、特別配当や記念配当は考慮されません。

#### 分散

各指標構成銘柄のウェイトには 5% 上限が適用され、世界産業分類基準 (GICS) の各セクターのウェイトには 30% の上限が適用される。

### S&P/JPX 配当貴族指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
<b>トータル・リターン</b>							
267.5	2.84%	11.52%	14.53%	14.53%	5.44%	9.58%	12.16%
<b>プライス・リターン</b>							
186.89	2.73%	11.33%	10.38%	10.38%	2.38%	6.58%	9.09%
<b>ネット・トータル・リターン</b>							
248.85	2.82%	11.48%	13.67%	13.67%	4.81%	8.96%	11.53%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	50
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	1,641,597.52
最大合計時価総額	10,754,472.52
最小合計時価総額	74,003.66
合計時価総額の中央値	541,531.04
Weight Largest Constituent [%]	3.5
Weight Top 10 Constituents [%]	26.7

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Japan Tobacco Inc	2914	Consumer Staples
Lawson Inc	2651	Consumer Staples
Nichias Corp	5393	Industrials
Hanwa Co	8078	Industrials
NTT DOCOMO	9437	Communication Services
KDDI Corp	9433	Communication Services
K's Holdings Corp	8282	Consumer Discretionary
Daito Trust Construction Co	1878	Real Estate
Tosoh Corp	4042	Materials
Daiwabo Holdings Co	3107	Information Technology

\*Based on GICS® sectors

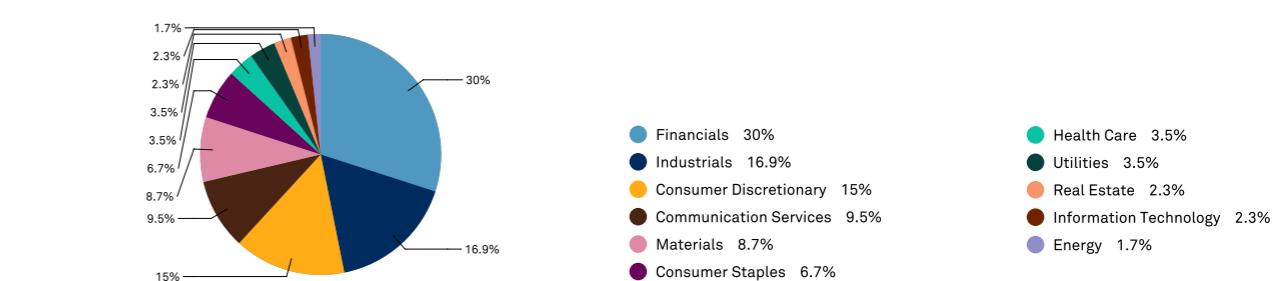
#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	323.39
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	218.11
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	329.6
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	0

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdj.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 汎アジア・配当貴族指数

### 指標について

S&P 汎アジア配当貴族（ディビデンド・アリストクラツ）指数はS&P 汎アジア総合指数の構成銘柄のうち、7年以上連続して増配方針に従っている銘柄のパフォーマンスを測定している。

S&P 汎アジア配当貴族指数は一定年数連続して増配方針に従っている世界の企業のパフォーマンスを測定するS&P 配当貴族指標シリーズの一部である。この指標のポートフォリオはキャピタルゲインと配当収入の両方の特長を兼ね備えており、配当利回りのみ、またはキャピタルゲインのみを重視するポートフォリオとは対照的である。配当利回りの高さのみを重視した指標が一般に金融や公益事業セクターで構成されているのとは異なり、この指標シリーズはあらゆるセクターに幅広く分散している。

### 「配当貴族」銘柄

この指標はS&P 汎アジア総合指標の現時の構成銘柄のうち、7年以上連続して増配を続け、かつ浮動株調整後時価総額が10億米ドル以上、3ヶ月間の1日平均売買代金が300万米ドル以上の企業のパフォーマンスを測定する手段である。

### 指標のメソドロジー

S&P 汎アジア配当貴族指標はS&P・ダウ・ジョーンズ・インデックスのすべての指標で用いられている除数法を用いて算出されている。この指標は毎年1月に構成銘柄の見直しを行い、構成銘柄の追加と除外を行っている。

銘柄の偏りを防ぐため、1つの銘柄のウェイトが5%を超えないこととしている。5%を超える場合にはウェイト基準を満たすまで引き下げ、超過分を指標の他の構成銘柄に比例配分する。

### 指標への追加基準

以下の基準を満たす銘柄を指標に採用する。

- 対象領域：S&P 汎アジア総合指標に採用されている銘柄とする。
- 上場：アジア全体の証券取引所に上場している普通株式またはインカム・トラストとする。
- 規模：リバランスの参考日時点で時価総額が10億米ドル超の銘柄とする。
- 流動性：リバランスの参考日時点で3カ月間の1日当たり平均売買代金が300万米ドル超の銘柄とする。
- 配当：現金での普通配当を7年以上連続して毎年増額している銘柄とする。普通配当のみを勘案する。

### 指標からの除外基準

- 1月の銘柄見直し時に、歴年の配当が前暦年と比較して増加していないか、または時価総額と流動性の要件を満たさなくなった銘柄。
- リバランス以外の時期にS&P 汎アジア総合指標から除外された銘柄。

### S&P 汎アジア・配当貴族指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	7,133.13	4.76%	9.99%	22.19%	22.19%	13.75%	9.96%
プライス・リターン	3,784.71	4.49%	9.57%	17.75%	17.75%	9.95%	6.44%
ネット・トータル・リターン	6,788.08	4.7%	9.93%	21.68%	21.68%	13.28%	9.55%
ベンチマーク*・トータル・リターン	384.2	4.15%	9.1%	18.57%	18.57%	10.6%	7.22%
ベンチマーク*・プライス・リターン	238.86	3.93%	8.73%	15.44%	15.44%	7.76%	4.51%
							3.93%

\* The index benchmark is the S&P Pan Asia BMI (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	96
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	17,108.8
最大合計時価総額	288,046.68
最小合計時価総額	1,061.11
合計時価総額の中央値	7,173.65
Weight Largest Constituent [%]	3.3
Weight Top 10 Constituents [%]	22.3

#### インデックス加重による構成銘柄トップ10

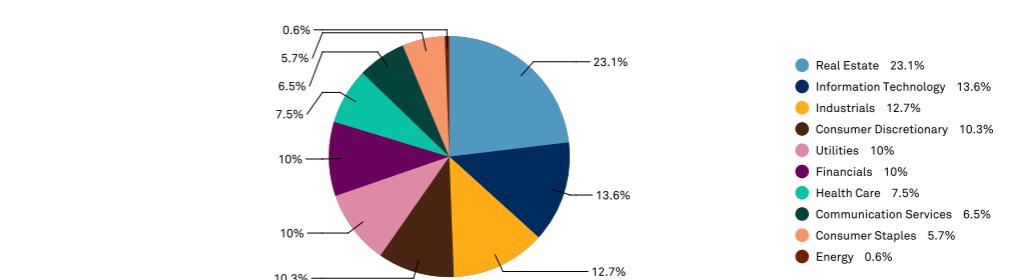
構成銘柄	銘柄コード	GICSセクター
Phison Electronics	8299	Information Technology
Mapletree Commercial Trust	N2IU	Real Estate
China Medical System Holdings	00867	Health Care
Mirvac Group	MGR	Real Estate
Vanguard International Semicon	5347	Information Technology
Micro Star Intl Co	2377	Information Technology
PCCW Ltd.	00008	Communication Services
APA Group	APA	Utilities
Commonwealth Bank Australia	CBA	Financials
Charter Hall Group	CHC	Real Estate

\*Based on GICS® sectors

#### ESG特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	157.51
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	307.09
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	358.74
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	521.5
* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量 詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。	

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 欧州 350 配当貴族指数

### 指標について

S&P 欧州 350 配当貴族指数は、S&P 欧州 350 の構成銘柄の中で、少なくとも 10 年間連続で毎年増配している銘柄のパフォーマンスを測定する。この指標では企業の規模に関係なく各企業を均等にウェイト付けすることにより、各構成銘柄を明確な投資機会として扱う。

#### 指標のメソドロジー

### 指標の適格性

この指標に採用される銘柄は、次の基準を満たす必要がある。

1. 原指標の構成銘柄であること。
2. 少なくとも 10 年間連続で毎年増配していること。
3. リバランスマーク時点で浮動株調整後時価総額が 30 億ドル以上であること。
4. リバランスマーク日までの過去 6 ヶ月間の 1 日当たり平均売買代金 (ADTV) が 500 万ドル以上であること。

### 構成銘柄の選択

各リバランスマート点で、指標構成銘柄は選択ユニバースから選択される。その際には、次の銘柄分散基準及びセクター分散基準に従うものとする。

銘柄分散基準 - 各リバランスマート点で、構成銘柄の最小数を 40 とする。構成銘柄の数が 40 を下回った場合には：

- 7 年間以上連続して増配実績があり、かつ上記の時価総額及び流動性の基準を満たしている原指標の構成銘柄の中で、配当利回りの高いものから順に銘柄分散基準を満たすまでこの指標に加えられる。
- それでも銘柄分散基準を満たさなかった場合、時価総額及び流動性の基準を満たしている原指標の残りの銘柄の中で、配当利回りの高いものから順に銘柄分散基準を満たすまでこの指標に加えられる。配当利回りは、参考日から遡って 12 ヶ月間に支払われた配当総額を、参考日の株価で除したものとして定義される。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの判断に基づき、参考日から遡って 12 ヶ月間に配当を減額した原指標の構成銘柄は、この指標に採用される資格はない。

### セクター分散基準

構成銘柄は、世界産業分類基準 (GICS) に従って分類される。当該分類により、特定の GICS セクターの構成銘柄がこの指標において 30% 以上のウェイトを占めてはいけない。

上述したように構成銘柄の選択を行った後に、セクター分散基準が満たされなかった場合、次の追加措置が取られる：

- 7 年間以上連続して増配実績があり、かつ上記の時価総額及び流動性の基準を満たしている原指標の構成銘柄の中で、配当利回りの高いものから順にセクター分散基準を満たすまでこの指標に加えられる。
- それでもセクター分散基準を満たさなかった場合、時価総額及び流動性の基準を満たしている原指標の残りの銘柄の中で、配当利回りの高いものから順にセクター分散基準を満たすまでこの指標に加えられる。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの判断に基づき、参考日から遡って 12 ヶ月間に配当を減額した原指標の構成銘柄は、この指標に採用される資格はない。

### 構成銘柄のウェイト付け

指標構成銘柄は均等に加重される。

### S&P 欧州 350 配当貴族指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	384.13	2.18%	7.54%	27.38%	27.38%	8.62%	6.93%
プライス・リターン	223	1.97%	6.97%	23.5%	23.5%	5.44%	3.84%
ベンチマーク *・トータル・リターン	3,341.1	2.07%	6.01%	27.24%	27.24%	8.28%	7.36%
ベンチマーク *・プライス・リターン	1,676.79	1.99%	5.58%	22.58%	22.58%	4.52%	3.65%
							4.8%

\* The index benchmark is the S&P EUROPE 350

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	41
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	47,162.67
最大合計時価総額	286,972.01
最小合計時価総額	4,561.23
合計時価総額の中央値	19,531.94
Weight Largest Constituent [%]	2.8
Weight Top 10 Constituents [%]	26.6

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

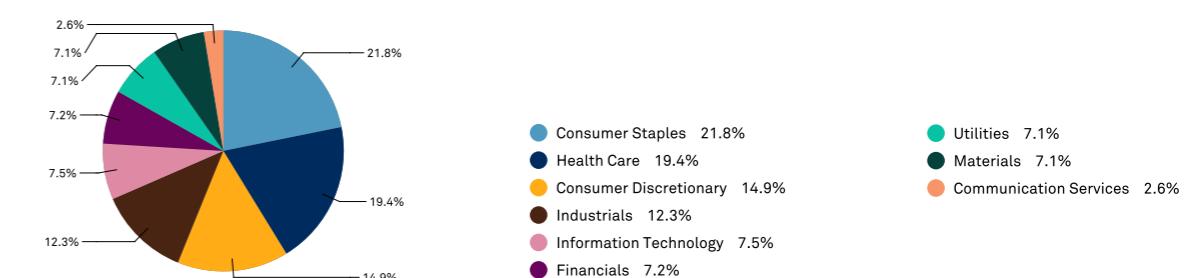
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
CONSTITUENT	SYMBOL	SECTOR*
Flutter Entertainment plc	FLTR	Consumer Discretionary
British American Tobacco Plc	BATS	Consumer Staples
Associated British Foods	ABF	Consumer Staples
Intertek Group PLC	ITRK	Industrials
Halma	HLMA	Information Technology
Whitbread	WTB	Consumer Discretionary
WPP Plc	WPP	Communication Services
Fresenius SE & Co KGaA	FRE	Health Care
Burberry Group	BRBY	Consumer Discretionary
M&G Plc	MNG	Financials

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	60.88
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	140.86
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	135.39
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	0.01

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 高配当貴族指数

### 指標について

S&P 高配当貴族（ハイイールド・ディビデンド・アリストクラツ）指標は S&P コンポジット 1500<sup>®</sup> の構成銘柄の中で 20 年以上毎年必ず増配する方針に従っている銘柄のうち、配当利回りが上位 60 銘柄のパフォーマンスを測定するよう設計されている。

1926 年以来、配当は株式のトータル・リターンの 3 分の 1 近くを占めており、キャピタルゲインが 3 分の 2 を占めている。S&P 高配当貴族指標は、投資家がトータル・リターンに期待する主要要素である持続可能な配当収入と値上がり余地を捕捉している。この指標に含まれる銘柄は幅広い産業にわたっており、あらゆるセクターに分散している。

### 指標のメソドロジー

S&P 高配当指標は年間の予想配当利回りに基づき加重している。このメソドロジーでは、指標が少数の銘柄に偏ることを防ぐために制限を設けており、1 つの銘柄のウェイトが 4% を超えない。また、浮動株調整後時価総額が 5 億米ドル以上、かつ 3 カ月間の 1 日当たり平均売買代金が 500 万米ドル以上の銘柄としている。この指標は米国指標委員会が維持管理している。これらのガイドラインの詳細は、指標の追加・除外基準、方針、リサーチを含め、当社ウェブサイト ([www.spdji.com](http://www.spdji.com)) で公表されている。

### 指標への追加基準

この指標に採用される銘柄は、まず以下の基準を満たして「配当貴族」銘柄とみなされる必要がある。

- 対象領域：S&P コンポジット 1500 に採用されている銘柄とする。
- 配当：20 年以上連續して増配している銘柄とし、普通配当と特別配当の両方を勘案する。配当開始や配当再開は増配とみなさない。配当分析には暦年と権利落ち日を使用し、データは毎年 1 月に見直す。

### リバランスの頻度

主要なリバランスは、配当貴族銘柄の適格領域の年次見直しと同時に毎年 1 月に行う。小規模なリバランスとして、4 月、7 月、10 月に指標の調整を行う。リバランス実施月の第 5 取引日の取引終了後にリバランスが発効する。配当利回りが同順位の場合には、規模が大きく流動性の高い銘柄を優先する。

### 指標からの除外基準

次の場合には構成銘柄を指標から除外することがある。

- 1 月のリバランス時に、暦年の配当が前年と比較して増加していない。
- リバランス以外の時期に S&P コンポジット 1500 から除外された銘柄である。

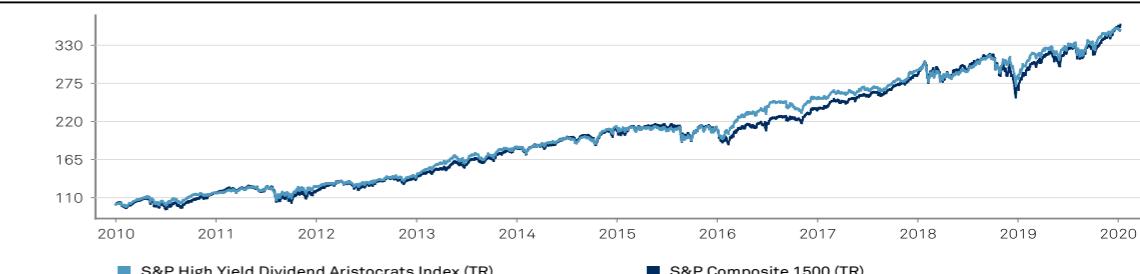
### S&P 高配当貴族指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	7,268.72	2.09%	5.78%	23.88%	23.88%	12.04%	11.07%
プライス・リターン	3,634.87	1.84%	4.95%	20.32%	20.32%	8.94%	7.97%
ネット・トータル・リターン	5,908.83	2.01%	5.53%	22.8%	22.8%	11.1%	10.13%
ベンチマーク・トータル・リターン	1,176.52	3%	8.92%	30.9%	30.9%	14.65%	11.46%
ベンチマーク・プライス・リターン	740.69	2.84%	8.39%	28.34%	28.34%	12.44%	9.26%
							11.26%

\* The index benchmark is the S&P Composite 1500

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	112
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	49,169.82
最大合計時価総額	383,911.17
最小合計時価総額	1,305.23
合計時価総額の中央値	17,121.86
Weight Largest Constituent [%]	2.4
Weight Top 10 Constituents [%]	17.7

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

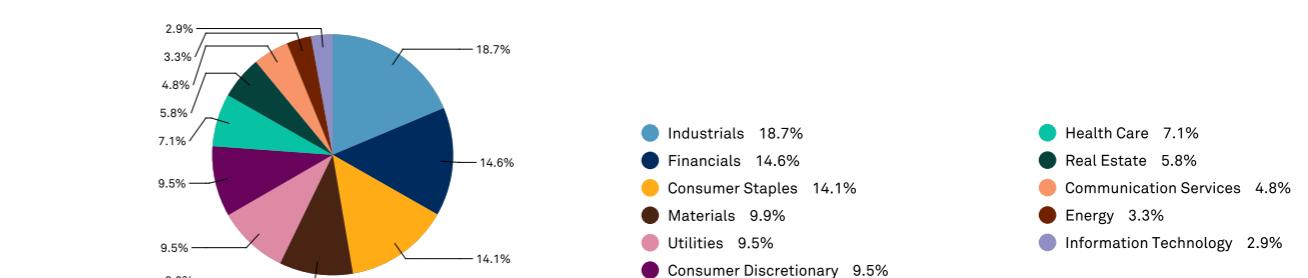
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
AbbVie Inc.	ABBV	Health Care
AT&T Inc	T	Communication Services
Amcor plc	AMCR	Materials
Exxon Mobil Corp	XOM	Energy
People's United Financial Inc	PBCT	Financials
Leggett & Platt	LEG	Consumer Discretionary
Intl Business Machines Corp	IBM	Information Technology
Tanger Factory Outlet Centers	SKT	Real Estate
Cardinal Health Inc	CAH	Health Care
Chevron Corp	CVX	Energy

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	116.68
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	232.81
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	274.04
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	1,567.94

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics) をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 欧州高配当貴族指数

### 指標について

S&P 欧州高配当貴族指数<sup>®</sup>は、S&P 欧州総合指数の中で最も配当利回りの高いユーロ圏の企業のパフォーマンスを測定する。この独自のメソドロジーでは、高い配当利回り及びその持続可能性と、株価上昇の可能性の両方が考慮される。S&P 欧州高配当貴族指数は、S&P 配当貴族指数シリーズの一部であり、配当利回りの水準よりも配当の伸びを重視している。長期にわたり増配を続けられる企業は、本業が堅調である場合が多く、配当の伸びに注目することにより、高配当の戻りを回避することが可能と考えられる。さらに、歴史的に見ると、配当の伸びに基づいて銘柄を選択した場合、高配当利回り戦略よりも優れた分散効果が提供される。

### 指標のメソドロジー

- ユニバース：S&P 欧州総合指数の構成銘柄であり、ユーロ圏内の国に本籍を置き、ユーロ圏内の取引所においてユーロ建てで取引されている必要がある。
- 構成銘柄の選択：銘柄は少なくとも 10 年間にわたり連続で増配しているか、または安定した配当を維持している必要がある。銘柄は、指標のリバランス参照日時点での配当利回りが 10% 以下である必要がある。さらに、新たな指標構成銘柄は配当性向が 100% 以下である必要があり、既存の指標構成銘柄は配当性向がプラスである必要がある。
- 時価総額：リバランス参照日時点での浮動株調整後時価総額が 10 億ドル以上である必要がある。
- 流動性：1 日当たり平均売買代金 (ADTV) が 500 万ドル以上である必要がある。
- ウェイト付け：指標構成銘柄は配当利回りにより加重される。
- 分散：各リバランス時点での各構成銘柄のウェイトは 5% が上限となり、世界産業分類基準 (GICS) の各セクターのウェイトは 30% が上限となる。国別のウェイトは 30% が上限となる。

### S&P 欧州高配当貴族指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	216.92	1.21%	4.59%	22.79%	22.79%	8.18%	9.45%
プライス・リターン	129.68	1.12%	4.48%	18.22%	18.22%	4.16%	5.46%
ネット・トータル・リターン	192.22	1.19%	4.56%	21.57%	21.57%	7.15%	8.43%
ベンチマーク・トータル・リターン	945.15	4.21%	9.83%	25.46%	25.46%	10.84%	6.28%
ベンチマーク・プライス・リターン	408.14	4.13%	9.41%	21.09%	21.09%	7.18%	2.79%
* The index benchmark is the S&P Europe BMI (USD)							

\* The index benchmark is the S&P Europe BMI (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

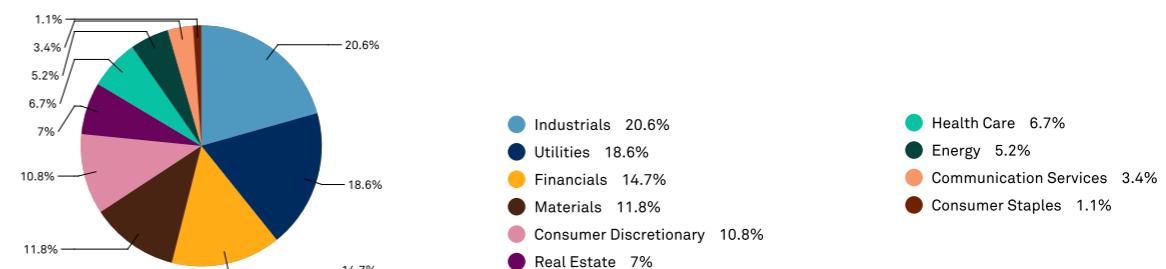
構成銘柄数	39
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	24,249.92
最大合計時価総額	130,798.94
最小合計時価総額	1,632.33
合計時価総額の中央値	10,406.3
Weight Largest Constituent [%]	5
Weight Top 10 Constituents [%]	40.9

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	1,332.99
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	1,453.47
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	1,001.59
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	0

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P グローバル・ディビデンド・オポチュニティー指数

### 指標について

S&P ディビデンド・オポチュニティー指数は、インカム（配当収入）追求型のグローバル投資家向けベンチマークとして設計されている。この指標は、分散投資、安定性、取引可能性に関する条件を満たしつつ、世界の高配当利回り普通株に対するエクスポージャー情報を提供するものである。

S&P グローバル・ディビデンド・オポチュニティー指数は、世界の取引可能な上場普通株式の高配当 100 銘柄で構成される。

S&P インターナショナル・ディビデンド・オポチュニティー指数は、米国を除く世界の取引可能な上場普通株式の高配当 100 銘柄で構成される。

### 指標算出方法

算出方法にはイールド・ドリブン加重方式を採用している。この指標のウェイト付けでは、銘柄、セクター、国別に分散を図りつつ、イールドの最大化を目指す。S&P ディビデンド・オポチュニティー指数のトータルリターンおよびネットリターンは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが算出する。半年毎（1月、7月の第3金曜日の引け後）に指標のリバランスを行う。

指標への追加基準：S&P ディビデンド・オポチュニティー指標の算出ユニバースには、すべての有配当普通株および世界の適格証券取引所に上場している米国預託証券（ADR）が含まれる。デリバティブ、仕組み商品、店頭上場株式、投資信託および上場投信信託（ETF）は指標対象外とする。

### 投資基準

以下の基準をもとに、ユニバースをインベスタブル（投資可能）ユニバースにまで絞り込む。

- 時価総額<sup>1</sup>：浮動株調整後時価総額が 5 億米ドル、新興国市場の株式は同 3 億米ドル以上の銘柄であること。
- 売買代金<sup>1</sup>：3 カ月平均の日次売買代金が最低 500 万米ドル以上の銘柄であること。
- 取引所への上場：S&P 指数サービスの株式データベースに含まれている国的主要取引所に上場しており、無償現物交換（free-in-kind transfer）対象株式であること。

### 安定性の基準

安定性に関する 2 種類の要素をもとに、インベスタブル・ユニバースのスクリーニングを行い、セレクション・ユニバースを作成し、この中から最終的な指標構成銘柄を選択する。

- 収益成長：3 年間増益の銘柄であること。既存の指標構成銘柄については、リバランシング時に 2 回連続で当基準を満たさなかった場合のみ除外される。
- 収益性：参照日時点での最新 12 カ月の特別項目を除いた一株当たり利益がプラスであること、つまり黒字決算銘柄であること。

### 構成銘柄の選定

セレクション・ユニバース上の銘柄すべてを、まず年間配当利回りをもとに並べ替える。指標構成のパッファを 100 銘柄として、最も利回りの高い 100 銘柄で指標を構成する。以下の基準を満たしつつ指標の利回りを最大化すべく、指標構成銘柄のウェイト付けを行う。半年毎のリバランシングの際、単一国またはセクターのウェイトが 25% を超えないこと。新興国市場およびインカム・トラストのトータル・エクスポージャー上限はそれぞれ 15%、10% とする。指標に含まれる単一銘柄のウェイトが 3% を超えず、0.05% を下回らないこと。ポートフォリオ規模が 3 億米ドルに達している場合、4 営業日以内に 3 カ月平均の日次売買代金の 20% でのリバランシングを可能とするバスケット流動性基準を適用する。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが使用するメソドロジーの詳細は、当社ウェブサイト (<http://www.spdji.com>) で公表されている。

<sup>1</sup> リバランシング参照日時点。

### S&P グローバル・ディビデンド・オポチュニティー指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	630.3	2.11%	4.75%	24.53%	24.53%	11.5%	6.79%
プライス・リターン	165.86	1.81%	4.06%	19.7%	19.7%	7.03%	1.73%
ベンチマーク*・トータル・リターン	458.1	3.57%	9.14%	26.76%	26.76%	12.6%	8.87%
ベンチマーク*・プライス・リターン	279.6	3.4%	8.65%	23.65%	23.65%	9.91%	6.25%
ベンチマーク*・ネット・トータル・リターン	361.97	3.53%	9.02%	26.07%	26.07%	12.01%	8.29%
							8.88%

\* The index benchmark is the S&P Global BMI (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	100
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	38,022.14
最大合計時価総額	383,911.17
最小合計時価総額	1,574.28
合計時価総額の中央値	13,382.69
Weight Largest Constituent [%]	2.9
Weight Top 10 Constituents [%]	25.7

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

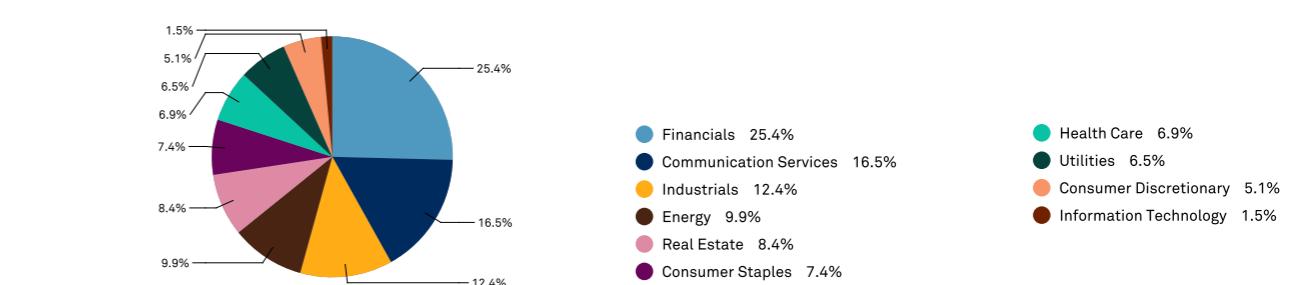
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
TOTAL SA	FP	Energy
ENI SpA	ENI	Energy
Legal & General Group	LGEN	Financials
Orange	ORA	Communication Services
Elisa Corporation	ELISA	Communication Services
Swisscom AG Reg	SCMN	Communication Services
TELUS Corp	T	Communication Services
Verizon Communications Inc	VZ	Communication Services
Shaw Communications Inc B	SJR.B	Communication Services
Pembina Pipeline Corporation	PPL	Energy

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	102.45
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	206
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	262.58
化石燃料埋蔵量の排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）	2,068.87

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics) をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## ダウ・ジョーンズ好配当インデックスシリーズ

### 指標について

ダウ・ジョーンズ好配当インデックスシリーズは、一連のグローバル指標、地域別指標、国別指標、テーマ別指標において世界でトップクラスの配当を支払っている企業の株式パフォーマンスを測定する。各指標には、同業他社と比較してファンダメンタルズが堅調な15～100の銘柄が含まれている。構成銘柄については、配当のクオリティや流動性などの基準で様々なスクリーニングを行って選定する。これらの指標は配当利回りまたは修正時価総額方式により加重されている。また、特定の指標はユニークな分配計算メソドロジーに従って算出される。このメソドロジーは、ベース指標の株価パフォーマンスや、構成企業により分配された累積配当金について、投資家により高い透明性を提供するように構築されている。

### ハイライト及び指標シリーズ

#### グローバル指標 / 地域別指標

ダウ・ジョーンズ・アジア好配当™30指標：現在のところ、香港、台湾、シンガポール、韓国などの企業や、香港上場の中国企業を対象としている。

ダウ・ジョーンズ・アジア / 太平洋好配当30™指標：現在のところ、オーストラリア、香港、日本、ニュージーランド、シンガポールの企業を対象としている。

ダウ・ジョーンズ新興国市場好配当™インデックス：新興国市場の中で、配当利回りの高い100の代表的な企業を含んでいる。

ダウ・ジョーンズEPAC好配当™インデックス：米国以外の先進国市場をカバーしている (EPAC: 欧州、太平洋、アジア、カナダ)

ダウ・ジョーンズ・欧洲好配当30™インデックス：欧州先進国市場をカバーしている。

ダウ・ジョーンズ・ユーロ圏好配当30™インデックス：ユーロ圏をカバーしている。

ダウ・ジョーンズ・グローバル好配当™インデックス：先進国市場において取引されている100の銘柄を含んでいる。

ダウ・ジョーンズ・グローバル好配当™コンポジットインデックス：米国、先進国市場（米国を除く）、新興国市場の配当指標の300銘柄のコンポジットを通じて、世界中の配当利回りの高い代表的な企業の株式パフォーマンスを測定する。この指標は米ドル及びカナダドルで算出される。カナダドルのヘッジ付きバージョンも利用可能である。

上記以外にも、国別、イスラム・マーケットの指標も算出されている。

\* These indices are also available calculated according to the distributing calculation methodology.

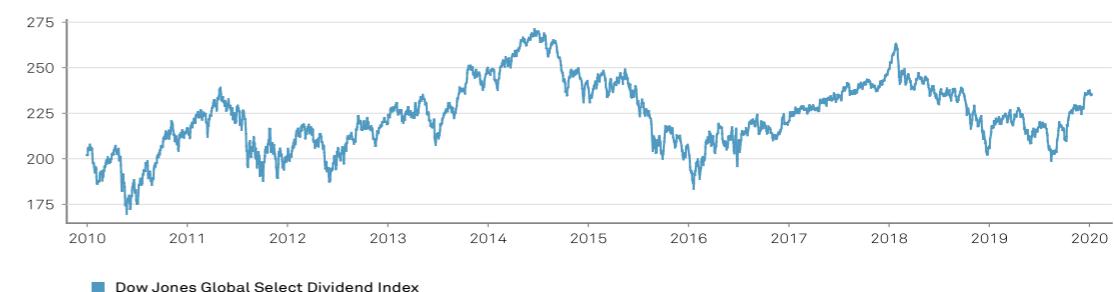
\* これらの指標については、分配計算メソドロジーに従って算出されるバージョンもある。

### ダウ・ジョーンズ好配当インデックスシリーズ

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	236.03	3.56%	8.97%	14.15%	14.15%	2.35%	-0.29%
ネット・トータル・リターン	648.06	3.86%	9.92%	20.23%	20.23%	7.36%	4.46%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	97
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	30,313.5
最大合計時価総額	285,479.4
最小合計時価総額	784.08
合計時価総額の中央値	14,401.93
Weight Largest Constituent [%]	2.1
Weight Top 10 Constituents [%]	16.4

#### インデックス加重による構成銘柄トップ10

構成銘柄	銘柄コード	GICSセクター
Standard Life Aberdeen	SLA	Financials
Azimut Holding SpA	AZM	Financials
BE Semiconductor NV	BESI	Technology
Galliford Try	GFRD	Industrials
Jb Hi-Fi	JBH	Consumer Services
CSR Ltd	CSR	Industrials
Intesa SanPaolo	ISP	Financials
Crest Nicholson Holdings	CRST	Consumer Goods
Societe Generale	GLE	Financials
Banca Mediolanum	BMED	Financials

\*Based on a proprietary sector classification

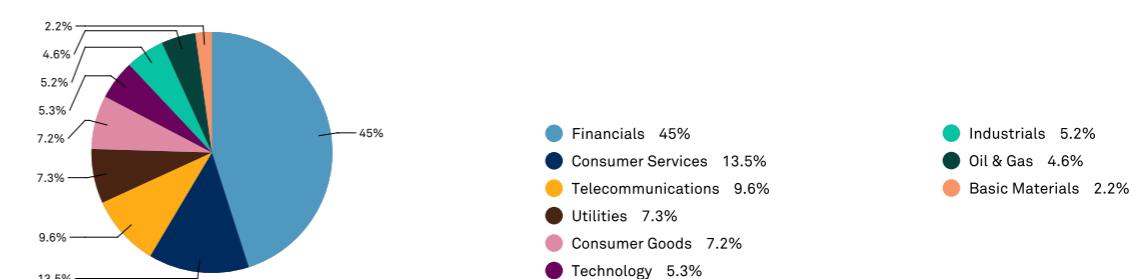
#### ESG特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資100万ドル) *	133.02
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高100万ドル) *	155.04
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高100万ドル) *	256.89
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資100万ドル)	739.85

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metricsをご覧ください。

#### セクター別内訳



注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 日本企業グループ指数—三菱系企業群

### 指標について

S&P 日本企業グループ指数—三菱系企業群は、S&P 企業グループ指標シリーズの一つである。このシリーズは、企業グループ或いは財閥に属する企業群への流動性のあるエクスポージャーを提供するように設計されている。各指標は、三菱グループのような所与の企業グループに属する上場企業からなり、ETF のような合同運用商品の組成に適合するように設計されている。各指標は、中心的企業の自国通貨で算出されるが、必要に応じて、他の通貨でも算出される。

### 指標構成銘柄の条件

すべての構成銘柄は、三菱広報委員会の会員である必要がある。公式発表のあるなしに関わらず、三菱系グループ企業の構成に変化があったとしても、指標の構成企業は次のリバランスまで変更されない。一つの構成企業に対して複数の証券が利用可能な場合、同指標では S&P グローバル BMI に選ばれている証券を用いる。S&P グローバル BMI に選ばれている証券がなければ、前回の指標見直し以降の期間において最も流動性の高い証券が構成銘柄として選択される。

### 指標算出方法

同指標は、修正時価総額加重方式を採用している。価格リターンとトータルリターンの両方の指標が算出される。時価総額構成比には、投資可能な浮動株を反映し、指標においてどの銘柄も構成比が 10% を超えないように単一銘柄への集中度を抑えるための調整が加えられる。指標の 10% を超える銘柄があれば、構成比が 10% となるまで削減される。構成比の超過分は、指標におけるそれぞれの構成比に応じてその他の銘柄に再配分される。指標は、毎年 9 月にリバランスされる。年次リバランスまでの間に、銘柄が追加されることはない。合併、買収、上場廃止、或いは企業の規模や流動性に影響を及ぼす重大な出来事があれば、年次リバランスまで間でも構成銘柄が削除される場合がある。

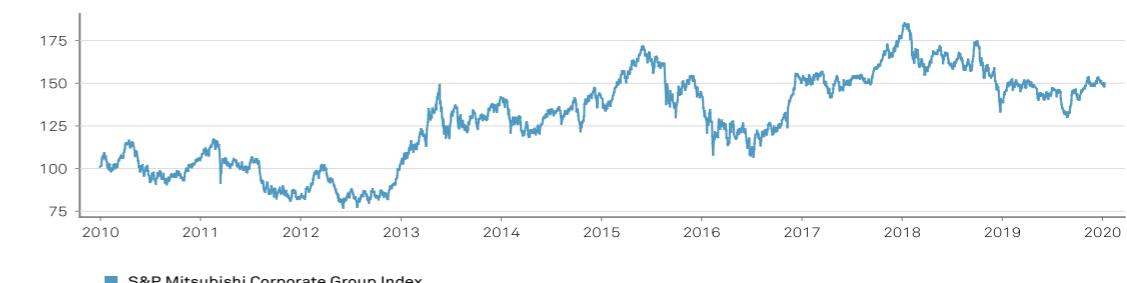
指標の水準と構成比を導き出すために使われる全ての計算は、日本円で行われる。日本円以外の通貨から日本円に換算する必要がある場合には、指標はロイターが配信するリアルタイムのスポット為替レートにより算出される。

### S&P 日本企業グループ指標—三菱系企業群

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	207.99	1.05%	5.59%	10.59%	10.59%	2.82%	3.79%
ネット・トータル・リターン	149.73	0.85%	5.31%	6.89%	6.89%	-0.1%	1.11%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

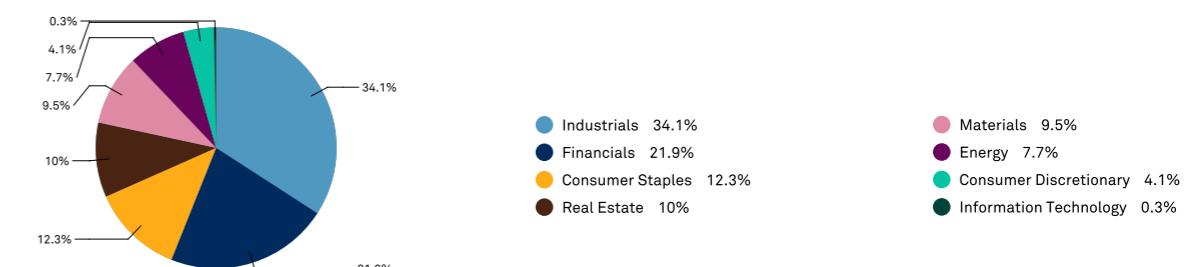
構成銘柄数	25
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	1,390,034.15
最大合計時価総額	8,107,721.76
最小合計時価総額	15,392.73
合計時価総額の中央値	620,857
Weight Largest Constituent [%]	10.5
Weight Top 10 Constituents [%]	85.2

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	55.31
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	83.83
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	113.86
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	39.56

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P ダイナミック・アセット・エクスチェンジ指数シリーズ

### 指標シリーズについて

S&P ダイナミック・アセット・エクスチェンジ指数シリーズは、ウィリアム・マーグレイブが開発したオプション価格フォーミュラを複製することにより、ダイナミックな資産配分戦略として設計された。この指標シリーズは相関関係のない2つの対象資産をポートフォリオで保有し、その保有割合を絶えず変化させ、2つの資産のうちで高い方のリターンを獲得することにより、中期的なパフォーマンスの向上を目指す。この指標群は、S&P ダイナミック・アセット・エクスチェンジ米国指数とS&P ダイナミック・アセット・エクスチェンジ欧州指数から構成される。指標は、対象アセットクラスを代表する取引可能な金融商品を使うことから、指標の複製や指標に連動する投資商品の組成が容易になる。

### 指標算出方法

各S&P ダイナミック・アセット・エクスチェンジ指標は、2つの対象資産間の配分をダイナミックに行うロングオンリーの指標である。指標群を拡大し、別の資産クラスの組み合わせや他の地域を含めることも可能である。S&P ダイナミック・アセット・エクスチェンジ米国指標は、米国株式と米国債の組み合わせの中で、より高いパフォーマンスを示す資産クラスのリターン獲得を目指す。対象資産クラスの米国株式はS&P 500<sup>®</sup> トータルリターン指標が用いられ、米国債の資産クラスは、S&P 米10年国債先物トータルリターン指標が用いられる。S&P ダイナミック・アセット・エクスチェンジ欧州指標は、欧州株式と欧州国債の組み合わせの中で、より高いパフォーマンスを示す資産クラスのリターン獲得を目指す。欧州株式と欧州国債の対象資産クラスは、S&P ユーロ75 トータルリターン指標とS&P ユーロ建てブンズ先物トータルリターン指標がそれぞれ用いられる。

### 指標の構築

毎年初めに、指標は両方の対象資産クラスに対して50%ずつ均等に配分し、毎月最終取引日に、より高いパフォーマンスを示す資産クラスへとリバランスを行う。この戦略は、各暦年の最終取引日に資産Aを資産Bに交換できるオプションと資産Aからなるポートフォリオに良く似たものとなる。そしてウィリアム・マーグレイブの交換オプション価格モデルに従い、交換オプションのペイアウト特性を複製するように資産Aと資産Bの配分比率を毎月変化させる。

- S&P ダイナミック・アセット・エクスチェンジ米国指標。指標を構築する際には、メソドロジーに記載された戦略により決定する資産クラスの比率に従い、S&P 500 トータルリターン指標と、S&P 米10年国債先物トータルリターン指標の間でダイナミックな配分が行われる。
- S&P ダイナミック・アセット・エクスチェンジ欧州指標。指標を構築する際には、メソドロジーに記載された戦略により決定する資産クラスの比率に従い、S&P ユーロ75 トータルリターン指標と、S&P ユーロ・ブント先物トータルリターン指標の間でダイナミックな配分が行われる。

この指標は、グレンアベル・アドバイザーズとの提携の下で開発された。グレンアベル・アドバイザーズはドイツのミュンヘンに本社を構え、投資で成功する重要な要因としての時間変動リスクプレミアムのアクティブ運用に特化している。指標のガイドラインや構築方法の詳細は、ウェブサイト [www.spdji.com](http://www.spdji.com) において公表されている。

### S&P ダイナミック・アセット・エクスチェンジ指標シリーズ

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	524.09	3.01%	8.69%	22.95%	22.95%	11.1%	7.84%
ベンチマーク*・トータル・リターン	6,553.57	3.02%	9.07%	31.49%	31.49%	15.27%	11.7%
ベンチマーク*・プライス・リターン	3,230.78	2.86%	8.53%	28.88%	28.88%	13%	9.43%
ベンチマーク*・ネット・トータル・リターン	5,805.15	2.97%	8.91%	30.7%	30.7%	14.59%	11.01%
							12.85%

\* The index benchmark is the S&P 500

#### 過去の実績



注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 500® 低ボラティリティ指数

### 指標について

S&P 500® 低ボラティリティ指数は、S&P 500 構成銘柄のうち、最もボラティリティが低い 100 銘柄のパフォーマンスを測定する。この指標は、米国株式市場の低ボラティリティ戦略または低変動戦略のベンチマークとして機能するように設計されている。

### S&P 500 について

米国株式市場の動向を表す最良の単一尺度として広く認知されている S&P 500® は、米国経済の主要業種における代表的な企業 500 社で構成されている。S&P 500 は、米国株式の約 75% を占める大型株に焦点を絞っており、市場全体の動きを表す指標であるとも言える。S&P 500 は、ポートフォリオ構築の基礎として用いることのできる S&P 米国指標シリーズの一つである。

### 指標算出方法

算出方法は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指標の大部分で用いられている除数計算方法と共にボラティリティ・ドリブン加重方式を採用している。構成銘柄はボラティリティの実績水準の逆数に応じて加重され、最もボラティリティの低い銘柄が最大の構成比が与えられる。指標の作成は以下の 2 段階で行われる：

- 構成銘柄の選定。S&P 500 を構成する 500 銘柄のボラティリティを、リバランスマ日までの 252 取引日の値動きを使い計算する。構成銘柄を実績ボラティリティの順番に並べる。ボラティリティが低い方から 100 銘柄を指標構成銘柄とする。
- 構成銘柄の加重。リバランスマの度に、指標構成銘柄の構成比を各々のボラティリティに反比例するように設定する。指標は、毎年 1 月、4 月、7 月、10 月の最終営業日の市場データに基づき、それぞれ 2 月、5 月、8 月、11 月の第 3 金曜日引け後にリバランスマされる。

S&P 500 低ボラティリティ指標算出方法の詳細については、S&P 指標ウェブサイト [www.spdji.com](http://www.spdji.com) において確認できる。

### 指標委員会

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス米国指標委員会が、S&P 500 低ボラティリティ指標を維持する。当委員会は定期的に会合を開き、各会合において指標構成に影響を及ぼし得る未決のコーポレートアクションや、市場に対して指標構成を比較した統計値、指標への追加候補として検討されている企業、重大な市場の出来事などのレビューを行う。さらに指標委員会は、銘柄選択や、配当の取扱い、株式数算定、その他の事項に関するルールを定めている指標方針を改正することがある。

### S&P 500® 低ボラティリティ指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	23,186.86	1.76%	1.42%	28.26%	28.26%	14.72%	11.7%
プライス・リターン	9,377.65	1.47%	0.77%	24.98%	24.98%	11.95%	8.98%
ネット・トータル・リターン	5,211.78	1.67%	1.23%	27.27%	27.27%	13.88%	10.88%
ベンチマーク *・トータル・リターン	6,553.57	3.02%	9.07%	31.49%	31.49%	15.27%	11.7%
ベンチマーク *・プライス・リターン	3,230.78	2.86%	8.53%	28.88%	28.88%	13%	9.43%
ベンチマーク *・ネット・トータル・リターン	5,805.15	2.97%	8.91%	30.7%	30.7%	14.59%	11.01%
							12.85%

\* The index benchmark is the S&P 500

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	100
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	69,175.74
最大合計時価総額	553,803.15
最小合計時価総額	7,489.6
合計時価総額の中央値	30,062.45
Weight Largest Constituent [%]	1.3
Weight Top 10 Constituents [%]	12.3

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

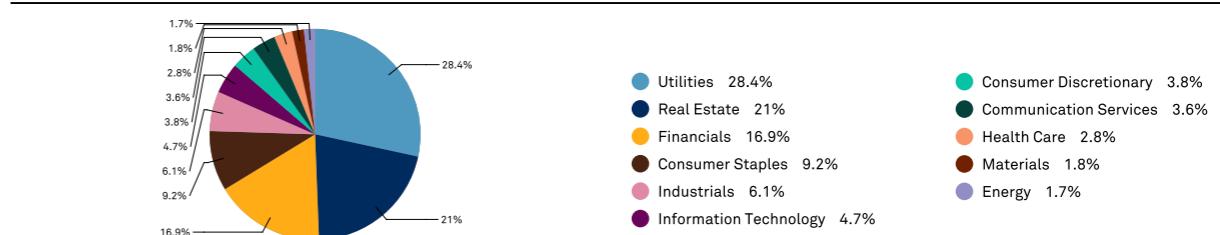
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Eversource Energy	ES	Utilities
DTE Energy Co	DTE	Utilities
Duke Energy Corp	DUK	Utilities
Republic Services Inc	RSG	Industrials
American Electric Power	AEP	Utilities
NextEra Energy Inc	NEE	Utilities
Southern Co	SO	Utilities
Entergy Corp	ETR	Utilities
Alliant Energy Corp	LNT	Utilities
Xcel Energy Inc	XEL	Utilities

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	214.05
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	854.7
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	1,013.83
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	224.52

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics) をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 500® ハイベータ指数

### 指標について

S&P 500® ハイベータ指数は、S&P 500 構成銘柄のうち、市場リターンの変化に最も敏感な 100 銘柄のパフォーマンスを測定する。この指標は、米国株式市場に対して強気の戦略或いは戦術的な見方を持つ投資家のベンチマークとして機能するように設計されている。

### S&P 500 について

米国株式市場の動向を表す最良の単一尺度として広く認知されている S&P 500® は、米国経済の主要業種における代表的な企業 500 社で構成されている。S&P 500 は、米国株式の約 75% を占める大型株に焦点を絞っており、市場全体の動きを表す指標であるとも言える。S&P 500 は、ポートフォリオ構築の基礎として用いることのできる S&P 米国指標シリーズの一つである。

### 指標算出方法

算出方法は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指標の大部分で用いられている除数計算方法と共にベータ・ドリブン加重方式を採用している。構成銘柄は市場感応度の実績水準に応じて加重され、最も感応度の高い銘柄に最大の構成比が与えられる。

指標の作成は以下の 2 段階で行われる：

- 構成銘柄の選定。S&P 500 を構成する 500 銘柄のベータ係数を、過去 1 年間の日次データを用いて計算する。構成銘柄をベータ値の順番に並べる。ベータ値の高い方から 100 銘柄を指標構成銘柄とする。
- 構成銘柄の加重。リバランスの度に、指標構成銘柄の構成比を各々のベータ係数に比例するように設定する。

指標は、毎年 1 月、4 月、7 月、10 月の最終営業日の市場データに基づき、それぞれ 2 月、5 月、8 月、11 月の第 3 金曜日引け後にリバランスされる。

S&P 500 ハイベータ指標算出方法の詳細については、S&P 指標ウェブサイト [www.spdji.com](http://www.spdji.com) において確認できる。

### 指標委員会

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス米国指標委員会が、S&P 500 ハイベータ指標を維持する。当委員会は定期的に会合を開き、各会合において指標構成に影響を及ぼし得る未決のコーポレートアクションや、市場に対して指標構成を比較した統計値、指標への追加候補として検討されている企業、重大な市場の出来事などのレビューを行う。さらに指標委員会は、銘柄選択や、配当の取扱い、株式数算定、その他の事項に関するルールを定めている指標方針を改正することがある。

### S&P 500® ハイベータ指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン							
15,133.39	5.81%	13.46%	34.44%	34.44%	10.4%	8.28%	11.37%
プライス・リターン							
10,887.79	5.65%	13.01%	32.64%	32.64%	8.81%	6.65%	9.89%
ベンチマーク・トータル・リターン							
6,553.57	3.02%	9.07%	31.49%	31.49%	15.27%	11.7%	13.56%
ベンチマーク・プライス・リターン							
3,230.78	2.86%	8.53%	28.88%	28.88%	13%	9.43%	11.22%
ベンチマーク*・ネット・トータル・リターン							
5,805.15	2.97%	8.91%	30.7%	30.7%	14.59%	11.01%	12.85%

\* The index benchmark is the S&P 500

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	98
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	74,129.15
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	5,009.73
合計時価総額の中央値	20,760.5
Weight Largest Constituent [%]	2.1
Weight Top 10 Constituents [%]	14.2

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

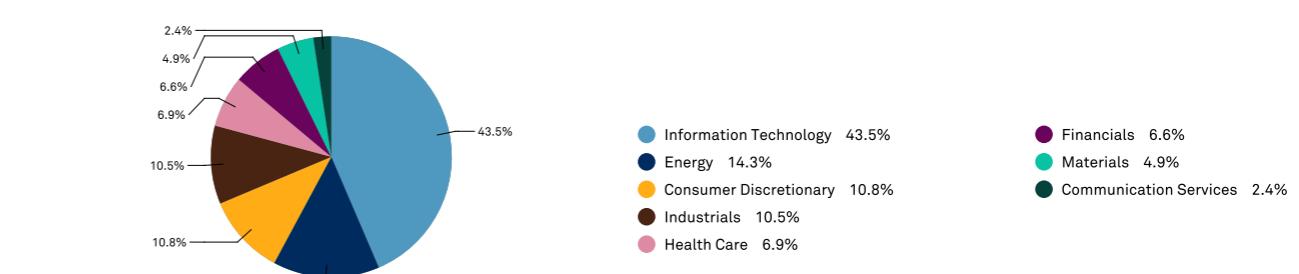
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Advanced Micro Devices	AMD	Information Technology
Nvidia Corp	NVDA	Information Technology
Micron Technology Inc	MU	Information Technology
Western Digital Corp	WDC	Information Technology
United Rentals Inc	URI	Industrials
Wynn Resorts Ltd	WYNN	Consumer Discretionary
Autodesk Inc	ADSK	Information Technology
Freeport-McMoRan Inc	FCX	Materials
Skyworks Solutions Inc	SWKS	Information Technology
IPG Photonics Corp	IPGP	Information Technology

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	99.42
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	257.67
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	210.63
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	3,275.51

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics) をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors  
The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global



## S&P 500® インバース日次指標

### 指標について

米国株式市場の動向を表す最良の単一尺度として広く認知されている S&P 500® は、米国経済の主要業種における代表的な企業 500 社で構成されている。S&P 500 は、米国株式の約 75% を占める大型株に焦点を絞っており、市場全体の動きを表す理想的な指標であるとも言える。S&P 500 インバース日次指標は、S&P 500 の逆のパフォーマンスに連動するように設計されており、同指標のショート・ポジションを表している。投資家がショート・ポジションを保有する場合、借株の配当と金利を支払う必要がある。S&P 500 インバース日次指標のリターンは、配当及び株価変動を反映した S&P 500 のトータル・リターンの逆のリターンとなる。借株のコストは計算に入れないが、初期投資と S&P 500 構成銘柄を空売りした売却代金から得られる金利を反映するように調整される。こうした想定は、業界で通常行われている慣行を反映している。

### 指標算出方法

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス指標委員会は、指標を維持するため、公表された一連のガイドラインに従う。構成銘柄の追加及び除外基準、方針表明、研究論文など、これらガイドラインの詳細は、ウェブサイト [www.spdji.com](http://www.spdji.com) において確認できる。こうしたガイドラインは、投資家が指標に連動するリターンを獲得し、S&P500 のショートと同じパフォーマンスを達成する上で必要な透明性と公正さを提供する。

### 指標への追加基準

- 米国企業。業務の所在地や事業形態、会計基準、上場取引所などが判断基準となる。
- 時価総額。時価総額が 61 億米ドルを超える企業であること。この最小値は、市場条件との整合性を確保するため適宜見直されます。
- 公開浮動株比率。少なくとも 50% の公開浮動株比率を有すること。
- 財務の健全性。4 四半期以上連續で報告利益がプラスであること。ここでいう報告利益とは、非継続事業と特別項目を除く GAAP における純利益を指す。
- 十分な流動性と妥当な株価。企業の時価総額に対する年間売買代金の比率が 0.10 以上であること。株価が非常に低いと銘柄の流動性に影響を及ぼす。
- セクター分類。企業の業種分類は、時価総額がベースとなるユニバース全体のセクター構成に沿うよう、セクターのバランスを維持すること。
- 業態。構成銘柄が事業会社であること。クローズドエンド型ファンドや持ち株会社、パートナーシップ、投資ビーグル、ロイヤルティ・トラストは対象外となる。不動産投資信託 (REIT) や事業開発会社 (BDC) は、構成銘柄の対象となる。

既に指標に組み入れられている銘柄には、必ずしもこれらのガイドラインが適用されるとは限らない。指標委員会は、指標構成銘柄の不要な入れ替えを最小限にとどめるよう努めており、銘柄の除外はケース・バイ・ケースで決定される。

### 指標からの除外基準

- 構成銘柄の追加基準の一つ以上に大きく抵触する企業。

### S&P 500® インバース日次指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	141.51	-2.71%	-7.76%	-21.83%	-21.83%	-11.73%	-10.07%
							-12.73%

#### 過去の実績



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global



## S&P 500® 2倍レバレッジ・インバース日次指数

### 指標について

米国株式市場の動向を表す最良の単一尺度として広く認知されている S&P 500® は、米国経済の主要業種における代表的な企業 500 社で構成されている。S&P 500 は、米国株式の約 75% を占める大型株に焦点を絞っており、市場全体の動きを表す理想的な指標であるとも言える。S&P 500 2 倍レバレッジ・インバース日次指数は、S&P 500 株価指標の逆のパフォーマンスを 2 倍したものに連動するように設計されており、同指標のショート・ポジションを表している。

投資家がショート・ポジションを保有する場合、借株の配当と金利を支払う必要がある。S&P 500 2 倍レバレッジ・インバース日次指標のリターンは、S&P 500 の逆のリターンを 2 倍したものに、オーバーナイト・ドル LIBOR 金利の 3 倍を比例配分した部分を加算して算出する。配当及び株価変動を反映した S&P 500 のトータル・リターン・バージョンが使用される。借株のコストは計算に入れないが、初期投資と S&P 500 構成銘柄を空売りした売却代金から得られる金利を反映するよう調整される。こうした想定は、業界で通常行われている慣習を反映している。

### 指標算出方法

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス指標委員会は、指標を維持するため、公表された一連のガイドラインに従う。構成銘柄の追加及び除外基準、方針表明、研究論文など、これらガイドラインの詳細は、ウェブサイト [www.spdji.com](http://www.spdji.com) において確認できる。こうしたガイドラインは、投資家が指標に連動するリターンを獲得し、S&P 500 のショートと同じパフォーマンスを達成する上で必要な透明性と公正さを提供する。

### 指標構成銘柄の追加基準

- 米国企業。業務の所在地や事業形態、会計基準、上場取引所などが判断基準となる。
- 時価総額。S&P 500 の時価総額範囲を満たす時価総額を有する企業であること。
- 時価総額範囲は、市場条件との整合性を確保するため適宜見直される。
- 公開浮動株比率。少なくとも 50% の公開浮動株比率を有すること。
- 財務の健全性。4 四半期以上連續で報告利益がプラスであること。ここでいう報告利益とは、非継続事業と特別項目を除く GAAP における純利益を指す。
- 十分な流動性と妥当な株価。企業の時価総額に対する年間売買代金の比率が 0.10 以上であること。株価が非常に低いと銘柄の流動性に影響を及ぼす。
- セクター分類。企業の業種分類は、S&P 500 のセクター構成に沿うよう、セクターのバランスを維持する寄与のこと。企業の業種分類が、S&P 500 のセクター構成に沿つたものであること。
- 業態。構成銘柄が事業会社であること。クローズドエンド型ファンドや持ち株会社、パートナーシップ、投資ビーグル、ロイヤルティ・トラストは対象外となる。不動産投資信託 (REIT) や事業開発会社 (BDC) は、構成銘柄の対象となる。

既に指標に組み入れられている銘柄には、必ずしもこれらのガイドラインが適用されるとは限らない。指標委員会は、指標構成銘柄の不要な入れ替えを最小限にとどめるよう努めており、銘柄の除外はケース・バイ・ケースで決定される。

### 指標からの除外基準

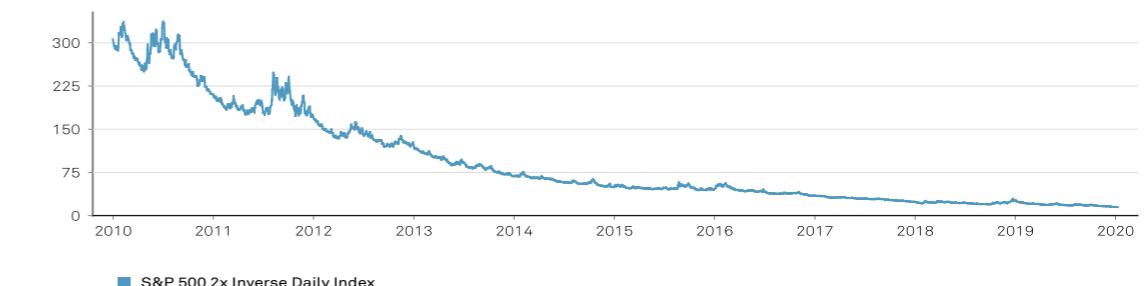
- 構成銘柄の追加基準の一つ以上に大きく抵触する企業。
- 追加基準を満たさなくなるような合併や買収、或いは重大な再編に係わる企業。

### S&P 500® 2倍レバレッジ・インバース日次指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	15.14	-5.53%	-15.48%	-41.13%	-41.13%	-24.63%	-21.46%
							-25.97%

#### 過去の実績



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global



## S&P 500® 2倍レバレッジ日次指数

### 指標について

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのレバレッジ指標は、原指標の複数倍のリターンを生み出し、投資資金額を超える指標へのエクスポージャーを得るために資金の借入コストを反映するように設計されている。S&P 500 2倍レバレッジ日次指標は、S&P 500 の配当と株価変動を含むリターン（プラス又はマイナス）の 200% を反映する。S&P 500 の構成銘柄に對して 200% のエクスポージャーを取るために要する初期投資と同額の資金借入の金利コストを反映するように調整される。こうした想定は、業界で通常行われている慣行を反映している。米国株式市場の動向を表す最良の単一尺度として広く認知されている S&P 500® は、米国経済の主要業種における代表的な企業 500 社で構成される。S&P 500 は、米国株式の約 75%を占める大型株に焦点を絞っており、市場全体の動きを表す理想的な指標であるとも言える。

### 指標算出方法

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス指標委員会は、指標を維持するため、公表された一連のガイドラインに従う。構成銘柄の追加及び除外基準、方針表明、研究論文など、これらガイドラインの詳細は、ウェブサイト [www.spindices.com](http://www.spindices.com)において確認できる。こうしたガイドラインは、投資家が指標に連動するリターンを獲得し、S&P500 株価指標のショートと同じパフォーマンスを達成する上で必要な透明性と公正さを提供する。

### 指標への追加基準

S&P 指標委員会は、指標を維持するため、公表された一連のガイドラインに従う。構成銘柄の追加及び除外基準、方針表明、研究論文など、これらガイドラインの詳細は、ウェブサイト [www.spdji.com](http://www.spdji.com)において確認できる。こうしたガイドラインは、投資家が指標に連動するリターンを獲得し、S&P 500 のショートと同じパフォーマンスを達成する上で必要な透明性と公正さを提供する。

### 指標構成銘柄の追加基準

- 米国企業。業務の所在地や事業形態、会計基準、上場取引所などが判断基準となる。
- 時価総額。S&P 500 の時価総額範囲を満たす時価総額を有する企業であること。
- 時価総額範囲は、市場条件との整合性を確保するため適宜見直される。
- 公開浮動株比率。少なくとも 50% の公開浮動株比率を有すること。
- 財務の健全性。4四半期以上連續で報告利益がプラスであること。ここでいう報告利益とは、非継続事業と特別項目を除く GAAP における純利益を指す。
- 十分な流動性と妥当な株価。企業の時価総額に対する年間売買代金の比率が 0.10 以上であること。株価が非常に低いと銘柄の流動性に影響を及ぼす。
- セクター分類。企業の業種分類は、S&P 500 株価指標のセクター構成に沿うようセクターのバランスを維持すること。
- 業態。構成銘柄が事業会社であること。クローズドエンド型ファンドや持ち株会社、パートナーシップ、投資ビーカル、ロイヤルティ・トラストは対象外となる。不動産投資信託 (REIT) や事業開発会社 (BDC) は、構成銘柄の対象となる。既に指標に組み入れられている銘柄には、必ずしもこれらのガイドラインが適用されるとは限らない。指標委員会は、指標構成銘柄の不要な入れ換えを最小限にとどめるよう努めており、銘柄の除外はケース・バイ・ケースで決定される。

### 指標からの除外基準

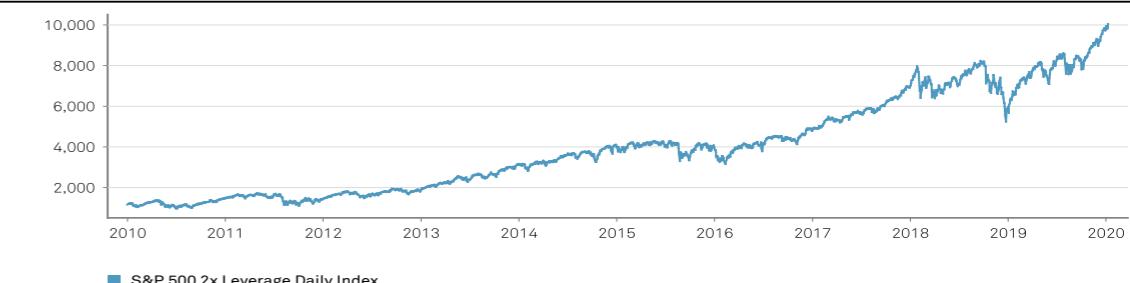
- 構成銘柄の追加基準の一つ以上に大きく抵触する企業。
- 追加基準を満たさなくなるような合併や買収、或いは重大な再編に係わる企業。

### S&P 500® 2倍レバレッジ日次指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
ネット・トータル・リターン	9,784.65	5.83%	17.84%	64.54%	64.54%	26.98%	19.66%
							23.79%

#### 過去の実績



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 米国優先株式指数

### 指標について

S&P 米国優先株式指数は、米国優先株式ユニバースを代表する投資可能なベンチマークに対する投資コミュニティのニーズに応えるべく設計されている。当指標は、一定の基準を満たし米国の証券取引所に上場されている優先株式で構成されている。優先株式とは、債券と普通株の性格を併せ持つ証券のクラスである。それらの期待ボラティリティと期待リターンは普通株と債券の中間に位置するが、その分配当利回りは高くなる。優先株式は普通株とも債券とも相関が低いため、有効な分散投資商品として機能する。

### 指標算出方法

S&P 米国優先株式指数は、一定の規則に基づく算出方法に従い、米国で取引されている優先株式の配当利回りと価格パフォーマンスを測定する。この指標は S&P 指数委員会により維持される。同委員会は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのエコノミストと指標アナリストのチームで構成されており、定期的に会合を持つ。S&P 指数委員会は、指標の維持に当たり公表されたガイドラインに従う。これらガイドラインの完全な詳細は、弊社ウェブサイト [www.spdji.com](http://www.spdji.com) から入手できる。

### リバランス

当指標の構成銘柄は、1月、4月、7月及び10月の四半期毎に見直される。組入株式数は年に2回、1月と7月に見直されます。満期、転換、償還や上場廃止などの資本異動は、一定のルールに従って取り扱われる。

### 加重方式

当指標は、単一発行体に集中することを避けるため組入株式数に修正を加える修正時価総額加重方式により算出される。

### 指標追加の判断基準

- 発行種別 - 資本及び資金調達要件を満たす企業が発行する優先株式が対象となる。その中には変動利付及び確定利付優先株式、累積的及び非累積的優先株式、コーラブルあるいは転換条件付優先株式、信託優先株式などが含まれます。金融機関が発行する仕組み商品で、指標や株式バスケットあるいは別の企業の株式に連動する証券とパッケージされているものは対象外である。優先株式と類似の証券を発行する特殊なベンチャービジネスも対象外。
- 上場 - ニューヨーク証券取引所 (NYSE Arca と NYSE AMEX を含む)、NASDAQ グローバル・セレクト・マーケットあるいは NASDAQ キャピタル・マーケットで取引される優先株式は対象となる。店頭取引、ブリティンボード取引及び未登録（規則 144[A]）の銘柄は対象外。
- 時価総額 - 1億米ドル以上の時価総額を持つ優先株式が対象となる。
- 出来高 - 直前 6ヶ月間の各月間で少なくとも 250,000 株以上取引されている優先株式が対象となる。
- 提示配当利回り - S&P が提示配当額を判断できない優先株式は対象外。
- 満期あるいは転換予定期日 - 今後 12ヶ月以内に強制転換あるいは満期日が予定されていない銘柄が対象となる。

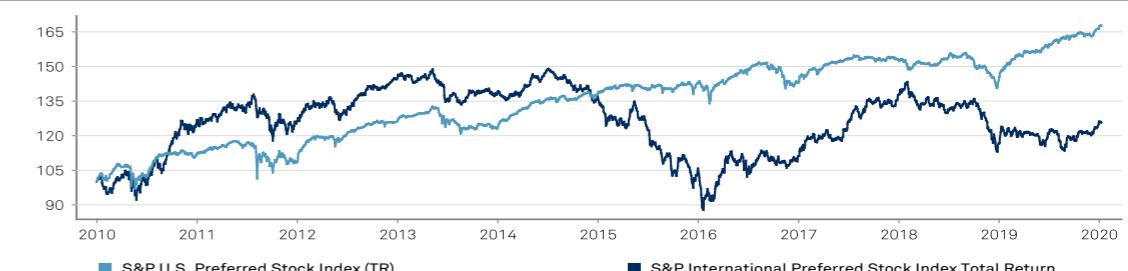
### S&P 米国優先株式指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	2,426.51	1.82%	2.26%	17.64%	17.64%	7.11%	5.73%
プライス・リターン	789.03	1.27%	0.76%	10.67%	10.67%	0.63%	-0.71%
ベンチマーク・トータル・リターン	1,732.6	1.66%	1.81%	15.51%	15.51%	5.13%	3.76%
ベンチマーク・プライス・リターン	1,429.13	4.5%	5.35%	8.01%	8.01%	4.3%	-1.64%
ベンチマーク*・ネット・トータル・リターン	847.27	4.06%	3.84%	2.04%	2.04%	-1.04%	-6.84%
							-2.75%

\* The index benchmark is the S&P International Preferred Stock Index

#### 過去の実績



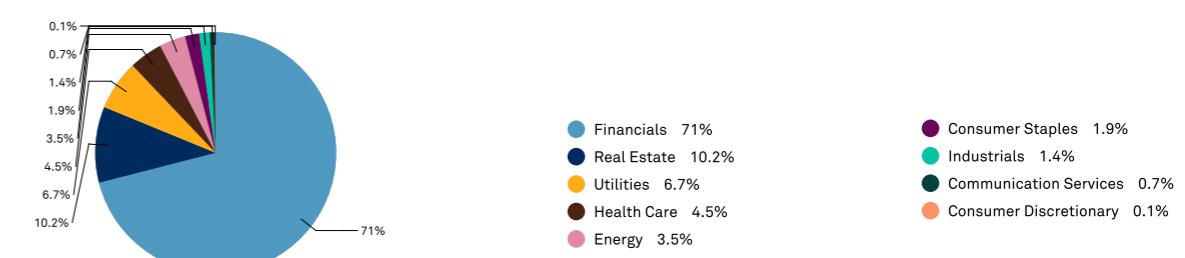
#### インデックスの特徴

構成銘柄数	280
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	517.16
最大合計時価総額	5,753.6
最小合計時価総額	89.84
合計時価総額の中央値	324.36
Weight Largest Constituent [%]	3.8
Weight Top 10 Constituents [%]	17.7

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	2,349.16
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	81.11
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	187.44
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	0
* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量 詳しい情報については、 <a href="http://www.spdji.com/esg-metrics">www.spdji.com/esg-metrics</a> をご覧ください。	

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global



## S&P/JPX リスク・コントロール指標シリーズ\*

### 指標について

S&P/JPX リスク・コントロール指標は、ポートフォリオ全体のボラティリティがターゲットボラティリティ（5%、10% または 15%）となるように株式（TOPIX）とキャッシュの配分を調節する指標である。

### 構築メソドロジー

S&P/JPX リスク・コントロール指標（5%、10%、15%）では、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス のリスク・コントロールの枠組みを東証株価指数（TOPIX）に適用している。また、この指標は各目標ボラティリティ（5%、10%、15%）に応じて、配当込み TOPIX のポジションと国内インターネット市場の無担保オーバーナイト・コール・レートに基づくキャッシュ・ポジションを組み合わせる。

### 指標ファミリー

S&P/JPX リスク・コントロール指標は TOPIX（トータル・リターン）に基づいている。3 つの異なる目標ボラティリティを有する指標を算出しており、トータル・リターン及び超過リターンの 2 つのバージョンが存在する。

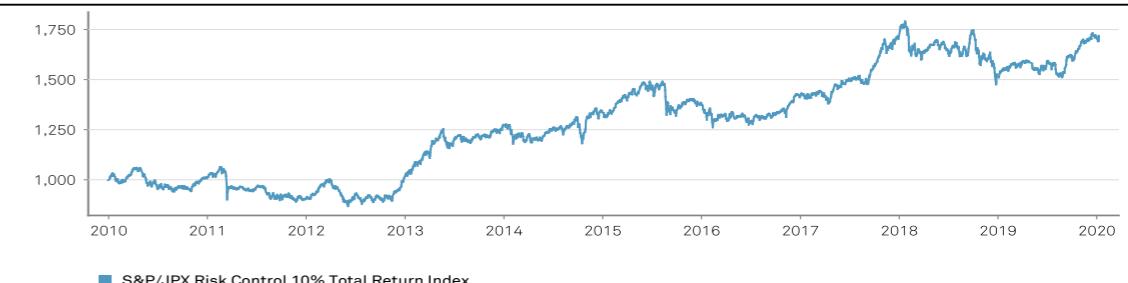
指標	目標ボラティリティ水準
S&P/JPX リスク・コントロール 5%	5%
S&P/JPX リスク・コントロール 10%	10%
S&P/JPX リスク・コントロール 15%	15%

### S&P/JPX リスク・コントロール指標シリーズ

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	1,712.09	1.16%	6.44%	12.44%	12.44%	6.64%	5.08%

#### 過去の実績



#### 年別パフォーマンス

2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010
TOTAL RETURNS									
12.44%	-10.63%	20.66%	1.94%	3.64%	4.84%	26.35%	11.31%	-9.96%	0.88%

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 米国 IPO & スピンオフ指数

### 指標について

S&P 米国 IPO & スpinオフ指標は、S&P 米国 BMI 指標の構成銘柄において、過去 5 年以内に新規株式公開 (IPO) を行った企業または親会社からスpinオフした企業で、かつ浮動株調整後時価総額が 10 億ドル以上の企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

### 指標の構築

ユニバース：この指標の構成銘柄は、S&P 米国 BMI 指標の採用銘柄である必要がある。

構成銘柄の選択：この指標は S&P 米国 BMI 指標に追加される全てのスpinオフ企業の中で、リバランスマーケットリリース日時点の浮動株調整後時価総額が 10 億ドル以上の企業と、S&P 米国 BMI 指標の採用候補となる IPO 企業の中で、最初の取引日の終了時点において浮動株調整後時価総額が 10 億ドル以上の企業から構成されている。

加重：この指標は修正時価総額加重方式を採用している。構成銘柄は浮動株調整後時価総額に従って加重され、指標内の各銘柄の組入比率の上限は 7.5% となっている。指標における企業のウェイトが 7.5% を超えた場合、浮動株調整後時価総額に基づいて、ウェイトは 7.5% まで引き下げられ、残りの銘柄のウェイトは浮動株調整後時価総額ウェイトに比例して引き上げられる。指標内でウェイトが 7.5% を上回る銘柄がなくなるまで、必要に応じてこのプロセスが繰り返される。

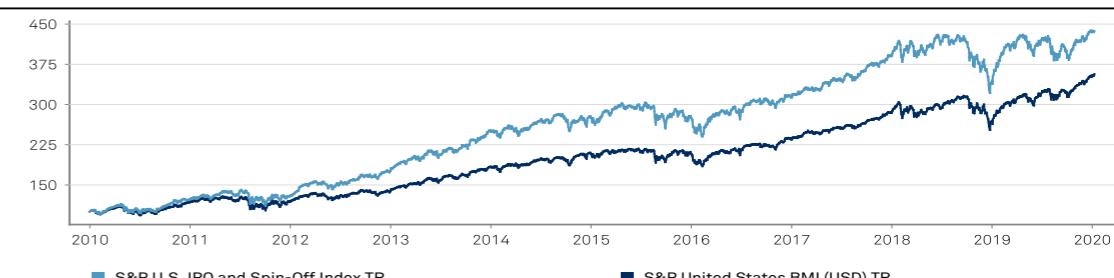
### S&P 米国 IPO & スpinオフ指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	463.81	2.82%	9.15%	27.52%	27.52%	11.77%	9.72%
プライス・リターン	387.21	2.66%	8.68%	25.52%	25.52%	10.14%	8.02%
ネット・トータル・リターン	439.37	2.77%	9.01%	26.92%	26.92%	11.28%	9.21%
ベンチマーク*・トータル・リターン	1,331.81	2.87%	9.03%	30.91%	30.91%	14.54%	11.2%
ベンチマーク*・プライス・リターン	804.39	2.71%	8.51%	28.43%	28.43%	12.39%	9.06%

\* The index benchmark is the S&P United States BMI (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	69
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	8,822.36
最大合計時価総額	127,012.35
最小合計時価総額	747.51
合計時価総額の中央値	3,654.58
Weight Largest Constituent [%]	7.5
Weight Top 10 Constituents [%]	49.5

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

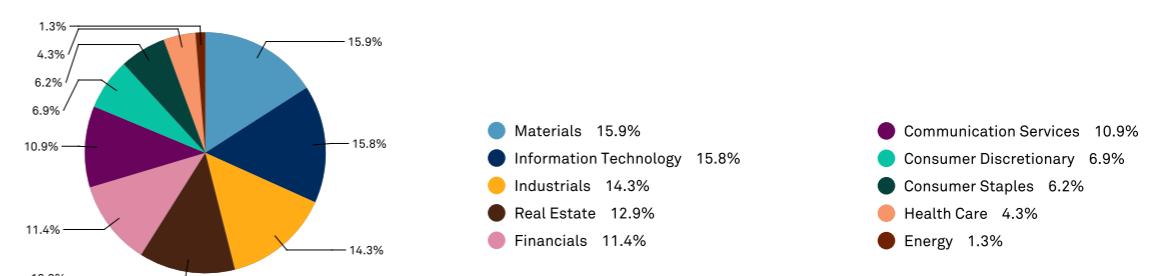
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Dow Inc	DOW	Materials
PayPal Holdings Inc.	PYPL	Information Technology
Fortive Corp	FTV	Industrials
Corteva Inc.	CTVA	Materials
Synchrony Financial	SYF	Financials
Hewlett Packard Enterprise Co	HPE	Information Technology
Invitation Homes	INVH	Real Estate
Snap, Inc.	SNAP	Communication Services
Lamb Weston Holdings Inc	LW	Consumer Staples
VICI Properties Inc.	VICI	Real Estate

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	75.64
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	156.07
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	110.46
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	0

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P TOPIX 150 日本レベニュー・エクスポージャー指数

### 指標について

S&P/TOPIX 150 日本レベニュー・エクスポージャー指数は、S&P/TOPIX 150 指数の中で日本での売上高が平均より高い企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。この指標では、ファクトセットの地域別レベニュー・エクスポージャー (GeoRev™) のデータベースを採用し、適用可能な各指標ユニバースにおける企業の地域別売上高の内訳入手する。S&P/TOPIX 150 日本レベニュー・エクspoージャー指標は、S&P グローバル・レベニュー・エクspoージャー指標シリーズの一部である。

### 指標のメソドロジー

- ユニバース：各指標は、S&P/TOPIX 150 指数（原ユニバース指標）の構成銘柄から構築される。
- 売上高を計上した地域：企業は、ファクトセットの地域別レベニュー・エクspoージャーのデータベースに含まれている必要がある。特定されていない地域からの売上高は考慮されない。企業の売上高の 100% が特定されていない地域からのものである場合、その企業は指標採用候補とはならない。
- ウェイト付け：この指標は修正時価総額加重方式を採用している。各リバランス時点で、指標の構成銘柄として選択される全ての証券は、選択ユニバースにおけるそれらの企業の浮動株調整後時価総額と、ターゲットとする地域または国におけるそれらの企業の売上高の割合の積により加重される。ただし、証券の最大ウェイトは 10% に制限される。原ユニバース指標において複数の取引所に上場している企業に関しては、その企業が上場している各取引所の浮動株調整後時価総額の合計が最終ウェイトの計算に使用される。

### リバランス

指標は年 2 回、5 月及び 11 月の第 3 金曜日の取引終了後にリバランスされる。リバランス・プロセスの一環として、構成銘柄のウェイトはアップデートされる。リバランス参照日は、4 月及び 10 月のそれぞれの最終営業日である。参照日のデータに基づいて、5 月及び 11 月の第 2 金曜日の直前の水曜日時点の終値を用いて計算されたウェイトが指標で用いられる。

### 追加及び除外

追加：適格なスピンオフを除いて、年 2 回のリバランスの間に構成銘柄の追加は一切行われない。

除外：原ユニバース指標から除外される構成銘柄は、S&P/TOPIX 150 レベニュー・エクspoージャー指標からも同時に除外される。

### S&P TOPIX 150 日本レベニュー・エクspoージャー指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	249.72	1.2%	5.53%	13.42%	13.42%	5.8%	6.18%
プライス・リターン	196.42	1.14%	5.43%	10.41%	10.41%	3.23%	3.81%
ネット・トータル・リターン	237.91	1.19%	5.51%	12.8%	12.8%	5.27%	5.69%
ベンチマーク*・トータル・リターン	1,998.51	1.34%	8.12%	19.26%	19.26%	6.99%	6.15%
ベンチマーク*・プライス・リターン	1,420.39	1.19%	7.98%	16.25%	16.25%	4.48%	3.77%

\* The index benchmark is the S&P/TOPIX 150

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	71
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	2,177,334.1
最大合計時価総額	10,754,472.52
最小合計時価総額	448,103.88
合計時価総額の中央値	1,472,082
Weight Largest Constituent [%]	5.1
Weight Top 10 Constituents [%]	35.6

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

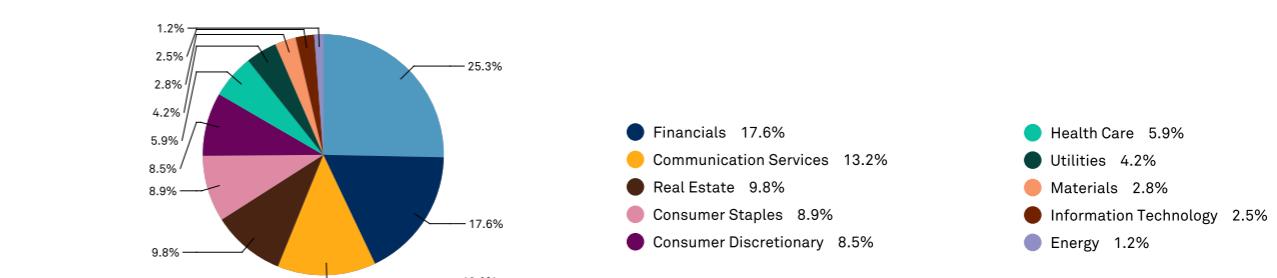
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Nippon Tel & Tel Corp	9432	Communication Services
KDDI Corp	9433	Communication Services
Central Japan Railway Co	9022	Industrials
East Japan Railway Co	9020	Industrials
Sumitomo Mitsui Financial Gro	8316	Financials
NTT DOCOMO	9437	Communication Services
Oriental Land Co	4661	Consumer Discretionary
Itochu Corp	8001	Industrials
Mitsubishi Estate Co	8802	Real Estate
Daiichi Sankyo Co Ltd	4568	Health Care

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	169.95
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	190.98
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	186.82
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	0

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors  
The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P TOPIX 150 米国レベニュー・エクスポージャー指数

### 指標について

S&P/TOPIX 150 米国レベニュー・エクspoージャー指数は、S&P/TOPIX 150 指数の中で米国での売上高が平均より高い企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。この指標では、ファクトセットの地域別レベニュー・エクspoージャー (GeoRev™) のデータベースを採用し、適用可能な各指標ユニバースにおける企業の地域別売上高の内訳入手する。S&P/TOPIX 150 米国レベニュー・エクspoージャー指数は、S&P グローバル・レベニュー・エクspoージャー指標シリーズの一部である。

### 指標のメソドロジー

- ユニバース：各指標は、S&P/TOPIX 150 指数（原ユニバース指標）の構成銘柄から構築される。
- 売上高を計上した地域：企業は、ファクトセットの地域別レベニュー・エクspoージャーのデータベースに含まれている必要がある。特定されていない地域からの売上高は考慮されない。企業の売上高の 100% が特定されていない地域からのものである場合、その企業は指標採用候補とはならない。
- ウェイト付け：この指標は修正時価総額加重方式を採用している。各リバランス時点で、指標の構成銘柄として選択される全ての証券は、選択ユニバースにおけるそれらの企業の浮動株調整後時価総額と、ターゲットとする地域または国におけるそれらの企業の売上高の割合の積により加重される。ただし、証券の最大ウェイトは 10% に制限されている。原ユニバース指標において複数の取引所に上場している企業に関しては、その企業が上場している各取引所の浮動株調整後時価総額の合計が最終ウェイトの計算に使用される。

### リバランス

#### 追加及び除外

追加：適格なスピンオフを除いて、年 2 回のリバランスの間に構成銘柄の追加は一切行われない。

除外：原ユニバース指標から除外される構成銘柄は、S&P/TOPIX 150 レベニュー・エクspoージャー指標からも同時に除外される。

戦略型

二  
ユ  
一  
エ  
コ  
ノ  
ミ  
ー

ESG  
・  
責  
任  
投  
資

### S&P TOPIX 150 米国レベニュー・エクspoージャー指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	264.26	1.37%	8.49%	21.59%	21.59%	6.78%	6.2%
プライス・リターン	206.06	1.14%	8.3%	18.42%	18.42%	4.17%	3.68%
ネット・トータル・リターン	251.3	1.32%	8.45%	20.94%	20.94%	6.24%	5.69%
ベンチマーク*・トータル・リターン	1,998.51	1.34%	8.12%	19.26%	19.26%	6.99%	6.15%
ベンチマーク*・プライス・リターン	1,420.39	1.19%	7.98%	16.25%	16.25%	4.48%	3.77%
							6.12%

\* The index benchmark is the S&P/TOPIX 150

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	59
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	3,456,765.09
最大合計時価総額	25,170,758.86
最小合計時価総額	472,323.98
合計時価総額の中央値	2,525,700.15
Weight Largest Constituent [%]	8.4
Weight Top 10 Constituents [%]	50.7

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

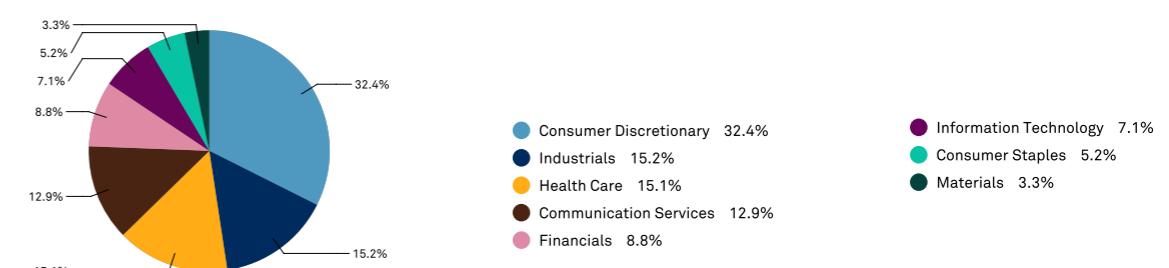
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Toyota Motor Corp	7203	Consumer Discretionary
SoftBank Group Corp	9984	Communication Services
Takeda Pharmaceutical Co Ltd	4502	Health Care
Honda Motor Co	7267	Consumer Discretionary
Sony Corp	6758	Consumer Discretionary
Nintendo Co Ltd	7974	Communication Services
Mitsubishi UFJ Financial Group	8306	Financials
Recruit Holdings Co Ltd	6098	Industrials
Seven & I Holdings Co Ltd	3382	Consumer Staples
Daikin Industries	6367	Industrials

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	88.42
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	115.15
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	107.48
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	0

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho ニュー・エコノミー・コンポジット指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho ニュー・エコノミー・コンポジット指数は、ニュー・エコノミー 21 世紀セクターに従事している企業や、S&P Kensho サブセクター指数の全てから選択される一部の企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。S&P Kensho ニュー・エコノミー・コンポジット指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のセクター指数であり、第四次産業革命を推進し、変革をもたらす新たな産業を育てることに特化している企業を表すことを意図している。このコンポジット指数は独自の定量的ウェイト付けアルゴリズムを利用することで、これらの産業の初期段階から成熟期までのライフサイクル全体にわたり個別の S&P Kensho ニュー・エコノミー・サブセクター指数に連動する。このコンポジット指数は、主流企業や最先端企業が、ニュー・エコノミーの台頭を牽引している 21 世紀セクターのテクノロジーに戦略的注目を移している中で、これらの企業間のユニークなバランスを図っている。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指数では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース：**構成銘柄は、ニュー・エコノミー業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

### 戦略型

### ニュー・エコノミー

### ESG・責任投資

### S&P Kensho ニュー・エコノミー・コンポジット指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	205	3.45%	9.65%	37.29%	37.29%	16.34%	12.87%
プライス・リターン	192.77	3.34%	9.37%	35.84%	35.84%	15.21%	11.75%
ネット・トータル・リターン	128.94	3.42%	9.59%	36.92%	36.92%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	388
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	32,091.49
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	170.86
合計時価総額の中央値	4,488.57
Weight Largest Constituent [%]	1.4
Weight Top 10 Constituents [%]	11.9

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Tesla, Inc	TSLA	Consumer Discretionary
Bruker BioSciences Corp	BRKR	Health Care
Nvidia Corp	NVDA	Information Technology
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
L3Harris Technologies Inc	LHX	Industrials
Raytheon Co	RTN	Industrials
STMicroelectronics NV NYShs	STM	Information Technology
NIO Inc-ADR	NIO	Consumer Discretionary
FLIR Systems Inc	FLIR	Information Technology
Garmin Ltd	GRMN	Consumer Discretionary

\*Based on GICS® sectors

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	90.3
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	174.07
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	209.29
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	1,246.14

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P Dow Jones Indices 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho ナノテクノロジー指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho ナノテクノロジー指数は、ナノテクノロジー産業に従事している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。この指数は、ナノスケールの機器を生産している企業や、それらの生産ラインにおいてナノテクノロジーを使用している企業、またはナノスケールで情報を測定できる機械を製作している企業などで構成される。

S&P Kensho ナノテクノロジー指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のセクター指数であり、ナノスケールの機器を実際に生産している企業から、それらの生産においてナノテクノロジーを使用している企業、またはナノスケールで情報を測定できる機械を製作している企業に至るまで、機械的なナノスケール・プロセスに特化している企業を表すことを意図している。分子レベルでのエンジニアリングは複雑であり、ナノテクノロジーは、回路の小型化が進むエレクトロニクス産業や、人体内でより高度な役割を果たすことができる「プログラム可能な」バイオ技術商品の両方に影響を及ぼすと見込まれる。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指数では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、ナノテクノロジー業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

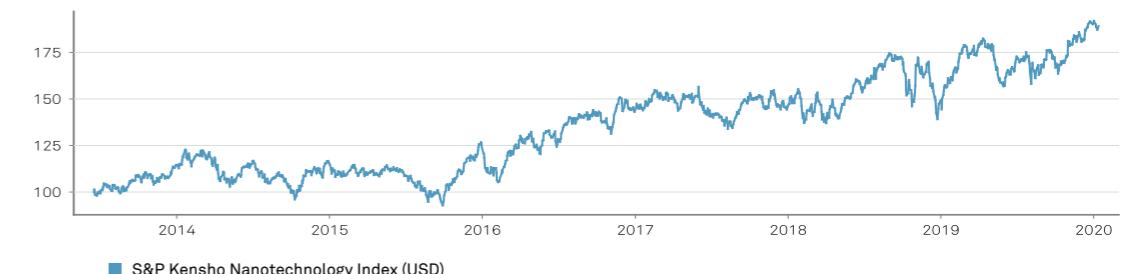


### S&P Kensho ナノテクノロジー指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	199.91	3.37%	10.71%	28.82%	28.82%	10.89%	11.4%
プライス・リターン	190.48	3.31%	10.5%	27.82%	27.82%	10.02%	10.5%
ネット・トータル・リターン	121.95	3.35%	10.64%	28.52%	28.52%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	13
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	26,415.54
最大合計時価総額	130,269.95
最小合計時価総額	346
合計時価総額の中央値	3,654.58
Weight Largest Constituent [%]	10.8
Weight Top 10 Constituents [%]	84.5

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	31.91
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	131.18
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	131.61

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる銘柄数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## 説明

S&P Kensho バーチャル・リアリティ指数は、仮想現実（VR）セクターに従事している企業や、ビジネス戦略の主な構成要素として仮想現実（VR）や拡張現実（AR）関連事業に注目している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。S&P Kensho バーチャル・リアリティ指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指標シリーズ内のセクター指標であり、仮想現実（VR）に特化している企業を表すことを意図している。仮想現実（VR）では、コンピューター、イメージ、及び音声を組み合わせて活用することにより、人工環境内でインタラクティブな疑似体験を行うことができる。

## メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指標は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理（NLP）プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース：**構成銘柄は、仮想現実（VR）業界でサービスを提供している米国上場企業や、その業界に従事しているサプライチェーン企業である必要がある。

**時価総額：**各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性：**構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

## 戦略型

## ニュー・エコノミー

## ESG・責任投資

# S&P Kensho バーチャル・リアリティ指数（米ドル）

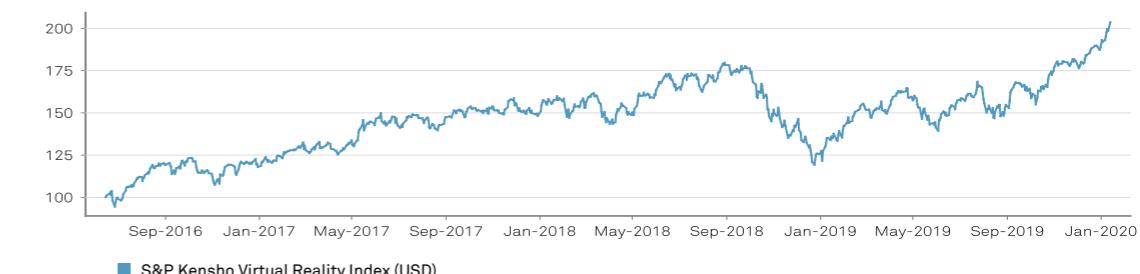


## S&P Kensho バーチャル・リアリティ指数（米ドル）

### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	193.5	4.37%	14.8%	50.52%	50.52%	17.7%	N/A
プライス・リターン	188.51	4.33%	14.69%	49.9%	49.9%	16.93%	N/A
ネット・トータル・リターン	141.36	4.36%	14.77%	50.34%	50.34%	N/A	N/A

### 過去の実績



### インデックスの特徴

構成銘柄数	18
構成銘柄の時価総額 [USD 100万]	
平均合計時価総額	210,266.07
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	457.91
合計時価総額の中央値	21,542.96
Weight Largest Constituent [%]	9.5
Weight Top 10 Constituents [%]	68

### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	45.3
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	122.87
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	81.39

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる銘柄数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho ドローン指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho ドローン指数は、遠隔操作または無人のドローン、水中ドローン、及び表面ドローン市場に特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho ドローン指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のサブセクター指数であり、ドローン業界に従事している企業を表すことを意図しており、ビジネス戦略の主な構成要素としてドローン関連事業に特化している企業や、ドローン業界に従事しているサプライチェーン企業から構成されている。ドローンは当初、軍事利用の分野を通じて普及したが、ニュー・エコノミーでは、娛樂や商業目的での使用が主流になると考えられる。ドローン市場の大部分は趣味目的のユーザーが占める一方、最大積載量の増加や、非軍事目的のドローンの増加により、商業目的の使用機会がますます広がると考えられる。例えば、商業目的の用途としては、エアリアル・イメージング、建造物の修復、商品の配達、及びモバイル・データ通信のサービス・エリア拡大などが挙げられる。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指数では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース：**構成銘柄は、ドローン業界でサービスを提供している米国上場企業や、その業界に従事しているサプライチェーン企業である必要がある。

**時価総額：**各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性：**構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

新規追加指數

株式

債券

コモディティ

不動産・テック

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

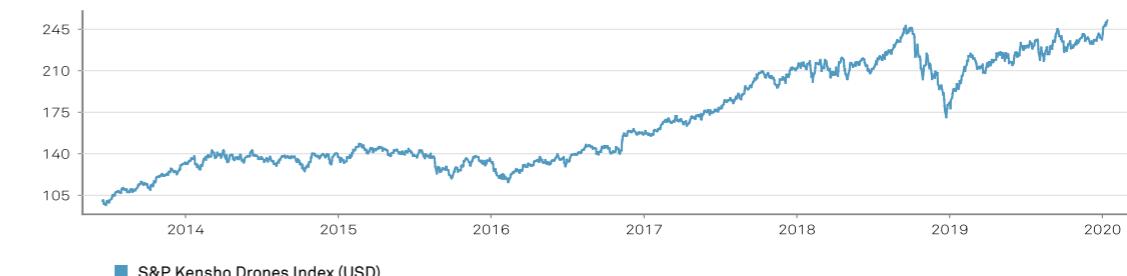


### S&P Kensho ドローン指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	254.37	-0.27%	0.94%	30.53%	30.53%	15.97%	12.63%
プライス・リターン	236.31	-0.28%	0.7%	29.26%	29.26%	14.83%	11.41%
ネット・トータル・リターン	122.43	-0.27%	0.87%	30.15%	30.15%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	24
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	31,633.94
最大合計時価総額	183,334.8
最小合計時価総額	199.34
合計時価総額の中央値	8,285.21
Weight Largest Constituent [%]	7.5
Weight Top 10 Constituents [%]	58

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	35.97
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	89.87
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	70.33
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	0

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho スペース指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho スペース指数は、宇宙セクターに従事している企業や、ビジネス戦略の主な構成要素として宇宙関連事業に注目している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho スペース指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指標シリーズ内のサブセクター指標であり、宇宙産業に特化している企業を表すことを意図している。宇宙産業では、ファイナル・フロンティアの商業化や科学的調査が進められている。宇宙旅行への関心の高まりや、希土類鉱物に対する需要の増加、さらには惑星の植民地化構想などを背景に、企業は宇宙旅行事業の推進や宇宙空間の調査に取り組んでいる。こうした中で、ロケット、打上げロケット、衛星、及びこれらのサブシステムに対する需要が拡大している。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指標は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、スペース業界でサービスを提供している米国上場企業や、その業界に従事しているサプライチェーン企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が3億ドル以上ある必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が200万ドル以上ある必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

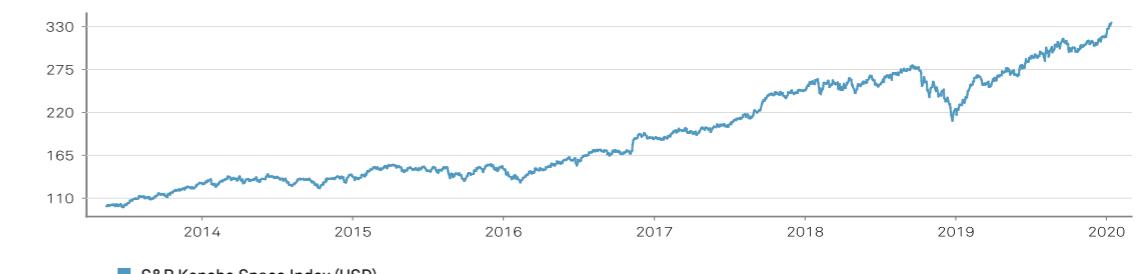


### S&P Kensho スペース指標（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	344.48	2.1%	3.03%	42.59%	42.59%	20.8%	19.51%
プライス・リターン	316.75	2.08%	2.79%	41.16%	41.16%	19.47%	18.07%
ネット・トータル・リターン	136.41	2.1%	2.95%	42.16%	42.16%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	26
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	30,286.36
最大合計時価総額	183,334.8
最小合計時価総額	584.28
合計時価総額の中央値	6,223
Weight Largest Constituent [%]	6.1
Weight Top 10 Constituents [%]	46.7

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	42.58
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	98.56
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	104.23

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最高位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho ロボット工学指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho ロボット工学指数は、ロボット工学産業や重要なサブシステムに特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho ロボット工学指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指標シリーズ内のサブセクター指標であり、様々な使用目的を想定したロボットや、特殊な製品及びサービスを提供しているサプライチェーン企業のエコシステムのためのロボットの開発に従事している企業を表すことを意図している。世界中で自動製造業務の量が増加していることに伴い、ロボット工学産業に従事している企業の数やタイプも拡大している。社会においてロボットの使用範囲が拡大し、ロボットが普及している中で、特殊部品や完全なロボットの開発がますます注目されている。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指標は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、ロボット工学業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

### 戦略型

### ニュー・エコノミー

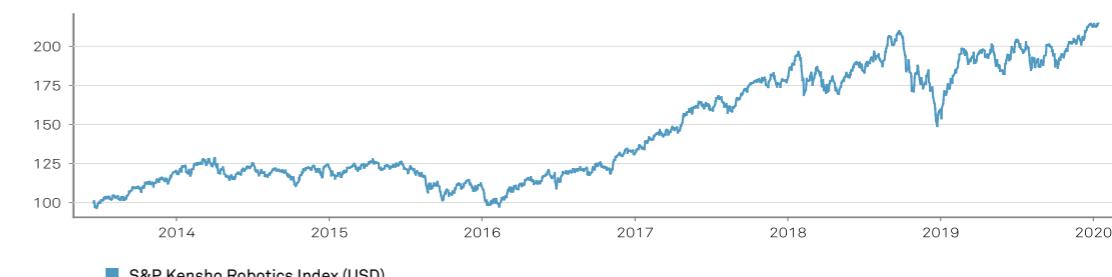
### ESG・責任投資

### S&P Kensho ロボット工学指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	223.29	3.92%	9.22%	34.44%	34.44%	18.5%	12.55%
プライス・リターン	212.61	3.82%	9.03%	33.28%	33.28%	17.58%	11.63%
ネット・トータル・リターン	124.77	3.89%	9.18%	34.11%	34.11%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	31
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	22,967.73
最大合計時価総額	152,065.88
最小合計時価総額	251.05
合計時価総額の中央値	7,460.65
Weight Largest Constituent [%]	4.8
Weight Top 10 Constituents [%]	45.9

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	52.96
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	86.6
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	97.01
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	0

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho 遺伝子工学指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho 遺伝子工学指数は、遺伝子工学業界に従事している企業や、リサーチ効率を上げるためにツールを提供している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho 遺伝子工学指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指標シリーズ内のサブセクター指標であり、動物、植物、及び人間の生体細胞の遺伝子を組み換えるために、遺伝子工学またはバイオテクノロジーに注目している企業を表すことを意図している。遺伝子工学を利用することにより、薬物療法や医療診断を飛躍的に進歩させ、より栄養価の高い丈夫な作物や家畜を生産できる可能性がある。また、こうした遺伝子組み換え商品が主流になった場合、遺伝子工学の直接的及び間接的な経済的影響は大きくなると考えられる。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指標は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、遺伝子工学業界でサービスを提供している米国上場企業や、その業界に従事しているサプライチェーン企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が3億ドル以上である必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が200万ドル以上である必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

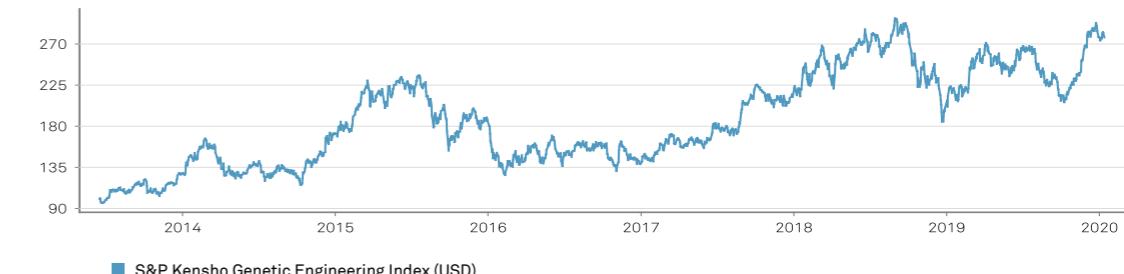


### S&P Kensho 遺伝子工学指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	282.7	3.43%	29.7%	36.38%	36.38%	26.36%	10.38%
プライス・リターン	277.71	3.41%	29.67%	36.1%	36.1%	26.09%	10.13%
ネット・トータル・リターン	122.12	3.43%	29.69%	36.29%	36.29%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	44
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	18,358.96
最大合計時価総額	241,518.68
最小合計時価総額	274.83
合計時価総額の中央値	2,209.02
Weight Largest Constituent [%]	4.7
Weight Top 10 Constituents [%]	30.8

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Audentes Therapeutics, Inc.	BOLD	Health Care
Rocket Pharmaceuticals, Inc.	RCKT	Health Care
Homology Medicines, Inc.	FIXX	Health Care
Fate Therapeutics Inc	FATE	Health Care
Sarepta Therapeutics Inc	SRPT	Health Care
Orchard Therapeutics PLC	ORTX	Health Care
UNIQURE B.V.	QURE	Health Care
MeiraGTx Holding plc	MGTX	Health Care
Iovance Biotherapeutics, Inc	IOVA	Health Care
The Medicines Company	MDCO	Health Care

\*Based on GICS® sectors

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	3.78
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	55.12
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	63.77

\*事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho 3D プリント指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho 3D プリント指数は、3D プリントに特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。S&P Kensho 3D プリント指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指標シリーズ内のサブセクター指標であり、3D プリンタの製造、または特殊部品（3D プリンタのモデリング・ソフトウェアなど）の製造に特化している企業を表すことを意図している。ほんの数年前まで、3D プリンティング技術は小規模な特別モデルの試作品に限られており、実践的というよりも装飾的な用途として用いられることが多かった。現在では、テクノロジーや機器などが改善したことから、3D プリンタにより、実用的な個別部品から全体的な完成品に至るまで多種多様なモノを製造し、「オンデマンド経済」に対応することが可能となっている。3D バイオプリンタでは、人間の生体組織の製造さえも可能になる。全ての産業において、3D プリンタの利用価値が大きく高まっている。例えば、試作品の迅速な製造、スケール・モデルの創出、カスタマイズ商品の小バッチ生産、及びコモディティ化された商品の高効率・大規模生産などが可能となっている。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指標は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理（NLP）プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース：**構成銘柄は、3D プリント業界でサービスを提供している米国上場企業や、それらの企業をサポートしているサプライチェーン企業である必要がある。

**時価総額：**各企業は、時価総額が 1 億ドル以上である必要がある。

**流動性：**構成銘柄は、3 ヶ月間の 1 日当たり平均売買代金が 100 万ドル以上である必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

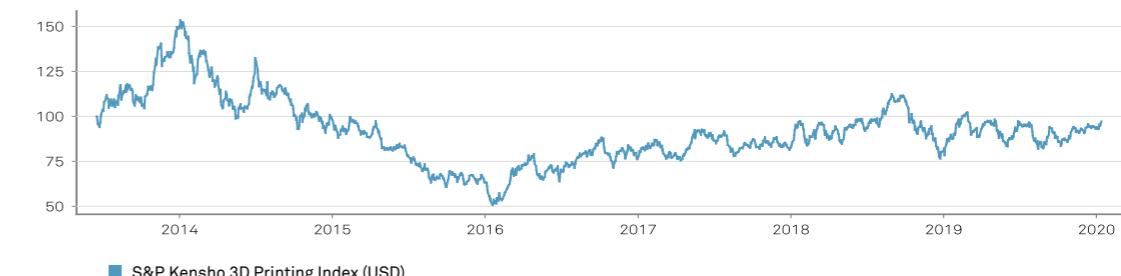
ESG・責任投資

### S&P Kensho 3D プリント指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	95.76	1.3%	5.65%	16.67%	16.67%	7.56%	-0.71%
プライス・リターン	93.5	1.21%	5.46%	15.94%	15.94%	7.1%	-1.08%
ネット・トータル・リターン	108.21	1.27%	5.59%	16.45%	16.45%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	11
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	9,662.77
最大合計時価総額	40,367.25
最小合計時価総額	876.29
合計時価総額の中央値	2,375.5
Weight Largest Constituent [%]	11.3
Weight Top 10 Constituents [%]	95.8

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	264.27
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	398.43
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	347.52

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho エンタープライズ・コラボレーション指数 (米ドル)

### 説明

S&P Kensho エンタープライズ・コラボレーション指数は、エンタープライズ・コラボレーションに関する次世代商品やサービスを提供することに従事している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho エンタープライズ・コラボレーション指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のセクター指数であり、コラボレーション・プラットフォームの枠組みに特化している企業を表すことを意図している。こうしたプラットフォームにより、企業はメッセージや、サードパーティのアプリケーション、スケジュール、ドキュメント、検索を最小限のインフラ開発でコンバインド・システムに統合することが可能となる。つまり、クラウド・コミュニケーション・プラットフォーム、またはコミュニケーション・プラットフォーム・アズ・ア・サービス (CPaaS) は、エンドユーザーが自身のエンタープライズ・コラボレーション・ツールを実行することができるバックエンド・インフラ（大きなインフラ）またはサブシステムを構築する必要なしに、企業独自のアプリケーション / ウェブサイトにおいてリアルタイム・コミュニケーション機能（音声、ビデオ、及びメッセージ）を加えることができる。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、デジタル・エンタープライズ・コラボレーション業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上ある必要がある。

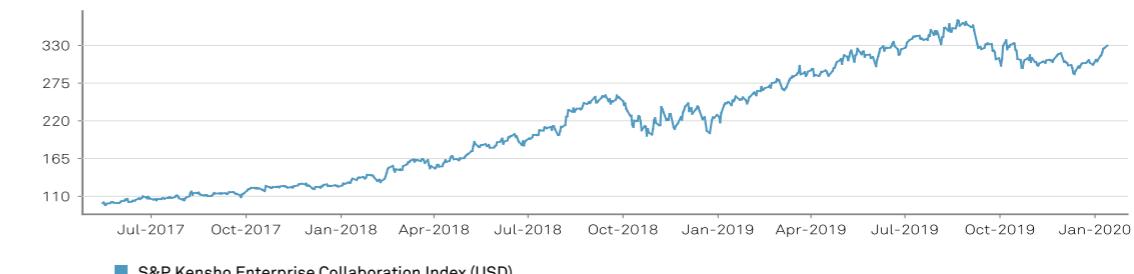
**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上ある必要がある。

### S&P Kensho エンタープライズ・コラボレーション指数 (米ドル)

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	304.93	-4.61%	-2.32%	33.19%	33.19%	N/A	N/A
プライス・リターン	303.96	-4.61%	-2.36%	32.96%	32.96%	N/A	N/A
ネット・トータル・リターン	132.25	-4.61%	-2.33%	33.12%	33.12%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	12
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	105,663.2
最大合計時価総額	1,203,062.71
最小合計時価総額	343.33
合計時価総額の中央値	5,867.72
Weight Largest Constituent [%]	10.8
Weight Top 10 Constituents [%]	94.6

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	10.64
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	28.23
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	25.49

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho スマート・ボーダー指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho スマート・ボーダー指数は、国境や重要なインフラの治安維持に特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho スマート・ボーダー指数は、S&P Kensho ニューエコノミー指数シリーズ内のサブセクター指数であり、公的部門や民間部門と密接に協力して高度な国境警備を行う企業を表すことを意図している。各国政府は国境警備を行い、それぞれの国の幸福や保全を維持している。グローバリゼーションの急速な進展により、ここ数10年にわたり国の障壁が物理的及び心理的な意味で崩壊していることから、セキュリティ関連企業はこれらの変化に対応するために飛躍的な技術革新を実現している。

### メソドロジー

S&P Kensho ニューエコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニューエコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニューエコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指数では、ニューエコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、スマート・ボーダー業界でサービスを提供している米国上場企業や、その業界に従事しているサプライチェーン企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

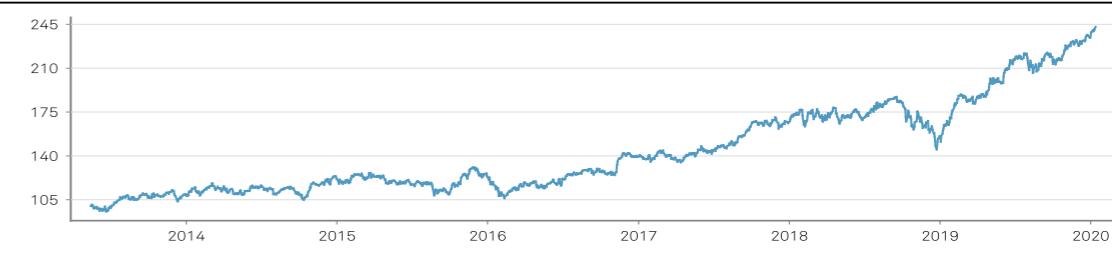
**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

### S&P Kensho スマート・ボーダー指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	262.57	1.47%	7.17%	51.57%	51.57%	20.26%	15.46%
プライス・リターン	234.33	1.4%	6.96%	50.38%	50.38%	18.96%	14.01%
ネット・トータル・リターン	148.64	1.45%	7.11%	51.21%	51.21%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	14
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	11,669.2
最大合計時価総額	61,192.98
最小合計時価総額	199.34
合計時価総額の中央値	5,109.76
Weight Largest Constituent [%]	12.7
Weight Top 10 Constituents [%]	90.6

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	37.28
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	65.43
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	63.94

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho インテリジェント・インフラストラクチャー指数 (米ドル)

### 説明

S&P Kensho インテリジェント・インフラストラクチャー指数は、次世代インフラ・システムを構築することに特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho インテリジェント・インフラストラクチャー指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のセクター指数であり、S&P Kensho スマート・グリッド指数及び S&P Kensho スマート・ビルディング指数の企業を表すことを意図している。このセクターでは、スマート・ビルディングやスマート道路網からスマート・グリッド（センサーやインテリジェント・メータの使用により、送電線の管理や電力消費の最適化を行う）に至るまで、あらゆる種類の開発が進んでいる。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指数では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース：**構成銘柄は、インテリジェント・インフラストラクチャー業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額：**各企業は、時価総額が1億ドル以上ある必要がある。

**流動性：**構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上ある必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

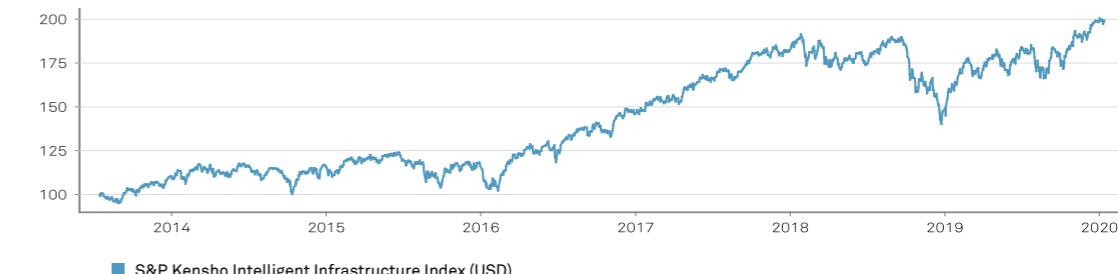


### S&P Kensho インテリジェント・インフラストラクチャー指数 (米ドル)

#### パフォーマンス

指標	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	214.65	4%	10.48%	35.73%	35.73%	12.19%	12.71%
プライス・リターン	198.79	3.89%	10.16%	34%	34%	10.91%	11.4%
ネット・トータル・リターン	128.57	3.97%	10.4%	35.3%	35.3%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	43
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	26,678.93
最大合計時価総額	260,347.5
最小合計時価総額	202.47
合計時価総額の中央値	6,985.35
Weight Largest Constituent [%]	4
Weight Top 10 Constituents [%]	38.2

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Lear Corp	LEA	Consumer Discretionary
Resideo Technologies Inc	REZI	Industrials
Acuity Brands Inc	AYI	Industrials
Alarm.com Holdings, Inc.	ALRM	Information Technology
Xylem Inc	XYL	Industrials
Qorvo, Inc	QRVO	Information Technology
Itron Inc	ITRI	Information Technology
Pentair PLC	PNR	Industrials
Honeywell Intl Inc	HON	Industrials
Cubic Corp	CUB	Industrials

\*Based on GICS® sectors

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	80.4
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	117.6
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	157.23
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	242.62

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho ウェアラブル指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho ウェアラブル指数は、消費者、軍事、及び医療向けの装着型機器及び埋め込み型機器に特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho ウェアラブル指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のサブセクター指数であり、装着型機器（スマートウォッチ、フィットネストラッカー、及びウェアラブルカメラなど）の開発に従事している企業を表すことを意図している。新たに開発されるウェアラブル機器は革新的な方法で人々を統合し、結びつける可能性を秘めている。現在及び将来のウェアラブル機器は、過去に開発された多くのテクノロジーよりも携帯性が高く、ユーザーの日々の生活や使用パターンにシームレスに取り入れられる。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理（NLP）プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指数では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、ウェアラブル業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

新規追加指

株式

債券

コモディティ

不動産・テ

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

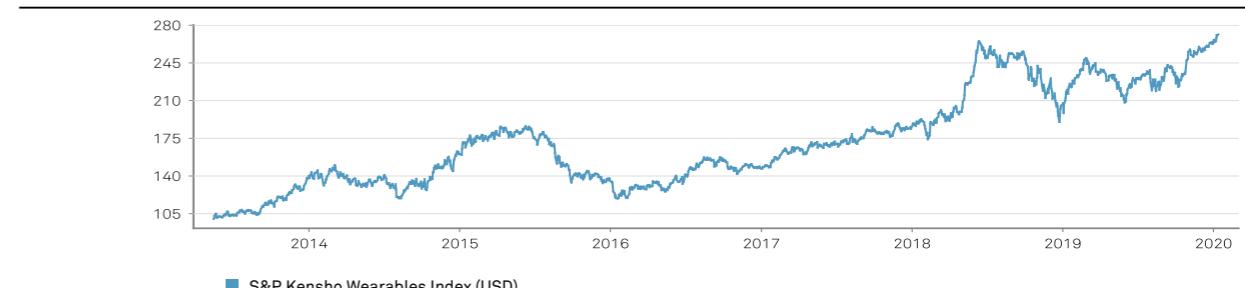


### S&P Kensho ウェアラブル指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	283.64	2.39%	12.26%	29.4%	29.4%	22.57%	11.65%
プライス・リターン	264.43	2.28%	12.07%	28.24%	28.24%	21.61%	10.55%
ネット・トータル・リターン	125.9	2.36%	12.21%	29.08%	29.08%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	13
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	136,402.65
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	236.24
合計時価総額の中央値	18,546.45
Weight Largest Constituent [%]	12.1
Weight Top 10 Constituents [%]	89.2

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	30.83
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	55.96
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	71.07

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho オルタナティブ・ファイナンス指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho オルタナティブ・ファイナンス指数は、オルタナティブ・ファイナンシング能力及びウェルス・マネジメント能力を提供することに特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho オルタナティブ・ファイナンス指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のサブセクター指数であり、金融サービス業における次世代サービス（例えば、ダイレクト・レンディング、クラウド・ファンディング、自動ウェルス・マネジメント、利用ベース保険サービスまたはオンデマンド保険サービス、及びデジタル通貨と関連能力など）を構築することに従事している企業を表すことを意図している。クラウド・ファンディング及びピア・トゥ・ピア・レンディングの登場により金融サービス分野が一般的に普及し始めている中で、こうした次世代金融サービスがここ数年で飛躍的に拡大している。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指数では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、オルタナティブ金融業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資



### S&P Kensho オルタナティブ・ファイナンス指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	79.82	0.62%	1.53%	21.44%	21.44%	5.31%	N/A
プライス・リターン	74.67	0.59%	1.19%	19.17%	19.17%	3.59%	N/A
ネット・トータル・リターン	108.46	0.61%	1.44%	20.94%	20.94%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	20
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	23,177.43
最大合計時価総額	78,005.47
最小合計時価総額	297.46
合計時価総額の中央値	10,554.1
Weight Largest Constituent [%]	8.5
Weight Top 10 Constituents [%]	63.8

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	9.77
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	14.65
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	14.78

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho クリーン・エネルギー指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho クリーン・エネルギー指数は、クリーン・エネルギー・セクターに従事している企業や、ビジネス戦略の主な構成要素として再生可能エネルギー発電事業（太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電）に特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho クリーン・エネルギー指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のサブセクター指数であり、クリーン・エネルギー発電資産を保有・運営している企業を表すことを意図している。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指数では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、クリーン・エネルギー業界でサービスを提供している米国上場企業や、その業界に従事しているサプライチェーン企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

### 戦略型

### ニュー・エコノミー

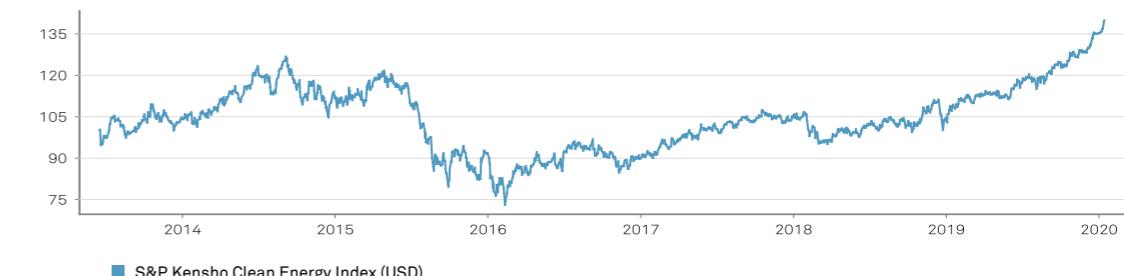
### ESG・責任投資

### S&P Kensho クリーン・エネルギー指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	169.68	5.78%	9.45%	34.4%	34.4%	19.08%	7.64%
プライス・リターン	135.39	5.25%	8.42%	29.36%	29.36%	14.7%	3.93%
ネット・トータル・リターン	126.99	5.66%	9.21%	33.11%	33.11%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	18
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	23,936.78
最大合計時価総額	118,362
最小合計時価総額	886.13
合計時価総額の中央値	6,993.96
Weight Largest Constituent [%]	6.6
Weight Top 10 Constituents [%]	61.2

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	293.43
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	1,149.73
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	1,221.76
化石燃料埋蔵量の排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）	13,430.96

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metricsをご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho クリーン・パワー指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho クリーン・パワー指数は、クリーン・テクノロジーやクリーン・エネルギーの進歩に従事している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho クリーン・パワー指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指標シリーズ内のセクター指標であり、S&P Kensho クリーン・エネルギー指標及び S&P Kensho クリーンテック指標の企業の中で、風力、太陽光、水力、及び地熱を利用した発電技術の効率改善とコスト削減に特化している企業を表すことを意図している。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指標は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、クリーン・パワー業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

### 戦略型

### ニュー・エコノミー

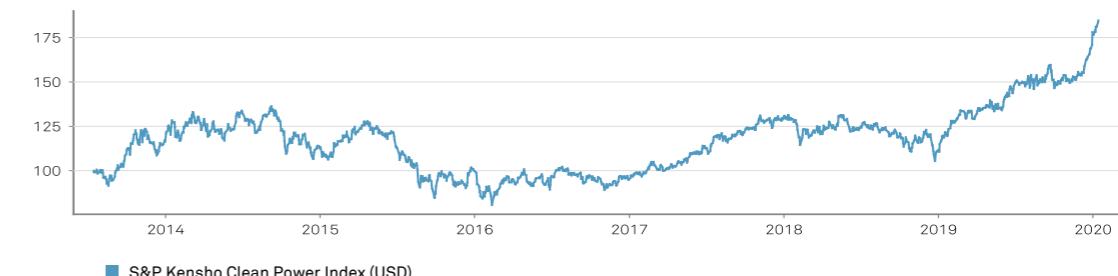
### ESG・責任投資

### S&P Kensho クリーン・パワー指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	202.59	15.44%	18.21%	62.95%	62.95%	26%	11.89%
プライス・リターン	178.1	15.21%	17.69%	59.78%	59.78%	23.42%	9.6%
ネット・トータル・リターン	152	15.38%	18.08%	62.08%	62.08%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	43
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	17,015.15
最大合計時価総額	118,362
最小合計時価総額	170.86
合計時価総額の中央値	3,494.21
Weight Largest Constituent [%]	11
Weight Top 10 Constituents [%]	35.3

#### インデックス加重による構成銘柄トップ10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Fuelcell Energy Inc	FCEL	Industrials
Tesla, Inc	TSLA	Consumer Discretionary
SolarEdge Technologies Inc	SEDG	Information Technology
Canadian Solar Inc	CSIQ	Information Technology
Arcosa Inc.	ACA	Industrials
Enphase Energy Inc	ENPH	Information Technology
JinkoSolar Holding Co Ltd	JKS	Information Technology
AES Corp	AES	Utilities
Avangrid Inc	AGR	Utilities
Sunrun Inc.	RUN	Industrials

\*Based on GICS® sectors

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	271.09
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	649.77
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	739.49
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	6,061.61

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho クリーンテック指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho クリーンテック指数は、環境に優しい方法でエネルギーを生み出すテクノロジーまたは製品に特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho クリーンテック指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のサブセクター指数であり、クリーン・テクノロジー・セクターに従事している企業を表すことを意図している。クリーン・テクノロジーは、クリーン・エネルギー革命（太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電）を可能とする技術を生み出す原動力である。太陽電池の改善から風力タービンの軽量化に至るまで、このセクターはクリーン・エネルギー及び再生可能エネルギーの継続的な創出に不可欠であると考えられる。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理（NLP）プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指数では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、クリーンテック業界でサービスを提供している米国上場企業や、その業界に従事しているサプライチェーン企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上ある必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上ある必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

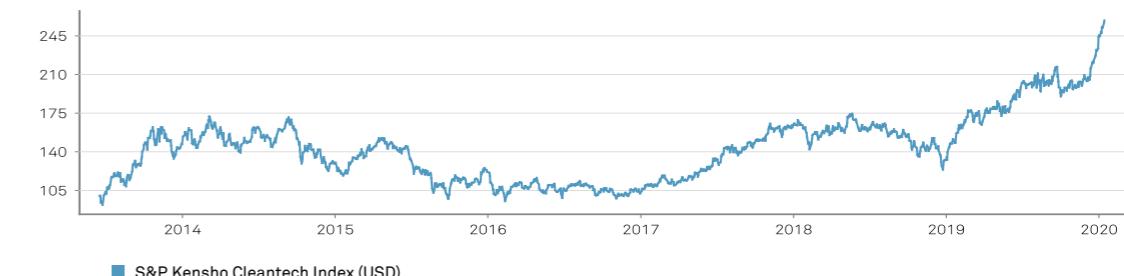


### S&P Kensho クリーンテック指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	256.99	18.02%	23.46%	85.61%	85.61%	34.7%	14.42%
プライス・リターン	244.37	17.98%	23.33%	84.38%	84.38%	33.77%	13.5%
ネット・トータル・リターン	171.48	18.01%	23.42%	85.25%	85.25%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	27
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	14,073.76
最大合計時価総額	97,466.41
最小合計時価総額	170.86
合計時価総額の中央値	1,676.61
Weight Largest Constituent [%]	12
Weight Top 10 Constituents [%]	51.5

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	235.69
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	409.54
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	327.11
化石燃料埋蔵量の排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）	0

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metricsをご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho サイバーセキュリティ指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho サイバーセキュリティ指数は、電子的手段による不正アクセスから企業や機器を守ることに特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho サイバーセキュリティ指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のサブセクター指数であり、新興サイバーセキュリティ・セクターに従事している企業や、ビジネス戦略の主な構成要素としてサイバーセキュリティ関連事業に注目している企業を表すことを意図している。サイバー攻撃が継続的に増加しているため、企業や個人の機密情報が盗まれやすい状況となっている。また、モノのインターネット（IoT）の出現により、様々な「モノ」が相互に情報交換を行う新たなデジタル社会が到来している。したがって、サイバーセキュリティの必要性は今後さらに高まると予想される。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理（NLP）プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、サイバーセキュリティ業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が3億ドル以上である必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が200万ドル以上である必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

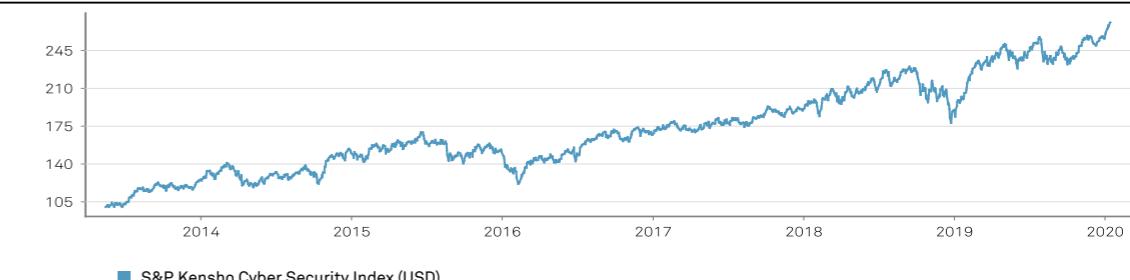


### S&P Kensho サイバーセキュリティ指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	266.75	-0.43%	7.6%	35.47%	35.47%	15.96%	11.94%
プライス・リターン	256.14	-0.46%	7.47%	34.76%	34.76%	15.37%	11.29%
ネット・トータル・リターン	127	-0.44%	7.56%	35.26%	35.26%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	38
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	16,819.01
最大合計時価総額	203,458.93
最小合計時価総額	475.41
合計時価総額の中央値	4,187.42
Weight Largest Constituent [%]	3
Weight Top 10 Constituents [%]	28.7

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	12.83
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	34.59
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	33.51

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最高位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる銘柄数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho スマート・グリッド指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho スマート・グリッド指数は、スマートパワー、インテリジェントウォーター、及びインテリジェント輸送システムなどの産業に従事している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho スマート・グリッド指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指標シリーズ内のサブセクター指標であり、スマートでつながりのある適応性の高いインフラを導入・管理する上で必要な高度なテクノロジーやサービスを提供することに特化している企業を表すことを意図している。この指標では、天然資源をより効率的に管理し、様々な最新テクノロジーを支援することができるインフラを対象としている。人々がインフラ資産や天然資源を使用・管理・最適化する方法が大きく変化しつつあり、自動運転車や分散クリーン・パワー発電などの新たなテクノロジーを支援する必要性が高まっている。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指標は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステマティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、スマート・グリッド業界でサービスを提供している米国上場企業や、その業界に従事しているサプライチェーン企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

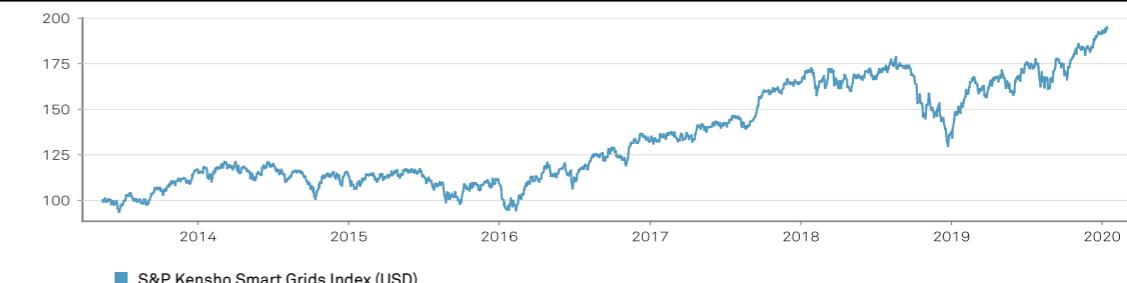


### S&P Kensho スマート・グリッド指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	206.72	4.37%	9.88%	41.84%	41.84%	14.63%	12.26%
プライス・リターン	191.44	4.29%	9.52%	39.72%	39.72%	13.18%	10.93%
ネット・トータル・リターン	135.01	4.35%	9.82%	41.43%	41.43%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	30
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	24,813.66
最大合計時価総額	229,290.87
最小合計時価総額	202.47
合計時価総額の中央値	5,844.32
Weight Largest Constituent [%]	5.3
Weight Top 10 Constituents [%]	50

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	90.48
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	174.87
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	240.72
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	372.25

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdj.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho スマート・ビルディング指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho スマート・ビルディング指数は、スマート・ビルディング / コネクテッド・ホーム産業に従事している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。こうした産業により、建物がよりつながりのある合理的で適応性の高いものになることが可能となっている。

S&P Kensho スマート・ビルディング指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のサブセクター指数であり、人が居住し、学び、事業を行う空間の快適性、エネルギー効率、及びコスト効率を高めることに特化している企業を表すことを意図している。スマート・ビルディングは、人々が住み、働き、遊ぶ構造物の管理や、その構造物による利便性、その構造物に関するデータを提供する。例えば、スマート・ビルディングではエネルギーの効率的な利用、より安全なアクセスの制限または監視、温度システム、空調システム、及び娯楽システムの遠隔コントロールまたは精密なコントロールなどが可能である。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指数では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、スマート・ビルディング業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

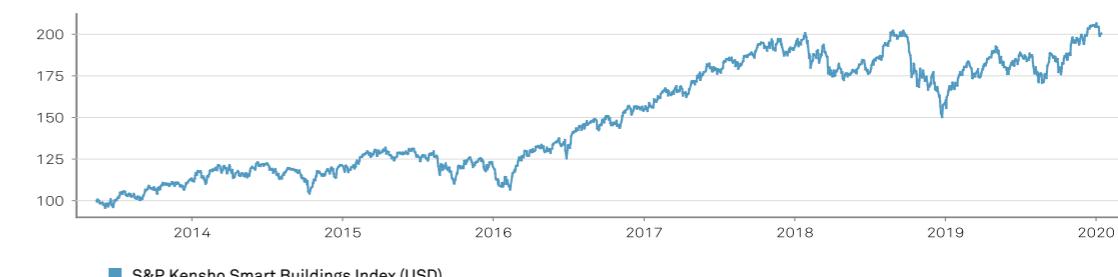


### S&P Kensho スマート・ビルディング指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	222.22	3.9%	11.24%	31.18%	31.18%	11.35%	12.5%
プライス・リターン	205.53	3.77%	10.98%	29.43%	29.43%	10.12%	11.18%
ネット・トータル・リターン	124.44	3.87%	11.16%	30.66%	30.66%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	15
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	38,765.81
最大合計時価総額	260,347.5
最小合計時価総額	727.88
合計時価総額の中央値	13,502.9
Weight Largest Constituent [%]	9.5
Weight Top 10 Constituents [%]	75

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	62.64
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	75.84
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	83.69

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho スマート輸送指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho スマート輸送指数は、スマート輸送セクターにおいて自動運転車及び電気自動車テクノロジーや、商業用ドローン、高度輸送システムに特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho スマート輸送指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指標シリーズ内のセクター指標であり、S&P Kensho 自動運転車指標、S&P Kensho 電気自動車指標、及び S&P Kensho 高度輸送システム指標の企業や、S&P Kensho ドローン指標の中で民間及び商業目的の用途に特化している企業を表すことを意図している。これらの企業は近い将来、人やモノの輸送方法を変えると見込まれる。完全な自動運転車の実用化が近づき、ドローンの技術開発や法整備が急速に進み、高度輸送システムが試作段階から概念実証の段階に進んでいる。スマート輸送は人々の生活のほぼ全ての面に大きな影響を及ぼす分野である。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指標は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、スマート輸送業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

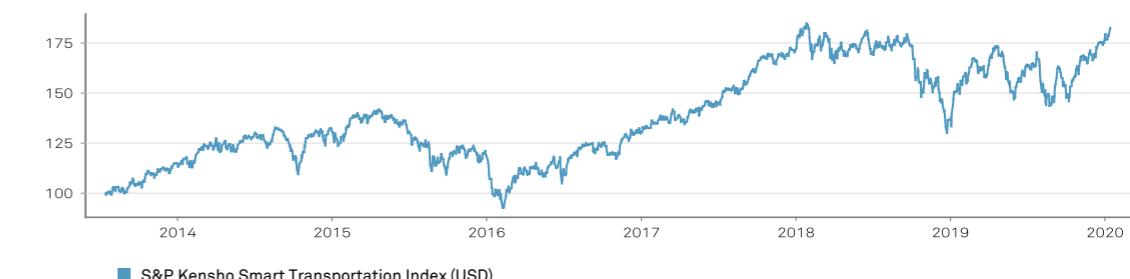


### S&P Kensho スマート輸送指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	188.86	4.17%	14.66%	30.58%	30.58%	11.78%	7.13%
プライス・リターン	176.26	4.09%	14.41%	29.11%	29.11%	10.75%	6.11%
ネット・トータル・リターン	121.76	4.15%	14.59%	30.19%	30.19%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	62
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	35,465.62
最大合計時価総額	401,318.75
最小合計時価総額	202.47
合計時価総額の中央値	7,881.59
Weight Largest Constituent [%]	4.1
Weight Top 10 Constituents [%]	26.2

#### インデックス加重による構成銘柄トップ10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
NIO Inc-ADR	NIO	Consumer Discretionary
Tesla, Inc	TSLA	Consumer Discretionary
Ballard Power Systems Inc	BLDP	Industrials
Lear Corp	LEA	Consumer Discretionary
Trimble Inc	TRMB	Information Technology
Yandex NV A	YNDX	Communication Services
Uber Technologies Inc.	UBER	Industrials
American Axle & Mfg Holdings	AXL	Consumer Discretionary
Aptiv plc	APTV	Consumer Discretionary
Ford Motor Co	F	Consumer Discretionary

\*Based on GICS® sectors

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	207.09
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	259.45
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	166.41
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	292.3

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho デジタル・コミュニティ指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho デジタル・コミュニティ指数は、デジタル・ソーシャル・ネットワーク・サービス（ユーザーのプロファイルと別の個人またはグループをつなげるプラットフォームなど）に従事している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。こうしたソーシャル・ネットワーク・サービスにより、ユーザーは互いにコミュニケーションを取り、ユーザー作成コンテンツや、コミュニティに注目したオンライン・ゲーム・アプリケーションを閲覧することが可能となる。S&P Kensho デジタル・コミュニティ指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のセクター指数であり、オンライン・コミュニティまたはデジタル・コミュニティ（これらはコミュニケーション及び情報共有の主な手段になっている）に特化している企業を表すことを意図している。これらの企業が提供するサービスでは、新しい人々に出会うことや、友達及び家族とつながりを持つこと、プロフェッショナルなつながりを維持すること、専門のゲーム・コミュニティを持つことなどが可能である。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、デジタル・コミュニティ業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

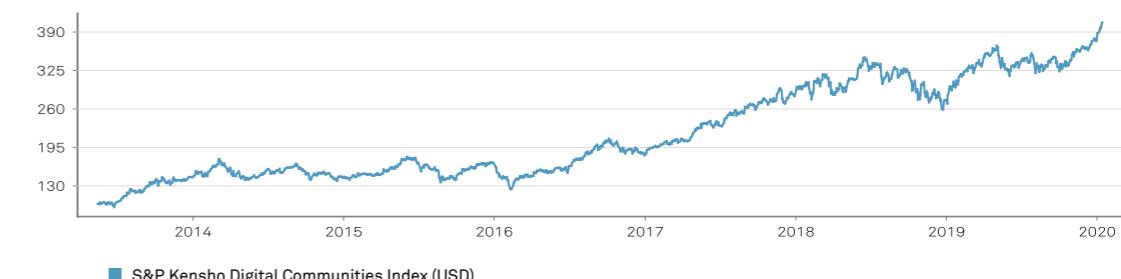
**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

### S&P Kensho デジタル・コミュニティ指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	384.74	3.05%	13.86%	37.28%	37.28%	27.78%	21.6%
プライス・リターン	375.97	2.96%	13.76%	36.94%	36.94%	27.51%	21.3%
ネット・トータル・リターン	135.49	3.04%	13.85%	37.22%	37.22%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	25
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	119,405.35
最大合計時価総額	1,203,062.71
最小合計時価総額	177.45
合計時価総額の中央値	10,152.45
Weight Largest Constituent [%]	5.7
Weight Top 10 Constituents [%]	49.7

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	7.7
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	26.05
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	25.25

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho ニュー・バンキング指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho ニュー・バンキング指数は、金融サービス業におけるイノベーション（例えば、ダイレクト・レンディング、クラウド・ファンディング、自動ウェルス・マネジメント、利用ベース保険サービス / オンデマンド保険サービス、及びデジタル通貨と関連能力など）に特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。S&P Kensho ニュー・バンキング指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指標シリーズ内のセクター指標であり、S&P Kensho オルタナティブ・ファイナンス指標、S&P Kensho フューチャー・ペイメント指標、及び S&P Kensho 分散台帳指標の企業を表すことを意図している。現在、既存のパラダイムに代わる新たなサービスが登場しており、これらは人工知能の飛躍的な発展や、容易にアクセス可能で演算能力の高い電子機器などにより支えられている。また、消費者の意識が変化しており、財務結果に対してより直接的な判断が求められていることも、こうした新たなサービスの登場につながっている。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指標は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース：**構成銘柄は、ニュー・バンキング業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額：**各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性：**構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資



### S&P Kensho ニュー・バンキング指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	267.85	2.46%	6.46%	34.37%	34.37%	20.33%	14.55%
プライス・リターン	249.52	2.37%	6.15%	32.6%	32.6%	18.96%	13.26%
ネット・トータル・リターン	126.28	2.44%	6.41%	34.02%	34.02%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	57
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	68,084.01
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	248.51
合計時価総額の中央値	17,555.3
Weight Largest Constituent [%]	3.2
Weight Top 10 Constituents [%]	27.3

#### インデックス加重による構成銘柄トップ10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
LexinFintech Holdings Ltd ADR	LX	Financials
PagSeguro Digital Ltd.	PAGS	Information Technology
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
NCR Corp	NCR	Information Technology
Shopify Inc.	SHOP	Information Technology
ACI Worldwide Inc	ACIW	Information Technology
Visa Inc A	V	Information Technology
Fidelity National Information	FIS	Information Technology
PayPal Holdings Inc.	PYPL	Information Technology
Qudian Inc.	QD	Financials

\*Based on GICS® sectors

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	23.11
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	37.76
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	33.1

\*事業運営による温室効果ガス排出量及び最高位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho ヒューマン・エボリューション指数

### 説明

S&P Kensho ヒューマン・エボリューション指数は、遺伝子工学に従事している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。この指数は、ウェアラブル機器のような人間の能力を高める商品を生産している企業、仮想現実企業、医療、手術、ナノ、及びマイクロボットに注目しているナノテクノロジー企業やロボット工学企業、及び医療目的の3Dプリント技術を有する企業などで構成される。

S&P Kensho ヒューマン・エボリューション指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のセクター指数であり、S&P Kensho 遺伝子工学指数の企業や、S&P Kensho ウェアラブル指数及びS&P Kensho バーチャル・リアリティ指数の中で人間の能力を高める商品またはサービスを提供している企業、S&P Kensho ナノテクノロジー指数及びS&P Kensho ロボット工学指数の中で医療、手術、ナノ、及びマイクロボットに注目している企業、S&P Kensho 3Dプリント技術指数の中で医療目的の3Dプリント技術を有する企業を表すことを意図している。遺伝子構造を根本的に組み換えることから、感覚能力を高める高度なウェアラブル拡張現実(AR)機器や個人の体調に直接影響を及ぼすことができる埋め込み式の医療機器に至るまで、ヒューマン・エボリューション業界は技術的なリサーチや開発の最先端にある。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理(NLP)プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指数では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、ヒューマン・エボリューション業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

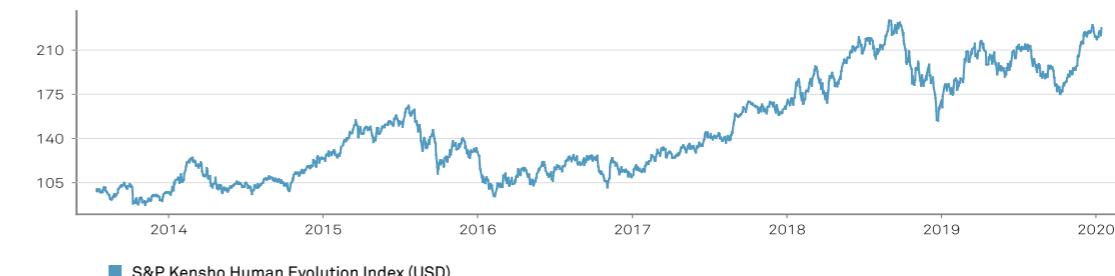


### S&P Kensho ヒューマン・エボリューション指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	223.88	2.03%	20.94%	31.36%	31.36%	26.84%	12.53%
プライス・リターン	221.13	1.99%	20.88%	30.94%	30.94%	26.5%	12.28%
ネット・トータル・リターン	120.59	2.02%	20.93%	31.25%	31.25%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	57
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	24,705.59
最大合計時価総額	241,518.68
最小合計時価総額	251.05
合計時価総額の中央値	3,062.89
Weight Largest Constituent [%]	2.9
Weight Top 10 Constituents [%]	24.2

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Sarepta Therapeutics Inc	SRPT	Health Care
Iovance Biotherapeutics, Inc	IOVA	Health Care
UNIQURE B.V.	QURE	Health Care
Adverum Biotechnologies, Inc	ADVM	Health Care
Stryker Corp	SYK	Health Care
Atara Biotherapeutics Inc.	ATRA	Health Care
Fate Therapeutics Inc	FATE	Health Care
Ultragenyx Pharmaceutical Inc	RARE	Health Care
Globus Medical Inc. A	GMED	Health Care
Amicus Therapeutics Inc	FOLD	Health Care

\*Based on GICS® sectors

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	6.85
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	64.65
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	65.93

\*事業運営による温室効果ガス排出量及び最高位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metricsをご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho ファイナル・フロンティア指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho ファイナル・フロンティア指数は、宇宙空間や深海の探査・開発における最先端技術に特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho ファイナル・フロンティア指数は、S&P Kensho ニューエコノミー指標シリーズ内のセクター指標であり、S&P Kensho スペース指標の企業や、S&P Kensho ドローン指標の中で深海開発に特化している企業を表すことを意図している。ファイナル・フロンティア・ニュー・エコノミー・セクターには、宇宙空間や深海のファイナル・フロンティアで探査の最先端にある企業やエコシステムが含まれる。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指標は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース：**構成銘柄は、ファイナル・フロンティア業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額：**各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

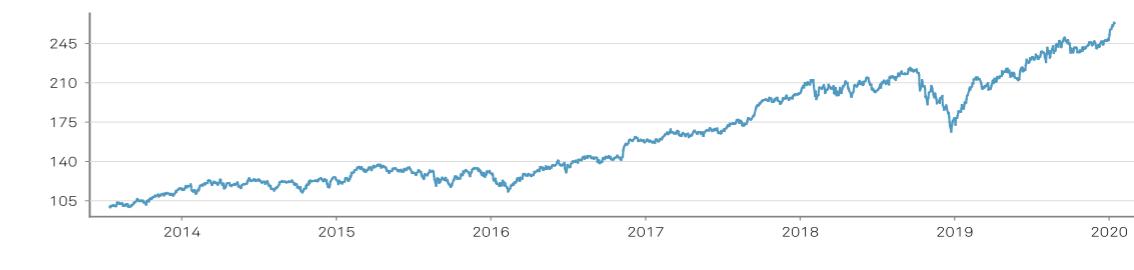
**流動性：**構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

### S&P Kensho ファイナル・フロンティア指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	270.2	0.93%	1.37%	40.38%	40.38%	17.82%	16.39%
プライス・リターン	247.75	0.91%	1.09%	38.84%	38.84%	16.45%	14.85%
ネット・トータル・リターン	134.39	0.92%	1.28%	39.92%	39.92%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	26
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	32,266.5
最大合計時価総額	183,334.8
最小合計時価総額	584.28
合計時価総額の中央値	10,878.43
Weight Largest Constituent [%]	6.5
Weight Top 10 Constituents [%]	49.6

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	46.86
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	109.01
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	109.53
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	0

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metricsをご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## 説明

S&P Kensho フューチャー・コミュニケーション指数は、人々が出会い、協力し、コミュニケーションする手段に注目している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。デジタル・コミュニケーションは人々がつながる方法を根本的に変えている。こうした動きは仕事の現場にまで広がっており、アプリケーション・ソフトを通じて音声、ビデオ、及びデータなどを共有するだけでなく、社会経験の精神をも取り入れた協力的な環境が構築されつつある。仮想現実（VR）や拡張現実（AR）により、以前には物理的接触を必要とした状況が完全没入型の仮想経験に置き換える時代が到来する可能性がある。

S&P Kensho フューチャー・コミュニケーション指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指標シリーズ内のセクター指標であり、フューチャー・コミュニケーション産業に従事している企業を表すことを意図している。この指標は、S&P Kensho デジタル・コミュニケーションズ指標、S&P Kensho エンターテイメント・コラボレーション指標、及び S&P Kensho パーチャル・リアリティ指標の中でもっぱら軍事応用または医療応用に従事していない企業から構成されている。

## メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指標は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理（NLP）プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース：**構成銘柄は、フューチャー・コミュニケーション業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額：**各企業は、時価総額が1億ドル以上ある必要がある。

**流動性：**構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上ある必要がある。

## 戦略型

## ニュー・エコノミー

## ESG・責任投資

# S&P Kensho フューチャー・コミュニケーション指標（米ドル）



## S&P Kensho フューチャー・コミュニケーション指標（米ドル）

### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	400.72	2.47%	11.79%	42.94%	42.94%	31.21%	24.54%
プライス・リターン	391.51	2.4%	11.7%	42.58%	42.58%	30.79%	24.14%
ネット・トータル・リターン	139.03	2.46%	11.78%	42.86%	42.86%	N/A	N/A

### 過去の実績



### インデックスの特徴

構成銘柄数	46
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	100,913.78
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	177.45
合計時価総額の中央値	7,078.17
Weight Largest Constituent [%]	3.1
Weight Top 10 Constituents [%]	28.3

### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	17.93
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	51.14
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	37.67

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho フューチャー・セキュリティ指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho フューチャー・セキュリティ指数は、サイバーセキュリティ及びスマート・ボーダーに従事している企業や、ロボット工学、ドローン、宇宙、ウェアラブル機器、及び仮想現実（VR）の関連企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho フューチャー・セキュリティ指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のセクター指数であり、S&P Kensho サイバーセキュリティ指数及び S&P Kensho スマート・ボーダー指数の企業に加え、S&P Kensho ロボット工学指数、S&P Kensho ドローン指数、S&P Kensho スペース指数、S&P Kensho ウェアラブル指数、及び S&P Kensho バーチャルリアリティ指数の中の関連企業を表すことを意図している。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理（NLP）プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指数では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース：**構成銘柄は、フューチャー・セキュリティ業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額：**各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

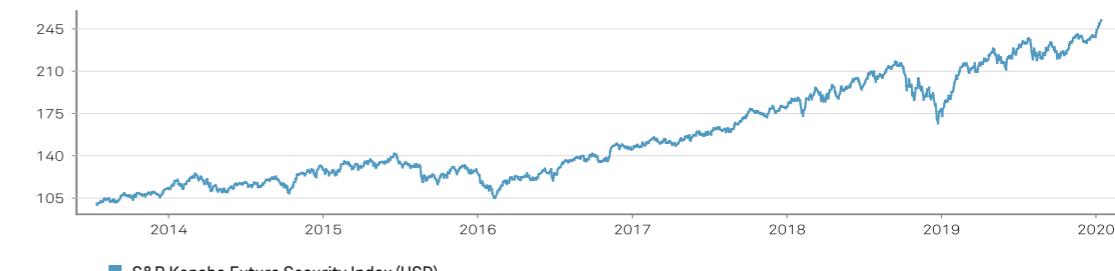
**流動性：**構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

### S&P Kensho フューチャー・セキュリティ指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	248.6	-0.17%	5.27%	34.14%	34.14%	18.77%	13.83%
プライス・リターン	238.08	-0.19%	5.1%	33.27%	33.27%	18%	13.08%
ネット・トータル・リターン	128.19	-0.18%	5.22%	33.88%	33.88%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	64
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	18,676.28
最大合計時価総額	203,458.93
最小合計時価総額	199.34
合計時価総額の中央値	4,346.62
Weight Largest Constituent [%]	2.6
Weight Top 10 Constituents [%]	19.2

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Maxar Technologies Ltd.	MAXR	Industrials
Cisco Systems Inc	CSCO	Information Technology
Dell Technologies Inc-C	DELL	Information Technology
VERINT SYSTEMS	VRNT	Information Technology
Leidos Holdings Inc	LDOS	Information Technology
Rapid7, Inc.	RPD	Information Technology
Rambus Inc	RMBS	Information Technology
Varonis Systems Inc	VRNS	Information Technology
Aerojet Rocketdyne Holdings In	AJRD	Industrials
Akamai Technologies Inc	AKAM	Information Technology

\*Based on GICS® sectors

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	24.09
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	60.58
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	53.43

\*事業運営による温室効果ガス排出量及び最高位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho フューチャー・ペイメント指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho フューチャー・ペイメント指数は、デジタル・バランスを用いた取引が可能な多目的プラットフォームに関する商品またはサービスを提供することに従事している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。S&P Kensho フューチャー・ペイメント指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指標シリーズ内のセクター指標であり、次世代決済システムの構築に特化している企業を表すことを意図している。次世代決済システムとしては、デジタル・ウォレットや、単一システム内のマルチ・チャンネル支払い、リアルタイム支払い、及び消費者アカウント及び業者アカウント間での資金移動を業者が管理することができるプラットフォーム、トランザクション・セキュリティ（例えば、トークン化、エンドツーエンド暗号化など）、生体認証機能による支払いなどが挙げられる。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指標は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理（NLP）プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、フューチャー・ペイメント業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

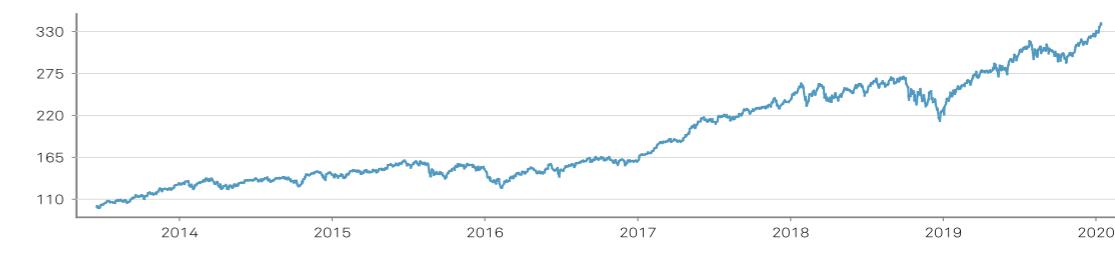
**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

### S&P Kensho フューチャー・ペイメント指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	347.62	2.57%	8.45%	44.63%	44.63%	28.09%	19.24%
プライス・リターン	325.44	2.51%	8.23%	43.27%	43.27%	26.92%	17.99%
ネット・トータル・リターン	138.3	2.56%	8.43%	44.42%	44.42%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	29
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	95,575.46
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	409.12
合計時価総額の中央値	21,435.12
Weight Largest Constituent [%]	5.1
Weight Top 10 Constituents [%]	43.2

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	15.47
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	41.86
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	39.6

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho 高度輸送システム指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho 高度輸送システム指数は、大量輸送車両、貨物輸送、及び公共交通機関の管理効率を最適化することに特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho 高度輸送システム指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のサブセクター指数であり、輸送資産の効率性を改善することに従事している企業を表すことを意図している。今日、我々の車両は一元管理物流プラットフォームを通じて連携を強めているため、運営会社は高度なテクノロジー（車両追跡、経路の最適化、車両診断、運転者行動、安全、及び一元管理など）を使用し、輸送資産を最適化することが可能となっている。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指数では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース：**構成銘柄は、高度輸送システム業界でサービスを提供している米国上場企業や、その業界に従事しているサプライチェーン企業である必要がある。

**時価総額：**各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性：**構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

### 戦略型

### ニュー・エコノミー

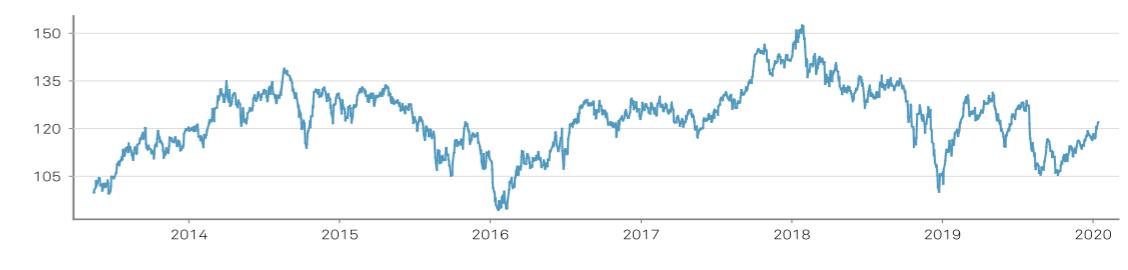
### ESG・責任投資

### S&P Kensho 高度輸送システム指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	124.14	0.92%	5.2%	11.56%	11.56%	-1.15%	-1.33%
プライス・リターン	116.81	0.83%	5.08%	11%	11%	-1.69%	-2.06%
ネット・トータル・リターン	101.28	0.89%	5.16%	11.41%	11.41%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	15
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	13,322.13
最大合計時価総額	52,293.49
最小合計時価総額	312.45
合計時価総額の中央値	6,945.05
Weight Largest Constituent [%]	10.1
Weight Top 10 Constituents [%]	80

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	34.36
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	76.48
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	75.43

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho 自動運転車指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho 自動運転車指数は、自動運転車及びコネクテッドカーに特化している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho 自動運転車指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指標シリーズ内のサブセクター指標であり、自動運転輸送に向けて業界をリードしている企業を表すことを意図している。自動運転車の開発を通じて直接的に業界を牽引している企業、またはこれらのイニシアチブを支援するエコシステムの一環として事業を行っている企業などが指標に採用される。輸送手段は経済を動かす重要な要因である。コネクテッドカー市場が人材や物的資源の動きを一変させると見込まれる中で、同市場の拡大は幅広い経済的影響を及ぼし、生産性、立地判断、健康、及び個人の財務や車両の所有にさえも影響を及ぼすと予想されている。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指標は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、自動運転車業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

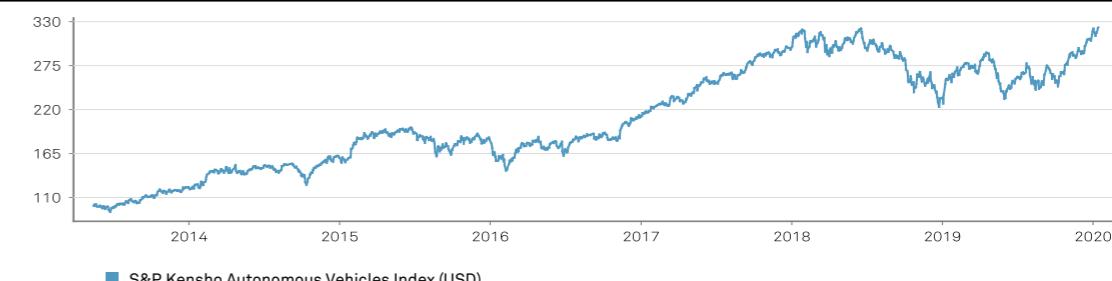


### S&P Kensho 自動運転車指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	343.46	8.56%	21.77%	38.03%	38.03%	16.14%	16.03%
プライス・リターン	318.1	8.44%	21.41%	36.01%	36.01%	14.79%	14.75%
ネット・トータル・リターン	130.4	8.53%	21.66%	37.46%	37.46%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	29
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	64,879.62
最大合計時価総額	401,318.75
最小合計時価総額	202.47
合計時価総額の中央値	22,764.31
Weight Largest Constituent [%]	10.4
Weight Top 10 Constituents [%]	51.9

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	86.44
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	104.8
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	112.56

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P Kensho 電気自動車指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho 電気自動車指数は、電気自動車セクターやそれを支援する事業に従事している企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho 電気自動車指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指標シリーズ内のサブセクター指標であり、路上走行電気自動車や、関連するサブシステム、パワートレイン、エネルギー貯蔵システム、クリーン燃料テクノロジー（水素燃料電池など）、及び充電インフラなどの生産に特化している企業を表すことを意図している。ここ数年にわたるテクノロジーと機器などの大きな進歩や、政府の奨励により、排ガスのないクリーンな交通手段を実現できる可能性が高まっている。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指標は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指標では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース：**構成銘柄は、電気自動車業界でサービスを提供している米国上場企業や、その業界に従事しているサプライチェーン企業である必要がある。

**時価総額：**各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性：**構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

戦略型

ニュー・エコノミー

ESG・責任投資

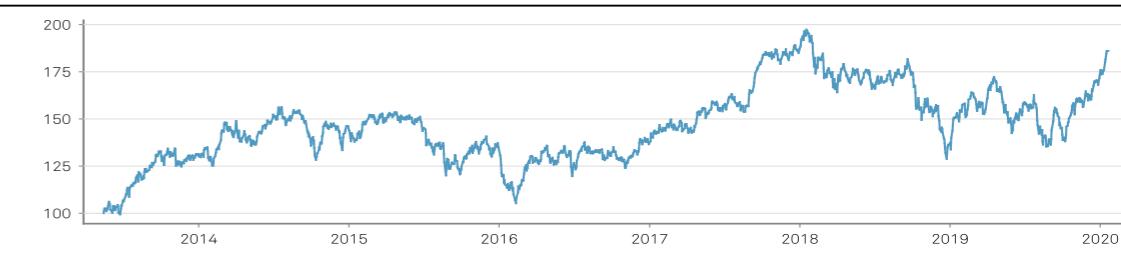


### S&P Kensho 電気自動車指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	187.47	7%	19.48%	28.84%	28.84%	9.58%	4.9%
プライス・リターン	173.32	6.93%	19.24%	27.11%	27.11%	8.26%	3.63%
ネット・トータル・リターン	121.13	6.98%	19.41%	28.39%	28.39%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	28
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	24,383.61
最大合計時価総額	229,290.87
最小合計時価総額	209.33
合計時価総額の中央値	3,863.2
Weight Largest Constituent [%]	8.2
Weight Top 10 Constituents [%]	49.9

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	404.43
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	355.5
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	247.47
化石燃料埋蔵量の排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）	686.83

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global



## S&P Kensho 分散台帳指数（米ドル）

### 説明

S&P Kensho 分散台帳指数は、分散台帳技術の進歩に従事している企業や、そうしたサービスを可能にする企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。

S&P Kensho 分散台帳指数は、S&P Kensho ニュー・エコノミー指数シリーズ内のサブセクター指数であり、分散台帳技術に特化している企業を表すことを意図している。分散台帳技術とは、参加者の分散ネットワーク全体にわたる複数のデータ格納（または台帳）におけるデータを記録・共有することに対する日進月歩のアプローチのことである。分散台帳は、証券取引がどのように記録され決済されるか、支払いがどのように実施されるか、及び医療記録がどのように維持され公認参加者に利用されるかについて変革をもたらしている。集中台帳の撤廃により、これらの活動の多くが合理化され、各プロセスから複数の仲介機能やステップが取り除かれるため、スピードと効率性の両方が改善する可能性がある。

### メソドロジー

S&P Kensho ニュー・エコノミー指数は、しばしば絶大な影響をもたらしているテクノロジー産業と関連のある銘柄のパフォーマンスに連動することを目指しており、完全にシステムティックで、かつルールに基づいたメソドロジーを用いて構築される。Kensho 独自の自然言語処理 (NLP) プラットフォームを活用し、何百万ページにも上る規制当局への有価証券報告書やその他の公の情報を分析することで、各ニュー・エコノミーに従事している企業を特定する。独自のアルゴリズムにより、各企業が所与のニュー・エコノミーにどの程度従事しているかを判断する。この指数では、ニュー・エコノミーがビジネス戦略の主な構成要素である企業をオーバーウェイトとする。

**ユニバース**：構成銘柄は、分散台帳業界でサービスを提供している米国上場企業である必要がある。

**時価総額**：各企業は、時価総額が1億ドル以上である必要がある。

**流動性**：構成銘柄は、3ヶ月間の1日当たり平均売買代金が100万ドル以上である必要がある。

### S&P Kensho 分散台帳指数（米ドル）

#### パフォーマンス

指標	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	102.87	2.79%	11.6%	34.57%	34.57%	N/A	N/A
プライス・リターン	100.04	2.66%	11.05%	32.24%	32.24%	N/A	N/A
ネット・トータル・リターン	127.7	2.76%	11.5%	34.04%	34.04%	N/A	N/A

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	14
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	55,652.12
最大合計時価総額	301,311.02
最小合計時価総額	248.51
合計時価総額の中央値	19,488.95
Weight Largest Constituent [%]	8.7
Weight Top 10 Constituents [%]	80.2

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	54.58
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	51.91
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	54.74

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス

### 指数について

このインデックスはクラス最高のアプローチに基づき、持続可能性の点で世界的なリーダー企業のパフォーマンスを測定する。このインデックスの対象となる企業は、一般的かつ業界固有の持続可能性トレンドを表す長期的な経済・環境・社会的な基準に対する包括的な評価に基づいて選別される。この評価において各業界のトップクラスの企業のみがインデックスの対象となる。このインデックスは体系的なメソドロジーにしたがって作成・維持されるため、投資家はこれを基準に持続可能性に基づくファンドやデリバティブを長期にわたって適切に評価することができる。

### 持続可能性への投資の基準点

持続可能性を重視するという目標がビジネス上のテーマとなりつつあるなか、コーポレート・ガバナンス、気候変動、水不足、人的資本、ステークホルダーの関係といった問題に世界中の投資家は関心を寄せている。機関投資家はポートフォリオの決定に当たって長期的な経済・環境・社会的な基準を組み込み始めており、持続可能性に関連した新たな機会と課題にそれぞれの投資を適合させる方法を探っている。同時に、増加傾向にある個人投資家も長期的な基準の説明をアドバイザーに求めている。ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)は、この成長著しい投資分野における主な基準点を提供する。1999年にダウ・ジョーンズ・インデックスとRobecoSAM社によって発表されたこのインデックスは、最も長く利用されているグローバルな持続可能性ベンチマークであり、現在、16カ国の投資家および資産運用マネージャーに使用されている。このインデックスはクラス最高のアプローチに基づき、持続可能性の点で世界的なリーダー企業のパフォーマンスを測定する。このインデックスの対象となる企業は、一般的かつ業界固有の持続可能性トレンドを表す長期的な経済・環境・社会的な基準に対する包括的な評価に基づいて選別される。この評価において各業界のトップクラスの企業のみがインデックスの対象となる。このインデックスは体系的なメソドロジーにしたがって作成・維持されるため、投資家はこれを基準に持続可能性に基づくファンドやデリバティブを長期にわたって適切に評価することができる。

### 持続可能性評価と選別基準

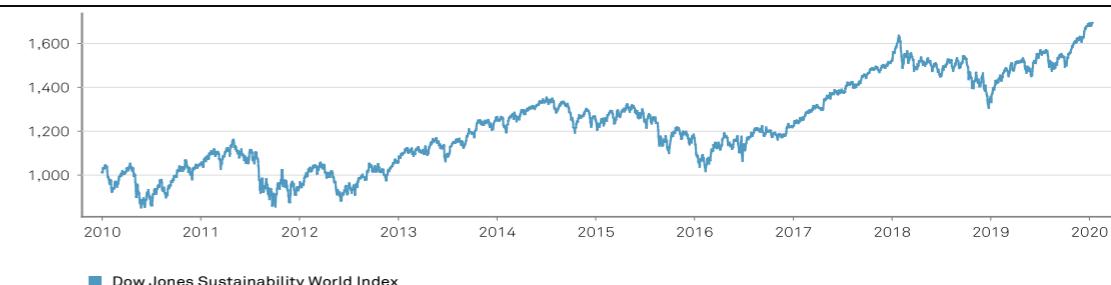
DJSIの構成銘柄は、RobecoSAM社が実施する年次評価プロセスに基づいて選別される。このプロセスでは、一般的および業界固有の加重基準を組み合わせ、これに基づいて持続可能性トレンドからもたらされるリスクと機会の点で企業を評価する。企業はこれらの基準に基づいて業界内でランク付けされ、業界でトップクラスの企業のみがDJSIの対象として選別される。評価はRobecoSAM社が配布する詳細な質問票に対する企業の回答に概ね基づいて行われる。他には、企業や外部機関からの文書や、RobecoSAM社のアナリストと企業との直接的コンタクトを通じた評価も考慮される。

### ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス

#### パフォーマンス

指標	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	1,793.74	3.64%	9.76%	27.98%	27.98%	14.63%	9.41%
プライス・リターン	1,681.58	3.47%	9.25%	24.14%	24.14%	11.18%	6.07%
ネット・トータル・リターン	2,734.06	3.6%	9.66%	27.11%	27.11%	13.88%	8.7%
							7.83%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	317
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	39,545.91
最大合計時価総額	1,203,062.71
最小合計時価総額	605.68
合計時価総額の中央値	17,476.84
Weight Largest Constituent [%]	10.1
Weight Top 10 Constituents [%]	31.2

#### インデックス加重による構成銘柄トップ10

構成銘柄	銘柄コード	GICSセクター
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
Alphabet Inc C	GOOG	Communication Services
Nestle SA Reg	NESN	Consumer Staples
Bank of America Corp	BAC	Financials
Unitedhealth Group Inc	UNH	Health Care
Novartis AG Reg	NOVN	Health Care
Roche Hldgs AG Ptg Genus	ROG	Health Care
Taiwan Semiconductor Manufa	2330	Information Technology
Cisco Systems Inc	CSCO	Information Technology
Adobe Inc.	ADBE	Information Technology

\*Based on GICS® sectors

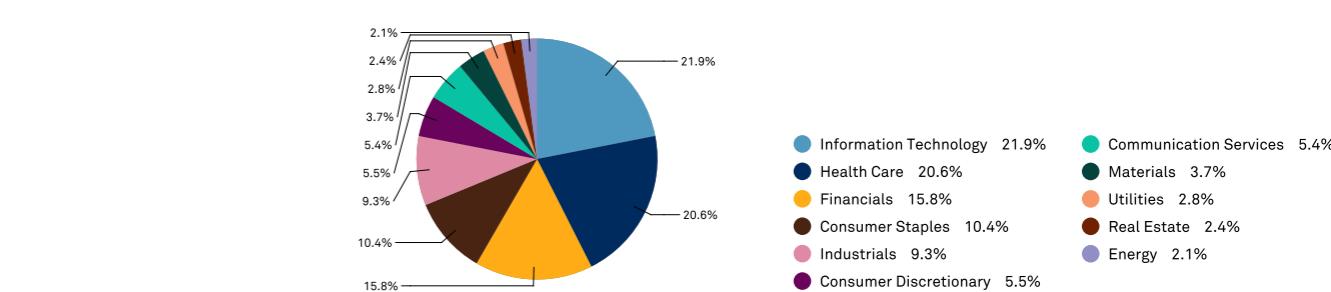
#### ESG特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン／投資100万ドル）*	72.22
炭素効率（二酸化炭素換算トン／売上高100万ドル）*	167.14
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン／売上高100万ドル）*	181.25
化石燃料埋蔵量の排出量（二酸化炭素換算トン／投資100万ドル）	576.53

\*事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metricsをご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・グローバル分散・インデックス

### 指数について

この指標は、S&P Global LargeMidCap Index と同等のリスク及びパフォーマンス・プロファイルを提供する一方で、サステナビリティに対して非常に高いエクスポートヤーを確保することを目標としている。これは“第二世代”的なサステナビリティ・インデックスと考えることができ、環境・社会・企業統治（ESG）の面でより高い基準を設定している。さらに、この指標では標準的なベンチマークに対するトラッキングエラーを抑えることも目標としている。

### 持続可能性評価と選別基準

弊社のパートナー会社であるESG調査会社、RobecoSAM社のアーリストが持続可能性評価を行っている。アーリストはそれぞれ特定の業種を専門としており、企業の財務要因及び非財務要因を検証している。各業種のアンケートの少なくとも50%は、その業種に特有の事柄に関係するものとなっており、パーセンテージは業種ごとに異なる。企業の持続可能性評価（CSA）のアンケートでは、環境・社会・企業統治（ESG）について、財務面に関する約80～120の質問があり（業種ごとに異なる）、質問は基準ごとにグループ分けされて、さらに経済・環境・社会の3つのサブ・グループに分けられる。RobecoSAM社は各個別の質問についてスコア及びウェイト・スキームを適用し、各企業に対してトータル・サステナビリティ・スコア（最大で100ポイント）を付与し、このスコアに従って企業をランク付けし指標採用企業を選定する。各国内における世界産業分類基準（GICS）の各セクターについて、同国及びGICSセクターにおいてS&P Global LargeMidCap Indexの合計時価総額の33%に相当するまで、企業の持続可能性評価（CSA）スコアの高い企業から順に選択する（例えば、フランスのエネルギー・セクターの合計時価総額の33%、あるいは米国の耐久消費財セクターの合計時価総額の33%）。以上のプロセスで最終的に選定された企業が、時価総額加重ベースでDJSI World Diversifiedに組み入れられる。

### 指標の特徴

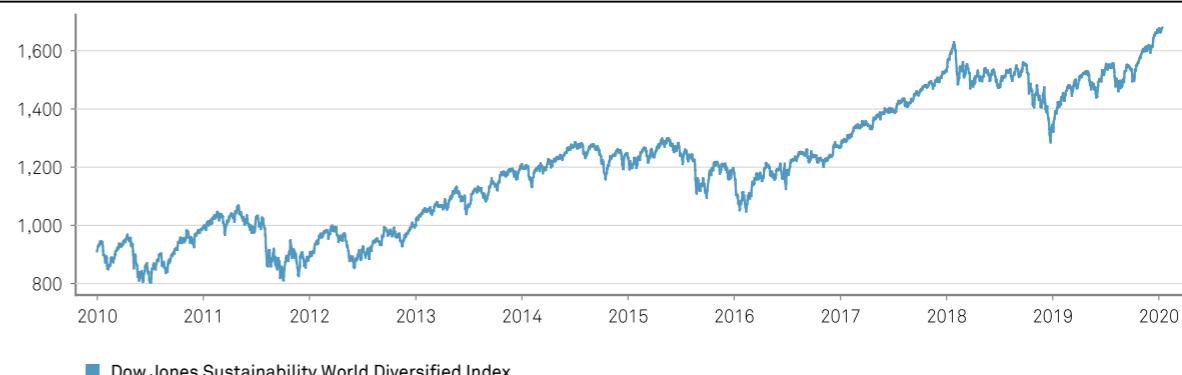
ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・グローバル分散指標のユニバースには、企業のサステナビリティ・スコアが高い順に、ベンチマークの時価総額の上位3分の1に相当する企業が含まれるため、ベンチマークとは異なり、指標のサステナビリティ・プロファイルはベンチマークよりも大幅に高いと考えらる。実際に、各主要基準においてサステナビリティ水準の改善が確認できる。

## ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・グローバル分散・インデックス

### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	2,026.97	3.57%	9.02%	27.46%	27.46%	12.66%	9.29%
プライス・リターン	1,665.34	3.39%	8.45%	23.81%	23.81%	9.49%	6.19%
ネット・トータル・リターン	1,939.27	3.53%	8.88%	26.63%	26.63%	11.94%	8.58%

### 過去の実績



### インデックスの特徴

構成銘柄数	851
構成銘柄の時価総額 [USD 100万]	
平均合計時価総額	34,566.76
最大合計時価総額	1,203,062.71
最小合計時価総額	120.87
合計時価総額の中央値	14,048.71
Weight Largest Constituent [%]	4.7
Weight Top 10 Constituents [%]	16.4

### インデックス加重による構成銘柄トップ10

構成銘柄	銘柄コード	GICSセクター
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
JP Morgan Chase & Co	JPM	Financials
Alphabet Inc A	GOOGL	Communication Services
Alphabet Inc C	GOOG	Communication Services
Nestle SA Reg	NESN	Consumer Staples
Visa Inc A	V	Information Technology
Procter & Gamble	PG	Consumer Staples
AT&T Inc	T	Communication Services
Bank of America Corp	BAC	Financials
UnitedHealth Group Inc	UNH	Health Care

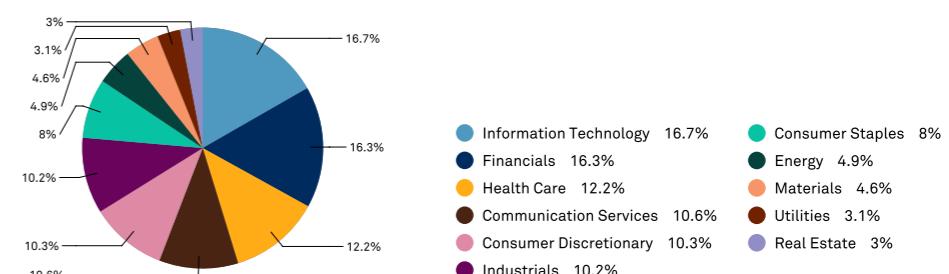
\*Based on GICS® sectors

### ESG特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資100万ドル）*	104.06
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高100万ドル）*	234.22
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高100万ドル）*	251.11
化石燃料埋蔵量の排出量（二酸化炭素換算トン / 投資100万ドル）	1,452.03

\*事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metricsをご覧ください。

### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P LTVC 指数

### 指標について

S&P LTVC グローバル指数 (LTVC= 長期的価値形成) は、持続可能性及び財務のクオリティの両方に関する独自の基準に基づき、グローバル株式市場で上位にランクされた銘柄のパフォーマンスを測定するように設計されている。この指標は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、カナダ年金基金投資運用委員会 (CPPIB) 及び RobecoSAM 社と共同して、独自のスコアリング・システムに基づき長期的な価値形成をしようとしていると判断されるグローバル企業へのエクスポージャーの提供を目指す指標を開発した。長期的な戦略や革新、生産性に注目することにより、現在及び将来の経済的機会及びガバナンス機会や、リスクを予想し、管理することを目指している企業は、競争優位性を維持することで、株主価値を維持する可能性が高いと考えられる。また、財務のクオリティが安定している企業は、同じように将来にわたり長期的価値を生み出す能力を有している可能性がある。したがって、S&P LTVC グローバル指数は、独自のメソドロジーに従った特性（持続可能性及びクオリティ）を有している企業を特定することで構築されている。

### 指標の構築

1. S&P LTVC グローバル指数は、S&P グローバル中大型株指数の構成銘柄により毎年構築される。
2. 組み入れ対象となる銘柄は、リバランス日時点での、3 年以上にわたりユニバースとなる指標の構成銘柄である必要がある。また、流動性要件として、その 3 年間の各年において、3 ヶ月間の 1 日当たり平均取引金額 (ADVT) が 5 百万ドル以上である必要がある。

リバランス時点（毎年 4 月末に実行）で、2 つの基準を満たしている適格銘柄が最初に選択される。その 2 つの基準とは、1) 経済的ディメンション・スコアの上位 50% にランク付けされていること、及び 2) クオリティ・スコアの上位 50%（最低過去 3 年の平均を使用する）にランク付けされていることである。次に、これらの銘柄は、合計スコア（経済的ディメンション・スコアとクオリティ・スコアの合計）によりランク付けされる。毎年、合計スコアに基づき上位 150 にランクされた銘柄は、当年の“ヴィンテージ”として選択される。ポートフォリオ全体は、当年とそれ以前の 2 年間からのそれぞれ一つずつのヴィンテージである、3 つのポートフォリオから構成されている。これらの各“ヴィンテージ”は均等に加重され、最終ポートフォリオを形成する。年 2 回のレビューが実施され、前 6 ヶ月間においてコーポレート・ガバナンスに関連する著しく不適切な行動があった構成銘柄の評価だけが行われる。

### S&P LTVC 指数

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	605.47	3.43%	7.77%	25.21%	25.21%	13.54%	9.76%
プライス・リターン	370.73	3.15%	7.25%	21.33%	21.33%	10.1%	6.5%
ネット・トータル・リターン	549.56	3.37%	7.66%	24.41%	24.41%	12.83%	9.08%
ベンチマーク*・トータル・リターン	426.57	3.55%	9.04%	27.01%	27.01%	13.05%	8.98%
ベンチマーク*・プライス・リターン	256.66	3.38%	8.55%	23.82%	23.82%	10.26%	6.27%

\* The index benchmark is the S&P Global LargeMidCap (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

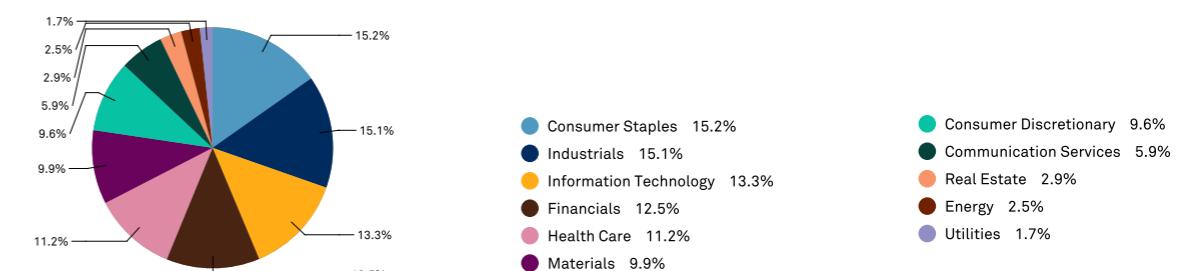
構成銘柄数	236
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	42,267.55
最大合計時価総額	322,017.12
最小合計時価総額	2,510.49
合計時価総額の中央値	22,019.04
Weight Largest Constituent [%]	1.1
Weight Top 10 Constituents [%]	9.9

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	145.86
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	233.62
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	331.25
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	546.18

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる銘柄に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## JPX/S&P 設備・人材投資指標

### 指標について

JPX/S&P 設備・人材投資指標は、「設備投資の成長性」「設備投資の効率性」「人材投資」に積極的に取り組んでいる日本の上場企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。設備投資の成長性及び効率性については、企業の開示資料に基づき、定量的に評価される。一方、人材投資については、RobecoSAM社により提供されるスコアを通じて評価される。

### 適格性基準

この指標のユニバースは東証株価指数（TOPIX）の構成銘柄から選択される。流動性や、信用力、利益性、低ベータなどの基準を満たしている銘柄がこの指標の適格ユニバースとなる。

ユニバース：この指標の採用候補銘柄は、TOPIX の構成銘柄である必要がある。

流動性：構成銘柄の対象となるためには、過去1年の取引成立日数が200日以上であること、または過去1年の売買代金合計が1000億円以上である必要がある。

信用力：以下の基準に該当している銘柄については、ユニバースから除外される。

- 直近3期のいずれかにおいて、負債合計が資産合計を上回っている場合（債務超過の場合）
- 直近3期のすべてにおいて、営業利益がマイナスである場合
- 直近3期のすべてにおいて、当期利益がマイナスである場合

利益性：構成銘柄の対象となるためには、直近3期の平均営業利益および、平均最終利益がマイナスでないことが条件となる。

低ベータ基準：流動性、信用力、利益性などの基準を適用した後、各銘柄は市場ベータによりランク付けされ、上記の全ての基準を満たしているユニバースの中で最もベータの低い銘柄から順に浮動株調整後時価総額ウエイトベースで70%の銘柄が選択される。

### 指標の構築

流動性や信用力等の適格基準を満たす各銘柄について、設備投資額や研究開発費の伸び、設備投資に対する総収益（売上高）比率、人材投資に基づくスコアを計算する。各スコアに基づいて算出される総合スコアにより各銘柄をランク付けし、上位200銘柄が構成銘柄として選ばれる。

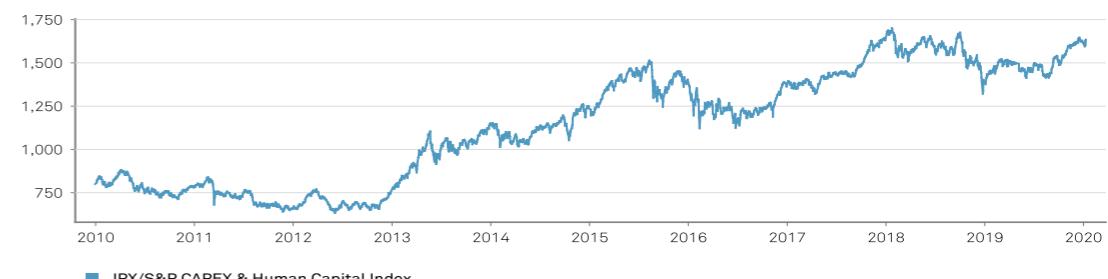
各銘柄は、浮動株調整後時価総額に設備投資及び人材投資の評価による総合スコアを乗じた値によりウエイト付けされる。ただし、個別銘柄のウエイトは定期選定時に5%を上限として調整される。

### JPX S&P 設備・人材投資指標

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算				
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	
トータル・リターン	2,162.55	1.08%	7.6%	19.15%	19.15%	8.42%	8%	9.71%
プライス・リターン	1,616.9	0.91%	7.4%	16.03%	16.03%	5.83%	5.51%	7.3%
ネット・トータル・リターン	2,039.36	1.04%	7.56%	18.51%	18.51%	7.89%	7.49%	9.22%

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	200
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	1,385,679.08
最大合計時価総額	25,170,758.86
最小合計時価総額	20,995.32
合計時価総額の中央値	609,087.2
Weight Largest Constituent [%]	4.9
Weight Top 10 Constituents [%]	33.3

#### インデックス加重による構成銘柄トップ10

構成銘柄	銘柄コード	GICSセクター
Toyota Motor Corp	7203	Consumer Discretionary
Keyence Corp	6861	Information Technology
Nippon Tel & Tel Corp	9432	Communication Services
Takeda Pharmaceutical Co Ltd	4502	Health Care
Tokio Marine Holdings Inc	8766	Financials
Honda Motor Co	7267	Consumer Discretionary
Nintendo Co Ltd	7974	Communication Services
Itochu Corp	8001	Industrials
Recruit Holdings Co Ltd	6098	Industrials
Shiseido Co	4911	Consumer Staples

\*Based on GICS® sectors

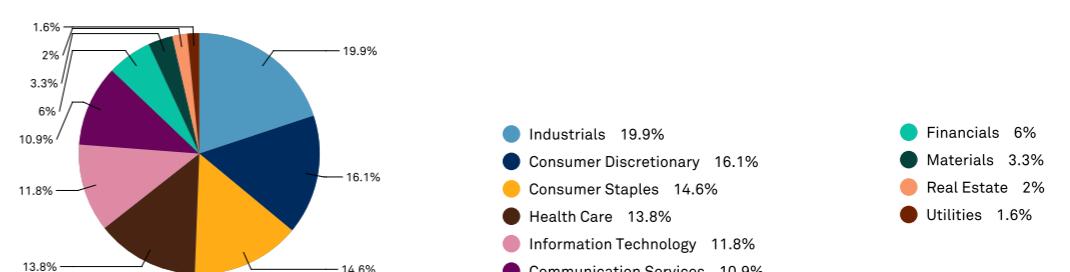
#### ESG特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン／投資100万ドル）*	112.16
炭素効率（二酸化炭素換算トン／売上高100万ドル）*	135.29
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン／売上高100万ドル）*	136.12
化石燃料埋蔵量の排出量（二酸化炭素換算トン／投資100万ドル）	248.68

\*事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量

詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metricsをご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019年12月31日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。



# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P カーボン・エフィシェント指数シリーズ

### 指標について

S&P カーボン・エフィシェント指数シリーズの各指標は、それぞれの親指標に組み入れられた企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。炭素効率性（売上高 1 単位当たりの炭素排出量）が高い企業をオーバーウェイトし、低い企業をアンダーウェイトする。

この指標は、環境データのスペシャリストである S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部門、Trucost 社と協力して設計されている。

### 指標の構築

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの全ての株価指標で用いられる除数メソドロジーの手法に従って指標を計算する。

- 指標ファミリーとユニバース：この指標シリーズには以下の指標が含まれ、毎年の各リバランス時点では、各指標は親指標の構成銘柄により構築される。

指標	親指標
S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシェント指標	S&P グローバル大中型株指標
S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシェント指標（日本を除く） <sup>3</sup>	S&P グローバル大中型株指標（日本を除く）
S&P 先進国大中型株カーボン・エフィシェント指標	S&P 先進国大中型株指標
S&P 新興国大中型株カーボン・エフィシェント指標	S&P エマージング大中型株指標
S&P 欧州大中型株カーボン・エフィシェント指標	S&P 欧州大中型株指標
S&P 北米大中型株カーボン・エフィシェント指標	S&P 北米大中型株指標
S&P アジア太平洋大中型株カーボン・エフィシェント指標	S&P アジア太平洋大中型株指標
S&P ラテンアメリカ大中型株カーボン・エフィシェント指標	S&P ラテンアメリカ大中型株指標
S&P グローバル 1200 カーボン・エフィシェント指標	S&P グローバル 1200 指標
S&P 500 カーボン・エフィシェント指標	S&P 500 指標
S&P 400 カーボン・エフィシェント指標	S&P 中型株 400 指標
S&P 600 カーボン・エフィシェント指標	S&P 小型株 600 指標
S&P 欧州 350 カーボン・エフィシェント指標	S&P 欧州 350 指標
S&P 中国 A 株カーボン・エフィシェント指標	S&P 中国 A 株 BMI 国内指標
S&P 南アフリカ国内カーボン・エフィシェント (DSW) 指標	S&P 南アフリカ国内株主加重 (DSW) 指標
S&P 南アフリカ国内カーボン・エフィシェント上限付け (DSW) 指標	S&P 南アフリカ国内株主加重 (DSW) 指標

- カーボン：Trucost がカバーするユニバース内の構成銘柄に対して、リバランス参照日前の一年間の炭素効率性が割り当てられる。この炭素効率性指標は、企業の温室効果ガス (GHG) 排出量（直接排出量及び最上位の間接排出量を二酸化炭素換算 (CO2e) トンとして表示）を年間の売上高で除した数値である。
- ウェイト付け：炭素効率性を上げるために、親指標の売上高 1 単位当たりの炭素排出量へのエクスポージャーに対し、ポートフォリオの売上高 1 単位当たりの炭素排出量へのエクspoージャーを減らして適用する。

### リバランス

指標は年 1 回、3 月の第 3 金曜日の取引終了後にリバランスされる。リバランス参照日及び構成銘柄選択のための参考ユニバースは 2 月の第 3 金曜日である。参考日の終値を用いてウェイトを計算し、参考日に決定されたウェイトに達するよう指標の組入株式数を各構成銘柄に割り当てる。

### 追加および除外

追加：適格なスピンオフを除いて、指標への追加は原則として年間のリバランス時のみ。

除外：親指標から除外された構成銘柄は、それぞれのカーボン・エフィシェント指標からも除外される。

S&P カーボン・エフィシェント指標特設サイト

S&P カーボン・エフィシェント指標に関する詳細は、S&P カーボン・エフィシェント指標特設サイト (<https://japanesespindices.com/topic/carbon-efficient>) をご参考下さい。指標の構築方法等をわかりやすく解説しています。

### S&P カーボン・エフィシェント指標シリーズ

#### パフォーマンス (S&P 500 Carbon Efficient Index (USD))

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	529.28	3.02%	9.42%	32.44%	32.44%	15.42%	11.86%
プライス・リターン	421.16	2.85%	8.87%	29.77%	29.77%	13.12%	9.56%
ネット・トータル・リターン	494.21	2.97%	9.25%	31.64%	31.64%	14.72%	11.17%
ベンチマーク *・トータル・リターン	6,553.57	3.02%	9.07%	31.49%	31.49%	15.27%	11.7%
ベンチマーク *・プライス・リターン	3,230.78	2.86%	8.53%	28.88%	28.88%	13%	9.43%
ベンチマーク *・ネット・トータル・リターン	5,805.15	2.97%	8.91%	30.7%	30.7%	14.59%	11.01%
							12.85%

\* The index benchmark is the S&P 500

### 過去の実績



### インデックスの特徴

構成銘柄数	489
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	55,665.1
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	2,896.63
合計時価総額の中央値	23,997.42
Weight Largest Constituent [%]	5
Weight Top 10 Constituents [%]	22.3

### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
Amazon.com Inc	AMZN	Consumer Discretionary
JPMorgan Chase & Co	JPM	Financials
Facebook Inc A	FB	Communication Services
Chevron Corp	CVX	Energy
Johnson & Johnson	JNJ	Health Care
Visa Inc A	V	Information Technology
UnitedHealth Group Inc	UNH	Health Care
Alphabet Inc C	GOOG	Communication Services

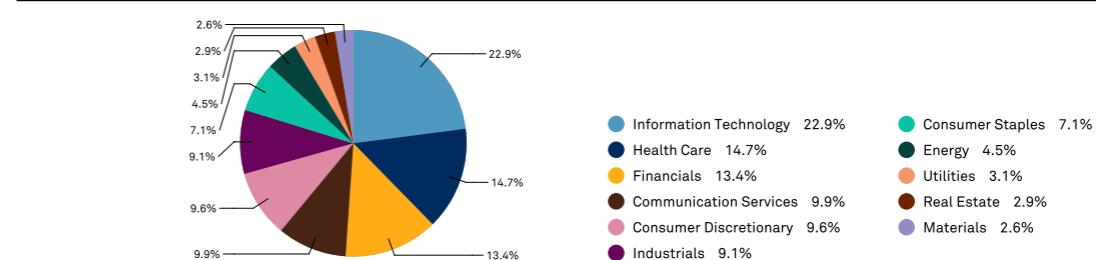
\*Based on GICS® sectors

### ESG 特性

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	53.65
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	170.37
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	174.71
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	613.05

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdj.com/esg-metrics をご覧ください。

### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株式に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシェント指数 (除く日本、米ドル建て)

### 指標について

S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシェント指数（除く日本、円建て）は、グローバル大中型株指数に組み入れられた企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。炭素効率性（売上高 1 単位当たりの炭素排出量）が高い企業をオーバーウェイトし、低い企業をアンダーウェイトする。S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシェント指数は、S&P グローバル・カーボン・エフィシェント指数シリーズ・メソドロジー指数シリーズの一部である。

### 指標の構築

- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの全ての株価指数で用いられる除数メソドロジーの手法に従って指標を計算する。
- ユニバース**：毎年の各リバランス時点で、S&P グローバル大中型株指数の構成銘柄により構築される。
  - カーボン**：Trucost がカバーするユニバース内の構成銘柄に対して、リバランス参照日前の一年間の炭素効率性が割り当てられる。この炭素効率性指標は、企業の温室効果ガス (GHG) 排出量（直接排出量及び最上位の間接排出量を二酸化炭素換算 (CO<sub>2</sub>e) トンとして表示）を年間の売上高で除した数値である。
  - ウェイト付け**：炭素効率性を上げるために、親指標の売上高 1 単位当たりの炭素排出量へのエクスポージャーに対し、ポートフォリオの売上高 1 単位当たりの炭素排出量へのエクspoージャーを減らして適用する。

### リバランス

指標は年 1 回、3 月の第 3 金曜日の取引終了後にリバランスされる。リバランス参照日及び構成銘柄選択のための参照ユニバースは 2 月の第 3 金曜日である。参照日の終値を用いてウェイトを計算し、参照日に決定されたウェイトに達するよう指標の組入株式数を各構成銘柄に割り当てる。

### 追加および除外

**追加**：適格なスピンオフを除いて、指標への追加は原則として年間のリバランス時のみ。

**除外**：親指標から除外された構成銘柄は、S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシェント指数からも除外される。

### S&P カーボン・エフィシェント指標特設サイト

S&P カーボン・エフィシェント指標に関する詳細は、S&P カーボン・エフィシェント指標特設サイト (<https://japanesespindices.com/topic/carbon-efficient>) をご参考下さい。指標の構築方法等をわかりやすく解説しています。



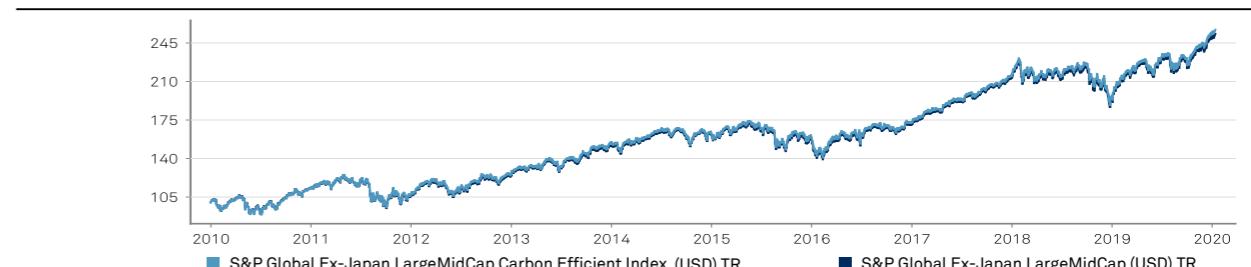
### S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシェント指標（除く日本、米ドル建て）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	397.45	3.67%	9.52%	28.43%	28.43%	13.61%	9.27%
プライス・リターン	297.66	3.49%	8.96%	25.11%	25.11%	10.73%	6.45%
ネット・トータル・リターン	373.95	3.63%	9.39%	27.69%	27.69%	12.97%	8.65%
ベンチマーク*・トータル・リターン	453.28	3.7%	9.19%	27.73%	27.73%	13.41%	9.06%
ベンチマーク*・プライス・リターン	268.3	3.53%	8.67%	24.51%	24.51%	10.59%	6.31%
ベンチマーク*・ネット・トータル・リターン	348.75	3.65%	9.07%	27.01%	27.01%	12.79%	8.45%
							8.96%

\* The index benchmark is the S&P Global Ex-Japan LargeMidCap (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	2039
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	26,259.13
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	366.43
合計時価総額の中央値	10,669.9
Weight Largest Constituent [%]	4
Weight Top 10 Constituents [%]	14.3

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

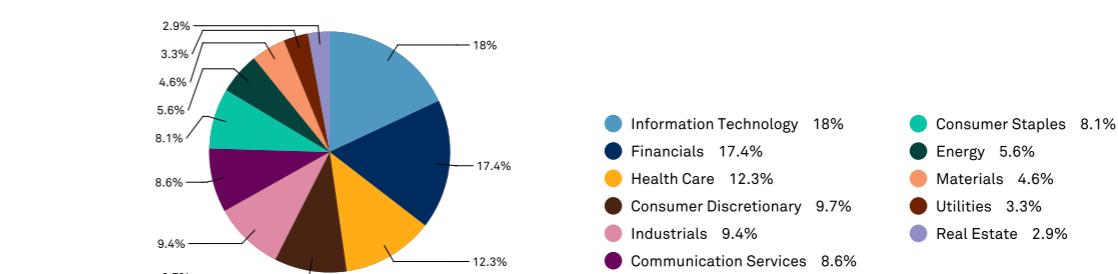
構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
Amazon.com Inc	AMZN	Consumer Discretionary
JP Morgan Chase & Co	JPM	Financials
Facebook Inc A	FB	Communication Services
Chevron Corp	CVX	Energy
Johnson & Johnson	JNJ	Health Care
Visa Inc A	V	Information Technology
Unitedhealth Group Inc	UNH	Health Care
Alphabet Inc C	GOOG	Communication Services

\*Based on GICS® sectors

投資額当り炭素排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル) *	74.64
炭素効率 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	182.17
炭素効率加重平均 (二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル) *	166.11
化石燃料埋蔵量の排出量 (二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル)	1,923.41

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、[www.spdji.com/esg-metrics](http://www.spdji.com/esg-metrics) をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注) 時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所 : S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

# S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## S&P 先進国大中型株カーボン・エフィシェント指数 (円建て)

### 指標について

S&P 先進国大中型株カーボン・エフィシェント指数（円建て）は、S&P 先進国大中型株指数に組み入れられた企業のパフォーマンスを測定するように設計されている。炭素効率性（売上高 1 単位当たりの炭素排出量）が高い企業をオーバーウェイトし、低い企業をアンダーウェイトする。S&P 先進国大中型株カーボン・エフィシェント指数は、S&P グローバル・カーボン・エフィシェント指数シリーズ・メソドロジー指数シリーズの一部である。

### 指標の構築

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの全ての株価指数で用いられる除数メソドロジーの手法に従って指標を算出。

- **ユニバース**：毎年の各リバランス時点で、S&P 先進国大中型株指数の構成銘柄により構築される。
- **カーボン**：Trucost がカバーするユニバース内の構成銘柄に対して、リバランス参照日前の一年間の炭素効率性が割り当てられる。この炭素効率性指標は、企業の温室効果ガス（GHG）排出量（直接排出量及び最上位の間接排出量を二酸化炭素換算（CO<sub>2</sub>e）トンとして表示）を年間の売上高で除した数値である。
- **ウェイト付け**：炭素効率性を上げるために、親指標の売上高 1 単位当たりの炭素排出量へのエクスポージャーに対し、ポートフォリオの売上高 1 単位当たりの炭素排出量へのエクspoージャーを減らして適用する。

### リバランス

指標は年 1 回、3 月の第 3 金曜日の取引終了後にリバランスされる。リバランス参照日及び構成銘柄選択のための参考ユニバースは 2 月の第 3 金曜日である。参考日の終値を用いてウェイトを計算し、参考日に決定されたウェイトに達するよう指標の組入株式数を各構成銘柄に割り当てる。

### 追加および除外

**追加**：適格なスピンオフを除いて、指標への追加は原則として年間のリバランス時のみ。

**除外**：親指標から除外された構成銘柄は、S&P 先進国大中型株カーボン・エフィシェント指数からも除外される。

### 計算に用いる通貨

この指標は現地通貨で計算される - 日本円

### S&P カーボン・エフィシェント指標特設サイト

S&P カーボン・エフィシェント指標に関する詳細は、S&P カーボン・エフィシェント指標特設サイト (<https://japanesespindices.com/topic/carbon-efficient>) をご参考下さい。指標の構築方法等をわかりやすく解説しています。



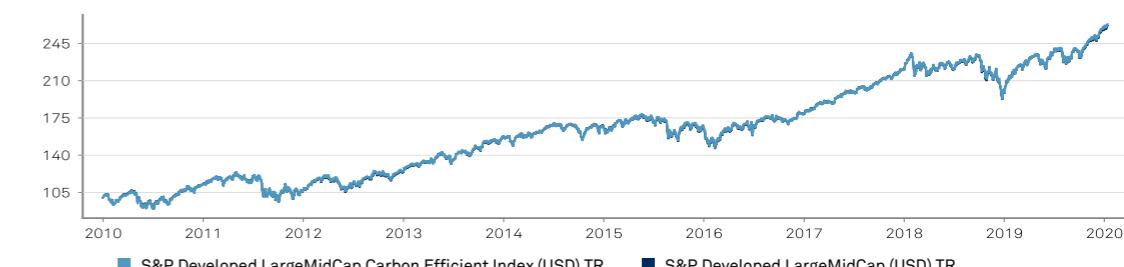
### S&P 先進国大中型株カーボン・エフィシェント指標（円建て）

#### パフォーマンス

指標値	リターン			年率換算			
	1ヶ月	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年
トータル・リターン	393.29	3.18%	9.12%	28.36%	28.36%	13.33%	9.43%
プライス・リターン	297.35	3.01%	8.6%	25.12%	25.12%	10.51%	6.69%
ネット・トータル・リターン	369.62	3.13%	9%	27.61%	27.61%	12.68%	8.8%
ベンチマーク*・トータル・リターン	922.86	3.15%	8.74%	27.8%	27.8%	13.11%	9.25%
ベンチマーク*・プライス・リターン	497.27	2.98%	8.23%	24.64%	24.64%	10.34%	6.56%
							7.22%

\* The index benchmark is the S&P Developed LargeMidCap (USD)

#### 過去の実績



#### インデックスの特徴

構成銘柄数	1746
構成銘柄の時価総額 [USD 100 万]	
平均合計時価総額	28,716.83
最大合計時価総額	1,304,764.77
最小合計時価総額	835.31
合計時価総額の中央値	12,411.2
Weight Largest Constituent [%]	4
Weight Top 10 Constituents [%]	14.4

#### インデックス加重による構成銘柄トップ 10

構成銘柄	銘柄コード	GICS セクター
Apple Inc.	AAPL	Information Technology
Microsoft Corp	MSFT	Information Technology
Amazon.com Inc	AMZN	Consumer Discretionary
Facebook Inc A	FB	Communication Services
JP Morgan Chase & Co	JPM	Financials
Chevron Corp	CVX	Energy
Johnson & Johnson	JNJ	Health Care
Visa Inc A	V	Information Technology
Unitedhealth Group Inc	UNH	Health Care
Alphabet Inc C	GOOG	Communication Services

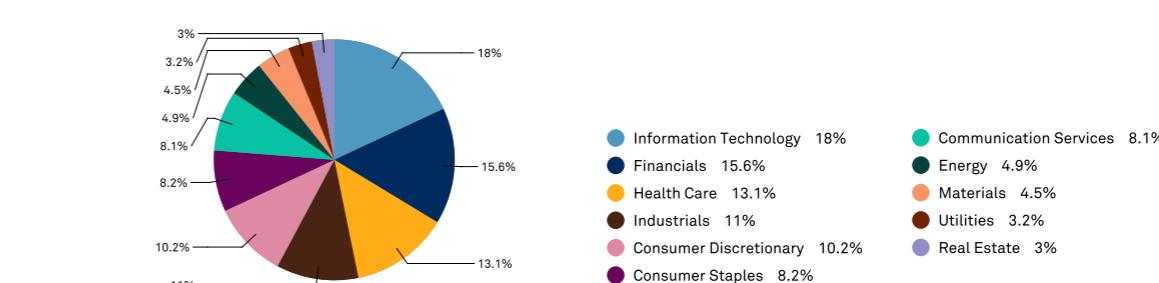
\*Based on GICS® sectors

#### ESG 特性

投資額当り炭素排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）*	70.76
炭素効率（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	165.77
炭素効率加重平均（二酸化炭素換算トン / 売上高 100 万ドル）*	150.32
化石燃料埋蔵量の排出量（二酸化炭素換算トン / 投資 100 万ドル）	1,364.29

\* 事業運営による温室効果ガス排出量及び最上位のサプライチェーンの温室効果ガス排出量  
詳しい情報については、www.spdji.com/esg-metrics をご覧ください。

#### セクター別内訳



\* Based on GICS® sectors

The weightings for each sector of the index are rounded to the nearest tenth of a percent; therefore, the aggregate weights for the index may not equal 100%.

注）時価総額は、指標値に含まれる株数に基づく時価総額

データ出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2019 年 12 月 31 日時点。図表やグラフは図示するために作成。過去のデータは将来の成果を保証するものではない。

著作権 © 2020 年 S&P グローバルの一部門である、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。不許複製、S&P、及び STANDARD & POOR'S は、スタンダード&プアーズ・ファイナンシャル・サービスズ LLC の登録商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC (以下「ダウ・ジョーンズ」) の登録商標です。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして（または）複写を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ダウ・ジョーンズ或いはその関連会社、親会社、子会社、取締役、役員、株主、従業員、或いはその代理人（これらを合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス」という）が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指數を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。本資料で提示するあらゆるリターンまたはパフォーマンスは、説明目的で提示していて、実際のパフォーマンスを示すものではありません。過去のパフォーマンスは将来の投資成果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指數が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指數に基づく投資可能商品を通して得られます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指數のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。指數に基づく投資商品が指數のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げる保証はありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは投資顧問会社ではなく、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他のビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他のビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指數への証券の組入は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&P の米国のベンチマーク指數及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指數の終値は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、指數構成銘柄の各主要取引所（すなわち NYSE、NASDAQ、NYSE AMEX）が設定する終値に基づいて計算します。終値は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスがベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中のリアルタイム価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。いかなる内容（格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力）も他のいかなる部分（以下「内容」という）も、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式といかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、再製作または配布、あるいはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・プロバイダー（合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という）も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について、或いは利用者が入力するいかなるデータの機密保護または維持について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても（逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず）、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その事業部の特定の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの特定事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推薦し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

この指數ハンドブックは、英文原本からもっぱら参照用の目的で S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが作成したものです。翻訳が正確かつ完全であるよう努めましたが、その正確性ないし完全性につきこれを保証し表明するものではありません。また、メソドロジーに関しては 2019 年 12 月末時点での内容になっており、それ以降に変更があったものに関しては、反映されていません。最新のメソドロジーは、[www.spdji.com](http://www.spdji.com) をご参照下さい。



## S&P Dow Jones Indices

A Division of **S&P Global**

お問い合わせ先  
[indexservicestokyo@spglobal.com](mailto:indexservicestokyo@spglobal.com) (東京オフィス)  
[index\\_services@spglobal.com](mailto:index_services@spglobal.com) (24 時間対応)

東京	03.4550.8564	トロント	+1.212.438.7354
北京	+86.10.6569.2770	ロンドン	+44.207.176.8888
香港	+852.2532.8000	ムンバイ	+91.22.2272.5312
シドニー	+61.2.9255.9802	ドバイ	+971.4.371.7131
ニューヨーク	+1.212.438.7354		